

鹿児島県の中世城館跡

— 中世城館跡調査報告書 —

1987・3

鹿児島県教育委員会

序 文

この報告書は、鹿児島県教育委員会が中世の城館跡を埋蔵文化財包蔵地として、全県的に把握するため、国（文化庁）の助成を得て昭和57年度から61年度までの5か年にわたって実施した中世城館跡調査をまとめたものです。

南北朝時代から戦国時代にかけて多くの城館が築かれてきましたが、江戸幕府の発した一国一城令によりほとんどのものが廃城されました。これ等の城館は江戸時代から各種の書物に記され、合戦話や悲話等とともに伝承されて人びとに親しまれてきています。

このように、人びとになじみの深い城館跡は、鹿児島県の歴史をひもとく上で貴重な文化的遺産として保護・活用がなされなければならないと考えます。

この調査の結果、県内に所在する940余の中世城館跡について基礎的な資料を得ることができました。

本書が、鹿児島県の歴史研究や文化財の保護のために活用されることを期待します。

終わりに、この調査に御協力をいただいた調査員及び調査補助員の方々並びに各市町村教育委員会に心から感謝いたします。

昭和62年3月

鹿児島県教育委員会
教育長 山田克穂

例 言

- 1 本報告書は、鹿児島県が国の補助をうけて、昭和57年度から61年度までの5か年間にわたって実施した中世城館跡調査の結果をまとめたものである。なお、麓については紙数の都合により割愛した。
- 2 調査は、鹿児島県教育委員会が主体となり、各地区あるいは各市町村毎に委嘱した調査員を中心として調査補助員・調査員助手、及び各市町村教育委員会等の協力を得て実施した。
- 3 調査の企画及び報告書の体裁等については、調査指導委員会を適時開催して指導・助言を得た。
- 4 本報告書は、1)概説 2)中世城館跡一覧 3) 中世城館跡分布図 4)中世城館跡略測図 5)文献一覧 6)索引 で構成した。

1) 概 説

概説については、鹿児島大学法文学部教授五味克夫、鹿児島短期大学学長三木靖両氏の調査指導の結果を原稿化していただいたものを掲載した。

2) 中世城館跡一覧

ア 市町村の配列は、鹿児島県埋蔵文化財調査報告書³⁶⁾「鹿児島県市町村別遺跡地名表」に使用されている配列に従った。

イ 城館の名称は、調査カードに記載された名称・別称を基に、調査指導委員会において決定した名称である。原則的には古文献等に用いられているものとし、文献等にあらわれていないものについては地域で一般的に呼称されているものとし、その他については字名を付して名称とした。又、市町村等において指定文化財に指定されている場合には混乱を避けるため指定名称を採用した。

ウ 所在地は、現行の行政区画による地名とした。

エ 立地は、山頂、丘陵、山麓、平坦地等その特徴を示すものとした。

オ 現況については、畑地、山林、宅地等その特徴を示すものとした。

カ 規模・形状については、規模は城館跡の範囲を〇〇m×〇〇mといった概数で示し、形状は城館跡の縄張りについて単郭ないしは複郭といった表現方法を用い、単・複で略記した。

キ 残存状況については、城館跡の残存度を良、やや良、不良、消滅の4段階とした。

ク 存続期間については、築城時期から廃城時期までを示すようにしたもの、推定、伝承については()書きとし、不明のものについては空欄とした。

ケ 築城者、在城者については、煩雑を避けるため〇〇氏といった姓氏名で示した。

コ 文献等については、煩雑を避けるため番号で示した。名称については文献一覧を参照のこと。

サ 城館跡に関する地名は、城館跡の範囲に含まれる地名等を記した。

シ 遺構については、残存する郭(曲輪・腰郭、犬走り等を含む)、空堀、井戸跡、通路(堀底道を含む)、虎口等の代表的な名称を記した。

ス 備考については、発掘等の有無、別称(別)や郭の名称(部)、その他等について記した。

セ 資料等によって確認されたものには[㊦]と略記したが、多くは小幡晋氏による提供資料に負うところが大きい。

3) 中世城館跡分布図

ア 分布図は、国土地理院発行の5万分の1地形図を約7万分の1に縮尺して使用した。

イ 城館跡の範囲は、できるだけその範囲を示すようにしたが、一部その中心部を示したものもある。
又消滅した城館跡についてはその中心部を●で示した。

エ 現在城館跡が記載されていない地形図についても、今後の活用の利便を計るために全て掲載した。

4) 中世城館跡略測図

ア 略測図・見取図・絵図等を出来る限り掲載するように努めたが紙数の都合で割愛したものもある。トレースは事務局で行った。なお等高線や字図等による位置的なものは除いた。

イ スケールはできるだけ付したが、調査カードに記載のないものについては無理に記していない。
スケールの単位はメートルとした。

エ 略測図は下記のように統一した。

ア) 煩雑を避けるため、地形や形状が概念的に理解できるように努めた。

イ) 堀はケバで示した。

エ) 方位は調査カードに記されているものを利用した。

5) 文献一覧

ア 原則として調査員によって提示されたものを基に作成した。

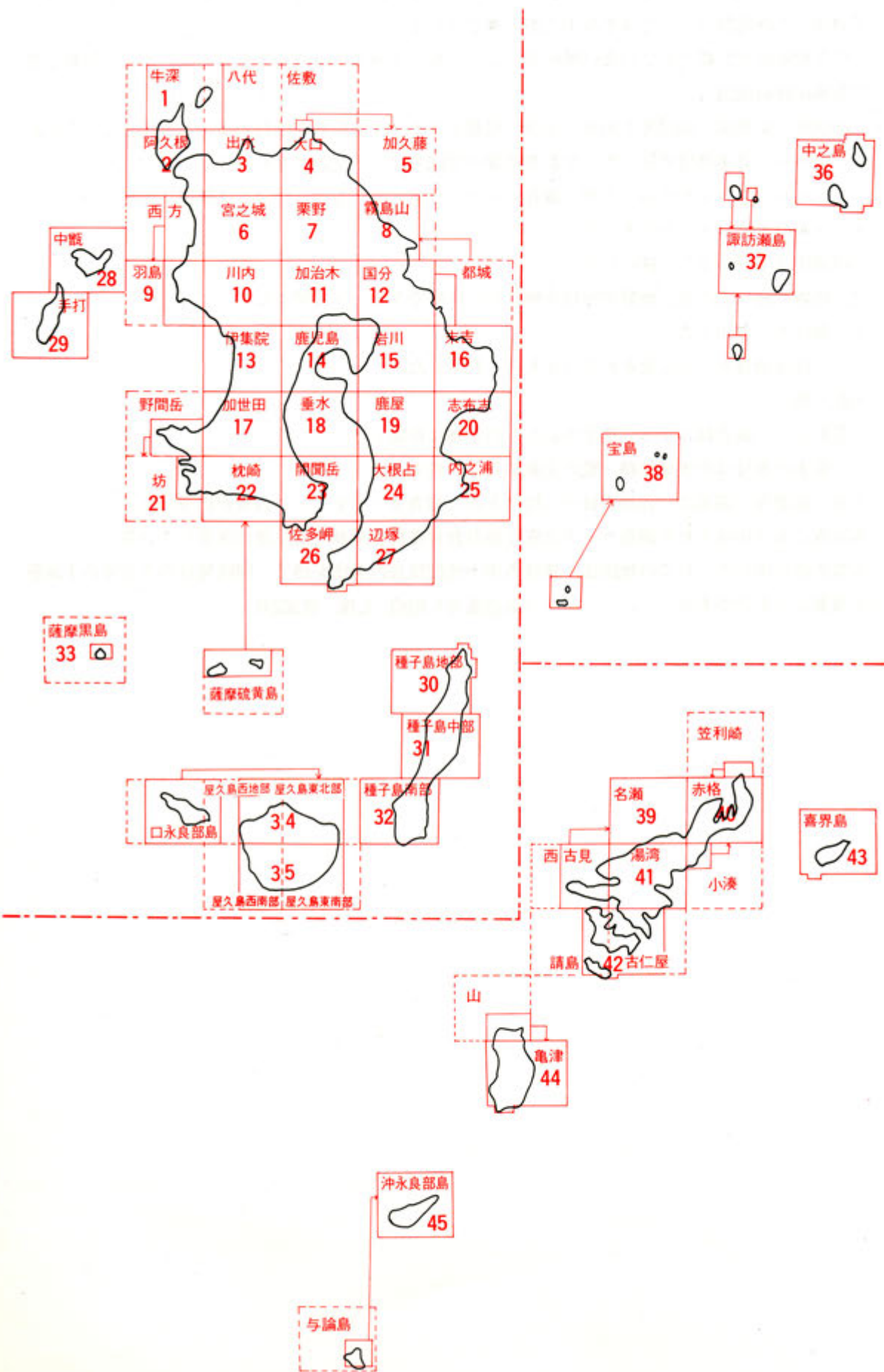
イ 一覧表の番号は中世城館跡一覧の文献番号と一致する。

6) 本書の執筆及び編集は、各調査員から提出された調査カードをもとに吉永が担当した。

7) 本調査により作成された調査カードは鹿児島県教育委員会事務局文化課に保管している。

8) 本報告書に用いたこれらの地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。 (承認番号) 昭61 九複, 第352号

分布図索引



目 次

序 文

例 言

第1章	中世城館跡調査事業の概要	7
第1節	調査の経過	7
第2節	調査の方法	9
第3節	調査の組織	13
第4節	調査の成果（市町村別調査城館跡数一覧）	17
第2章	概 説	18
第1節	文献資料からみた鹿児島県の中世城館跡（五味 克夫）	18
第2節	研究資料からみた鹿児島県の中世城館跡（三木 靖）	23
第3章	中世城館跡一覧	36
1	鹿児島市	36
2	指宿市	38
3	枕崎市	38
4	加世田市	38
5	串木野市	39
6	川内市	40
7	阿久根市	42
8	出水市	43
9	大口市	44
10	国分市	45
11	垂水市	46
12	鹿屋市	47
13	西之表市	49
14	名瀬市	50
15	鹿児島郡地区	51
①	桜島町	
②	吉田町	
③	三島村	
16	指宿郡地区	51
①	喜入町	
②	山川町	
③	開聞町	
④	穎娃町	
17	川辺郡地区	53
①	坊津町	
②	知覧町	
③	川辺町	
18	日置郡地区	55
①	市来町	
②	東市来町	
③	伊集院町	
④	松元町	
⑤	郡山町	
⑥	日吉町	
⑦	吹上町	
⑧	金峰町	

19	薩摩郡地区	59
	① 樋脇町	② 入来町	③ 東郷町
	④ 宮之城町	⑤ 鶴田町	
	⑥ 薩摩町	⑦ 祁答院町	⑧ 里村
	⑨ 下甌村		
20	出水地区	65
	① 高尾野町	② 野田町	③ 東町
	④ 長島町		
21	伊佐郡地区	66
	① 菱刈町		
22	始良地区	66
	① 加治木町	② 始良町	③ 蒲生町
	④ 溝辺町	⑤ 横川町	
	⑥ 栗野町	⑦ 吉松町	⑧ 牧園町
	⑨ 霧島町	⑩ 隼人町	⑪ 福山町
23	曾於郡地区	74
	① 大隅町	② 輝北町	③ 財部町
	④ 末吉町	⑤ 松山町	
	⑥ 志布志町	⑦ 有明町	⑧ 大崎町
24	肝属郡地区	78
	① 串良町	② 東串良町	③ 内之浦町
	④ 高山町	⑤ 吾平町	
	⑥ 大根占町	⑦ 根占町	⑧ 田代町
	⑨ 佐多町		
25	熊毛郡地区	82
	① 中種子町	② 南種子町	③ 上屋久町
	④ 屋久町		
26	大島郡地区	83
	① 大和村	② 住用村	③ 瀬戸内町
	④ 竜郷町	⑤ 笠利町	
	⑥ 喜界町	⑦ 徳之島町	⑧ 天城町
	⑨ 伊仙町	⑩ 和泊町	
	⑪ 知名町	⑫ 与論町	
第4章	城館跡分布図	88
第5章	城館跡略測図	178
第6章	文献一覽	208
索引		214

第1章 中世城館跡調査事業の概要

第1節 調査の経過

中世城館跡の調査研究は、鹿児島においては古くから行われており、古くは江戸時代にまで遡ることができる。しかし、埋蔵文化財包蔵地として、保護の対象として扱われるようになったのは近年になってからのことである。城館跡調査は、多くが文献、縄張り、歴史等の調査が主であったが、城館跡の遺構、遺物等をも含めた発掘調査は、昭和50・51年の九州縦貫自動車道建設に伴う鹿児島市加栗山遺跡（川上城の一部）の調査が最初である。その後、同じく九州縦貫自動車道建設に伴う横川町中尾田遺跡（片城の一部）が昭和53・54年、シラス採土に伴う大口市平泉城跡が昭和55・56年に調査されている他、近年では国分市城山山頂遺跡（隼人城跡、昭和52・53年）、川辺町平山城跡（昭和58年）、横川町横川城跡（昭和61年）等が公園建設に伴うものや鹿児島市苦辛城跡（昭和56・57年）等住宅地建設にともなうものが多くなってきており、埋蔵文化財包蔵地として保護を図る必要性が出てきた。

県教育委員会では、このような状況に対処するために、国の補助をうけて昭和57年度から61年度の5ヶ年にわたって中世城館跡調査を実施した。当初は、「日本城郭体系」、「市町村誌」、「遺跡地名表」等により約700余の城館跡の存在が予想され、県内を3地区（熊毛地区及び南西諸島、旧大隅地区、旧薩摩地区）に分けて4ヶ年の事業として開始したが、諸般の事情により5ヶ年にわたって事業を実施した。

各年度の事業実施経過等については、下記の通りである。

1 昭和57年度

- ① 事業実施内容 熊毛地区及び南西諸島地区の中世城館跡の調査（18市町村）
- ② 事業費 4,800,000円
- ③ 実施期間 昭和57年
- ④ 調査員数 調査員 14名（文化課職員5名を含む。1人1～3町村を担当。）
調査補助員 18名
- ⑤ 調査城館数 49城館
- ⑥ 会議等 昭和57年11月17日 指導委員会及び熊毛地区調査打合せ会
昭和57年11月24日 大島地区調査打合せ会

2 昭和58年度

- ① 事業実施内容 旧大隅国地区の中世城館跡調査
及び昭和57年度の補充調査（39市町村）
- ② 事業費 6,000,000円
- ③ 実施期間 昭和58年
- ④ 調査員数 調査員 37名（文化課職員3名を含む。）
調査補助員 2名
- ⑤ 調査城館数 321城館
- ⑥ 会議等 昭和58年9月12日 肝属地区調査打合せ会

昭和58年 9月16日 曾於地区調査打合せ
昭和58年 9月13日 始良地区調査打合せ

3 昭和59年度

- ① 事業実施内容 旧薩摩国のうち出水・北薩地区の中世城館跡調査及び昭和57・58年度の補充調査（27市町村）
- ② 事業費 4,000,000円
- ③ 実施期間 昭和59年
- ④ 調査員数 調査員 27名
- ⑤ 調査城館数 250城館
- ⑥ 会議等 昭和59年 7月24日 指導委員会
昭和59年 8月28日 出水地区調査打合せ
昭和59年 8月30日 川薩地区調査打合せ

4 昭和60年度

- ① 事業実施内容 旧薩摩国のうち日置・南薩地区の中世城館跡調査
- ② 事業費 4,500,000円
- ③ 実施期間 昭和60年
- ④ 調査員数 調査員 25名（文化課職員2名を含む）
- ⑤ 調査城館数 248城館
- ⑥ 会議等 昭和60年 6月27日 日置・鹿児島地区調査打合せ
昭和60年 6月28日 川辺・指宿地区調査打合せ

⑤ 昭和61年度

- ① 事業実施内容 昭和59・60年度の補充調査及び報告書作成作業
- ② 事業費 4,500,000円
- ③ 実施期間 昭和61年
- ④ 調査員数 調査員 2名
- ⑤ 調査城館数 76城館
- ⑥ 会議等 昭和61年10月6日 第1回指導委員会
昭和61年12月1日 第2回指導委員会

第2節 調査の方法

調査は、中世に築かれて当該時期に利用された城館跡（元和1年の一国一城令以前の城館跡）周知の埋蔵文化財包蔵地として、全県下について把握することを目的とし、文化庁の「中世城館遺跡総合調査について」の手引を参考に作成した「中世城館跡調査実施要項」に基づいて実施した。調査要項は年度により若干異なるが、基本的な内容の変更はない。昭和60年度の調査要項は次の通りである。

中世城館跡調査実施要項

1 目的

近年の開発事業は、平地から丘陵・山地に及びその地理的景観のみでなく、歴史的風土をも変貌させつつある。こうした状況に対処するため、県内各地、特に丘陵・山地に多く分布する中世城館跡の調査を実施し、その実態を明らかにするとともに、基本台帳を作成して保護立案のための基礎資料の整備を図る。

2 調査内容

- 1) 文献調査 古文書、地誌、地方誌、字絵図、字名、研究史、論文等
- 2) 遺構調査 名称、所在地、遺構、歴史的変遷、機能等
- 3) 伝聞調査 伝承などの聞き取り等

3 調査計画

- 昭和57年度 南西諸島（西之表市、熊毛郡、名瀬市、大島郡）
昭和58年度 大隅地区（大口市、伊佐郡、国分市、始良郡、曾於郡、鹿屋市、垂水市、肝属郡）
昭和59年度 薩摩地区（出水市、阿久根市、出水郡）
昭和60年度 薩摩地区（串木野市、日置郡、加世田市、枕崎市、川辺郡、指宿市、揖宿郡、鹿児島市、鹿児島郡）
昭和61年度 整理、報告書作成

4 調査組織

- 1) 調査指導委員 4名 調査に関する指導
- 2) 調査員 各市町村1～3名、市町村に所在する中世城館跡の調査を担当する。
- 3) 調査員補助 各市町村1～2名、文化課職員の調査に協力する。
- 4) 調査員助手 調査員の調査に協力する。

5 調査方法

1) 文献調査

当該城館に関する古文書等の文献調査及び調査及び収集

- ① 近世の地誌、近代の地方誌などによる調査
- ② 小字集成図（または土地宝典）を基にした地名の聞き取り
- ③ 近世の古城図、中世の古文書、旧藩時代の藩政資料などによる調査
- ④ 空中写真、地籍図（不動産登記簿付属地図等）による調査

2) 遺構調査

現地で縄張り（m単位）、歩測等により遺構の現況を調査し、文書、略図、写真等により記録する。

3) 伝聞調査

伝承と地名について古老から聞き取り、記録する。

6 調査結果

1) 基本台帳

城館ごとに作成(カード式)し、県教育庁文化課に保管する。

2) 調査報告書

全県的状况、主要遺跡(城館跡)の状况等を記録し、関係機関に配布。

調査は、城館跡の所在・位置、及び範囲の確認を行い、城館跡ごとに調査カードを作成し、記入・整理した。

又特徴的な遺構や現況については写真による記録を適宜行った。

中世城館跡調査カードの様式(規格B4)

1

記入不要	整理番号		土橋、櫓台、のろし台、通路(大手、からめ手、堀底道)、古木他	
	関連する城館番号			
1	名称 (他の名称)			
2	所在地 現在 市 区 町 村 郡 町 大字 (旧<明治20年以前> 郡 町 大字)			
3	現 状	a 占 地 状 況	山頂、山麓、丘陵、平地、その他()	
		b 現 況	山林、水田、畠、寺社境内地、宅地、その他()	
		c 所 有 関 係	国有地、公有地、区有地、寺社有地、民有地、その他()	
	遺 構 保 存 状 況	d 残 存 状 況	良、やや良、不良、消滅	
		e 史 跡 他 指 定	国・県・市・町・村 ; 史跡・旧跡・重要遺跡	
		f 他 の 法 律 ・ 条 例 と の 関 係	都市計画法(市街化区域、市街化調整区域、風致地区) 環境保全条例(), 森林法()	
		g 当 面 予 定 さ れ て いる 開 発 計 画	有() (), 無	
	そ の 一	h 管 理 状 況		
		i 破 壊 の あ る 場 合	全壊、部分壊(時期()頃); 原因()	
		j 遺 構 の 特 色 (郭 < 呼 称 > , 腰 郭 (帯 郭) , 犬 走 り , 堀 (空 堀 , 水 堀 , た て 堀) , 土 塁 < 折 れ び ず み , ま す 形 > , 石 塁 , 虎 口 , 水 の 手 < 井 戸 > , 庭 園 , 池 , 礎 石 ,		

鹿児島県教育委員会

3 遺構の状況 その二	地籍図（公図・切図）上の特色				③ 地 元 世 以 前 誌			
					④ 金 石 文			
				⑤ 古 絵 図				
4 研 究 史	執筆者	題名	発行所 掲載誌	備考 (刊行年)	⑥ 繪 圖 類	b 伝承（伝承者氏名）		
	① 地 方 史 （明治以降）					c 地 名	大字	小字
	② 著書							
	③ 論 文							
	④ 報告書							
⑤ その他								
備考 発掘，測量								
5 史 料 その一	a 文 献	史料名	刊本	備考（所蔵者）				
	① 古 文 書							
	② 古 記 録							

鹿児島県教育委員会

5 史 料 その二	d 遺物（陶磁器，武器，武具，焼米，飯椀，古銭，すずり，茶臼，木製品他）	f 集落との関係
	e その他	
6 歴 史 的 状 況	a 交通路（陸路，水路，のろし道，軍事道路，その他）	g 関連する城館
	b 商業関係（市場，市神，その他）	
	c 手工業関係（飯椀，網治，紺屋，番匠く大工）その他）	h 古戦場（首塚，五輪塔など）
	d 農業関係（湧水，用水，その他）	
	e 宗教，信仰関係（社寺，墳墓く五輪塔），板碑，埋蔵遺構，経塚，その他）	

鹿児島県教育委員会

7 考 察 歴 史	a	1 築城者 2 築城時期 3 存続期間（築城から廃城まで） 4 主要居城者（城主の変遷） 5 築城から廃城まで城館に加えられた変化（拡張部分他） 6 主な事件	b	性 恒久的城館，臨時城砦 格 密接な関連をもつ城館（) 機 軍事的にみて 能 日常的領主支配の視点からみて (配 入 自 由 欄)
	報告者氏名		調査年月日	

鹿児島県教育委員会

8 補 遺	
-------------	--

鹿児島県教育委員会

第3節 調査の組織

調査主体者	鹿児島県教育委員会	教 育 長	井ノ口恒雄（昭和57・58年度）
		”	山田 克穂（昭和59～61年度）
調査責任者	鹿児島県教育庁文化課	課 長	猿渡 侯昭（昭和57・58年度）
		”	桑原 一廣（昭和59～61年度）
		課長補佐	本田 武郎（昭和57・58年度）
		”	坂口 肇（昭和59・60年度）
		”	川畑 栄造（昭和61年度）
		主 幹	吉井 浩一（昭和57年度）
		”	中村 文夫（昭和58～61年度）
調査企画		主任文化財研究員	諏訪昭千代（昭和57～59・9）
		”	向山 勝貞（昭和59・9～60年度）
		主任文化財研究員兼埋蔵文化財係長	
			立園多賀生（昭和61年度）
		文化財研究員	吉永 正史（昭和58～61年度）
		”	繁昌 正幸（昭和57年度）
事務担当		主幹兼管理係長	川畑 栄造（昭和57年度）
		管理係長	寺園 晃（昭和58～60年度）
		企画助成係長	浜松 巖（昭和61年度）
		主 査	安藤 幸二（昭和57・58年度）
		”	浜松 巖（昭和59・60年度）
		主 事	畑 征治（昭和59.4～59.8.13）
		”	山下 玲子（昭和57・58年度）
		”	田中 孝子（昭和59～60.8）
		”	川畑由紀子（昭和60.8～61年度）

調査は各年度毎、各市町村毎に調査員を委嘱して実施した。調査に際しては調査員の下に調査補助員や調査員助手をおいて協力を得た。調査指導委員、調査員等の氏名は次の通りである。

1 調査指導委員

五味 克夫	鹿児島大学法文学部教授
三木 靖	鹿児島短期大学学長
村野 守次	前鹿児島女子短期大学教授
河野 貞徳	鹿児島県考古学会長

2 調査員及び調査補助員

調査員は、昭和57年度は1～3市町村の地区ごとに委嘱し、その下に調査補助員をおいた。昭和58年度からは各市町村毎に調査員を委嘱し、調査員の下には調査員助手をおいて協力を得た。離島での調査では文化課職員が調査を実施する際に調査補助員を委嘱した。

○調 査 員

市町村名	調査員 氏名	備 考	市町村名	調査員 氏名	備 考
鹿児島市北	西 元 肇	清水中学校教諭	高尾野町	山 下 常 三	町文化財保護審議会委員
〃 南	江 平 望	市文化財保護審議会委員	野 田 町	提 成 孝	町文化財保護審議会委員
桜 島 町	清 瀬 国 紀	町公民館長	東 町町	原 口 重 吉	町文化財保護審議会会長
吉 田 町	大 井 節	町文化財保護審議会委員	長 島 町	山 崎 友 喜	町社会教育課主事
三 島 村	吉永正史・立神次郎	文化課職員	大 口 市	宮 原 景 彦	市文化財保護審議会委員
指 宿 市	西 山 喜 藏	市文化財保護審議会委員	菱 刈 町	泉 生	町文化財保護審議会委員
喜 入 町	田 中 豊 志	社会教育指導員	国 分 市	本 田 潔	市文化財保護審議会委員
山 川 町	松 下 尚 明	社会教育課文化係長	加 治 木 町	瀬 川 新 義	町文化財保護審議会委員
開 聞 町	永 吉 一 盛	町文化財保護審議会委員	始 良 町	谷 口 純 男	町文化財保護審議会委員長
穎 娃 町	西 敏 夫	社会教育指導員	蒲 生 町	松 永 守 道	町文化財保護審議会委員
枕 崎 市	宗 前 鉄 夫	市文化財保護審議会委員	溝 辺 町	西 野 隆 志	社会教育指導委員
加世田市	松山 賢太郎	市文化財保護審議会委員長	横 川 町	首 藤 始	横川町史談会員
坊 津 町	鹿 島 文 夫	町文化財保護審議会委員長	栗 野 町	大 野 益 夫	町文化財保護審議会委員
知 覧 町	園 田 覚	前町歴史館長	吉 松 町	野 中 良 則	町教育委員
川 辺 町	樺 山 寛	町文化財保護審議会委員長	牧 園 町	今別府 元	町文化財保護審議会委員
串木野市	富 宿 三 善	町文化財保護審議会会長	霧 島 町	宮 田 安 彦	町文化財保護審議会委員
市 来 町	久 保 幸 博	町教育委員会社会教育課長	隼 人 町	三ツ石 友三郎	鹿児島工業高校教諭(当時)
東市来町	谷 山 秀 雄	町文化財保護審議会委員長	福 山 町	松 下 栄 盛	町文化財保護審議会委員
伊集院町	有 馬 俊 郎	町教育委員長	大 隅 町	税 所 薰	宮崎種畜牧場鹿児島支場
松 元 町	岩 城 久 賢	町教育委員	輝 北 町	有 田 均	町文化財保護審議会委員
郡 上 町	郡 山 政 雄	町文化財保護審議会委員	財 部 町	堀之内 胤	社会教育指導委員
日 吉 町	瀬 野 富 吉		末 吉 町	鳴 海 勇 雄	町文化財保護審議会委員
吹 上 町	辻 正 徳	県文化財保護指導委員	松 山 町	福 重 清 七	町文化財保護審議会委員長
金 峰 町	山 下 貞 雄	町文化財保護審議会委員	志 布 志 町	那珂野 久廣	町社会教育課長補佐
川 内 市	山 田 慶 晴	市文化財保護審議会会長	有 明 町	福 田 南 兵 衛	町文化財保護審議会委員長
樋 脇 町	東 野 清 孝	町文化財保護審議会委員	大 崎 町	鎌 田 政 秋	町文化財保護審議会委員
入 来 町	本 田 親 虎	町文化財保護審議会委員	垂 水 市	町 田 満 男	市文化財保護審議会委員
東 郷 町	山 口 忠 正	町文化財保護審議会会長	鹿 屋 市	小 幡 晋	市文化財保護審議会委員
宮之城町	鮫島 富士男	県文化財保護指導委員	串 良 町	宮 地 俊 貴	神官
鶴 田 町	室 屋 光 義	町文化財保護審議会会長	東 串 良 町	下伊倉 肇	町教育委員会管理課長
薩 摩 町	保 田 修 二	町文化財保護審議会委員	内 之 浦 町	永 井 衛	町文化財保護審議会委員
祁 答 院 町	緒 方 公 正	町文化財保護審議会委員	高 山 町	北 園 博	町文化財保護審議会委員長
里 村	塩 田 甚 志	町文化財保護審議会委員長	吾 平 町	松 山 三 郎	町文化財保護審議会委員
下 甌 村	松 田 純 治	手打麓公民館長	大 根 占 町	半 下 石 鶴 則	町文化財保護審議会委員
阿久根市	草 原 新	社会教育指導員	根 占 町	神 田 三 男	町文化財保護審議会委員
出 水 市	北御門 純夫	市文化財保護審議会委員	田 代 町	〃	〃

市町村名	調査員 氏名	備 考	市町村名	調査員 氏名	備 考
佐多町	植木嘉章	町文化財保護審議会委員	竜郷町	岡山隆二	町文化財保護審議会委員
西之表市	山崎勇三	郷土史家	笠利町	"	"
中種子町	岩坪博秀	町教育委員会文化係長	喜界町	英友一郎	町文化財保護審議会委員
南種子町	弥栄久志	文化課職員	徳之島町	義憲和	町文化財保護審議会委員
上屋久町	戸崎勝洋・吉永正史・宮田栄二(文化課職員)		天城町	"	"
屋久町	繁昌正幸(文化課職員)		伊仙町	"	"
名瀬市	上野史	大島高校教諭	和泊町	伊集院健了	町文化財保護審議会委員
大和村	登山修	金久中学校教諭	知名町	"	"
住用村	"	"	与論町	"	"
瀬戸内町	"	"			

○調査補助員

市町村名	氏 名	備 考	市町村名	氏 名	備 考
名瀬市	恵原義盛	市文化財保護審議委員	和泊町	中田実	町文化財保護審議委員
笠利町	富田克彦		知名町	高野東風盛	町文化財保護審議委員
竜郷町	武義辰	町文化財保護審議会委員	与論町	阿野三雄	町社会教育指導員
瀬戸内町	浅野浩史	町文化行政担当係長	西之表市	樋口兼一	
住用村	福島義光	村文化財保護審議委員	中種子町	園中秋雄	町文化財保護審議委員
大和村	境頼雄	村文化財保護審議委員	南種子町	河東不凡	
喜界町	田ノ上紀男	町文化財保護審議委員	上屋久町	永里岡	町文化財保護審議委員
徳之島町	町田進	町文化財保護審議委員	屋久町	田淵川幸雄	町文化財保護審議委員
天城町	建林正秀	町文化財保護審議委員	三島村	日高政行	村議会議員
伊仙町	四本延宏	歴史民俗資料館員	"	岩切浅芳	村議会議員

第4節 調査結果について

市町村名	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	合 計	市町村名	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	合 計
鹿児島市				42		42	始良町		25			17	42
桜島町				2		2	蒲生町		21	4			25
吉田町				4		4	溝辺町		8			1	9
三島村				5		5	横川町		9				9
十島村				0		0	栗野町		4				4
指宿市				6		6	吉松町		4				4
喜入町				9		9	牧園町		12			1	13
山川町				5		5	霧島町		2			2	4
開聞町				3		3	隼人町		13			10	23
額娃町				9		9	福山町		6			2	8
枕崎市				6		6	大隅町		7	5		9	21
加世田市				9	5	14	輝北町		8			2	10
大浦町				0		0	財部町		6				6
笠沙町				0		0	末吉町		4			4	8
坊津町				5		5	松山町		3				3
知覧町				17		17	志布志町		7			1	8
川辺町				25		25	有明町		6				6
串木野市				10		10	大崎町		8			4	12
市来町				6		6	垂水市		18	6		1	25
東市来町				11		11	鹿屋市		30	8		1	39
伊集院町				8		8	串良町		10	6			16
松元町				3		3	東串良町		2	5			7
郡山町				14		14	内之浦町		6				6
日吉町				15		15	高山町		18			3	21
吹上町				19		19	吾平町		6				6
金峰町				13		13	大根占町		2			3	5
川内市			58			58	根占町		7				7
樋脇町			10			10	田代町		4			1	5
入来町			8			8	佐多町		4			3	7
東郷町			10			10	西之表市	8		4			12
宮之城町			34			34	中種子町	1					1
鶴田町			16			16	南種子町	1	1				2
薩摩町			5			5	上屋久町	6	4				10
祁答院町			14			14	屋久町	5	2				5
里 村			2			2	名瀬市	8					10
上甌村			0			0	大和村	1					1
下甌村			2			2	宇檢村	0					0
鹿島村			0			0	住用村	1					1
阿久根市			15			15	瀬戸内町	2					2
出水市			12			12	竜郷町	1		3			4
高尾野町			6			6	笠利町	2		5			7
野田町			4	1		5	喜界町	2	1				2
東 町			2			2	徳之島町	3	1				4
長島町			1	1		2	天城町	2	2				3
大口市		15				15	伊仙町	1	2	3			6
菱刈町		8	2			10	和泊町	2					2
国分市		14			6	20	知名町	1					1
加治木町		13				13	与論町	2					2
合 計	0	50	201	248	11	510	合 計	49	271	49	0	65	434
												調 査 城 館 跡 数 合 計	944

	市町村名		調査城館数	フモト再	同一再	不明再	消滅再	提供資料等	掲載城館数		市町村名		調査城館数	フモト再	同一再	不明再	消滅再	提供資料等	掲載城館数
	1	鹿児島									42	6							
鹿児島地区	計		42		6		10		36	始良地区	48	加治木町	13	2	1	1	3	3	12
	2	桜島町	2	1					1		49	始良町	42	2	5		2		35
	3	吉田町	4	1				1	4		50	蒲生町	25	1	2		3		22
	4	三島村	6					1	7		51	浦辺町	9	1		3			5
	5	十島村	0						0		52	横川町	9	1		2	1	1	7
計		12	2				2	12	53		栗野町	4	1					5	7
指宿地区	6	指宿市	6	2		1			3		54	吉松町	4	1		2	1	3	4
	7	喜入町	9	2			3		7		55	牧園町	13	1	1	7			4
	8	山川町	5	1			2		4		56	霧島町	4						4
	9	開聞町	3						3		57	隼人町	23	1	2		1	1	21
	10	穎娃町	9	1	2				6	58	福山町	8	1		1		4	10	
計		32	6	2	1	5		23	計		174	13	11	16	11	23	157		
川辺地区	11	枕崎市	6	1			2		5	曾於地区	59	大隅町	21		1		1		20
	12	加世田市	14	1			1		13		60	輝北町	10	2					8
	13	大浦町	0						0		61	財部町	6	1					5
	14	笠沙町	0						0		62	末吉町	8	1	1			3	9
	15	坊津町	5	3			1		2		63	松山町	3	1			1	1	3
	16	知覧町	17	1					16		64	志布志町	8	1					7
	17	川辺町	25	2	1		2		22		65	有明町	6		2				4
計		67	8	1		6		58	66		大崎町	12						2	14
日置地区	18	串木野市	10	1			1		9		計		74	6	4		2	6	70
	19	市来町	6	1	1				4		肝属地区	67	垂水市	25	2	1		3	
	20	東市来町	11		1		5		10	68		鹿屋市	89	4			4		35
	21	伊集院町	8	1			1		7	69		串良町	16	1	1		1		14
	22	松元町	3						3	70		東串良町	7		1		4		6
	23	郡山町	14	1	3				10	71		内之浦町	6			1			5
	24	日吉町	15	2			6		13	72		高山町	21	1	2				18
	25	吹上町	19	2			1		17	73		吾平町	6	1					5
26	金峰町	13	3			2		10	74	大根占町		5				1		5	
計		99	11	5		16		83	75	根占町		7						7	
北薩地区	27	川内市	58	7			9		51	熊毛地区		76	田代町	5	1				
	28	樋脇町	10						10		77	佐多町	7	1			1		6
	29	入来町	8	1					7		計		144	11	5	1	14		127
	30	東郷町	10		2				8		78	西之表市	12		3		2		9
	31	宮之城町	34	3	3				28		79	中種子町	1						1
	32	鶴田町	16	1					15		80	南種子町	2						2
	33	薩摩町	5			1			4		81	上屋久町	10			2	1		8
	34	祁答院町	14	3			1		11		82	屋久町	5			1			4
	35	里村	2	1				1	2		計		30		3	3		3	24
	36	上甌村	0						0		83	名瀬市	10				1		10
37	下甌村	2	1					1	84	大和村	1				1		1		
38	鹿島村	0						0	85	宇検村	0						0		
計		159	17	5	1	9	1	137	奄美地区	86	住用村	1				1		1	
39	阿久根市	15	1		1	2	1	14		87	瀬戸内町	2				2		2	
40	出水市	12	1	1		5		10		88	竜郷町	4				3		4	
41	高尾野町	6	1					5		89	笠利町	7				2		7	
42	野田町	5						5		90	喜界町	2						2	
43	東町	2						2		91	徳之島町	4						4	
44	長島町	2						2		92	天城町	3						3	
計		42	3	1	1	7	1	38		93	伊仙町	6						6	
伊佐地区	45	大口市	15	3			2	9		21	94	和泊町	2						2
	46	菱刈町	10	2			2	2		10	95	知名町	1						1
	計		25	5			2	11	31	96	与論町	2						2	
小計		478	52	20	3	55	15	418	計		45				10			45	
小計											467	30	23	18	40	29	423		
合計											944	82	43	21	95	44	841		

第2章 概 説

歴史史料よりみた本県の中世城館跡

五味 克 夫

鹿児島県史料『旧記雑録』は昭和45年より毎年1冊宛発行され、これまでに追録8巻、前編2巻、後編5巻、附録2巻の解説公刊を終っている。同書は幕末、明治初年の薩藩の碩学伊地知季安・季通父子の長年にわたる藩内史料収集、編纂の成果で藩記録所収蔵の記録文書を基本に島津家史料の集成を企図したものであった。『記録雑録』には中世文書に限っていえば、県内関係全文書のうち約4分の3が収録されているとみられ、今後補遺編として刊行予定の二階堂文書、祢寝文書等未採録文書の公刊によって中世の鹿児島県を知る史料はほぼ網羅されるとしてよいであろう。このように鹿児島県の全中世史料が活字化され広く紹介されることは中世城館の調査研究にとってもきわめて意義あることといえよう。すなわち中世城館の出現、所在分布、その活用状況、歴史の変遷等を文献面から総合的に考察することが出来、今後遂次進められるであろう考古学的調査と相まって具体的にその実態にせまり得られると思われるからである。現時点ではさし当って刊行済の『旧記雑録』前・後編によって本県の中世城館跡について史料面から些少の考察を加えてみることにしよう。

さて『旧記雑録』は文書の他、記録や編著も混在しているから史料的价值は一律ではない。たとえば『島津国史』や『西藩野史』や『譜』の地の文等は文書や記録等を基に、山本正誼や得能通昭等個人の手で、或は記録奉行以下記録所、職員らの手によって編年的に文章化されたものであって、いかに文章的にすぐれていてもそれを以て直ちに事実を示しているものとして解してはならない。ここでは城館のことを問題にしているのであるから、これについていえば、編著の城館の記事をもって直ちに城館の歴史的事実を示しているとしてうけとってはならぬということである。さらに具体的にいえば、城の開創をそれぞれの地方の豪族がその在地の領主として支配をはじめた時点に置くことが通常行われているが、これは疑わしいということである。たとえば肝付城の開創を伴氏が肝付郡弁済使となって入部した時点に求めること。これは系譜や伝記の記述で、もししかりとすれば平安時代にまで遡ろうか。肝付城＝高山城は南北朝期以降文書に現れ、城郭として用いられたのもその頃からとみられる。居館と居城の位置については厳密に区別して考える必要があるだろう。

さて『旧記雑録』の中で文書や記録(日記・覚書)等直接史料を中心に通覧すると当然のことながら建武以降の南北朝期に城郭に関する史料は数多く登場してくる。戦闘行為が日常化していなかった鎌倉期に領主は何も山城を居所とする必要はなかったし、また山城を常備する必要もなかったであろう。ただ地勢上山麓に居館を設ける例は多かったようで、南北朝の争乱期に入り、戦闘が日常化してくると、そこに城を拵え、乱杭、逆茂木等の防禦施設をおいて非常に備え、戦闘の際はそこに籠ったのであろう。はじめは恒久的なものではなく応急的なものであったが争乱の長期化に伴い、次第に山城として整えられ、何々城とよばれるようになったのであろう。今『旧記雑録』によって史料(文書・記録・編著)に見える頻度数の多い代表的な城郭名を順に列挙してみよう。もちろん概略の数で厳密なものではないが大体の傾向はうかがえよう。そしてこれらによってそれぞれの城郭が各時代に果たした役割の多少をある程度推測することができよう。便宜上次の5期に区分してみる。(1)は南北朝期(前編巻1～30、～応永1)、(2)は室町期(前編巻31～44、応永2～天文4)、(3)は戦国期前半(前編巻45～48、天文5～天文23)、(4)は戦国期後半(後編巻1～15、天文24～天正12)、(5)は桃山・江戸初期(後編巻16～102、天正15～寛永15)

である。そして(1)では加瀬田城・東福寺城・碓山城・大始良城・市来城・木牟礼城・催馬楽城・志布志城・谷山城・知色城・橘木城・(高江)峯城・(鹿児島)清水城等、(2)では帖佐城・隈之城・碓山城・伊作城・曾於郡(橘木)城・平佐城・(鹿児島)清水城・指宿城・谷山城・東福寺城・(川辺)松尾城・大口城・加治木城・清色城等。(3)では(大隅)清水城・加治木城・岩劔城・小浜城・市来城・(薩摩)加世田城・谷山城・苦辛城・神前城・伊集院城・百次城、(4)では大口城・馬越城・横川城・牛根城・蒲生城・平良城・市来城・廻城・曾木城・羽月城・平泉城・湯之尾城・山野城等があり、(5)では平佐城・隈城・宮之城・大口城・蒲生城等が多くあらわれる。

文書の上で城名やその内容についてふれているのは合戦の際の軍忠状や着到状・軍勢催促状、感状等であろう。加瀬田城(大隅)は建武3年(延元2、1336)、南朝方の肝付氏の拠城となった関係でその種の史料がまとまっており、大手木戸口、水手、野頸、搦手などの名称がみえ、乱杭、逆茂木などの施設の存在、攻圍、攻防戦の状況がうかがえる。市来城(薩摩)の建武4年の合戦では野頸、水手、大手城戸の存在が知られるし、碓山城(薩摩)の暦応2年(延元4、1339)の合戦では水手、矢倉、大手、小城戸の存在が知られる。同城は守護方の本城として守備を堅め、南朝方の数次に及ぶ攻撃を退けた。史料に「城壁垣立を取破る」等の表現等もみられる。東福寺(薩摩)の暦応4年・康永2年(興国2、4、1341、43)の合戦では大手城戸口大手大将等の名称がみられる。同軍には関連して催馬楽(矢上)城、谷山城(薩摩)をめぐる南朝方(肝付氏、矢上氏、谷山氏ら)と北朝方(島津氏ら)との間で激戦があり、その関係文書が多い。浜崎城は東福寺城の一部で現在の多賀山に当たるかと推測され、貞和3年(正平2、1347)一時南朝方に奪取られ乍ら堀をへだてた東福寺城は落城しなかったと考えられる。この他知色城(薩摩)も文和3・4年(正平9・10、1354・55)南朝方・北朝方両軍の争奪戦のあったところであり、大始良城(大隅)は観応2年(正平6、1351)に、志布志城(日向救二院)は貞和4年(正平3、1348)に南朝方の武将楡井頼仲らの拠城としてそれぞれ激戦があり、その関係文書が少なくない。島津氏6代氏久は大隅半島経略のため、父の拠城であった鹿児島東福寺城を離れ、まず大始良城に居を定め、ついで志布志城に移っている。そしてその子7代元久が南北朝末期、そこから鹿児島清水城に移り、同城を本城と定めたわけで、その居城移動の経緯については後年の「山田聖栄自記」(文明年間写)に詳しい。

橘木(曾於郡)城(大隅)は姫木城に接し、共に要害の山城として建武5年、南朝方北朝方両軍の激闘があった。峯城は川内川沿いの高江にあり、応安5年(文中元、1372)の合戦で寄手の将渋谷(入来院)重門が戦死している。木牟礼城(薩摩)は島津氏の下向後、最初に拠った城との伝承をもち、事実文和4年(正平10、1354)には5代貞久が居住しており、その後も島津総領家の総州家の居城として7代島津伊久の子守久が応永末年、奥州家島津氏の攻撃によって国外に落去するに至る最終段階まで保持していた由緒ある城郭であった。しかし、周辺部の農地開発によって崩され、現在は記念碑を残すだけになってしまっている。

川内の碓山城は前述の如く南北朝期守護島津氏の居城として、室町期には総州島津家の拠城として重要な意味をもった城跡であるが、全山碓山石とよぶ良質の石材からなっているため採掘が進められ、度々その重要性は指摘されながらいかんともしがたく、既に山全体の過半を削りとられてしまっている。県内の中世城館として本来保存さるべき城跡の1、2にあげられるものが実用性の高い私有地にあっては何の保存策もたてられない。これが文化財保存の実態なのである。せめて残存部分だけでも調査ができないものであろうか。痛惜にたえない。

清水城(薩摩)は近世の絵図に鹿児島本城と記されているように7代元久から14代勝久に至る南北朝末

期から戦国期にかけての約150年間島津氏歴代の居所があった城跡でその築城の経緯については「山田聖栄自記」にそれまでの東福寺城（奥州家島津氏の本城に当る）の狭少さをさけて広い場所を選んだとあり、稲荷川（精木川）が東南をめぐり北西を急崖でできた広い台地に設定されている。北半の葛山が橋の口城で搦手の城に当たり、南半の大興寺岡が清水城でその麓に居館が設けられていたらしい。同城については「聖栄自記」の他「応永記」（往言集）に応永20年（1413）、伊集院頼久が9代久豊の留守をうかがって蜂起、清水城を奪い、急ぎ吉田から引き返してきた久豊が再び取り戻す状況が記されており、城の位置、模様が推測できる。清水城の居館は現在の清水中学校、もと大乘院の敷地内にあったかと思われるが、近年山上でも遺跡（建物）、遺物（青白磁等）が発見された。14代勝久時代の居館での生活の様子は「空山日記」の享禄2年（1529）6月11日より7月晦日迄の記事によってほぼ承知し得る。清水城の対岸の高地は尾頭小城、諏訪神社とつながり、さらに東方は東福寺城に接している。ここらは南北朝期一室町・戦国期一近世へと三州の覇者のまず制圧すべき要地としてその居城が設けられたり、それをめぐる攻防戦が展開されたりしたところであり、同一の城で『旧記雑録』に記載される回数も目立って多い。

室町期の城郭関係史料は南北朝期に比して少ないが、応永年間、本宗島津家が二統に分裂して大隅守護職をもつ奥州家と薩摩守護職をもつ総州家が争うようになり、南薩に勢力を持つ伊集院氏（頼久）が後者と結び戦火を交えることになる。はじめは協力して北薩の渋谷氏を討つなどしていたが（入来清色城を攻圍、占領）、次第に不和となり、応永14年（1409）総州家の伊久が平佐城（薩摩）に没するや、奥州家の元久は軍を動かし同城にあった二子忠朝らを追って占領、忠朝は近傍の隈之城、永利城、碓山城に拠って抵抗をつづけた。長子守久の子久世は川辺平山城に拠り、応永23年（1416）久豊のために鹿児島で誘殺されるが、その子久林は伊集院頼久と連合して応永24年（1417）、久豊の軍を川辺平山城・松尾城周辺で撃破している。しかし、鹿児島に進攻した伊集院氏は逆に谷山城に包圍され、久豊に屈服、尔来孤立した総州家は本拠の中薩の諸城を次々に陥され、応永28年（1421）、最後に隈之城に移った忠朝も開城、総州家の抵抗もここにほとんど終熄するに至った。以上の経過は「応永記」に詳細である。また前記の「聖栄自記」は山田忠尚（聖栄）が後年この忠朝（道聖）から聞いたことをもとに島津家の歴史をまとめたものである。

かくして奥州島津家は薩摩、大隅、日向三国の守護職を兼帯、三州の太守と称したが、9代忠国以降、国内の有力一族、諸豪族の統制に苦しみ、国一揆の猖獗にも悩まされていた。10代立久の市来城攻め、11代忠昌の肝付城攻め、12代忠治・13代忠隆の吉田城攻め等の関係記事も『旧記雑録』に収録されている。

大隅の清水城ははじめ豪族税所氏の、ついで島津氏の守護代本田氏の拠城であった。本田氏は次第に勢力を強め、天文年間、15代貴久の追討をうけるまでに至った。島津家の一族でその有力家臣となった樺山氏もこの地方に勢力を扶植、長浜（生別府）城はその居城となっていた。

建昌城は享禄3年（1530）豊州家島津季久が平山氏を討って帖佐を領するや、二子の忠康を帖佐本城＝平山城＝平安城におき、長子の忠廉を新たに南北朝期の萩峯城の南につづく瓜生野の山城においたことにはじまる。文明18年（1486）同氏が日向鉄肥に移って一時名は消えるが、その地理上の利点から慶長5年（1600）再び登場する。すなわち島津家18代家久は西から北東に吉田、蒲生、山田、平山の要害城を配する中心の城として瓜生野城に注目、中国建昌の地名をとって建昌城と名づけ領国の居城にしようとした。これを聞いた在京中の義弘は家久に書状を送り、同城が北に流水があり、且つ築城に多大の人数、日数を要し、居城とするに適しくない。むしろ現在の内城に手を入れるなり、東福寺城・清水城を活用するなりした方がよいと述べている。この後関ヶ原の戦いがあり、義弘は西軍に属したため、東軍方の肥後加藤氏

らの侵攻にそなえ、川内の平佐城（同城は天正15年の豊臣秀吉の島津攻めの際豊臣軍の攻圍に桂忠昉らが守って屈しなかった。）や蒲生城等の要害城を修補している。結局翌6年（1601）家久は南北朝期の鹿児島山城、上山城を本城に定め、その麓に居館を、周辺に将士を居住させる鹿児島城及び城下町の築造に着手するのであるが、その完成に至る長期間に、建昌城への執着も捨てきれず、元和元年（1615）には内内に幕府への打診を行っており、義弘はまた新鹿児島城が海浜から近く防御に難点ありとし、熱心に東福寺、清水城等古城の利用の再検討をすすめたりしている。後に鶴丸城の美稱で呼ばれる鹿児島城は山麓の居館と山上の上山城がセットになっており、上山城には慶長18年（1613）同族日置家の島津常久が居住したが、その病死と元和元年の一国一城令によって山上の施設はほとんど取り壊されるに至った。寛永10年（1633）幕府巡検使は建昌城、国分新城を検分しているがその見解として前者は水利に難点があり、且つ急崖で石垣を築くのに年月を要するであろうと批判、後者については屈指の名城といえるとした。国分新城は中世の山城隼人城で山麓に居館（舞鶴城）を設け、島津義久は富隈城から同所に移り、晩年をそこで過ごしたのである。国分の城は、鹿児島城の控えの城として幕府も容認し、幕末の薩英戦争の際には同城への移転も話題に上がったっている。

さて14代勝久は国内の一族や諸豪族の統御にいよいよ苦しみ、川上氏の川上城（薩摩）を攻めて抜けず、天文4年（1535）逆に鹿児島本城たる清水城を追われて大隅、日向へ出奔、実力者薩州家の島津実久と伊作（相州）家の島津忠良・貴久との争覇戦が展開される。その際の両軍の拠城が鹿児島周辺、薩摩半島部に多い。また関係資料も少なくない。谷山城・神前城・苦辛城等々。谷山城は南北朝期、懐良親王を奉ずる南朝方の谷山隆信の居城で、東福寺城による北朝方の島津貞久らの軍と対峙、そこを拠点に出撃、紫原下の牛懸等で激戦が展開され、応永20年代には島津久豊と伊集院頼久らの間で争奪戦が、天文8年（1539）には島津忠良・貴久らと島津実久らの軍との間で攻防戦が展開され、その度毎に城の規模は拡大され、堀土塁等施設が益々整備されていった。苦辛城は谷山城の支城として大永7年（1527）築城され、実久の家臣平田宗秀がよった城であるが、短期間に複雑な防禦施設をつくりあげていたことが発掘調査で判明し、文献の記述を見事に裏付けた。しかし調査終了後、皇徳寺団地造成により消滅した。

薩州家島津氏を服属させ、薩摩一国をほぼ平定した伊作島津氏は、進んで大隅で蒲生・菱刈・祁答院氏らの連合軍と戦った。その際岩劔城・蒲生城及びその属城松坂城・北村城における元文23年（1554）より弘治3年（1557）にかけての詳細な合戦記録として「蒲生山本氏日記」があり、新椀・垂城戸などの用語もみえ城郭史料として興味深い。また永禄4年（1561）の大隅廻城の戦の関係資料も多い。同城はまず肝付氏が奇襲によって奪取し、守将をおいていたのを島津貴久らの軍が攻めて陥れたのである。このような当時の城をめぐる合戦についての史料としては主なものに「長谷場越前自記」、「箕輪伊賀自記」、「樺山昭剣自記」、「上井覚兼日記」などの記録類がある。そして『旧記雑録』はこれらをほとんど採録していて調査研究に至便である。

永禄5年（1562）島津氏は日向の伊東氏と気脈を通じた北原（伊勢介）氏を横川城（最近の調査の結果、広域にまたがる城郭と判明した）に攻めて陥れ、進んで菱刈氏とそれを支援する相良氏の軍を永禄12年（1569）伊佐地方で戦い制圧した。菱刈氏の城は大口城を中心に、山野・平泉・羽月・曾木城、さらに本拠地の本城・馬越城・市（一）山城・湯之尾城等であったが、最終段階では大口城に拠り、他の城はすべて島津氏が占拠し整備していた。平泉城は近年、全面調査の結果遺構が明らかになったが、その他の諸城も同様にそのころ手が加えられたものと思われる。平泉城については『旧記雑録』にもかなり詳細に記されていて、番衆の交代等当時の状況が調査結果とつき合わせて推測できたが、調査後すべて破壊消失して

しまったのは残念なことであった。

天文4年(1535)勝久が清水城から没落した後、諸將の支持を得て太守となった貴久は天文19年(1550)居城を伊集院一宇治城から鹿児島内城に移した。内城は後に大龍寺が建てられたが、その遺構や史料から推定して山城ではなく、小丘上に設けられた館城であったことがわかる。貴久のあと義久も内城にいたが、同城内の状況は「上井覚兼日記」等の記載によって推察できる。義久は文禄2年(1593)大隅富隈城(これも現状からみて館城と考えられる。)に移り、さらに国分新城(新城は前述の如く現在の城山で隼人城の跡であり、要害城であるが、その居館は山麓にあり、舞鶴城とよばれた。)に移っている。17代義弘は飯野城(日向)から栗野城(大隅)に移り、さらに平松城(岩劔城山麓の館城)、帖佐、加治木の館城に移り住んだ。それらの城館の石積みは野面積も現存し、中世山城から近世館城への石垣の遺構をよく示している。

かくして中世から近世への推移の中で、各所に設定された大小の様々な城郭も逐次捨て去られ、主要城館名と、新たな行政単位としての郷名とが次第に一致し、郷名によって同時に城館名を現すように変わってくる。そしてそれ以外の小城は次第に廃城となり、元和の一国一城令等によって城館の整理はさらに進行し、山城の施設は破壊または放置されて草木に被われ、麓の居館が地頭仮屋または領主館に変わり、郷名と城名とが一体となって外城の名で呼ばれるようになったのである。

以上鹿児島県下所在の『旧記雑録』所載の中世城館のうちからその主要なものについて列挙し、些少の説明を加えてきた。もちろん『旧記雑録』は旧薩藩全領域を対象とした資料を収集採録しているので現在宮崎県に属している諸県郡の史料も多く含まれている。また中世、島津家の勢力範囲に含まれた地域全般に及ぶ史料も掲載されている。すなわち伊東氏と係争のあった日向各地の城郭の史料、肥後・肥前・豊後・豊前・筑後・筑前諸国の城郭名も少なからず掲載されている。そして島津氏が薩摩・大隅から日向へ、三州統一から九州制覇へと領域を拡大していくのに合わせてそれらの記載がふえ、広がっていくのである。それらについては一切とりあげなかったが、その中には城郭史の史料として重視すべきものも少なくない。とくに日向鉄肥城の攻防戦の関係史料、飯野・加久藤・三山(小林)城等島津義弘がそこを居処としていた時代の関連史料、都城及びその周辺の南北朝期の関係史料、及び慶長4年の伊集院忠真反乱事変関係の史料等鹿児島県の中世城館を調査研究する際にも見落としてはならない史料が多いことをも付言しておきたい。

現在に残る中世城館跡の数々は遠く南北朝期のものから室町期、戦国期、そして近世初期のものまで、そしてはじめから終わりまで、幾度も手が加えられながら使用されたもの、廃城となって古城の名で呼ばれていたもの。いったん廃城になりながら再度城郭として復活したものや、或は用いられようとしたもの。等様々でありその一々がそれなりに生きた歴史研究の貴重な素材を提供してくれているのである。

今後は益々考古学的調査と文献史料面からの調査の共同・協力の重要性・緊急性がたかまり、要望されてくるであろう。その点今回の中世城館の悉皆調査、まとめは将来の調査研究の発展にとって大切な基礎作業となったといえよう。

研究資料よりみた本県の中世城館跡

三 木 靖

はじめに

本稿は、本県の中世城館跡についての主な研究資料をとりあげて、その研究の進展をたどり、中世城館がどのように明らかになりつつあるのかを述べていきたい。したがって、量的にも多く、質的にもレベルの高い中世史研究の記述の中で、中世城館に言及したものを省略せざるをえなかった。

1

中世城館は、戦国・織豊時代が終幕を迎えると同時にその機能を自ずと停止し城館跡となった。

とはいえ、いくつかの城館は元の形態を残していた。特に西日本の外様大名の動向を気遣っていた徳川幕府は大坂夏の陣の後の元和元年（1615）閏6月13日諸大名に、「貴殿御分国中居城をハ被₂残置₁、其外之城者悉可_レ有₂破却₁之旨上意ニ候」（『鹿児島県史料 旧記雑録後編4』600頁、巻71・1280）と命じた。その内容は一領主は居城の一城のみを許され、他の城を破壊せよというもので、一般にこの命令は「一国一城令」といわれるようになった。

すでに織田信長・豊臣秀吉は制圧した領国の城館を破壊してきており、その延長上に位置づけられる政策であったが、この場合特に西日本の外様大名領を主としたもので全国に法令として出されたことが注目される。

徳川幕府は、元和元年7月の「武家諸法度」で「諸国居城雖_レ為₂補修₁、必可₂言上₁、況新儀之構營堅令₂停止₁事」と居城以外の築城を禁じ、居城の修築も許可制とし、のち寛永12年（1635）6月21日にはこれを改め、「新儀之城郭構營堅禁止之、居城之隍壘石壁以下敗壞之時者、達₂奉行所₁可_レ受₂其旨₁也、櫓堀門等之分者、如₂先規₁可₂修補₁」（『御当家令條・律令要略（近世法制史料叢書2）』2～3頁）と修復についての制約も厳重にした。

南九州では大正15年（1587）島津氏が秀吉軍に敗れ、中世城館は基本的にはその役割を終えたが、その後も文禄元年（1592）梅北国兼の変、慶長4～5年（1599～1600）庄内合戦、慶長5～7年（1600～1602）関ヶ原合戦における義弘西軍加担に対する徳川幕府による派兵への島津氏方の対策等で中世城館が使用されたが、その後徐々にその使用もなくなっていた。

寛永10年（1633）徳川幕府の上使が島津藩領へ到着した際、島津氏は「帖佐之建昌之城」を案内している。これは、元和元年に島津氏が建昌城を居城にしたいと幕府へ許可を求めた（前引用書、616～617頁、巻71、1319、1320）事に関連があったと考えられ、今回「御住城ニハ可_レ難_レ成」（『鹿児島県史料 旧記雑録後編5』401頁、巻86 676）と居城には適していないと判定された。

これは中世城館の積極使用案が当時まで存在していたことを示してもいるが、それも許可されず、この頃を以て南九州の中世城館が中世城館「跡」となったとみられている。

これら城館跡は、地元では関心を集めており、例えば吉田松尾城跡については、元禄12年（1699）4月25日付で「吉田松尾之城」のタイトルを付けた絵図が作られ、蒲生龍ヶ城跡については、天保5年（1834）3月に写された絵図が残っており、この時よりも以前に絵図が作られていたと考えられる。このような絵図は、現地をかなり正確に調査した結果と思われ、いずれも史料価値は高い。

文政7年（1824）、「薩藩名勝誌」が各郷の年寄衆の報告をもとに完成した。この各郷の名勝誌も残っているが、各地で中世城館跡を「古城」として掲載している。鹿児島県立図書館の18冊では61か城を数え（鹿児島県内では57か城となる）、城名（古戦場等を某陣、その他某壘、某營等を呼称にしているものもある）、曲輪名、形態、大小、比高、配置、地形、現状や沿革、伝承を詳細に記したのもある。この各郷の

報告も何度か作られたので「再撰帳」等といわれているものがある。いずれも、藩政期中世城館跡への関心を反映しており貴重なものである。同じように藩内の中世城館跡について、城名、所在地、一部の来歴を書いた簡単な一覧表相当の「国中古城事」もあった。寛政元年（1789）の幕府上使への「御答書」中のもものでは26か城があげられていた。（『藩法集 8 鹿児島藩上』170～171頁「島津家列朝制度」巻之6 307）

このような一般的な城館跡ではなく、藩主島津氏の歴代当主の居城跡のみを数える場合もあり、「薩隅日御城地」（前引用書170頁、巻之6 306）14か城や、「御元祖以来 御居城之事」（『薩藩政要録 鹿児島県史料集1』46～48頁、二の十）（原名「要用集」文政11年（1828）改編）21か城などがある。

このような藩政期中世城館跡への関心は一般的にいうと、史跡名勝の一つとされていた事とともに、軍事的な価値に留意しておくのが為政者の務めであった事があげられる。さらに島津藩の場合は、各郷の統治責任者は麓に存在しており、この麓は、中世城館の麓すなわち周辺部であった事に起因するものが普通であったため一層関心を惹いたのである。

島津斉興（1789～1859）の時に全60巻が完成した『三国名勝図会』（天保14年（1843）編集、明治38年（1905）刊、昭和41年写真製版3巻本刊）は、これらの事情によって、各郷別に「旧蹟」として中世城館跡を取りあげている。その記述は、(1)文献に見える内容を整理している、(2)地元の伝承に触れている、(3)前記の「名勝誌」等を典拠としているものが多い、(4)異称、曲輪名、土塁、空堀等の遺構や現状に関心を払い、(5)鳥瞰図様の城館跡風景図を掲載しているのがある、(6)古戦場跡や関連史跡を数多く扱っている等の特徴がある。

その中でも、当時すなわち現在から150年程以前の中世城館跡の実状をスケッチした城館跡の風景図は、他に類似のものがなく、城館跡の資料として重要なものである。風景図の中で城館跡を含んでいても、その旨表示のないものを除き、明確に城館名の掲載されているもののみをみても次の14点がある。

城館名	所在地	城館名	所在地	城館名	所在地
1 平城	鹿児島	2 伴氏館	鹿児島	3 平佐城	高江
4 平佐城	高江	5 高江古城	高城	6 木牟礼城	出水
7 大口城	大口	8 山崎古城	山崎	9 伊作城	伊作
10 鶴ヶ城	曾於郡	11 平山城・高屋城	帖佐	12 岩劔城	重富
13 加瀬田城	百引	14 松尾城・内城	志布志		

この中には、その後破壊されてしまったものもあるので、典型的なもの7点を転載しておきたい。

図1 三国名勝図会伴氏館図

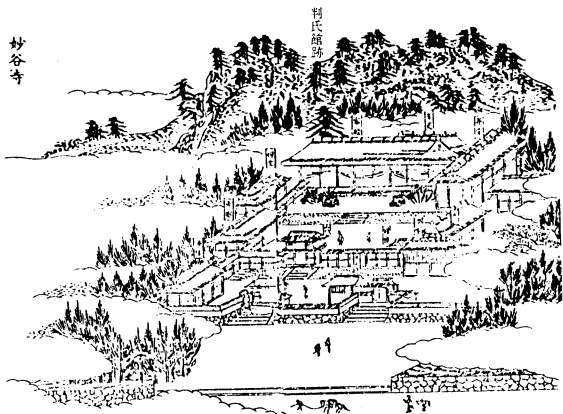


図2 三国名勝図会平佐城図



図3 三国名勝図会平佐城図

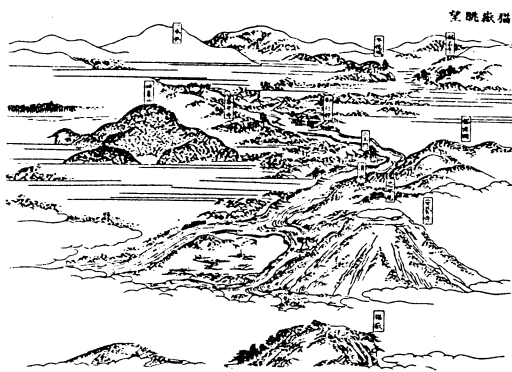


図4 三国名勝図会木牟礼城図

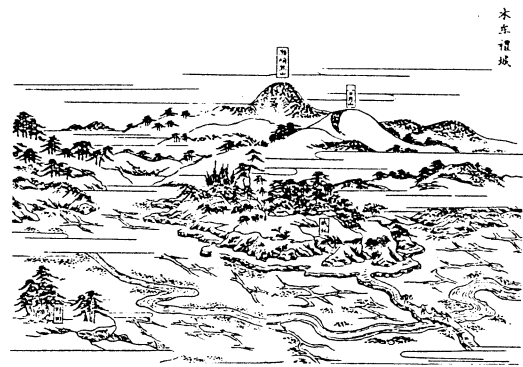


図5 三国名勝図会山崎古城図

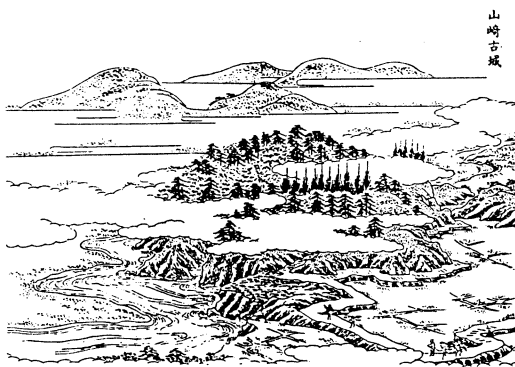


図6 三国名勝図会岩劔城図



この『三国名勝図会』での扱いをみると、「某城」という名称が多いが、それに合わないものでも内容上より城館跡としていいものを含めると、現在の本県内のみで292か城を掲載している。このうち、それぞれの地域の麓の発生源となったものについては詳細な記述がみられる。

図7 三国名勝図会加瀬田城図



それらは、いわば当該地域の中世史の主要な舞台という位置付けをされているし、事実当該地域の根本領主の居城であったものが多い。また関連史料の多い故もあって島津氏関係の城館跡についての記述も詳細である。

地域的な精粗があり、また奄美大島諸島は対象から除かれていたため、本県全域について触れていたとはいえないという制約があるし、記述の95%以上の部分が文献記録に見える内容の整理である等の問題点もある。しかし、「高さ20間程」、「周廻35町許」、「東西は長く、南北は狭し」、「本丸、二の丸等の跡存す」、「丸数大小5つ」、「大手口」、「搦手口」、「小径」、「濠塹2つ」、「塹の跡あり」、「隍存す」(以上「ごうせん」、「せん」、「こお」はいずれも堀のこと。)、 「堀跡3つ」、「堀切の跡存す」等城郭の規模、構成や注目される遺構を調べており、また城名、曲輪等の個有名詞には同書にしか記録のないものがあり、同書は大変貴重なものとなっている。もっとも、城名等には近世的呼称や通常使わない美称や、文字遊び的なもの

のものとはいえず慎重な扱いが必要な部分があることも忘れてはならない。

なお、藩政期が終ってからは中世城館跡への関心は低下しており、明治以降に書かれた『薩隅日地理纂考』（明治4年（1871）の序文がある。）、『鹿児島県地誌』（明治17年（1884）政府へ提出されたものの写し。大隅国を欠いている。）等の地誌類はもちろん、『鹿児島維新前土木史』（昭和9年、鹿児島県刊）も、城館跡についての「城堡台場」という記述はあるが、先行の『三国名勝図会』を超える部分は多くはない。

2

本県の城館跡に関する個別の考察は、明治35年（1902）から翌年にかけて雑誌『歴史地理』誌上にみられるものを以て嚆矢とする。それは、次のものである。

藤田 明氏	「鹿児島城の沿革」	（第4巻第9号）
藤田 明氏	「鹿児島城」	（第5巻第9号）
藤田 明氏	「新納忠元と大口城址」	（第5巻第10号）
藤田 明氏	「清水城址補考」	（第5巻第10号）
川住錫三郎氏	「清水城址補考」	（第5巻第10号）

以上のうち4つは、島津氏の本居城についての関心より、鹿児島の清水城跡を主に文献によって考察したものであり、1つは島津氏の戦国家臣団中最有力者であった新納忠元についての関心より、大口城跡を主に文献によって考察したものであった。

次に個別城館跡を取りあげたのは、「鹿児島県史跡名勝天然記念物調査報告書」にみられるものであった。

昭和元年の第1輯（鹿児島県刊）には、城館跡関連として、次の5つの調査報告が掲載されている。

鶴丸城跡	担当	池田 米男氏	加世田別府城跡	担当	有川群五郎氏
加世田御屋地跡	担当	有川群五郎氏	平佐城跡	担当	伊地知茂七氏
天堂ヶ尾関白陣跡	担当	安田 尚義氏			

このうち、前者を除く4つは中世城館跡とみなせるものであり、主に文献による報告であった。

さらに、昭和3年同じく史蹟の部第2輯（鹿児島県刊）には次の調査報告が掲載されている。

伊作城跡	担当	有川群五郎氏
------	----	--------

これも文献による報告で島津氏にかかわりが深いために取りあげられたのであった。

以上の調査は、大正8年に「史蹟名勝天然記念物保存法」の施行をみたのに対応し指定対象物件を洗い出す作業の一環であり、法律上の保存の対象という視野からの調査の結果報告である事に意義があり、範囲が薩摩国の各地に及んでいるのは新しい到達点というべきであろう。

中世城館跡についての最初の研究は、林吉彦氏の『考古学上より見たる清水城址』（昭和7年9月、鹿児島市長田町・極東孔版社印行。）であった。

同書は、1緒言、2総論、3日本城郭の沿革、4三州城郭の沿革、5清水城跡、6結論、付録という構成で、当時定説とされていた、清水城を大興寺ヶ岡上に想定する説を批判する意図で書かれたものである。その特徴は、文献についての検討とともに、城郭研究の成果によって地形、地勢を観察する方法を採用している事である。大興寺ヶ岡には、「土塁、堀、削平地（郭）、削崖の跡」という物的証拠がない、というのが最大の指摘で、大切な視角である事はいうまでもない。そして、定説が削平地とするのは、「日本全国の山地に見る所の段々畑」に過ぎず、塹壕だとするのは単なる山径と浸蝕による凹道であると強く主張してやまない。前段で中世城郭の築城の原則を説き、せめて三州内の城郭だけでも実地踏査をして欲しい

としている。結論として清水城とは、「稻荷山と清水屋形とを併せ称するもので、狭義にては国主の居館清水屋形のみが清水城である」とし、「清水屋形編成図」（5000分の1）を掲載している。

さらに同書は以上の説明のために、東福寺城跡、高山城跡、志布志松尾城跡、太良城跡、木牟礼城跡、亀ヶ城跡、虎居城跡、一字治城跡、谷山本城跡、御所ヶ原城跡、菊池城跡、碓山城跡等について遺構等に着目しつつ、縄張り（城郭の平面プラン）を論じている。これには、高山城図、太良城図、牛山城図等（いずれも5000分の1）が付いている。図には曲輪、道、堀、堀切、土塁が記されている。このような踏査は中世の薩摩、大隅、日向の3か国をカバーしており、時期的にも初期より後期まで、領主についても島津氏とそれ以外、規模についても大規模からそれ程でないもの、時期についても長期にわたったものとそうでないもの、領主の本居城であったものとそうでないものと多方面を視野に入れて行われていた。

以上の点よりみて、同書は中世城館跡の最初の実地調査の報告であって、本県の中世城館跡についての基礎的な調査報告となっており、研究史上重要な役割を果たした。その成果を示す図のうち代表的なものを2点転載しておきたい。

図8 林吉彦氏 清水屋形図（同氏「考古学上より見たる清水城址」による。）

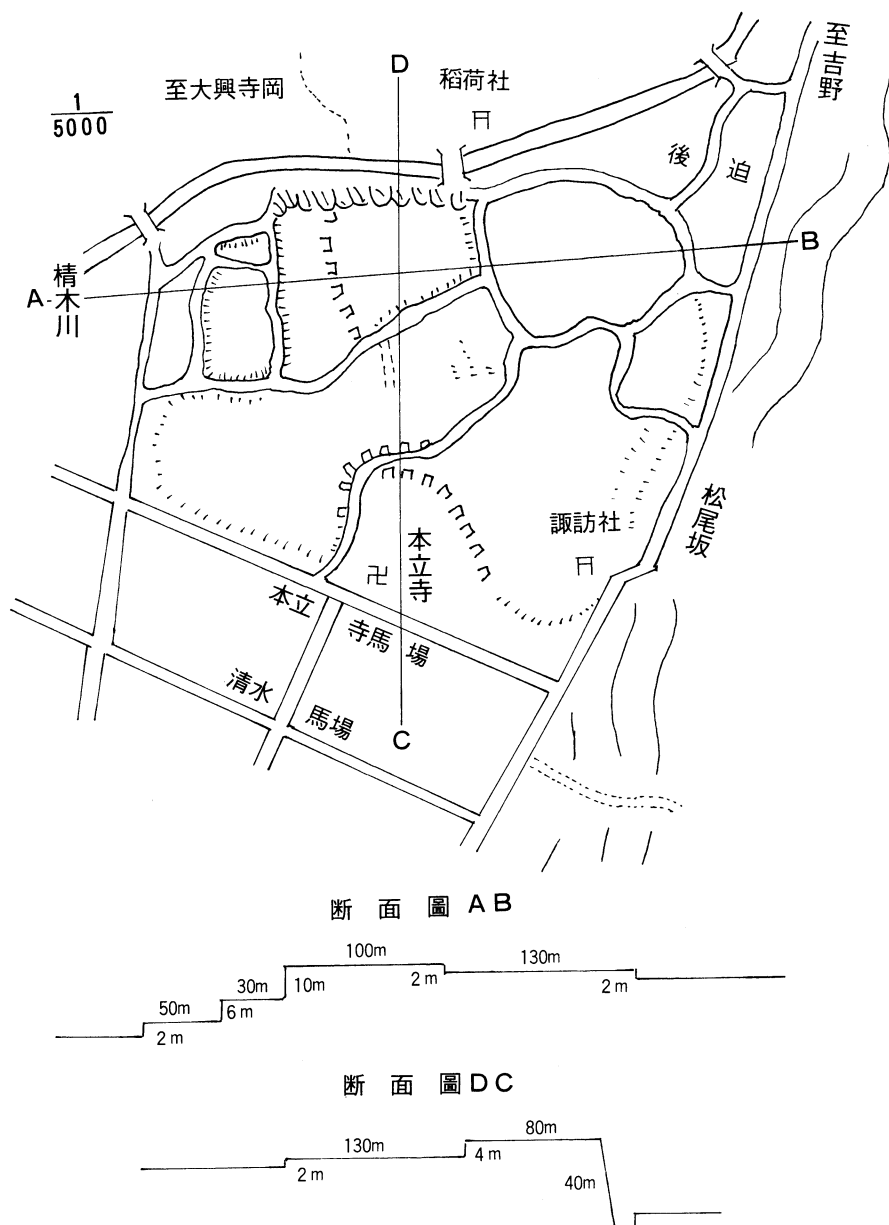
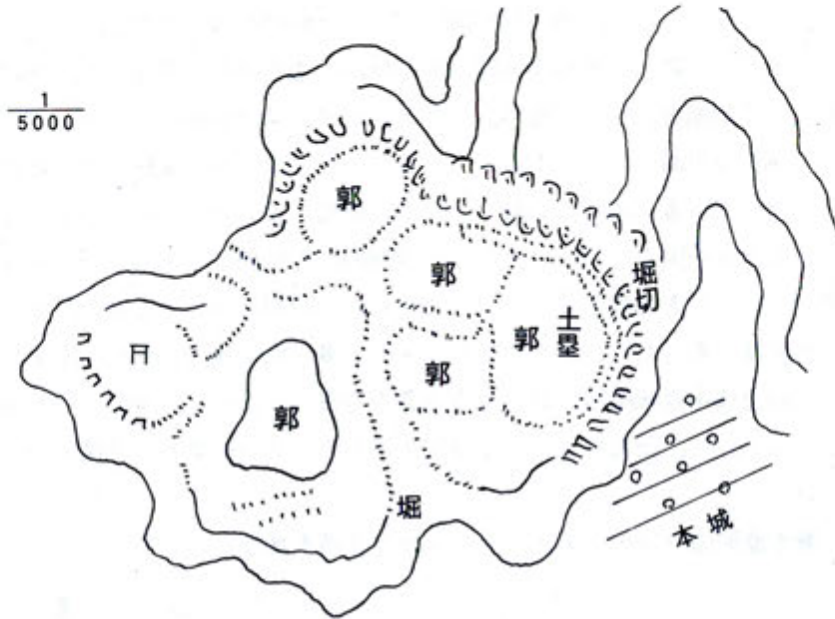


図9 林吉彦氏高山城図（同氏「考古学上より見たる清水城址」による。）



3

中世城館跡を実測する作業は、昭和11年5月から翌年1月にかけて薩摩郡（現在の川内市を含む。）の全城館跡の実地調査をした福田信男氏によって、継承され飛躍的な発展をみた。この調査は歴史地理科で学び、岡山県の永山卯三郎氏の教えを受けた同氏が、昭和9年から鹿児島県立川内高等女学校（現川内高等学校）で教鞭をとることとなり、地元の郷土史の理解のために、古城跡を実地に調査し、位置を確認し、遺跡を確かめ、作図することを目標としたものであった。

実地調査は、城跡が土地台帳字絵図の何字に所在するか、5万分の1地形図のどこに当たるか、人工的な遺構があるか、その現状はどうか、文献や伝承と照応するかについて行い、見取図または実測図を書きし、位置、現状、文献、備考の4項について整理をした。

確認した103か城はもちろん、その他24か城を含めた127か城について2500分の1の実測図を作成した。その原図は昭和20年に空襲のため焼失してしまったが、全城の解説と一部の城郭の5000分の1実測図、鳥瞰図が『薩摩郡に於ける古城址の調査』（昭和12年2月川内高等女学校刊。昭和62年2月川内郷土史研究会がタイプ印刷で復刊。）として刊行されていたため、広く活用されている。

その103か城とは次のものである。備考には『三国名勝図会』に見えるものに(三)を付した。これにより103か城中42か城が、今回初めて記録された事も分かるのである。

城館名	所在地	備考	城館名	所在地	備考
1 久住城	川内	(三)	2 清水城	川内	(三)
3 小鹿倉城	川内	(三)	4 梶山城	川内	
5 雲之上城	川内	(三)	6 楠元城	川内	
7 碓山城	川内	(三)	8 平佐城	川内	(三)
9 梶城	川内		10 二福城	川内	(三)
11 矢倉城	川内	(三)	12 梶城	川内	
13 都城	川内	(三)	14 南の城	川内	
15 水引城	川内	(三)	16 梶城	川内	(三)

17	宮里城	川内	(三)	18	不詳(城山)	高江	
19	検見ヶ城	高江	(三)	20	大峯本城	高江	(三)
21	白石ヶ城	高江	(三)	22	峯ヶ城	高江	
23	楳城	水引		24	湯田高城	高城	(三)
25	梅ヶ城	高城		26	タンタコ城	高城	
27	染之城	高城	(三)	28	内之城	高城	(三)
29	妹背城	高城	(三)	30	亀ヶ城	下東郷	(三)
31	高城	下東郷		32	西川内城	下東郷	
33	新城	上東郷	(三)	34	原之城	上東郷	(三)
35	鶴岡城	上東郷	(三)	36	国司城	上東郷	(三)
37	仮屋城	上東郷		38	不詳(城ヶ原)	上東郷	
39	不詳(古城之段)	上東郷		40	不詳(智屋城ヶ段)	上東郷	
41	野首城	樋脇	(三)	42	高城	樋脇	
43	助之城	樋脇	(三)	44	樋脇城	樋脇	(三)
45	高城	樋脇	(三)	46	不詳(隈城之段)	樋脇	
47	前田城	樋脇	(三)	48	市比野城	樋脇	(三)
49	久留主城	樋脇		50	内田城	樋脇	
51	永利城	永利	(三)	52	岩田ヶ城	永利	(三)
53	大住吉城	入来	(三)	54	楳城	入来	(三)
55	清色城	入来	(三)	56	箕冠城	入来	
57	淵上城	入来	(三)	58	楳城	入来	
59	川床城	入来	(三)	60	西之城	蘭牟田	(三)
61	蘭牟田城	蘭牟田	(三)	62	高城	蘭牟田	(三)
63	片城	蘭牟田	(三)	64	西牟田城	大村	
65	新城	大村	(三)	66	永福城	大村	(三)
67	松尾城	大村	(三)	68	大久保城	大村	
69	久富木城	山崎	(三)	70	松尾城	山崎	(三)
71	余ヶ城	山崎		72	山崎城	山崎	(三)
73	高城	山崎	(三)	74	折小野城	山崎	
75	白男川城	山崎	(三)	76	栗脇城	山崎	(三)
77	不詳(城木場)	宮之城		78	平川城	宮之城	(三)
79	松尾城	宮之城	(三)	80	轟原城	宮之城	(三)
81	虎居城	宮之城	(三)	82	於手城	宮之城	
83	舟木古城	宮之城		84	恋ノ巢城	宮之城	
85	中城	宮之城		86	高城	宮之城	
87	湯田城	宮之城	(三)	88	鶴ヶ城	佐志	
89	時吉古城	佐志		90	鼠ヶ城	佐志	
91	長岡城	鶴田	(三)	92	楳城	鶴田	

93 築瀬城	鶴田		94 不詳(城ヶ段)	鶴田
95 梅君ヶ城	鶴田	(三)	96 丸尾城	鶴田
99 鶴田城	鶴田	(三)	98 不詳(城之段)	求名
99 境田城	求名		100 長野城	永野 (三)
101 亀城	里	(三)	102 鶴城	里 (三)
103 大城	下甕			

以上のうち33か城には実測図、見取図、鳥瞰図を掲載している。その中から代表的な6点を、当時の水準を示すものとして転載しておきたい。

図10 福田信男氏碓山城図(同氏「薩摩郡に於ける古城址の調査」による。)

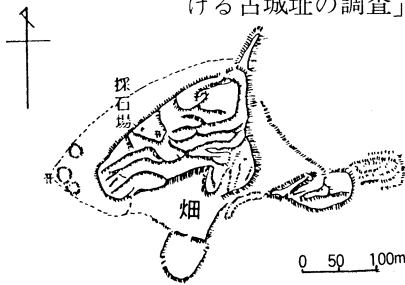


図11 福田信男氏平佐城図(同氏「薩摩郡に於ける古城址の調査」による。)

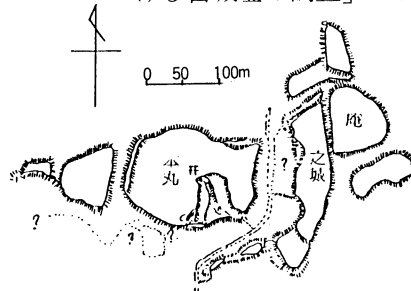


図12 福田信男氏妹背城図(同氏「薩摩郡に於ける古城址の調査」による。)

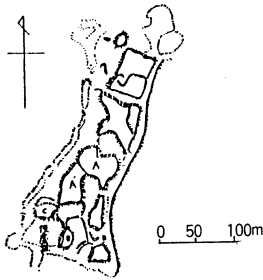


図13 福田信男氏市比野城図(同氏「薩摩郡に於ける古城址の調査」による。)

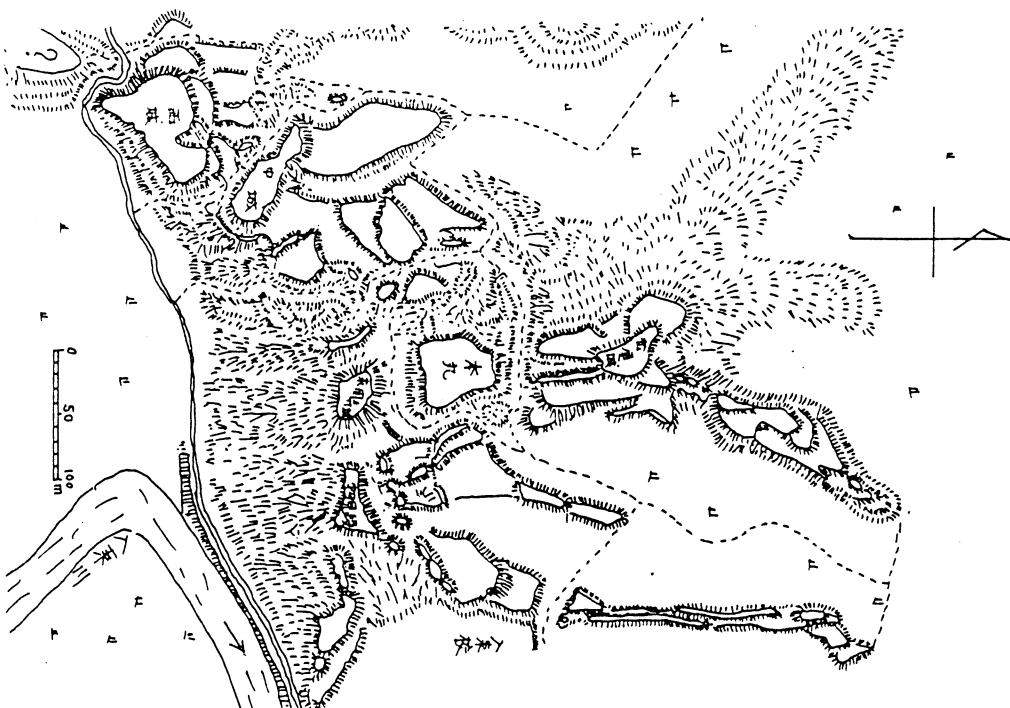
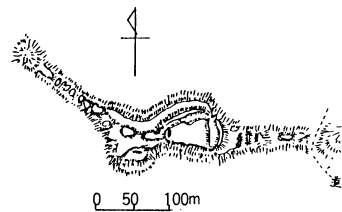
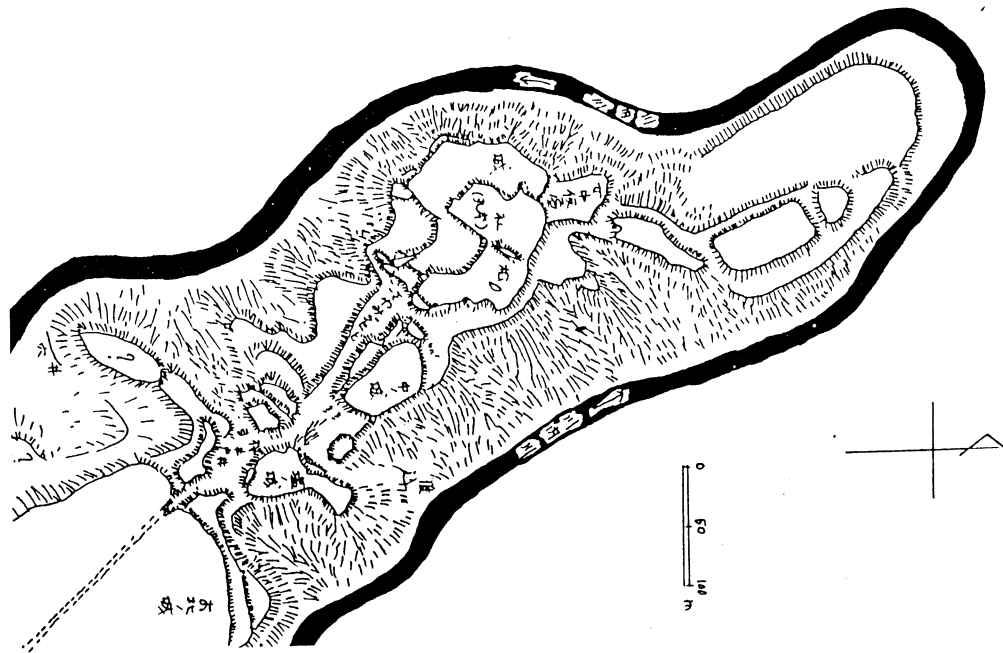


図14 福田信男氏清色城図

(同氏「薩摩郡に於ける古城址の調査」による。)

図15 福田信男氏虎居城図



(同氏「薩摩郡に於ける古城址の調査」による。)

同書は、このような調査をもととして郡内古城跡の一般的考察として、次の10点をあげている。

(1) 城館跡は戦略上の要地に存在している傾向がある。(2) その位置をみると鉄道沿線 500m 以内のもの23, バス路線 500m 以内のもの76, 自動車通行可能道路 500m 以内のもの98であり, その城館の周辺部へ自動車の行けないところは4であり, かつての交通路と近いところにある。また高度をみると, 標高 100m 以下のもの80, 200m 以下のもの99, 300m 以上ものは2で, 本郡の地勢を考えると低位置にある。20万分の1地質図によれば, シラス地域にあるもの83, 安山岩地域にあるもの11, 沖積層地域にあるもの4, 秩父古生層地域にあるもの2で, 大部分が自然の侵蝕が垂直的に働き断崖を多く作り, 低い丘陵でも登攀が困難になりうる地形ができるシラス地域に存在している。(3) 分布は入来院氏, 祁答院氏, 東郷氏の3勢力の会合点に密であり, 領主の摩擦面に多くなっている。(4) 地形上では不明の3を除くと台地形を利用したもの26, 尾根の先端を利用したもの25, 尾根の中間を利用したもの14, 独立した岡を利用したもの13, その他22で, 台地性の形状による割合が半分以上となる。(5) 川内川に臨むもの13, 川内川支流に臨むもの20, 小流に臨むもの30と河川を利用するものが6割を越え, そうでないものも周囲に泥沢があるもの等河川曲流の不足を補っているものがある。また, 永野から市比野にかけ, 付近の山峡を塞ぎ河川の水を溜めて, 敵を防いだという伝承を持つものがあり, 文献に記述されているものもある。(6) 城郭構成についてみると, 堀切がなく平坦な面も一つかそこらで単調なもの12, 独立した岡ではあるが勾配が緩いので平坦な面をいくつか持つものすなわち堀切がなく複雑な平坦な面のもの8, 一か所に堀切があって平坦な面の少ないもの19, 一か所に堀切があって平坦な面が多いもの10, 両端に堀切のあるもの4, 中央に浅いが堀切のあるもの7, 二つ以上の堀切があり, 平坦面の多いもの15, その他で堀切のあるもの21となり, 不明の3を除き96までは堀切があり, 堀切のないものは4である。(7) 土塁は44の城館にあり, 過半はない。石垣は皆無で, 礎石かと思われるもののあるものもなく, 投げるための石とみられる大小の石がみられるものが2ある。井泉はないと思われ, 大手口, 搦手口の分かるもの, 本丸・二の丸・三の丸の分かるものほとんどない。城郭構成としては, 何ととっても堀切が目立ち, 土塁がそれに次ぎ, 他はほとんどないといえよう。(8) 平坦な面とは曲輪の事とみてよく, 不明の3を除き, 単純

な曲輪しかないものは35で他は複雑に多くの曲輪があり、これらは質的にも高いものとなっている。(9) 城館跡は、畑地となっているもの78、宅地となっているもの27、山林となっているもの20で、その他の利用が15であり、大多数は開拓され経済的な価値を持っているので、城館期の原形は人工的に失われつつある。(10) 文献の城館跡についての記述は少ない。またあっても面積、幅員、周廻等は実際と違っている。

この考察は、薩摩郡の全中世城館跡についての基礎的調査を総括したものであるとともに、本県の中世城館跡の調査にも指針となるものである。

以上の点よりみて、同書は薩摩郡という限られた地域のみとはいえ中世城館跡の悉皆調査を計画し、それを完遂した実地調査、分布調査の報告であり、本県の中世城館跡についての学術的な調査報告となっており、研究史上画期的な役割を果たした。

4

本県の中世城館跡についての研究が、大きな流れとなるには、その後30年の日時が必要であった。本県の中世史研究が飛躍的な発展をとげたことがその背景にあるが、その推進者である五味克夫氏の指導を受けた田野辺道宏氏は、中世城館跡を実地調査し、見取図を作成した上で、主に山城の縄張りの性格を追求した。

実地調査は主なものだけでも、勝目城、平山城、給黎城、指宿城、御所ヶ原城、菊池城、谷山本城、苦辛城、川口城、比志島城、矢上城、長谷場城、東福寺城、川田城、亀ヶ城、伊作城、南郷城、一字治城、鶴丸城、串木野城、鍋ヶ城、大石城、桑原城、莫根城、尾崎城、出水城、蒲生城、清色城、鶴ヶ岡城、建昌城、萩峯城、平安城、帖佐平山城、加治木城、長尾城、廻城、末次城、加瀬田城、垂野城、志布志内城、松尾城、安楽城、入船城、白石松尾城、高須城、木谷城、横山城、志々目城、大始良城、富山城、弓張城、高山城、胡摩崎城、北原城、富田城、入船城、国見城、高城等の本県のほぼ全域にわたり、それぞれ見取図を作成している。このように本県の本土各地において多数の本格的な図面作りは初めての事であり、本県の中世城館研究と郷土史誌等の城館についての記述とに大きく貢献した。

さらに、明確な遺構を存するものは室町期か戦国期に使用されたものであると述べる等時代的恋遷に注目し、升形、大手、櫓、腰曲輪、虎口等の城郭構成について考察を加えた。また、楯、城山、古城、城内、荒神、野首等の城館関連地名についても述べている。

これらは、昭和44年度の鹿児島大学法文学部史学科の卒業論文「鹿児島県に於ける中世城郭の一考察」にまとめられているが、未刊である。未刊であるとはいえ、この論文は、中世城館跡の現地調査により、本県の中世城館跡を縄張り図レベルで研究するための基礎を築いた。

この前後から、中世城館跡の調査・研究は各方面・各地で進展しており、

- ① 伊作城について 鳥羽正雄氏「亀丸城跡」(『鹿児島県文化財調査報告書』第3輯(鹿児島県教育委員会、昭和31年刊))、五味克夫氏「伊作城跡」(『鹿児島中世史研究会報』第7号(同会、昭和42年刊))
- ② 建昌城について 五味克夫氏「建昌城の史料」(『鹿児島中世史研究会報』第30号(同会、昭和46年刊))、臼井徹「薩摩本城候補地にあげられた建昌城」(『鹿児島県土地家屋調査士会』第7号(同会、昭和50年刊))、
- ③ 上城について 田野辺道宏氏「上城城址」(『鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(20)』「九州縦貫道関係埋蔵文化財調査報告書Ⅺ」(鹿児島教育委員会、昭和57年刊))、
- ④ 東福寺城について 五味克夫氏「東福寺城跡」(『鹿児島市文化財調査報告書』第2集(同委員会、昭和53年刊))、なお同城跡を含む鹿児島市街地と同周辺の城跡について上村俊雄氏「(現代都市と都市遺跡)鹿児島」(『古代学研究』第69号(同会、昭和48年刊))、

- ⑤ 大田城について 浜田盛秀・貴島清蔵『太田城の発見』（大田城顕彰保存会，昭和48年刊）
 - ⑥ 南郷城について 中野翠氏「南郷城跡の研究」（『鹿児島史学』第26号（鹿児島県高等学校歴史部会，刊）），
 - ⑦ 楠川城について 三木 靖 「屋久島の楠川城」（『歴史読本』第25刊第15号（新大物往来社，昭和55年刊）），
 - ⑧ 吉田松尾城について 三木 靖 「吉田松尾城の研究—その変遷及び縄張りについて—」（『鹿児島短期大学）研究紀要』第30号（同学，昭和57年刊）），
 - ⑨ 知覧城について 小幡晋氏「知覧城跡調査記」（『知覧文化』第19号（知覧町立図書館，昭和57年刊）），
 - ⑩ 大口城について 三木 靖 「大口城跡の絵図と縄張り図」（『鹿児島短期大学）研究紀要』第31号（同学，昭和58年刊）），
 - ⑪ 高山城について 中野翠氏「中世高山城と肝付氏について」（『鹿児島の歴史と文化』（鹿児島県歴史資料センター黎明館，昭和59年刊）），高山城跡保存管理計画策定委員会編『国指定史跡高山城跡保存管理計画策定報告書』（高山町教育委員会，昭和60年刊），三木靖「大隅国肝付郡高山城の変遷」（『鹿児島短期大学）研究紀要』第36—37号（同学，昭和60—61年刊）），
 - ⑫ 隼人関係城館について 小幡晋氏「隼人山寨考」（『大隅』第19号，（同史談会，昭和52年刊）），上村俊雄氏「隼人の城について」（『隼人文化』第3号（同研究会，昭和52年刊）），
 - ⑬ 奄美関係城館について 里山勇慶氏「奄美の城」（同氏，昭和58年刊），沢村仁氏等「南西諸島中世遺跡の研究」（日本建築学会九州支部研究報告）第26号（同会，昭和57年刊），上野堯氏「名瀬市域における中世城館について」（『大島紀要』第1号（大島高等学校，昭和60年刊），中山清見「奄美のグスク」・義憲和「徳之島のグスク」（『特別展グスク』（沖縄県立博物館，昭和60年刊），徳富重成氏「徳之島のグスク考」（『徳之島採集手帖』第32号（徳之島郷土研究会，昭和58年刊），義憲和氏「古城探訪」（『徳州新聞』昭和58年5月），三木靖「沖永良部島の山城」（『薩琉文化』第21号（鹿児島短期大学付属南日本文化研究所，昭和58年刊）），同「龍郷町のグスク関係調査の概要」（同前23号，同昭和59年刊）），
- 等があり，現在では各城館跡の縄張りとその変遷の検討も発表されるようになった。

前述した「城壘台場」の後，本県の城館跡について現地踏査の成果を含めた城名，所在地，城主等の一覧表としては，『日本城郭全集』（人物往来社，昭和43年刊）の鹿児島県，小幡晋氏「大隅・日向古城壘址名録」，『薩摩国中世古城壘址名録』（『大隅』第17—18号（同史談会，昭和49，51年刊））（なお同氏には本県100余か城について紹介した『南九州の城址』（耕文社，昭和44年）がある。），三木靖編「（日本城郭大系）鹿児島県」（『日本城郭大系』第18巻（新人物往来社，昭和54年刊））がある。特に後者は，現地調査による見取図45点があり大島郡を含めて本県を網羅的に把握した点が特徴である。これに相当するものに「鹿児島県主要城跡一覧」（『鹿児島大百科事典 別冊』（南日本新聞社，昭和56年刊））等があり，現在，これらを基礎とした本県の中世城館跡の一覧表と紹介とが盛行することとなっている。

各市町村が刊行する「郷土史誌」，「文化財要覧」，「文化財地図」等には古くより，中世城館跡の紹介があったが，昭和40年代に入り，前述の調査報告書等の増加を反映して，意欲的な実地調査の報告がみられるようになったのも忘れてはならない。その中には『鹿児島市史・I』（鹿児島市，昭和44年刊）のように中世の城下町について言及するものもあり，中世城館跡の周囲についても関心が寄せられるようになってきている。なお本回の中世城館跡調査による成果が，担当調査員等により発表されており，価値の高いものもある。本稿ではそれらについては割愛せざるをえなかった。

本県の中世城館跡についての発掘調査は、松本雅明氏が昭和44年に大島郡龍郷町戸口で戸口城跡を取りあげて（同氏『沖縄の歴史と文化』（近藤出版、昭和46年刊）以来であり、ここに本県の中世城館跡についての本格的な調査報告がみられるようになった。

以下、報告書の刊行順にそれを見ておきたい。

- ①「村原（梶ノ原）遺跡」（加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書）（加世田市教育委員会、昭和52年刊）
- ②「南宮島遺跡」（姶良町都市計画事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書）（姶良町教育委員会、昭和52年刊）
- ③「萩原遺跡」（「同前」（同、昭和53年刊）
- ④「大龍遺跡」（「鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書（1）」（大龍遺跡発掘調査団、昭和54年刊）
- ⑤「上ノ城遺跡」（「加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書（2）」（加世田市教育委員会、昭和55年刊）
- ⑥「中尾田遺跡」（「鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書（15）・九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告Ⅶ」（鹿児島県教育委員会、昭和56年刊）
- ⑦「加栗山遺跡」（「同前（16）同前Ⅴ」（同）
- ⑧「小瀬戸遺跡」（「同前（19）同前Ⅹ」（同、昭和57年）
- ⑨「平泉城跡」（「大口市埋蔵文化財発掘調査報告書（1）」（大口市教育委員会、昭和57年刊）
- ⑩「苦辛城跡」（「鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書（27）・皇徳寺ニュータウン（仮称）造成工事に伴う埋蔵文化財調査報告書」（鹿児島県教育委員会、昭和58年刊）
- ⑪「廻城一落城と出土遺物一」（河口貞徳・本田道輝、昭和59年刊）
- ⑫「平山城跡（川辺城跡）」（川辺町埋蔵文化財報告書（1）」（川辺町教育委員会、昭和59年刊）

以上の外にも、調査を行ったもの等多くの成果があるが、代表的なものを掲載しただけでも、この10年間、連年中世城館跡の発掘の行われていることが明確になる。

その対象地は、県本土の中央から西側となっており、山城跡が多いが平城跡や館跡も含まれている。時代、本支城、規模等にも広がりがあるのが目につき、いずれも遺物を収集し、遺構も確認している。遺物はあまり多くはないが、遺構としては大規模な空堀、規模は小さいが要所ごとに設けられた堅固な空堀、数度の改変を示す虎口、建物跡、柵列跡と考えられるピットを持つ曲輪跡等が発掘されており、正確な曲輪の形と配置、各曲輪の役割、空堀と道や虎口の位置についての検討資料が続々と提供されている。特に、文献にない城館跡が発見される事もあり、すべてが緊急発掘という性格を持ちながら、縄張りの検討・研究等中世城館調査に大きく貢献している。

おわりに

本県の中世城館跡については、早く藩政期に関心が寄せられていたので、関連する資料がある。文献による城館をめぐる研究はその後進歩をみたが、縄張り図をもとにした研究は『考古学上より見たる清水城址』『薩摩郡に於ける古城址の調査』以降であり、長い中断の後「「鹿児島県に於ける中世城郭の一考察」、『日本城郭大系・鹿児島県』等により縄張り図レベルでの研究の基礎が確立した。この前後から、個別の縄張りの変遷の研究と発掘調査による本格的な報告とがみられるようになり、本県の中世城館の悉皆調査と、各城館跡の縄張りの詳細な調査とが現実的な課題となってきた。

中世城館跡一覽

第3章 中世城館跡一覽

鹿児島市

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
1-1	川上城	川上町字加栗山他	丘陵	山林 島・宅地	300×650 複	不良	正平7年～10年 文和元年～4年 慶長17年	川上氏	川上氏	1.4	加栗山(椿山) 野久保、引場	郭、空堀	発堀有
1-2	おくび 尾瀬小城	稲荷町字後迫	丘陵	宅地		消滅	南北朝期～	中村氏 肝付氏 島津氏	中村氏 肝付氏 島津氏	1.3.4.5.6	後迫		
1-3	せぼる 権島築城	坂元町字城ノ上他	丘陵	宅地 字校・墓地		消滅	南北朝期～	矢上氏	矢上氏	1.3.4.5.	城ノ上、城ノ下 天上		(別)矢上城
1-4	比志島城	皆与志町字古屋敷他	山頂	山林	150×200 複	やや良	(寛元元年) 宝治元年 天正15年	満家氏	満家氏 比志島氏	1.3.4.5	城ノ脇、仮屋下 古屋敷	郭、空堀、土塁、虎口 井戸、土橋、大手、 からめ手	
1-5	小山田城	小山田町字高城他	山頂 平地	山林 島・宅地	300×700 複	不良	建武年間～ 延元3年、暦応元年	小山田氏	小山田氏 吉田氏	1.2.3.4.5	高城(川路) 城山	郭、空堀、井戸、大手 からめ手、櫓台、通路	(部)平城、高城
1-6	伴塚館跡	下伊敷町字天神城他	丘陵	山林	300×300 複	やや良	安和2年～正平6年	伴氏	伴氏 島津氏 伊敷氏	2.3.4.5.6	脇ノ谷、内ノ丸 天神城	郭、空堀、土塁	(別)神食城
1-7	犬迫塁	犬迫町字仮屋	丘陵	山林	100×150 複	良	建武年中～天文6年	小山田氏	比志島氏 島津氏	1.3.4	仮屋	郭、空堀、土塁	(別)勝岡城
1-8	なつかげ 夏蔭城	長田町字夏蔭	丘陵	宅地		消滅	文和元年 ()明治10年 正平7年	上山氏	西郷氏 上山氏 島津氏		夏蔭、宇都		
1-9	原羅營	原良町字源六ヶ入口他	丘陵	山林	150×200 複	不良	正平7年・貞和2年 ()～応永2年 正平9年	島山氏	島山氏 伊集院氏	1.2.3.4.5. 6	源六ヶ入口 尾畔	郭、空堀、土塁 水の手	(別)原良營
1-10	野元營	武町字城本	丘陵	山林	300×300 複	不良	南北朝期～(文昭3年) 正平9年	島山氏	島山氏	1.2.3.4.5. 7	城ノ本	堀	(部)野元營 野元原武岡城
1-11	小田城	西別府町字小田城他	山頂	山林	200×250 単	良		芦谷氏 別府氏	芦谷氏 別府氏	4	小田城、取添	郭、堀、井戸、大手	(別)取添城
1-12	上山城	新照院町41-1	山頂	山林	100×200 複	やや良	(正平7年・文和元年) 正平24年	上山氏	上山氏 島津氏	1.3.5.7		郭、空堀、土塁、 からめ手	
1-13	鹿児島城	城山町字堀ノ面	平地	宅地 寺社境内地	200×900 複	不良	慶長7年～明治4年	島津氏	島津氏	1.3.4.5.7. 10.11.12	堀ノ面	水堀、石塁、水の手、 庭園、池、礎石、通路 大手、井戸	(別)鶴丸城 発堀有 原指定
1-14	清水城	坂元町字稲荷ノ上他	丘陵	山林・宅地	400×800 複	不良	応永8年～17年 ～天文19年	島津氏	島津氏	1.2.3.4.5. 5.8.9	稲荷ノ上 国料迫頭 大興寺岡、大堀	郭、空堀、水堀、土塁 石塁、通路、大手	(別)鹿児島本城 櫓之口城、発堀有

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
1-15	東福寺城	清水町字田ノ浦	丘陵	山林 寺社境内地	100×200 複	良	天喜元年～(応永11年) ~(応永17年)	長谷場氏	長谷場氏 矢上氏,島津氏	1.2.3.4.5. 6	田ノ浦	郭,堀,土塁 水の手,井戸	
1-16	内城	大竜町字内の丸	平地			消滅	慶長7年 天文10年～(慶長9年)	島津氏	島津氏	1.3.4.5.6. 11.15	内ノ丸	水の手,井戸,大手	發掘有 (別)御内,本御内
1-17	浜崎城	清水町字田ノ浦	丘陵	山林 寺社境内地	100×100 複	良	天喜元年～(正平2年)	長谷場氏	長谷場氏 矢上氏,島津氏	1.2.3.4.5. 6	田ノ浦	郭,堀,土塁 水の手,井戸	1-15と同峰
1-18	谷峰城	常盤町字二之迫	丘陵	山林 宅地		消滅	興暦2年,明暦14年 南北御時→正平5年,寛政元年, 正平7年,文和元年	肝付氏	肝付氏 鯨島氏	1.3.4.5.	二ノ迫		
1-19	唐湊城	田上町字城ヶ平他	丘陵	山林 宅地		消滅	南北朝期～(正平9年) ~(文和3年)	島山氏	島山氏	1.2.3.4.	城ノ平,内城 陣ヶ迫,陣ノ平 陣ノ原	郭	(別)郡山宮
1-20	川口城	五ヶ別府町川口字陣岡	丘陵	山林	200×300 複	やや良				2.	陣ノ岡	郭,空堀	
1-21	苦辛城	山田町皇徳寺字内ノ丸他	山頂	山林		消滅		平田氏	平田氏	1.3.4.5.16	内ノ丸,内城 牧田字都	郭,空堀,土塁,虎口 土橋,水の手,水塁	發掘有 (部)牧田壘
1-22	梶城	中山町字梶山他	丘陵	山林 墓地	150×200 複	不良	応永24年			17	梶城,内府 しがらみ	空堀	
1-23	神前城	上福元町字和田	丘陵	寺社境内地	100×100 複	不良		寺山氏	寺山氏	1.3.4.5.16		郭,空堀,通路,大手	(別)玉林城,権現城
1-24	菊地城	上福元町字見寄	丘陵	荒地 山林	150×300 複	不良		菊地氏	菊地氏	3.4.5.16		郭,空堀	
1-25	御所ヶ原城	上福元町御所原字後迫他	丘陵	宅地・山林 火葬場	200×300 複	不良	~康永元年 貞和3年	谷山氏	懷良氏	3.4.5.16	後迫,見寄ヶ原	空堀	
1-26	城ヶ原	上福元町字城ヶ原	丘陵	宅地		消滅				17	城ヶ原		
1-27	椿山陣	上福元町字竹迫他	丘陵	山林	150×200 複	やや良	応永24年～	島津氏	島津氏	1.2.3.4.5. 16	竹迫,牟田,入米 堂ヶ迫,椿山	空堀,水の手,井戸	(別)内城
1-28	波之平城	上福元町字波ノ平	丘陵	島 宅地	150×200 複	不良	康永元年～	島津氏	島津氏	1.2.3.4.5. 16	波の平	空堀,水の手,井戸	
1-29	谷山城	上福元町字本城他	山頂 丘陵	山林 寺社境内地 その他	500×650 複	やや良		寺山氏,谷山氏 伊集院氏 赤坂氏	寺山氏,谷山氏 伊集院氏 赤坂氏	1.2.3.4. 5.7.16	本城,坂落 陣ノ平,桜馬場	郭,腰部,空堀, 水堀,土塁,虎口, 通路,大手	(部)陣之尾城 十ヶ輪城 弓場ヶ城
1-30	茶臼ヶ城	下福元町慈眼寺	丘陵	山林	250×800 複	やや良				4.6.17			(別)浅水ヶ城
1-31	堀ノ内	下福元町西堀之内他	丘陵	山林		消滅				4.	太郎の字都 西堀之内 東堀之内		
1-32	宇宿城	和田城宇宿城他	平地	島 平地		消滅	暦応4年～	山田氏	山田氏	1.4.16.17	宇宿城,野首		
1-33	大崎山陣	平川町字崎山	山頂	山林	150×150 単	良		島津氏	島津氏		崎山		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
1-34	辺田城	中山町字辺田	山頂	山林	200×300 複	やや良					辺田	郭, 空堀, 水の手	(別)
1-35	ちやまがらうい 茶磨臺	武町三丁目三重尾崎	丘陵	山林	200×400 複	良	南北朝期～	高山氏	高山氏	1.2.3.4.	三重尾崎	郭, 空堀	(別) 茶臼城
1-36	橘之口城	坂元町字城ノ後	丘陵	山林 宅地	500×600 複	不良	応永8年～天文19年	島津氏	島津氏	2.	長谷場	堀	

指宿市

2-1	松尾城	西方字城ケ崎	山頂 平地 丘陵	山林 寺社境内地	300×900 複	やや良	鎌倉時代 ～慶長20年	額姓氏	指宿氏, 阿多氏, 奈良氏, 島津氏	66	城ケ崎	犬走り, 空堀, 折れひすみ	(別) 指宿城
2-2	清見城	池田字城ケ平	山頂	山林	200×400 単	不良	室町時代初期～		池田氏		城ケ平		
2-3	原田城	十二町中小路他	山頂 山麓	山林 島 寺社境内地	100×200 果	不良		指宿氏	指宿氏		原田	空堀	(別) ハングン城

枕崎市

3-1	桜之城	西鹿籠字城山他	丘陵	山林 宅地	100×300 複	良	元禄元年) 天文7年)～元和元年	島津氏	島津氏 喜入氏	3.200			(別) 山之城
3-2	熊之城	枕崎字前河鼻	台地	宅地		消滅	(享祿元年) 天文7年)～元和元年	島津氏	島津氏 喜入氏	3.200	前河鼻		
3-3	鳥城	西鹿籠字山下	丘陵	山林 (墓)	150×150 単	やや良	(享祿元年) 天文7年)～元和元年	島津氏	島津氏 喜入氏	200	山下		
3-4	こみよと 小湫城	西鹿籠字町村	平地	宅地 (原野)		消滅	(享祿元年) 天文7年)～元和元年	島津氏	島津氏 喜入氏	2000	町村		
3-5	小陣	西鹿籠字小陣	丘陵	山林	100×200 単	良		島津氏	島津氏 喜入氏		小陣		

加世田市

4-1	荒瀬城	武田字池ノ山他	山頂	山林	200×250 複	やや良				70	池ノ山, 下鴻巣/山 登立ノ下, 地蔵原, 藤原崎 荒瀬ノ水, 下鴻巣, 荒瀬原, 東郷	郭, 腰郭, 犬走り, 空堀, 土塁, 虎口, 水の手, 通路, 堀底道	
4-2	別府城	武田字城ノ山他	山麓	宅地 寺社境内地 私人家ノター	150×200 複	不良				70	城ノ山, 尾ケ城 上鴻巣, 下鴻巣	虎口, 通路, 大手	(別) 加世田城
4-3	上ノ城	武田字上ノ城他	丘陵	山林 宅地	150×350 複	不良				70	上ノ城, 陣ノ尾 八反堀, 村本小路	郭, 腰部, 空堀, 土塁, 虎口, 水の手 通路, 堀底道, 庭園	発掘有 (別) 新城
4-4	内田城	唐人原字陣ノ尾他	丘陵	山林	150×200 複	良				70	下上鴻巣, 下中鴻巣 山下小路, 下瀬戸口	郭, 腰部, 空堀, 通路 堀底道	
4-5	おもり 尾守城	村原字柗ノ原他	丘陵	山林 島, 宅地	200×250 複	不良				3.70.71		郭, 腰部, 空堀, 土塁, 水の手, 通路	発掘有 (別) 大森城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
4-6	陣	益山字陣	平地	宅地		消滅			別府氏の一族	70	陣		
4-7	花牟礼城	川畑、花牟礼他	丘陵	宅地		消滅				70	花牟礼、花牟礼下 上の場、下の場	堀	
4-8	柿本城	武田字中野他	丘陵	山林、水田 畠、宅地	150×200 複	不良	平安末期～	平氏 別府氏			中野、棧敷、前ノ山 後ノ平、柿本	郭、腰郭、空堀、水の 手、井戸、古木他	
4-9	佐方城	唐人原字佐方原他	平地	畠、宅地 (荒地)	100×200 複	不良		益山一族		70	佐方原、比羅ヶ谷 樋ヶ谷、佐方村	腰郭、空堀、水堀、 通路、堀底道	
4-10	小陣	唐人原字山下他	平地	山林、畠 宅地	100×150 複	不良		益山一族		70	山下、小陣峠、小陣 小陣ノ上		
4-11	土城	内山田字土城他	平地	畠 (茶園)	100×100 複	不良				70	土城、大谷ノ尾 水河路各、相模野迫 相模野口、松ヶ谷	空堀	(別) 困ヶ岡
4-12	古城	内山田字原他	平地	山林 宅地	150×200 複	不良				70	原、原山、瀬戸口、 迫、後迫、赤キ、 外堀、上下堀	空堀、通路、大手	
4-13	^{うつか} 鶴塚陣	益山字宇都	小丘	山林 宅地	100×100 単	不良				70	宇都		(別) 鶴ノ塚

串木野市

5-1	串木野城	上名麓	山頂	山林 宅地 寺社境内地	200×300 複	やや良	(建保3年)～元和元年 (承久2年)	串木野氏	串木野氏 川上氏 山田氏	3.100	城之元	折れひずみ、 石塁、井戸	(別) 鳥ヶ城 城之元
5-2	坂下城	上名生福字坂下	丘陵	畠		消滅	(建保3年)～元和元年 (承久2年)	串木野氏	大前氏一族	3.100	坂下	空堀	(別) 坂下村 カクユウ(村)
5-3	梶城	上名字門前	丘陵	畠	200×300 複	不良	(建保3年)～元和元年 (承久2年)	串木野氏か?	在行氏 串木野氏	100	門前(梶ヶ鼻)	帯郭、空堀、石塁、 井戸	(別) 門前 村ヶ鼻
5-4	浜ヶ城	下名字浜ヶ城	丘陵	寺社境内地 宅地	250×300 複	不良	(建保3年)～元和元年 (承久2年)	串木野氏	在行氏 串木野氏	3.100	浜ヶ城	井戸	
5-5	羽島城	羽島字梶他	丘陵	山林 畠	200×300 複	良	中世初期頃～元和元年	郡司氏	郡司氏 国分市	3.100	梶(城ノ平)	井戸	(別) 野中村、梶
5-6	陣ノ岡	羽島字陣ノ岡	山頂	山林	200×400 複	不良	中世初期～	郡司氏 伴氏		100	陣ノ岡 (松尾村)		(別) 鳥越陣ノ尾 陣ノ尾、松尾村
5-7	城ノ園	荒川字城ノ園	丘陵	畠	150×200 複	不良	中世初期～元和元年	荒川氏	荒川氏 串木野氏 島津氏	3.100	城ノ園		
5-8	陣ヶ岡	荒川字城ノ本	山頂	山林	200×300 単	不良	中世初期～承久2年	串木野氏	串木野氏	3.100	陣ヶ岡(城ノ本)		(別) 城ノ本
5-9	^{でしろ} 出城	荒川字出城	山頂	山林	250×300 単	良	中世初期頃～元和元年	荒川氏	荒川氏 串木野氏 島津氏	100	出城		

川内市

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
6-1	碓山城	天辰町字碓山	丘陵平地	山林 宅地 採石場	200×200 複	不良	延元4年 ～文明17年		島津氏	3.14.54	碓山		
6-2	猪子岳城	高江町字猪子岳	山頂	山林	100×150 単	やや良		豊臣氏		3.	猪子岳	腰郭、堀	(別)猪猫岳城
6-3	高江城	高江町東ノ城西ノ城	平地			消滅					東ノ城、西ノ城	土塁	(部)東ノ城、西ノ城 (別)城山城
6-4	白石ヶ城	高江町白石ヶ城	丘陵	山林 宅地	150×200 単	やや良					白石ヶ城	井戸、通路、大手	
6-5	高江峰城	高江町字内場	丘陵	小学校敷地 墓地(共同)	150×300 複	不良	南北朝時代 ～近世初期	島津氏	高江氏、山田氏、石塚氏、 高江氏、中津氏、川上氏、 北郷氏、 高江氏、 島津氏、 入来院氏	3.55.56	内場、上小牟礼	空堀、土塁、井戸	(別)峯城
6-6	寄田城	寄田字南飯屋園	山麓 平地	山林 畠	150×300 単	不良			奈田氏、頼印氏、 島津氏、 入来院氏		南飯屋園		
6-7	大峰元城	高江町字山口上	丘陵 平地	山林 畠		消滅			武光氏 桂氏	3.	山口上	水堀	
6-8	検見ヶ城	高江町字平	丘陵	山林 宅地	100×100 単	やや良				3.	平	空堀、井戸	(別)検ヶ城
6-9	妹背城	高城町字城内	丘陵	山林	150×500 複	やや良	建久8年～元龜元年	武光氏 高城氏 東郷氏		3.53	妹背		(別)高城城
6-10	内之城	高城町字上手	丘陵	畠	100×150 単	やや良					内之城		
6-11	染ノ城	高城町字上手	丘陵	畠	200×200 単	やや良					上手		
6-12	梅ヶ城	城上町字川原段	丘陵	荒地		消滅					川原段		
6-13	タンタコ城	城上町城上字今寺	丘陵	山林	200×300 単	やや良					今寺		(別)白崩城
6-14	平山城	城上町平山字下塚	丘陵	畠	200×250 単	やや良					下塚		
6-15	藤峰城	城上町川平字今寺	丘陵	山林	100×150 複	良					今寺		(別)藤の坊
6-16	榎城	小倉町字榎	丘陵	畠	100×200 単	不良					川底		
6-17	小倉城	小倉町字山茶園	台地	河川敷		消滅					立山茶園		
6-18	八丸城	小倉町字柳ノ丸	山頂	山林 寺社境内地	150×250 単	やや良					川底		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
6-19	柁城	五代町字平	丘陵	山林 畠	200×400 複	やや良	仁安2年～文明7年	長田氏			平	井戸、大手、堀底道	(別)永田城 長田城
6-20	尾賀柁城	隈之城町字尾賀他	丘陵	畠・宅地 学校敷地	200×300 複	不良				3.	尾賀、尾賀上 瀬白木		
6-21	小城	勝目町字小城他	平地	畠 宅地		消滅					小城、外圍原		(別)柁城
6-22	二福城	隈之城町字城ノ下他	丘陵	畠 宅地	200×200 複	不良	鎌倉時代～ 安土桃山時代	藤原氏、島津氏 種子田氏、吉田氏 新藤氏、山田氏		3.14.12	城ノ下、城		
6-23	矢倉城	矢倉町字矢倉城	平地	宅地		消滅				3.	矢倉城		
6-24	勝目柁城	勝目町字柁	丘陵	畠 宅地	150×300 複	やや良					柁		
6-25	柁山城	中村町字上持他	山頂	山林	150×200 単	やや良				3.	上持、正止		
6-26	雲之上城	中村町字片山他	山頂	山林	150×250 複	やや良				3.	片山、白谷、白山	土塁、礎石	
6-27	小鹿倉城	中村町字城山	丘陵	山林 (河川敷)	100×200 複	良				3.	城山		
6-28	清水城	中村町字寺之段	丘陵	山林 畠	100×300 複	良				3.	寺之段		
6-29	亀之城	中郷町字山崎	丘陵	畠 宅地	150×150 複	不良				3.4.	山崎	空堀	(別)かくまれ城 龜丸城
6-30	久住城	久住町井場ヶ迫	丘陵	山林 宅地	200×250 複	良					井場ヶ迫		
6-31	小松城	宮内町字小松城	平地	水田		消滅					小松城		
6-32	水引城	御陵下町字本城東之城	平地	宅地		消滅		高城氏、島津氏 今給家氏、東郷氏 新宮氏		3.19	本城、城峯		(別)群風城 田島城
6-33	白谷城	陽成町字本川白谷	丘陵	山林	100×300 複	不良					本川		
6-34	白浜城	白浜町烏山	丘陵	山林・畠 宅地		消滅			白浜氏		烏山		
6-35	新城	田海町字新城ヶ原	山頂	山林	200×400 複	良	天正年間～	島津氏		3.5.	新城ヶ原		
6-36	高城	田海町字高城	山頂	山林	100×250 複	不良					高城		
6-37	西川内城	田海町字西川路	山頂	山林	250×500 複	不良					西川路		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
6-38	総徳ノ城	都町字屋敷田他	丘陵	山林・畠 宅地	150×400 複	不良				3.	屋敷田、門前 麦、灰原、京手		(別)麦城
6-39	都城	都町字都原	丘陵	畠・宅地 寺社境内地	200×350 複	やや良				3.	都原		
6-40	永利城	永利町山田字大手	丘陵	山林 宅地	150×450 複	不良			永利氏、島津氏 入来院氏	3.14.57.	大手		
6-41	石神城	永利町字石神	丘陵	山林・畠 宅地	150×300 複	不良			永利氏		石神		(別)石上城
6-42	猫岳城	高江町字猫岳	山頂	山林 寺社境内地	150×300 単	やや良	天正15年～	豊臣氏	豊臣氏	3.	猫岳	腰郭、空堀	(別)一夜城
6-43	鉢巻城	宮里町字安養寺	山頂	山林 宅地	200×350 単	やや良	天正15年～	豊臣氏	豊臣氏	3.	安養寺	腰郭、土塁 折れひすみ、石塁	(別)安養寺砦
6-44	宮里城	宮里町字古城	丘陵	山林 宅地	100×200 単	やや良	南北朝初期 建武3年～元亀元年	宮里氏	宮里氏、島津氏 入来院氏、北郷氏	3.58.59.	古城	空堀、土塁	
6-45	平佐城	平佐町字庵ノ城他	丘陵	山林・畠 宅地 寺社境内地	600×900 複	不良	鎌倉時代～	薩摩氏	北郷氏	3.56.60	藤崎、庵之城 寄符	空堀、土塁、石塁	(別)藤崎之尾城 是夜城
6-46	楠元城	楠元町字宝岩	丘陵	畠 宅地	100×150 複	やや良					宝岩、三丸		(別)湖ノ上城
6-47	松尾城	湯田町字城ノ尾	山頂	山林	100×150 単	不良					城ノ尾		
6-48	湯田城	湯田町字高城	山頂	山林	300×300 複	不良			神崎氏、東郷氏 島津氏	3.5.61	高城		
6-49	萩城	湯田町字行人平	山頂	山林	100×200 単	良					行人平		(別)ハゲ城
6-50	仕剣丸城	西方町仕剣丸	山頂	山林	200×300 単	良					仕剣丸		
6-51	百次城	百次町字上野他	丘陵	畠 宅地	400×550 複	不良	鎌倉初期～戦国末まで		上野氏、山崎氏 入来院氏	3.64.65	城ノ下、白谷、 上野、和田		(別)岩田ヶ城 上野城

阿久根市

7-1	莫弥城	大字山下小字片野他	山頂	山林	500×800 複	やや良	弘安年間～文禄2年	阿久根氏	阿久根氏 有馬氏	3.4.5. 206.207	片野、峯	郭、通路	
7-2	新城	大字山下小字新城他	丘陵	採砂場		消滅	永禄年間～文禄2年	阿久根氏	阿久根氏	3.4.5. 206.207	新城、久保下		
7-3	中之城	大字山下小字新城	丘陵	宅地		消滅	室町中頃～寛永以前	阿久根氏	阿久根氏	3.4.5. 206.207	新城		
7-4	出水ヶ器	大字鶴川内小字丸塚	山頂	山林	150×200 単	やや良	天文年間～永禄年間	島津氏	島津氏	3.4.5. 206.207			

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
7-5	出水ケ陣	大字鶴川内	山頂	山林	100×150 単	良							⑧
7-6	桑原城	大字鶴川内小字桑原他	丘陵	宅地 畠, 山林	150×250 複	やや良	正治2年～江戸初期	島津氏	島津氏 宮原氏	3.4.205 206.207.208	桑原, 城ノ迫	郭, 井戸, 虎口, 通路, 井戸	
7-7	田代城	大字鶴川内字西原他	山頂	山林 畠	200×200 複	やや良	天文年間～文禄12年	田代氏	田代氏	3.4.5. 206.207	西原, 下西原	郭, 堀, 通路, 虎口	
7-8	大石城	大字波留小字元年他	山頂	山林 畠	200×300 複	やや良	元弘年間～文禄2年	大石氏	大石氏	3.5. 206.207	元年, 大藏庵	郭, 石垣, 井戸, 通路, 大石	
7-9	賀喜城	大字波留小字鳥越他	山頂	山林	200×200 複	やや良	弘安年間～正安年間	莫弥氏	莫弥氏	3.4.5. 206.207	鳥越, 堀屋	郭, 池, 通路, 井戸	(別)大竹城
7-10	小田城	大字波留小字向山	山頂	山林 畠	200×300 複	やや良	弘安年間～正安年間	莫弥氏	莫弥氏	209	向山, 小田代	郭, 通路	
7-11	大川上城	大字大川小字橋ノ口他	山頂	山林 畠	250×300 複	やや良	天文年間～文禄2年	湯田氏	湯田氏	3.205.206	橋ノ口, 東字都 中ノ越, 折尾野	郭, 通路	
7-12	大川下城	大字大川小字久保下	丘陵	神社境内 畠	100×200 複	不良	天文年間～文禄2年	湯田氏	湯田氏	3.205.206	久保下	郭, 虎口, 通路, 石塔	
7-13	大下城	大字多田大字大下他	山頂	山林	150×300 複	やや良	応永年間	坪久田氏	坪久田氏	3.4. 205.206	大下, 山ノ口	郭, 通路	(別)多田城, 地主城
7-14	陣之尾壘	大字多田小字陣之尾	山頂	山林	150×300 複	やや良	正平年間	菊池氏	菊池氏	3.5. 206.207	陣之尾	郭, 通路, 壘	

出水市

8-1	井之上城	上鯖洲字大城他	丘陵	山林, 畠 宅地, 寺社境内地	150×200 複	やや良			和泉氏 井口氏	3.27	大城, 小城, 下平 上平田, 井ノ上, 御所原 北御所原	郭, 腰郭, 水の手	(別)井口城, 井口壘 小城
8-2	太田城	上鯖洲字太田	丘陵	畠 宅地	150×300 複	不良				27	多生寺, 里廻, 作馬場 西平, 堂山	水の手	
8-3	知色城	中央町字大崎他	平地	畠, 宅地		消滅			知謙氏 島津氏	3.27	大崎, 大浮軍, カキフセ 窪, 御供田, 愛染院, 八幡, 新村		(別)尾崎城
8-4	谷城	下知識字谷城他	平地	水田, 畠 宅地		消滅				27	谷城, 東内城 西内城	水の手	
8-5	松尾城	上鯖洲字松尾中他	丘陵	山林 畠, 宅地		消滅				27	松尾(中, 東, 下)段 藤崎, 岩崎, 尾崎, 宮崎		
8-6	朝熊城	下鯖洲字朝熊他	山麓	山林, 宅地 寺社境内地 その他	100×250 複	不良			朝熊氏	3.27	朝熊, 諏訪後		
8-7	安原城	下鯖洲字永福他	丘陵	山林 寺社境内地 その他	100×150 複	良			安原氏	27	永福, 翁 安原, 御供田		
8-8	内城	中央町字成瀬寺他	平地	水田		消滅			平城氏	3.27	成瀬寺, 八坊, 田中 二光院, 伝法屋敷, 長谷場		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
8-9	出水城	武本花見ヶ城他	丘陵平地	山林、水田 畠、宅地 寺社境内地	700×800 複	やや良	建久年間～	和泉氏	肝付氏 島津氏	3.27.28	須山、尾崎、酒ノ口、堀内 榎山、尾崎、酒ノ口、堀内 土塁、石塁、大手、からめ手 構台	(別)花見ヶ城、和泉城 (部)花見ヶ城	
8-10	平山城	武本字老神他	平地	水田		消滅			和泉氏	27.28	老神、老神ノ上 大坪、東大坪		

大口市

9-1	王城	平出水字王城	丘陵	山林 畠	100×250 複	良	南北朝～戦国期				王城		
9-2	大平城	田代字飯屋	丘陵	山林	200×300 複	良	保元3年～建久5年		大平氏		飯屋	空堀	
9-3	篠原城	篠原字城ヶ尾	丘陵	山林 畠	200×400 複	良	鎌倉期～室町期		篠原氏		城ヶ尾		
9-4	陣之尾城	篠原字大道他	丘陵	山林	300×800 単	良					大道、道ノ上 上ノ原、芳ヶ迫		
9-5	曾木城	曾木字取添	丘陵	山林	200×300 複	良		曾木氏			城添	空堀、井戸	(別)諏訪城
9-6	小鷹城	下殿字山下他	丘陵	学校敷地		消滅	～文禄年代				山下、七口城		(別)高殿城
9-7	羽月城	下殿字野首	丘陵	山林	100×300 複	不良	南北朝～戦国末期		羽月氏、島津氏 新納氏、肝付氏		野首	空堀	(別)藤尾城、高山城
9-8	平泉城	平出水字城脇	丘陵	山林		消滅	南北朝～戦国末期	牛屎氏	字宿氏、島津氏 伊集院氏		城脇	空堀、井戸	発堀有
9-9	湖辺城	湖辺字中村	丘陵	山林	150×300 複	良	鎌倉末～		湖辺氏		中村	空堀	
9-10	山ノ城	曾木字山ノ城他	丘陵	山林 畠	300×400 複	やや良			曾木氏		山ノ城、坂ノ上		
9-11	山野城	山野字松尾	丘陵	山林	100×200 複	やや良			山野氏、相良氏 島津氏、叡列氏		松尾	井戸	
9-12	大口城	里山字城山	丘陵	山林 畠	200×500 複	やや良	建久年代～近世初期		牛屎氏、永留氏 大島氏、新納氏	99.	上ノ馬場、城山	空堀、土塁、石塁	(別)車田口城、牛山城
9-13	鳥巢城	鳥巢	低丘陵端	山林	150×400	やや良	南北朝～戦国期						⑧
9-14	枳城	宮人	低丘陵端	山林 畑地	200×400	やや良	南北朝～戦国期						⑨
9-15	目丸城	目丸	台地端	集落 畑地	200×300	やや良	南北朝～戦国期						⑩
9-16	牛尾城	牛尾	台地端	山林	300×400	やや良	南北朝～戦国期						⑪

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	存続期間	築城者	在城者	文献	文献	遺構	備考
9-17	川岩瀬城	川岩瀬	台地端	山林	200×500	南北朝～戦国期						(註)
9-18	針持城	針持	台地端	山林 畑地	200×250	南北朝～戦国期						(註)
9-19	関白陣	曾木天堂ケ尾	小丘陵上	小公園	200×300	天正15年～	豊臣氏					(註)
9-20	郡山城	郡山	台地端	山林	200×400	戦国期						(註)
9-21	木之氏城	木之氏 城ノ口	台地端	畑地 山林	200×700	戦国期			城ノ口			(註)

国分市

10-1	上井城	大字上井町平井他	山頂 山麓	山林、島 宅地 寺社境内地	200×400 複	文明17年 康正2年頃～ 慶長17年	上井氏	隼人氏、 島津氏、上井氏	1.3.5.14 137.193	平野、掛田、冬内門 宮下、宮田、新田、大國前、米迫 阿場、本郷、宇野、深津、運の原		
10-2	桂姫城	大字上の段白尾谷他	峡谷	山林	200×250 単				3.5	白尾谷、マツノ谷、郡伏谷 高田川原、内野々、山神下、 城瀬、桂木道		
10-3	清水城	大字清水外城	山頂	山林	600×800 複	古代～慶長2年頃	税所氏	税所氏、本田氏 隼人氏、島津氏	1.3.5.14 137.196	外城、寺高嶋、和田、神、 玄龜、鷹ノ口、寺田、豊ノ口、 新田、赤田、安田口	(別) 鹿部城 芦原城	
10-4	郡田小城	大字郡田字小城	丘陵 平地	山林、島 宅地(工場)	消滅	建武4年～	肝付氏、野辺氏 谷山氏、矢上氏	肝付氏、野辺氏 谷山氏、矢上氏	1.5.196	小城、吉平、島中、上、松尾口、 口ノ町、高浦、吉浦、鎌ノ淵、 地蔵、寺津部	(別) 郡田城	
10-5	高松城	大字郡田城ケ原他	丘陵	山林 木ノノノ練習場 養鶏場	150×300 複				1.	高松原、湯ケ尾、城ケ原、年神、 瀬田、高松嶋倉、皇合原、 五色野、赤戸		
10-6	橘木城	大字重久吉水山他	山頂	山林 寺社境内地	400×600 複	治安元年～	税所氏	税所氏、重久氏 伊集院氏、島津氏 北郷氏、本田氏	1.3.5.14 7.197.198	吉和山、今城、磯突、今城、 鉤之字部、遊馬口、白澤、 中道	(別) 橘城、尚於郡城 神山城、尚於中城、 鉤之字部城	
10-7	長尾城	大字敷根大王坂他	山頂	山林 寺社境内地	200×1000 複	元暦元年～慶長18年	土岐氏	土岐氏 敷根氏	1.3.5.14	大王坂、垂水、草道、小城、 杉木山、向ヶ原、門倉、磯平 中重、駒込通、鞍掛	(別) 敷根城	
10-8	鼻連山城	清水字鳥越他	丘陵	山林、宅地 寺社境内地 難、大字、高松城	150×300 複	建部4年～建部5年	肝付氏、野辺氏 矢上氏、谷山氏	肝付氏、野辺氏 矢上氏、谷山氏	1.3.14.193	鳥越、鼻面、三朝、山崎、 若宮田、上川原、川原、中島 混合、道場下、江原		
10-9	隼人城	大字上小川村新城	山頂	山林、公園 城山公園	500×600 複	大永5年～明治初年	本田氏 島津氏	本田氏 島津氏	1.3.5.7. 14.193.194	新城、城ノ下、城ノ下、小陣、 忍尾、茶臼、大平、大和山 大平、立野原	(別) 国分城 清水新城、国府新城 発堀有	
10-10	舞鶴城	中央町二丁目五の一	平地	宅地 学校	200×400 複	文禄5年～慶長17年	島津氏	島津氏	1.3.5.7.14 193.194. 195	新納、御内、水馬場、大和山 北竜王、久保前	(別) 御内、御内屋敷	
10-11	渡瀬ノ陣	大字川内字渡瀬	丘陵	山林	150×200 複	慶長4年～慶長5年	島津氏	島津氏、勝目氏 入来院氏	3.5.14.193	渡瀬、島ノ口、子蒸、 関原谷、赤山、息返、丸尾、 白尾谷、龜山、籠山下		
10-12	姫木城	大字姫城小字城山他	山頂	山林	200×1000 複	古代～天文年間	税所氏	税所氏、姫城氏 本田氏、島津氏 伊集院氏	1.3.5.14. 137.196. 199	竹下、上原、道前、岡多石 竹下、中城、五浦、上野原 土ヶ所、西爪、川原、山野、大島	(別) 比売之城、熊襲城 比売姫城、	
10-13	橘井壘	新町字内ノ丸	山麓 低丘陵	宅地 会社工場	200×300 複	正平初年～			131	内ノ丸		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
10-14	桑ノ丸	重久字桑ノ丸	丘陵	山林	200×200 複	やや良	南北朝～戦国期	重久氏			桑ノ丸		
10-15	野口高城	野口字東高城他	台地端	水田・畠 宅地	100×350 複	やや良	南北朝～				東高城、西高城 中高城		(別)高城
10-16	宇豆峯	上井字宇豆門	丘陵	山林	150×400 複	やや良	南北朝～戦国期				宇豆門		
10-17	脇ノ丸城	上ノ段字脇ノ丸	丘陵	山林	200×700 複	やや良	戦国期～戦国末期	敷根氏(?)			脇ノ丸		
10-18	府中館	府中字石園他	平地	寺社境内地	100×350 複	やや良	和銅6年～天授3年				石園、中領		(別)中丸城
10-19	片城	上ノ段字片城	丘陵	山林	100×100 単	やや良	戦国期～戦国末期	廻氏		121	片城		
10-20	下井城	下井	台地端	集落地	300×300 複	不良	戦国期～						④
10-21	幸原城	川原	丘陵 台地	山林	200×800 複	良	上代～中世						④
10-22	陣ノ口	川内	小丘 陸端	山林	150×500 単	良	戦国期～						④
10-23	台明寺	台明寺	台地端	山林	150×250 単	良	戦国期～						④
10-24	後川内城	後川内	丘陵 台地	山林	200×400	良	上代～中世						④
10-25	野坂	小川内	丘陵 台地	山林	250×350	良	戦国期～						④
10-26	川内城	川内 城ヶ谷	丘陵 台地	山林	250×350	良	上代～中世						④

垂水市

11-1	入船城	牛根麓字城山	丘陵	山林 畠	150×150 複	やや良	暦忘年間～暦心2年	牛根氏	池袋氏、小山氏 牛根氏、肝付氏	134.135 136	城山	郭、堀、水堀、たて堀、 土塁、水の水の手、大まからあ手 (清水)	(別)牛根城
11-2	尾追城	浜平字尾追	丘陵	畠	150×200 複	やや良	応永年間～	伊地知氏	伊地知氏		尾追	土塁	
11-3	葛迫城	浜平字城内	丘陵	畠	150×300 複	やや良	応永年間～	伊地知氏	伊地知氏	134.135	城内	土塁	
11-4	古今城	新城字感王寺	丘陵	山林	200×350 複	やや良					感王寺		
11-5	崎山城	海淵字崎山	丘陵	山林 畠	100×200 単	やや良	南北朝期～	肥後氏	肥後氏		崎山		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
11-6	白石城	新城字白石	丘陵	山林	200×400 複	良					白石		
11-7	高城	高城字城府他	丘陵	山林 畠	150×200 複	良	大永2年～天正2年	肥後氏 伊地知氏			城府・地藏下 中追本 高城川原		
11-8	垂水城	市木字成山他	丘陵	山林 畠	200×250 複	やや良	保安元年～元和元年	藤原氏	藤原氏・石井氏 伊地知氏・島津氏 川田氏		陣ノ尾・天下平 城山・城ノ下 葛迫	郭・空堀・土塁・ 折れひすみ・水の手 (湧水)	(別)荒崎城
11-9	田上城	田神字田上他	丘陵	山林 畠	200×300 複	やや良	応永年間～慶長4年	伊地知氏	梶原氏・伊地知氏 新田氏・島津氏		田上・小野中野 小牧・宇都 等持院・是井元	堀(空堀)・土塁・ 通路	
11-10	早崎壘	牛根藪字早崎	丘陵	山林	250×500 単	不良			河南氏 島津氏		早崎		
11-11	林城	田神字上馬場他	平地	垂水小学校 敷地		消滅	慶長16年～明治2年	島津氏			上馬場・後馬場		
11-12	垂水本城	本城字上本城他	丘陵	山林 畠	100×250 複	やや良	応永20年～慶長4年	伊地知氏	島津氏		上本城・三野ノ下 寺ノ比良・中宇都	堀・土塁・大手・ からめ手	
11-13	新城	新城字城山	丘陵	山林	300×600 複	良					城山		(別)松尾城
11-14	小浜壘	海潟字小浜壘他	丘陵	山林	200×300 単	不良	元亀初期～	伊地知氏			小浜壘・丸尾 門の口・城ノ原		
11-15	茶円ケ尾壘	海潟字茶円ケ尾	山頂	山林		消滅					茶円ケ尾		
11-16	平常の陣	牛根藪字陣ノ原	丘陵	山林 畠	150×150 単	やや良	元亀2年～	島津氏			陣ノ原	土塁	(別)陣ノ原壘 平床の陣
11-17	古城	柘原字市の園	丘陵	山林 畠	300×300 複	やや良					市の園	土塁	土地の人はフツツン の丘という。
11-18	諏訪城	新城字諏訪他	丘陵	山林 畠	150×200 複	やや良	室町期～戦国	肥後氏 伊地知氏			諏訪・浦川内 稲荷平	堀・土塁	(別)清水城
11-19	中俣城	中俣字射馬松他	丘陵	山林 畠	300×800 複	やや良	鎌倉初期 建暦2年～天正2年	中俣氏	中俣氏		射馬松・小国前 島井・迫田 小園比良・野元	井戸・土塁	(別)小園の丘 観音城
11-20	二川砦	牛根二川字牟田	平地	宅地		消滅	文明～天正				牟田		
11-21	境城	牛根藪字城他	丘陵	山林 畠	250×400 複	良	戦国～戦国末期	池袋氏	池袋氏 本田氏 肝付氏		城・石佛	空堀・土塁	
11-22	下本城	芝原港平	丘陵	山林 畠	250×500 単	やや良		伊地知氏 (?)			港平	空堀・腰郭・土塁 虎口・大手・からめて	

鹿屋市

12-1	大始良城	大始良町字城内	独立状 小台地	山林	250×400 複	良	鎌倉～南北朝	藤原氏	藤原氏・新田氏 肝付氏・島津氏 島津氏	3,14,39 118	城内	郭・空堀・土塁 虎口・大手・堀底道	(部)看経城・ 内城
------	------	---------	------------	----	--------------	---	--------	-----	---------------------------	----------------	----	----------------------	---------------

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
12-2	鹿屋城	北田町字中名	台地端	山林 宅地 台地端	400×800 複	やや良	天正6年～寛永10年	伊集院氏	伊集院氏 島津氏	3.		腰郭、空堀、土塁、虎口、水の手、土橋、通路	(別)亀鶴城
12-3	鹿屋一谷城	西被川町字一ノ谷	山麓 (小台地)	山林	200×350 複	良	正平5年～正平6年	楡井氏	楡井氏(?)	39.121	一ヶ谷	郭、空堀、土塁、虎口、通路、大手、からめ手、堀底道	
12-4	鹿屋古城	新生町字古城	独立状 丘陵	宅地 (市街地)		消滅	南北朝初期～ 天正6年	肝付氏	肝付氏	3.14.17 118	古城	郭、堀(空堀)土塁、虎口、大手、からめ手、堀底道	
12-5	鹿屋元城	王子町字山中	台地端	山林 宅地	200×200 複	やや良	建暦 建保年間～南北朝	肝付氏	肝付氏	118.	山中	郭、空堀、土塁、通路、大手、堀底道からめ手、堀底道	
12-6	木谷城	花園町字城山	独立状 丘陵	山林 畠	200×300 複	やや良	正平6年～正平7年	楡井氏	楡井氏 称寝氏	39.121	城山	郭、腰郭、空堀、土塁、大手	
12-7	久恵城	西原町字久恵城	独立状 丘陵	荒地	100×150 単	不良	南北朝初期～戦国期	楡井氏	楡井氏	3.39.120	久恵城	腰郭、空堀、土塁	(別)崩の意なり
12-8	仮屋城	下高隈町字仮屋	台地端	山林	200×300 複	やや良	天正6年～文禄3年	伊集院氏	伊集院氏(?)		仮屋	郭、空堀、腰郭、土塁、のしろ台、大手	(別)伊集院城
12-9	古前城	中名字古前城	台地端	山林 畠、宅地	200×200 複	不良	鎌倉中期～南北朝	肝付氏	藤原氏 鹿屋氏	3.	古前城	郭、空堀	
12-10	志々目城	獅子目町東字陣ノ尾	山麓 (台地)	山林	200×200 複	良	南北朝初期～戦国	富山氏(?) 志々目氏	称寝氏	39.123	陣ヶ尾	郭、腰郭、空堀、水堀、土塁、虎口、のしろ台	(別)中付城
12-11	白崎城	白崎町字白崎	台地端	山林 宅地	100×100 単	不良	南北朝～戦国	鹿屋氏	鹿屋氏	119	白崎	郭、空堀、土塁、通路、大手、堀底道	
12-12	陣之尾塁	南字山下	山頂	荒地	200×300 複	良	南北朝初期～ 戦国末期	肝付氏	肝付氏	3.	山下	郭、空堀、土塁、のしろ台	
12-13	瀬戸城	被川町瀬戸口	台地端	山林 荒地	200×300 単	良	鎌倉～南北朝	肝付氏 藤原氏 長谷氏、鹿屋氏			瀬戸口	郭、空堀、土塁、虎口、のしろ台、通路	
12-14	高隈城	上高隈町字重田	小丘陵 端	山林	300×400 複	良	正平初年～戦国期	北原氏 楡井氏	楡井氏、田代氏 称寝氏、肝付氏 伊集院氏、細川氏	3.14.39. 121	重田	郭、腰郭、空堀、土塁、ます形、虎口、のしろ台、通路、下手、からめ手、堀底道	(別)松尾城
12-15	高須城	高須町字城山	独立状 小丘陵	山林 寺社境内地	100×300 複	良	鎌倉～戦国期	石堂氏	肥後氏、石堂氏 肝付氏、称寝氏	39.117.121	城山	郭、空堀、土塁、虎口、大手、堀底道からめ手、堀底道	
12-16	高須古城	高須町字古城	小丘陵 (台地)	山林 公園 中学校敷地		消滅	鎌倉～南北朝				古城	郭、腰郭、のしろ台、大手	
12-17	茶臼城	南町字福山他	丘陵	山林	200×450 複	良	～戦国末期	称寝氏 肝付氏			福山、牧之原	郭、腰郭、のしろ台、大手	
12-18	西俣城	南町字内城	台地端	山林 宅地		消滅	弘安年間～戦国末期	佐々木氏 称寝氏	佐々木氏 称寝氏	3.39.121	内城	郭、空堀、土塁、通路、大手	
12-19	野里城	野里町字大津	台地端	山林 畠	100×200 複	やや良		称寝氏(?)	称寝氏	39.121	大津	郭、腰郭、空堀、土塁、通路(大手)	
12-20	長谷城	被川町字長谷口	丘陵端	山林 寺社境内地	100×350 複	不良	鎌倉～戦国期	長谷氏 鹿屋氏	長谷氏 鹿屋氏 称寝氏	3.39.121	長谷口	郭、腰郭、空堀、土塁、虎口、大手、からめ手	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
12-21	浜田城	浜田町下浜田	台地端	山林 畠	200×200 複	やや良	南北朝～戦国期	浜田氏	浜田氏		下浜田	郭、空堀、土塁	
12-22	日ヶ城	上萩川字芝原日ヶ城	台地端	白砂山		消滅	南北朝～戦国期				芝原	郭、空堀、土塁、 虎口、のしろ台	
12-23	船隈城	川西町字船隈	台地端	山林 畠 宅地	150×150 複	不良	南北朝～戦国期	鹿屋市 肝付氏	肝付氏	39.121	船隈	郭、空堀、土塁、 通路、大手、堀底道 からめ手	
12-24	古江城	古江町字小城	丘陵	山林	150×300 複	やや良	天文～永禄年間	肝付氏		3.127	小城	郭、空堀、土塁、 のしろ台、通路、 大手、からめ手	
12-25	横山城	福山町字岡元	丘陵上	山林	200×300 複	やや良	南北朝～戦国期	横山氏	富山氏	3.39.121	岡元	郭、土塁、のしろ台 大手、からめ手	
12-26	陣城	永小原	丘陵	山林 荒地	200×500 単	良	南北朝～戦国期	称寝氏				郭、土塁、のしろ台	
12-27	荒平城	天神町小字古城	丘陵端	山林 畠	200×400 複	やや良	南北朝初期～ 永禄年間	荒平氏	荒平氏	128.130	古城	空堀、たて堀、土塁 虎口、のしろ台、 大手、からめ手、堀底道	
12-28	金比羅山臺	大始良町大字 瀬高金比羅山	丘陵上	山林 (墓地)	200×250 複	やや良	南北朝～戦国末期	富山氏			瀬高	郭、土塁、のしろ台 大手、からめ手	
12-29	小牧城	岡原小字小牧城	台地端	山林 畠	400×400 複	やや良	南北朝初期～ 天文年間	小牧氏	小牧氏	131	小牧城	腰郭、空堀、土塁 のしろ台、大手、 からめ手	
12-30	年貫城	南町小字年貫	台地端	山林、宅地 寺社境内地	100×200 複	良	戦国末期～大正2年	佐々木氏 肝付氏 称寝氏	佐々木氏 肝付氏 称寝氏	121	年貫	郭、空堀、土塁、 虎口、大手、堀底道 からめ手、大手	
12-31	山ヶ城	南大字山下小字山ヶ城	山頂	山林	100×200 複	良	戦国末期～ 天文永禄年間	称寝氏	称寝氏(?)		山ヶ城	腰部、空堀、 土塁、のしろ台、 からめ手、大手	
12-32	富前城	川東町小字宮ノ前	台地端	山林 畠	150×300 複	やや良	南北朝～戦国末期	鹿屋氏			宮ノ時	郭、空堀、土塁、 虎口、大手、堀底道 からめ手	(別)川東城
12-33	志々目西城	獅子目町大字西	台地端	山林、畠 寺社境内地	150×200 単	やや良	戦国初期～戦国末期	志々目氏	志々目氏 富山氏		西	郭、空堀、土塁、 虎口、のしろ台、 大手、からめ手	
12-34	観音山臺	高須町字北高須	小丘陵	山林 寺社境内地	50×150 単	やや良	戦国初期～戦国末期	鹿屋氏			北高須	水堀、土塁	
12-35	大塚山臺	南町字大塚山	丘陵	山林	100×100 単	やや良	戦国中期～戦国末期	肝付氏			大塚山		

西之表市

13-1	野久尾城	西之表町上西池ノ窪				消滅	慶長17年～元和元年	種ヶ島氏	種ヶ島氏	47.48.49 50			(別)石峰城
13-2	黒山尻城	西之表町池田	丘陵 平地	畠 宅地		消滅	大永5年～天文5年	種ヶ島氏	種ヶ島氏	47.50	池田、黒山	水の手、井戸	(別)はしわ城 田中城
13-3	赤尾木城	中目榕城 他	丘陵	畠、宅地 山林、学校 墓地	500×600 複	やや良	建仁年中～慶長4年	種ヶ島氏 島津氏	種ヶ島氏	47.48.49 50.51	杉尾、豊山、小田、本城 藤原、石の峯 松原上町、松西上町		(部)内城、新城、 本城、坂ノ上城 (別)上ノ城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
13-4	住吉城	住吉里野	丘陵	山林 島、宅地	200×600 複	やや良	天文10年～天正7年	種ヶ島氏	種ヶ島氏	47.48	前園、中目、 味方原、城の山	藤野、水毛、空堀、折れひずみ ます形、虎口、水の手、池、大手 からめ手、堀底道、古木	
13-5	古城	西之表字古城	丘陵 平地	山林、水 島、宅地 寺社境内地	150×200 複	不良					古堀、北平、御所ノ上 総廻、下宮原、上宮原、野音		
13-6	安納城	大字安納屋所	山麓 丘陵 平地	山林、水田 島、宅地 寺社境内地	200×250 複	やや良		種ヶ島氏	種ヶ島氏	47.48	御所、惣辻、後詰辻 小谷、長尾野、女連ヶ小畑 北野ノ平、牧ノ平		
13-7	屋久田城	大字西之表字屋久田	山頂、山麓 丘陵、平地 (砂丘)	山林、水田 島、宅地 寺社境内地	250×250 複	不良		種ヶ島氏	種ヶ島氏	47.48.49	屋久田、屋久田上、赤城、大園 上園、小畑、島屋、湖野下、澤田 西原状、藁原状、藪		
13-8	古田城	大字古田字中路	山頂、山麓 丘陵、平地	山林、水田 島、宅地 寺社境内地	200×300 複	やや良	長祿2年～元和元年	種ヶ島氏	種ヶ島氏	47.48	中野、海大野、下瀬戸、磯 上清戸、磯、明原寺、中之園、 磯之口、磯口、大磯口、五升苗 木田、前田、古川		
13-9	古城	大字西之表字城内	山頂 丘陵	山林 島、宅地	150×300 複	やや良		高野氏	高野氏	48	城ノ内、将、 符の中峯	藤野、帯郭、土塁、 虎口、水の手、井戸 古木	

名瀬市

14-1	浦上城	浦上字有盛	丘陵	山林 墓、寺社境内地	100×200 複	やや良		平氏	有盛				
14-2	有屋了ジ屋敷	大字有屋字竹ンサク	山頂	山林	100×300 複	不良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		竹ンサク		
14-3	小宿城	大字小宿字城	丘陵	山林 島	100×150 複	やや良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		城		
14-4	知名瀬城	大字知名瀬字城田	山麓	島		消滅	平安後期～	アジ氏	アジ氏		城田		
14-5	根瀬部城	大字根瀬部字城田	丘陵	山林 島	150×400 複	不良	長保2年頃～	アジ氏	アジ氏		城田		(別)グシク・ クシクハテー
14-6	伊津部勝城	大字伊津部勝字城原	丘陵	山林 島	150×150 複	やや良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		城原		(別)高城 (タカグスク)
14-7	中勝原テラ屋敷	大字西仲勝字中勝原	山麓	寺社境内地	150×150 複	不良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		中勝原		
14-8	小湊了ジ屋敷	大字小湊字中村	平地	宅地	150×150 単	やや良		イマランコラ 兄妹			中村		
14-9	朝戸城	大字朝戸字大加	丘陵	山林 島	150×300 複	やや良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		大加		(別)朝戸了ジ屋敷
14-10	上川城	大字知名瀬字上川	丘陵	山林 島	100×200 複	不良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		上川		

鹿児島郡

桜島町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
15-1	横山城	横山字西平地	丘陵	山林公園	250×400 単	やや良	元龜年中～元和元年	長田氏	長田氏、東条氏、島津氏、本田氏、鎌田氏	3.18.19	西平、城山城、山添		(別)長門城、長田城、三角城

吉田町

16-1	本吉田城	本名字瀬戸	丘陵	林	100×250 複	良			吉田氏		瀬戸	郭、空堀	発掘有 (別)カコーカ城
16-2	上城	本城字上城	丘陵	山林 畠	200×250 複	不良			吉田氏	3.20	上城	腰郭、空堀、礎石、古林	(報告書あり)
16-3	松尾城	東佐多浦字松尾城	丘陵	山林	500×600 複	不良	応永末期～元和5年	吉田氏	吉田氏、島津氏	3.14.20.21	松尾城	郭、空堀、たつ堀、土塁、水の手	(別)吉田城
16-4	蕎麦城	宮之浦字馬場園	丘陵	山林	200×300 複	不良	南北朝～		矢上氏	22	馬場園	腰郭、虎口、櫓台、堀底道	

三島村

17-1	青尾の城	三島村大字硫黄島 稲村岳	丘陵	山林	200×300 複	良	文治3年～	上総五郎兵衛 衛尉盛断					(別)東丘の城
17-2	平家城	三島村大字硫黄島 平家城	丘陵	山林 竹林	150×150 複	良	文治3年～	福原氏					(別)高丘の出丸 高丘の城
17-3	永良部崎城	三島村大字硫黄島 播磨崎	丘陵	山林 竹林	100×200 複	良	文治3年～	越中次郎衛 景光					(別)尾崎城
17-4	城ヶ原	三島地大字硫黄島 黒島崎	丘陵	竹林 牧場	150×150 単	良	文治3年～	平氏					(別)西丘の城
17-5	黒木御所	三島村大字硫黄島 中國	平地	宅地	150×150 単	良	元暦元年～			203			
17-6	平家城	黒島字平家城	丘陵	放牧地 山林	200×500 複	良	文治3年～	平氏 日高氏	平氏 日高氏		平家城		
17-7	的城	黒島字片泊	斜面地	荒地	100×100 単	不良	文治4年～	大庭氏	大庭氏				㊦

揖宿郡

喜入町

19-1	網屋城	前之浜字庵山他	山頂	山林	250×400 単	不良	延元年間～	伊作氏			庵山、城之後、水越、小原、西田原、東有田原、城の出入口、牛道、坂廻瀬		(別)あみや城
------	-----	---------	----	----	--------------	----	-------	-----	--	--	------------------------------------	--	---------

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
19-2	上籠城	中名字田中他	丘陵	山林		消滅	治承4年～延元4年	伊作氏	伊作氏		田中，権八ヶ鼻 牛字郡路		
19-3	結黎城	中名字城山字	丘陵	山林	200×500 複	やや良	建久元年～承応二年	伊作氏 伊作氏・島津氏 伊集院氏・浦氏 軒付氏			城山，旧麓，落雷池 上ノ山，太刀瀬ヶ迫 天神免，牧園	堀，空堀	
19-4	琵琶山城	中名字高野他	台地上	島		消滅					高野，高野南，高野東 高野西，高野北		
19-5	米倉城	生見字米倉	山頂	山林	100×200 単	不良	治承初期～	給黎氏			米倉		
19-6	愛宕城	中名字内城他	山頂	山林	100×250 複	やや良					内城，愛宕，垂口 愛宕下，垂口		
19-7	上ノ城	中名字上ノ城他	丘陵	山林		消滅					上ノ城，宇都， 城ヶ野山野		(別) 上ノ城

山川町

20-1	白ヶ城	成川字内山	山頂	草地	150×200 単	不良		額娃氏(?)		3.	内山		
20-2	馬背城	成川字中野	丘陵	荒地		消滅		額娃氏(?)		3.	中野		
20-3	鎌田城	成川字井手	平地	宅地	100×100 単	やや良	天正4年～	鎌倉氏		176.	井手	堀(空堀)	(別) 成川の西殿
20-4	土矢倉城	福元字土矢倉	山麓	山林 学校		消滅	天正16年～	額娃氏		3.	土矢倉		

開聞町

21-1	仙田城	仙田字永迫	平地	宅地	100×100 単	不良						通路	
21-2	上野城	上野字川頭西	丘陵	島 宅地	100×150 単	不良					上野	井戸	
21-3	小城	十町字小城	平地	宅地	100×150 複	不良					小城		

額娃町

22-1	額娃城	郡字古城他	丘陵	山林，島 雑木林	100×200 複	やや良	鎌倉末期～応永27年	額娃氏	額娃氏 島津氏	3.174.178	古城，古城鼻 下干迫	郭，堀，空堀，通路 大手	
22-2	梶山城	郡字上梶山他	丘陵	島 雑木林	100×150 複	やや良	南北朝期～	額娃氏			上梶山，下梶山	郭，腰郭	
22-3	額娃城	郡字城内他	丘陵	山林，水田 島(原野)	400×600 複	やや良	応永7年～天正16年	額娃氏	額娃氏	3.4.22.178 179.180. 181.182	城内，高城，上城山 下城山，城山本屋敷	郭，腰郭，空堀，空堀 堀，堀，空堀，大手 大手からめ手	(別) 獅子城，野首城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
22-4	陣山塁	郡山陣ノ山	丘陵	島	150×200 単	不良	南北朝～戦国期	額姓氏			陣ノ山		
22-5	猫城	御領字田中流地	丘陵	山林・島 雑竹林	150×300 複	やや良	鎌倉中期～南北朝期	額姓氏			田中水流・西高峰 平瀬ノ上・高後平 東高峰・高後平	郭・腰郭・土塁・ ます形・石塁・ 通路・大手	(別)高峰城
22-6	只角城	上別府字東城ヶ平地	丘陵	島 雑木林	100×200 複	やや良	南北朝～戦国期	額姓氏			東城ヶ平 西城ヶ平	郭・堀・空堀	

川辺郡

坊津町

25-1	野首城	大字栗野字野首他	平地	毛地 一部荒地	100×100 複	不良					野首・野首上 向鼻	石塁	
25-2	陣ヶ岳	大字久志陣ヶ尾	山頂	山林		消滅					陣ヶ尾		

知覧町

26-1	亀甲城	郡字城山	丘陵	山林	100×150 単	やや良						腰郭・帯郭・堀 空堀・水の手・井戸	(別)蜷尻城
26-2	知覧城	永里字東ノ榎他	丘陵	山林	500×700 複	良						東ノ榎・西ノ榎・ 北谷・南谷・城内 石坂之上	
26-3	穴ヶ城	郡字穴ヶ城	丘陵	山林	150×350 複	良					穴ヶ城		
26-4	寺師城	郡字西福寺他	丘陵	山林	150×200 単	やや良					西福寺 九日田	堀・空堀	
26-5	古城	郡字古城他	台地端	島	150×200 単	やや良					古城 内持園		
26-6	厚地城	厚地字堀之内	山麓	島	150×150 単	やや良	平安末期～				堀之内		
26-7	野石城	厚地字野石城他	山頂	山林	150×300 単	良					野石城 垂口		
26-8	山石城	厚地字宮谷山	山頂	山林	100×200 単	やや良					宮谷山		
26-9	柴立城	永里字柴建他	舌状台 地	山林 寺社境内地	200×350 単	やや良					柴建 坂之上		
26-10	園田城	永里字城ヶ尾平	台地端	島	200×300 複	やや良					城ヶ尾 桿馬		
26-11	新府	東別府字新府内他	平地	山林 毛地	100×250 複	やや良					新府内 西新府内		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
26-12	為朝城	東別府字中須岡	丘陵	山林	200×200 単	やや良					中須岡		
26-13	川畑城	瀬世字川上田他	台地端	山林 畠	100×300 単	やや良					川上田, 川畑		
26-14	南別府城	南別府字城山他	丘陵	山林	150×150 単	良					城山, 城山道, 城脇, 城車迫, 堀内		
26-15	陣の岡城	西元字城ヶ尾他	丘陵	山林	250×300 複	不良					城ヶ尾 陣之比良		
26-16	猿山古陣	西元字猿山岡他	丘陵	山林	150×300 単	やや良					猿山岡 猿山之面		

川辺町

27-1	平山城	平山字本城他	丘陵	山林	500×700 複	不良	大治5年～ 戦国室町時代	川辺氏	川辺氏	3, 5, 173 174, 175	本城, 花見城 天神城, 新城	郭, 堀, 空堀, 水堀, 大手, からめ手, 土塁, 虎口, 櫓台, 通路	(別)河邊城又は内城 発掘有
27-2	田部田城	田部田字陣他	丘陵	山林 畠 寺社境内地	150×450 複	不良	寛元宝治～	川辺氏	川辺氏	174	陣, 東小城 西小城	帯郭, 空堀, 土塁, 虎口	(別)茶磨ヶ陣
27-3	兎ヶ城	永田字兎ヶ城他	丘陵	山林	300×400 複	やや良					兎ヶ城 上兎ヶ城	帯郭, 空堀	
27-4	勝目城	中山田字城内	丘陵	山林	150×250 複	やや良	文禄8年～	島津氏	島津氏		城内	腰郭, 空堀, 水堀, 土塁, からめ手, まき形, 虎口, 井戸, 大手	(別)山田城
27-5	陣之尾城	上山田字陣之尾他	丘陵	山林 畠	100×200 複	不良	永禄8年～				陣之尾, 城戸坂	帯郭, 空堀	
27-6	堀之内	上山田字堀之内他	平地	水田 畠		消滅			川辺氏		堀之内 東堀之内		
27-7	城ヶ南風城	上山田字城ヶ南風他	丘陵	山林 畠	100×400 単	やや良	平安時代～				城ヶ南風 城ヶ南風頭	帯郭, 空堀	
27-8	野首城	上山田字久保	丘陵	山林 畠	150×250 複	不良	南北朝時代～				久保		
27-9	本別府城	本別別字東陣他	丘陵	山林 畠	200×200 複	不良	鎌倉中期～				西陣, 東陣 陣之迫		
27-10	高田城	高田字城ノ後	丘陵	山林 畠	100×400 複	やや良	文禄3年～慶長15年				城ノ下	郭, 帯郭, 空堀, 土塁, 虎口, 大手, からめ手	(別) 佐多城, 牧ノ城
27-11	堀之内	高田字堀之内	丘陵	山林 畠	150×200 単	不良	鎌倉中期～		千総氏		堀之内	郭, 帯郭, 通路, 大手, からめ手	
27-12	古城	高田字城ノ平	丘陵	山林 畠	100×300 複	不良	鎌倉中期～		平氏		城ノ平	帯郭, 空堀	
27-13	衣刃ヶ城	小野字二反尾畠	丘陵	山林	100×200 複	不良	平安時代～				二反尾畠		

番号	名称	所在地	立地	状況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
27-14	松尾城	野崎字松尾他	山頂丘陵	山林・畠 寺社境内地 宅地	150×300 複	やや良	鎌倉時代～戦国時代	川辺氏	川辺氏 酒匂氏 高津氏		松尾、東城、 加賀山、全勝寺 吉寺庵	郭、腰郭、空堀、 土塁、虎口、大手、 からめ手、堀底道	
27-15	野崎陣	野崎字陣平	丘陵	山林 畠	100×100 単	不良					陣ノ平	虎口	
27-16	桶原陣	野崎字陣の前	丘陵	山林	150×250 複	不良					陣の前		
27-17	市野野小城	清水字小城平	丘陵	山林	150×200 単	不良	平安時代～				小城平		
27-18	河邊氏居館	清水字桜元	平地	水田 畠		消滅	鎌倉時代～	川辺氏			桜元		
27-19	内青折城	清水字内青折	丘陵	山林	100×250 単	不良	平安時代～				内青折		
27-20	古殿諏訪陣	古殿字陣他	丘陵	山林 寺社境内地	150×200 複	やや良					陣、内陣		
27-21	野間陣之尾城	野間字陣之尾	丘陵	山林 畠	250×300 複	やや良	鎌倉時代～	川辺氏			陣之尾	帯郭、堀、空堀、 ます形、虎口、大手	
27-22	大田尾館	野間屋形久保	丘陵	山林 畠	300×300 複	不良	鎌倉期～				屋形久保 屋形久保平	帯郭	

日置郡

市来町

28-1	重信城	大里陣ヶ迫	丘陵	畠	100×150 単	良							(別)重信上城
28-2	詰城	大里木場迫	丘陵	畠	150×300 複	不良							(部)上城
28-3	鍋ヶ城	大里木場迫	丘陵	畠	200×250 複	良							(別)なべんじよ
28-4	河上城	川上中組	山頂	山林	150×400 複	良				112			(別)粹城

東市来町

29-1	鶴丸城	長里字長谷他	山頂 平地	山林	400×400 複	やや良	延元2年～永禄4年	市来氏 新納氏	市来氏 新納氏	113.114	長谷、本寺 大根城	堀、空堀、土塁、 礎石、通路、大手	(部)大根城
29-2	番屋城	長里字番屋城	平地	宅地		消滅	南北朝～室町期				番屋城		
29-3	平之城	長里字平之城	丘陵 平地	山林 畠	200×300 単	不良	南北朝～室町時代				平之城		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
29-4	大田原壘	美山字大田原	山頂	荒地	150×200 単	不良				14.37.108			(別)阿弥陀山
29-5	伊作田城	伊作田字浜之丸	丘陵 平地	山林	150×200 複	不良	南北朝～	伊作田氏	伊作田氏		浜之丸		
29-6	古城	長里字古城原	山頂 平地	山林	200×200 単	やや良					古城原	石壘	
29-7	総陣之尾	長里字陣ヶ尾	山頂 平地	山林		消滅					陣ヶ尾		(別)陣ヶ岡
29-8	得仏城	長里字得仏ヶ字都	平地 山の中間	山林 中腹(半分荒地)		消滅				113	得仏ヶ字都		
29-9	梶城	伊作田字梶原	山頂 平地	山林 畠		消滅					梶原		
29-10	向梶城	伊作田上梶	丘陵 平地	畠		消滅					上梶		

伊集院町

30-1	一字治城	大田字神前城他	山頂 山麓 山麓 平地	山林	500×600 複	良	万寿3年～建久8年	伊集院氏	島津氏	108	神明城、釣旗城、上平城、中平城、弓旗城、阿字城、上中尾、下中尾、屋敷内	郭、膳郭、堀、空堀、土壘、虎口、井戸、大手、からめ手、堀底道	(別)鉄丸山 伊集院城
30-2	大田城	大田字越ノ山他	山頂 山麓 山麓 平地	山林 畠	200×300 複	良	久安6年～建久9年	大前氏	大田氏 寺脇氏 時吉氏	210	越ノ山、城山、山邊、下谷平、敷田尾	郭、石壘、水の手	(別)大前城、時吉城
30-3	内城	飯牟礼字古城	山頂	畠 宅地		消滅	鎌倉中期(?)	島津氏	島津氏	108	古城		(別)古城、平城
30-4	大内山城	徳重字瀬戸内	山頂 山麓	山林	300×300 複	良				108	瀬戸内		(別)小城原
30-5	上神殿城	上神殿村字向江	丘陵	山林 宅地	150×250 単	不良			橋口氏 島津氏 菱刈氏		向江	堀、空堀、たて堀	(別)城山
30-6	長崎城	大字土橋字長崎	丘陵	山林 畠	350×400 複	不良				3	長崎		(別)長崎壘
30-7	小城	徳重字小城	山頂 山麓	山林	150×300 複	良				108	向江		

松元町

31-1	石谷城	石谷西折頭	丘陵	山林 畠 寺社境内地	150×300 単	良	弘治元年～文永6年	伊集院氏 長門氏 町田氏	町田氏 伊集院氏	3.4	石谷下	空堀、井戸、大手、からめ手	
31-2	谷口城	福山字福山	丘陵	山林 畠	100×1400 複	やや良	享禄年間～天文6年	肥後氏	肥後氏	3.4	福山	堀、空堀	(別)福山壘
31-3	春山城	春山字城ノ丘	山頂	山林	400×900 複	やや良	元中6年～ 延元元年～ 明徳3年		島津氏 伊集院氏	3.4.137 138.139 140	城の丘	空堀、井戸	

郡山町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
32-1	松尾城	郡山字松尾	山頂	山林	500×500 複	やや良			郡山氏 入来院氏		松尾	堀,空堀,水の手,土塁,石塁, ます形,犬走り,井戸,のしろ台 通路,大手,からめ手	(部)詰城,城山城 (別)郡山城
32-2	平城	西保字平城	山頂	山林	200×400 複	やや良			比志島氏		平城	空堀,犬走り,大手 からめ手,堀底道	(別)平ん城
32-3	聖ノ城	西保字利田	山頂	山林	150×350 単	やや良			西保氏			堀,空堀,土塁, ます形	(別)和田城
32-4	有屋田城	有屋田字別府原	山頂	山林	200×600 単	やや良			伊集院氏		別府原	堀,空堀,土塁,石塁,犬走り 水の手,大手,からめ手, 堀底道	
32-5	川田城	川田字城	山頂	山林	150×200 複	良			川田氏		城	堀,空堀,土塁,犬走り,井戸, 石土指むすびます形,水の手, 礎石,通路,水手,からめ手	(別)馬越城
32-6	毘沙門城	東保字谷口他	山頂	山林	300×300 複	やや良					谷口,立平	犬走り,空堀,土塁 堀底道	(別)城ノ松
32-7	水ノ手城	郡山字水の手	山頂	山林	150×300 単	やや良					水の手	堀,空堀,大手, 堀底道,通路	(別)城
32-8	陣ノ尾城	東保字宇都頭	山頂	山林	200×300 複	やや良					宇都頭	空堀,堀,土塁, 通路,大手,堀底道	
32-9	厚地城	厚地字長谷	山頂 平地	宅地	150×150 単	不良			島津氏		長谷	空堀,堀,大手, 堀底道	(別)岩戸城,田島城
32-10	油須木城	油須木字上ノ原	山頂	山林	200×250 複	やや良			島津氏		上ノ原	堀,空堀,土塁,通路 大手,からめ手	

日吉町

33-1	井尻城	吉利字妙見他	丘陵	山林 畠 宅地	150×250 複	不良	元享4年～		小藤田氏	122	妙見,井尻	郭,腰郭,空堀, ます形,井戸	
33-2	井手ヶ城	吉利字石町	丘陵 平地	宅地		消滅	正中元年～正平元年			14,124	石町		
33-3	勝手ヶ城	吉利字田ノ頭	丘陵	山林 寺社境内地	100×200 複	やや良	文治5年～康永元年		若松氏	125	田ノ頭	井戸	
33-4	田平城	吉利字城ノ尾	山麓	山林 畠 宅地		消滅	天文2年～				城ノ尾		
33-5	南谷城	吉利字南谷	丘陵 平地	畠 宅地	50×150 複	良	文祿4年～明治元年		称寝氏 小松氏	5,133	南谷		
33-6	野崎城	吉利字野崎	丘陵	山林 宅地	100×150 複	不良	康永元年～		称寝氏 深谷氏	14	野崎		
33-7	若松城	吉利字南谷	丘陵	畠 宅地		消滅				5,14,122	南谷	腰郭,帯郭,水の手 礎石	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
33-8	松尾城	日置字内城	山麓 山頂	山林 畠 宅地	200×700 複	不良	文治元年～	小野氏	小野氏・日置氏 山田氏・島津氏	14.124.129	内城		(別)山田城、日置城
33-9	古垣城	日置字松尾	丘陵	宅地	150×300 複	不良	康永元年～明治初年	島津氏		14.122.124	松尾	ます形、井戸	(部)島津お飯屋
33-10	吉利古城	吉利原田	丘陵 平地	畠 宅地		消滅	大永6年～弘治元年	吉利氏	吉利氏	132.204	原口		(別)第1吉利城
33-11	吉利城	吉利原口	丘陵 平地	畠 宅地		消滅	天文12年～文禄4年	吉利氏	吉利氏 伊集院氏	132.204	小園	郭、腰郭、空堀、 井戸	(別)第2吉利城
33-12	領家政所	吉利前畑	丘陵 平地	畠 宅地		消滅	正中元年～	郡司氏	郡司氏	3.122	前畑		近所に地頭所跡
33-13	春日城	日置字春日	丘陵	山林 畠	100×150 複	不良	南北朝～貞和2年	郡司氏	郡司氏		春日		

吹上町

34-1	池之城	大字中原中津	丘陵	山林	200×450 複	不良	弘安年間			72	中津	空地、池	(別)イケンジョウ
34-2	伊作城	中原字麓	山頂	山林 畠	400×700 複	やや良	弘安年間～鎌倉末期	島津氏	島津氏	72.3	麓	腰郭、空堀、ます形 虎口、井戸、通路、 大手、からめ手	(別)亀丸城、 石亀丸城、殿の城 県指定
34-3	亀山城	中原字亀山	山頂	山林	250×350 複	やや良	弘安年間～鎌倉末期			72	亀山		
34-4	中原城	中原字王蔵	平地	山林 畠 宅地	400×400 複	不良	～建武4年	益山氏 古木氏		72	王蔵	空堀	(別)上之城
34-5	柙ヶ峰城	中原字柙ヶ峰	山頂	山林	100×400 複	不良	弘安年間～鎌倉末期			72	柙ヶ峰	空堀	
34-6	堀ノ内	中原字堀之内	平地	畠 宅地		消滅					堀之内		
34-7	山ノ城	中原字山瀬戸	山頂	山林 宅地	100×100 複	不良	弘安年間～鎌倉末期				小瀬戸	空堀	(別)山瀬戸城
34-8	打越城	湯之浦字小牧	山頂	山林 畠 宅地	150×400 複	不良	永仁元年～	島津氏	島津氏	72	打越	空堀	
34-9	皮籠石城	湯之浦字鍋石	山頂	山林 水田、畠	100×150 複	不良	弘安年間～鎌倉末期				鍋石	空堀	(別)西ノ城、天ノ城 鍋石城
34-10	三石城	湯之浦字小牧田	山林 畠 宅地	台地	150×150 複	不良	弘安年間～鎌倉末期			72	小牧田		
34-11	大牟田城	田尻字大牟田	山頂	山林 畠 宅地	100×250 複	不良	弘安3年～鎌倉末期				大牟田	堀	(別)ウタン城
34-12	田尻城	田尻字灰鶴他	山頂	山林	200×200 単	不良	弘安3年～鎌倉末期				灰鶴、城ヶ崎		(別)瀬戸口城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
34-13	天ヶ城	和田字天ヶ城他	山頂	山林 宅地	200×300 複	不良					天ヶ城・陣之尾 陣之平	堀	(別)陣ヶ岡城
34-14	梶ノ城	永吉字梶		山林 畠	200×200 複	不良					梶		(別)カキン城
34-15	南郷城	永吉字宇都山	山頂	山林	200×600 複	不良	文治元年～天文2年 正治元年	桑波田氏	桑波田氏 上井氏 島津氏	3.37.201	野首城	空堀. ます形	(部)野首城 永岩城
34-16	勇介城	永吉字野首	平地	山林 畠	150×250 複	不良			伊作氏 桑波田氏		野首		(別)勇ヶ城 いさみかじょう
34-17	田中城	和田字梶井	丘陵	山林 畠 宅地	100×200 単	やや良	建久年間～弘安年間	伊作氏			梶井	空堀	(別)和田城

金峰町

35-1	鶴之城	花瀬字城内他	丘陵	畠 宅地	100×200 複	不良	保延年間～	阿多氏	阿多氏 島津氏	3	城内, 下野首 内田迫, 上野首 太之馬場		(別)阿多城
35-2	上床城	浦之名字上床原他	丘陵	山林 畠 宅地	150×250 複	不良	永正12年～天文年間		上床氏	3	上床原, 東上床原, 外城 片平田, 西ノ迫		
35-3	貝殻崎城	宮崎字貝殻崎	台地	畠	150×150 単	不良	建久3年～応永年間	鯨島氏	鯨島氏	3	貝殻崎		(別)鯨島城
35-4	古城	宮崎字城之岡	丘陵	山林 畠	100×150 複	不良			源氏(?)	3	城之岡		(別)城之岡, 宮崎城
35-5	亀ヶ城	尾下字城梶他	丘陵	畠 宅地 寺社境内地	200×350 複	不良	文明年間初期～	高津氏	高津氏	3	城, 梶, 比手, 迫畑		(別)田布勢城 亀山城
35-6	江田城	中津野字城之越	丘陵	山林	200×300 単	不良	天文年間～			3	真門砂入	水の平, 井戸	(別)城越, 中津野城
35-7	牟田城	高橋字真門砂入	平地	畠		消滅	正応5年～	二階堂氏	二階堂氏		真門砂入		(別)高田城
35-8	牟礼ヶ城	池辺字小城園他	丘陵	山林	200×400 複	不良	延慶2年～応永13年	二階堂氏(?)	二階堂氏	3	小城園, 牟礼城 南平, 牟礼ヶ城 藁ノ前, 向田平	堀, たて堀	(別)池辺城, 小城岡
35-9	今城	花瀬字上今城原	台地	畠	350×350 複	不良	興国3年～正平2年			3	上今城原 下今城原		(別)今城原
35-10	稜敷本陣	宮崎字宮田水入	平地	畠		消滅	～天文7年			3.202			

薩摩郡

樋脇町

36-1	市比野城	市比野字城下他	丘陵	山林	150×350 複	やや良	～戦国時代		入来院氏	3.14	城下, 城後	堀, たて堀, 土塁, 折れひずみ, 水の手	
------	------	---------	----	----	--------------	-----	-------	--	------	------	--------	---------------------------	--

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
36-2	内田城	市比野字上之段後	丘陵	山林 宅地	150×250 複	やや良	～戦国時代	入来院氏	入来院氏		上ノ段後、内田	腰郭、帯郭	
36-3	久木野城	市比野字笹原	丘陵	山林	100×150 複	やや良	～戦国時代	入来院氏	入来院氏		笹原	腰郭、帯郭、堀	(別)久留主城
36-4	隈之城	塔之原字熊之城段	丘陵	山林 畠	200×200 複	不良	正応3年～元亀元年				熊之城段	堀、たて堀	
36-5	助之城	塔之原字菅野	山頂	山林 畠	200×300 複	やや良	正応3年～元亀元年	渋谷氏	渋谷氏		菅野	堀	
36-6	高城	塔之原字大丸他		山林 畠	150×150 複	やや良	正応3年～元亀元年	渋谷氏	渋谷氏		大丸、木場田	土塁、ます形	
36-7	高城	塔之原字高城・	山頂	山林 畠 宅地	150×200 複	不良	正応3年～元亀元年				高城	土塁、折れひずみ	
36-8	樋脇城	塔之原字城内	丘陵	寺社境内地	200×400 複	やや良	正応3年～元亀元年	渋谷氏	渋谷氏	3.14	城内		
36-9	前田城	塔之原字甘ヶ字都	丘陵	山林 畠	150×250 複	不良	正応3年～元亀元年	入来院氏 渋谷氏	入来院氏 渋谷氏	3.14	妙甘ヶ字都	堀、空堀、土塁、 ます形	
36-10	野首城	倉野字諏訪上地	丘陵	山林、宅地 寺社境内地	150×250 複	やや良	正応3年～元亀元年	倉野氏	倉野氏	3.14	諏訪上圃	土塁、ます形、水の手	(別)野久尾城 倉野城

入来院町

37-1	清色城	浦之名字後之迫地	丘陵	山林、水田 畠、宅地 寺社境内地	600×600 複	良	長和元年～明治2年	入来院氏	入来院氏 渋谷氏	73.74.75.76 77.78.79.80 81.82.83	後迫、薩之坂 古春、園畑、 上樋之口	郭、堀、空堀、大手 水の手、通路、堀底道 からめ手、堀底道	(別)入来院
37-2	洲上城	大字浦之名字近井手他	丘陵	山林、畠 寺社境内地	200×300 複	良	平安後期～中世末期 至治2年	洲上氏	洲上氏 渋谷氏	73.74.75.76 77.78.79.80 81.82.83	近井手、椎木迫 松坂、上ノ山、 崩ノ迫	郭、腰郭、土塁、通路	
37-3	箕冠城	字浦之名字黒武者他	丘陵	山林	200×400 複	良	鎌倉末期～戦国末	渋谷氏	入来院氏 渋谷氏	73.77.88.89 90	黒武者 椎木ヶ丸、小原		
37-4	川床城	浦之名字川床他	丘陵	山林	250×300 複	良	13世紀中頃～16世紀末	入来院氏 渋谷氏	種田氏	73.77.88.90 91.92	川床、兎田、 平田、舟越	堀、空堀	(別)朝陽城
37-5	榎城	大字浦之名字榎	丘陵	山林 畠	100×300 複	良	至治2年～中世末迄	洲上氏	洲上氏 渋谷氏	73.75.77.78 84.85.86.87 88.89.90	榎	堀、空堀、土塁	
37-6	大住吉城	副田字大里他	丘陵	山林、畠 寺社境内地	300×300 複	やや良	鎌倉中期～16世紀末		入来院氏 渋谷氏	73.75.77.86 87.93.94.95 96	大里、大住原、 牛木ヶ丸	腰郭、空堀、水堀	(別)大住城
37-7	榎城	字副田字地藏原他	丘陵	山林、畠 宅地	250×400 複	やや良	鎌倉中期～16世紀末	渋谷氏	渋谷氏	73.75.77.86 93.94.96.87	地藏原、榎下、 牛木ヶ丸、鳥渡 舟越	腰郭	(別)榎之原城

東郷町

38-1	斧淵城	斧淵字古城	丘陵	山林 畠	150×300 複	やや良	建久9年～正平13年	東郷氏	東郷氏	3	古城		(別)国司城
------	-----	-------	----	---------	--------------	-----	------------	-----	-----	---	----	--	--------

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
38-2	鶴ヶ岡城	斧淵字城内	丘陵	山林	600×700 複	やや良	宝治2年~天正16年	渋谷氏	渋谷氏	3.4	城内	土塁	(別) 国見城 (部) 南城、山崎城、 高城、川原城、二丸
38-3	原之城	斧淵字梅木ヶ迫	丘陵	山林 畠	200×250 複	やや良		東郷氏	西山氏 宮野氏 烏丸氏	3.4.5	梅木迫		
38-4	仮屋城	山田字丸田	丘陵	山林 畠	200×500 複	やや良				3.37	丸田		
38-5	山田城	山田字城之尾	丘陵	山林 畠	150×200 複	やや良				37	城ノ尾		
38-6	古城	南瀬字大堀	丘陵	山林 畠	200×250 複	やや良				3	大堀		
38-7	智屋城	南瀬字智屋城ヶ段	丘陵	山林 畠	100×200 複	やや良					智屋堀ヶ段		
38-8	古城	南瀬字上平田	丘陵	山林 畠	150×300 単	やや良				3	上平田		

宮之城町

39-1	余ヶ城	山崎字餘ヶ城	山崎	山林 畠	150×300 複	やや良					餘ヶ城	土塁	(別) 余城ヶ段
39-2	山崎城	山崎字下太田	丘陵	山林	150×250 複	やや良		大前氏	祁答院氏	3.148.150	下太田	空堀	(別) 中城
39-3	於天城	船木字於天城	丘陵	山林	150×200 単	やや良				149	於天城		(別) おて城
39-4	城ノ段	二度字城ノ下他	丘陵	畠	50×150 複	やや良					城ノ下、城ヶ迫		(別) 折小野城
39-5	高城	二度字高城	丘陵	山林 畠	200×500 複	やや良			渋谷氏 東郷氏	3.150	高城		(別) 平城
39-6	府城	虎居諏訪字宇都	丘陵	山林	200×400 複	やや良					諏訪宇都		
39-7	轟原城	虎口字原口	丘陵	山林	100×200 複	やや良				148.149	原口		
39-8	松尾城	虎居字松尾	山林 丘陵	畠	150×300 複	やや良	康応~弘治3年	渋谷氏 祁答院氏		148.149	松尾		
39-9	久富木城	久富木字野久尾他	丘陵	山林	250×300 複	やや良	~14世紀中頃		渋谷氏	3.148.149 150	野久尾、山住 横橋		(別) 平城
39-10	松尾城	久富木字上横橋	丘陵	山林	200×200 複	良				3.150	上横橋		(別) 松尾段
39-11	平城	久富木字城ヶ峯	丘陵 平地	山林 水田	100×100 単	不良			久富木氏		平城、城ヶ峯	郭	(別) 城ヶ峯

番号	名	称	所	在	地	立	地	現	況	規模・形状	残	存	度	存	統	期	間	築	城	者	在	城	者	文	献	地	名	造	構	備	考			
39-12	栗脇城		白男川字栗ノ脇		丘陵	山林	山林	100×100 複	不良														150		栗ノ脇					(別)城ヶ岡				
39-13	白男川城		白男川字城下		丘陵	山林	山林	200×300 複	やや良														149.150		城下					(別)古城				
39-14	恋ノ菓城		船木字城ノ段		山麓	島	島	150×150 単	やや良														149		城段					(別)城ノ段				
39-15	古城		船木字古城		丘陵	島 宅地	島	200×300 複	不良														148.149		古城									
39-16	古城		屋地字古城		丘陵	山林	山林	200×250 単	やや良																	古城								
39-17	虎居城		屋地字薬師院他		丘陵	山林	山林	150×400 複	やや良														大前氏 島津氏 赤谷氏、北郷氏	3.148.149		薬師院、城段 城内、入女、 井穴、東口					(別)中城、下ノ城 宮ノ城			
39-18	古城		田原字古城		丘陵	山林 島	山林 島	200×350 複	不良																	古城								
39-19	鶴ヶ城		田原字鶴ヶ城		丘陵	山林	山林	150×200 複	やや良															149		鶴ヶ城								
39-20	城木場城		平川字城木場		丘陵	山林 島	山林 島	150×300 複	不良																	城木場								
39-21	新城		平川字城		丘陵	山林	山林	150×300 単	不良															148.149		城					(別)平川城			
39-22	時吉城		時吉字城中他		丘陵	山林 島	山林 島	250×300 複	やや良														大前氏	148.149		城中、平ノ前 弓場ヶ追 舟渡ヶ追					(別)上ノ城 高岡城 西岡城			
39-23	単ヶ城		田原字単ヶ城		丘陵	山林	山林	150×200 複	不良																	単ヶ城								
39-24	単ヶ城		田原字ヨキトキ他		平地	山林 島	山林 島	150×250 複	不良																	ヨキトキ、九尾								
39-25	湯田城		湯田字城		丘陵	山林 島	山林 島	100×300 複	やや良														大前氏	3.148.149		城					(別)古城			
39-26	中城		時吉字中城		丘陵	寺社境内地	寺社境内地	100×100 単	やや良																	中城								
39-27	古城		平川字悪四郎原		丘陵	島 山林	島 山林	150×150 単	やや良															148.149		悪四郎原					(別)タモト城			
39-28	穴城		白男川字穴城		丘陵	山林	山林	200×200 単	不良																	穴城								

鶴田町

40-1	梅ヶ君城		鶴田字城内		山頂	山林 島 寺社境内地	山林 島 寺社境内地	150×300 複	やや良													島津氏	島津氏	3.5.170		城内			(別)鶴ヶ城		空堀、井戸	
------	------	--	-------	--	----	------------------	------------------	--------------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	-----	---------	--	----	--	--	--------	--	-------	--

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
40-2	鷹の巣陣	鶴田字竹下	山頂	山林	150×250 単	やや良			鶴田氏 島津氏	3.5.170	竹下		(別)関白陣、太閤陣
40-3	鶴田城	鶴田字古城	丘陵	山林 島	200×250 複	やや良	応永8年～天正7年			3.5.148 170	古城		(別)古城、中山城
40-4	丸尾城	鶴田字丸尾	丘陵	山林 山	200×400 単	やや良	応永年間～			14	丸尾		
40-5	萩之平陣	鶴田字萩之平	山頂	山林	100×150 複	やや良	応永8年～			3.5.148 170	萩之平		(別)アタゴ山
40-6	善福寺陣	鶴田字島廻	山頂	山林 宅地	50×100 単	やや良	応永8年～			3.5	島廻		
40-7	神崎山陣	鶴田字木場迫	山頂	山林	150×200 単	やや良	応永8年～			3.5.148 170	木場ヶ迫		
40-8	鷲の巣陣	鶴田字鷹ノ巣	山頂	山林	150×350 単	やや良	応永8年～			3.5.170	鷹ノ巣		
40-9	城之段	神子字城ノ段	山頂	山林 島	200×300 複	やや良					城ノ段		
40-10	城ヶ字都	柴尾字城ヶ字都	山頂	山林	150×300 単	やや良					城ヶ字都		(別)高岡、錦ヶ尾
40-11	築瀬城	柴尾字築瀬	丘陵	山林 島 保存所敷地	150×300 複	やや良					築瀬		(別)築瀬殿
40-12	椿城	柏原字御手水	山頂	山林	150×200 複	やや良		大前氏	大前氏 祐喜院氏		御手水		(別)愛宕山
40-13	長岡城	柏原字城ヶ迫	山頂	山林 島	100×300 複	やや良		大前氏	大前氏 祐喜院氏	3.148.170	城ヶ迫		
40-14	ヨヶガ迫陣	鶴田字ヨヶガ迫	山頂	山林	150×250 複	やや良					ヨヶガ迫		
40-15	球摩陣	鶴田字西平	山頂	山林	150×300 複	やや良					西平		(別)熊ノ陣

薩摩町

41-1	境田城	求名字城ノ前他	丘陵	山林 島	150×500 複	やや良	明徳3年～	河野氏	河野氏	3.171	城ノ前、内原 フヌケ田 城ヶ崎	堀、空堀	
41-2	戸子田城	求名字前畑他	山頂	山林 島	200×300 複	やや良					前畑、山中	堀、空堀	(別)辻の丘
41-3	中津川城	中津川字手ハギ山他	丘陵	島 墓地	150×500 複	やや良					手ハギ山、提田	堀、空堀	
41-4	松尾城	永野字城ノ下	山頂	山林 島	300×300 複	やや良	康応年間～永禄12年		渡谷氏 祐喜院氏	3.5.172	城ノ下	石塁	(別)長野城

祁答院町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城単	在城者	文献	地名	遺構	備考
42-1	蘭牟田城	大字蘭牟田小字城山	山頂	山林	100×400 複	良	平安末期～室町末期	祁答院氏 大前氏	祁答院氏 大前氏		城山	郭、土塁、土橋 通路、大手、堀底道 からめ手、堀底道	(別)弦掛城
42-2	片城	大字蘭牟田小字片城	山頂	山林		消滅	文明年間～文禄9年	北原氏	北原氏 養嗣子氏		片城		
42-3	高城	大字蘭牟田小字遠見ヶ城	山頂	山林	200×300 複	やや良	文明12年～永禄3年	祁答院氏	北原氏 養嗣子氏		遠見ヶ城	堀、空堀、石垣	(別)海老ヶ城 遠見ヶ城
42-4	西之城	大字蘭牟田小字西之城	山頂	山林	100×150 複	やや良	平安末期～室町末期	祁答院氏(?)	祁答院氏 大前氏		西之城	堀、たて堀、通路、 堀底道	
42-5	大久保城	大字下手小字大久保池	山頂	山林 畠	100×200 複	やや良	室町中期～室町後期	祁答院氏(?)	祁答院氏(?)		大久保、左屋元	堀、空堀、土塁、 折れひすみ、土橋、 通路、堀底道	
42-6	大村古城	大字下手小字城ノ下池	山頂	山林	200×400 複	やや良	平安末期～室町末期	大前氏	大村氏、平田氏 吉岡氏、滝間氏		城ノ下、陣内	郭、堀、空堀、土塁、 大手 折れひすみ、通路、 からめ手、堀底道	(別)大村城 永福城
42-7	菊池田城	大字下手菊池田	丘陵	山林 畠		消滅					菊池田		
42-8	新城	大字下手字岩下	山頂	山林	200×300 複	やや良	室町末期～永禄9年	祁答院氏	祁答院氏		岩下	郭、堀、空堀、土塁 至、土橋、土塁 通路、大手、堀底道 からめ手、堀底道	
42-9	松尾城	大字下手字松尾	山頂	山林	300×300 複	やや良	室町時代～永禄9年	祁答院氏	祁答院氏		松尾	堀、たて堀、通路、 堀底道、湧水	
42-10	滝間城	大字下手字滝間	山頂	山林	150×250 複	やや良	平安末期～	大前氏	滝間氏		滝間	郭、湧水	
42-11	西牟田城	大字上手小字西牟田	山頂	山林	150×300 複	やや良	安土桃山～寛永10年	西牟田氏	西牟田氏		西牟田	郭、堀、空堀、 たて堀、土塁、折れ ひすみ、通路、堀底道	

里村

43-1	亀城	里字城山	丘陵	山林、 畠、 水田、 宅地 (公園)	100×150 複	やや良			小川氏	3	城山	水堀、井戸、大手	(別)単人居城
43-2	鶴城	大字里	丘陵	山林 畠	100×150 複	やや良			小川氏				⑧

下飯村

45-1	大成	手打字飯屋	丘陵	畠	100×200 複	不良	承久時代～近世初期		小川氏		飯屋、茶円	腰郭、空堀	(別)如天
------	----	-------	----	---	--------------	----	-----------	--	-----	--	-------	-------	-------

出水郡

高尾野町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
47-1	紅葉城	柴引字城内他	山麓丘陵	山林、宅地 集落、公氏堀 森砂場		消滅	天正8年～元和元年	島津氏(?)	宮原氏		城内、小陣 西小陣		(別)高尾野成 砂原城
47-2	本城	下高尾野字高城	丘陵	山林	150×300 複	不良	～正治2年(?)				高城		
47-3	新城	下高尾野字新城	平地	山林 宅地	150×250 複	不良	～正治2年頃(?)				新城	堀、空堀	
47-4	竹林城	江内字木牟礼	平地	宅地		消滅	文治2年～永享2年	本田氏	本田氏		木牟礼		
47-5	木牟礼城	江内字尾崎	平地	島 宅地		消滅	文治2年～永享2年	島津氏 本田氏	島津氏		尾崎		

野田町

48-1	亀井山城	上名字城内他	丘陵	山林	300×500 複	やや良	保元元年～貞和元年	千葉氏 鯨島氏	千葉氏	164	城内、城の平	堀、空堀	(別)亀井城
48-2	新城	上名字新城	山頂	寺社境内地	150×300 複	やや良	天文17年頃～永祿8年	島津氏	島津氏	161	新城、城の平	帯郭、空堀、土塁	(別)亀井新城
48-3	尾ノ無城	上名字山城	山頂	山林	200×250 複	不良					山城	帯郭、井戸	
48-4	越地城	上名字城ノ迫	丘陵	山林	150×300 複	不良					城ヶ迫	空堀	(別)為朝城 為朝一夜の陣
48-5	木牟礼城 屋形跡	下名字屋地他	丘陵	宅地	300×800 複	不良	建久7年～	本田氏	島津氏		屋地、東笠掛、 耳取、西笠掛、 金剛園	水の手、土塁、 折れ心すみ	

東町

49-1	高羅城	鷹巣字牌之内他	丘陵	公園 字校	150×200 複	不良	天文6年～元和元年			163	大山寺、牌之内 馬場ノ下	堀、空堀、土塁、池	(別)鷹ノ巣城
49-2	山門野城	山門野字城ノ岡	山頂 丘陵	山林 畠	100×200 複	不良	鎌倉時代～室町時代			165	城之岡	郭、腰郭、堀、空堀 土塁、石塁	

長島町

50-1	鬼城	平尾字鬼城他	丘陵	山林	100×200 複	やや良	鎌倉時代～戦国時代				鬼城、上鬼城、 菅ノ前、庵屋敷 庵前、館前	腰郭、堀、空堀、 通路	(別)鬼ヶ城
50-2	堂崎城	城川内字御城内他	岬	山林、島 寺社境内地	100×250 複	やや良	南北朝期～戦国末期	長島氏	長島氏	161、162、 163	御城内、本馬場 内馬場、複ノ丸 仮屋ノ上	郭、土塁、石塁、 通路	(別)長島城 城川内城

伊佐郡

菱刈町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
51-1	市山城	大字市山字薩摩迫	丘陵	山林	500×800 複	良	建久5年～寛永11年	入山氏	入山氏、菱刈氏、 前田氏、新藤氏	3.46	薩摩迫、大丸 野首	郭、腰郭、空堀、 たて堀、土塁、井戸	(別)入山城 →山城
51-2	太良城	大字南浦字西川	丘陵	山林、宅地 会社敷地	300×350 複	やや良	建久5年～慶長19年	菱刈氏	島津氏 菱刈氏	3.46	西川	郭、腰郭、空堀、 水堀、たて堀、大手 からめ手、堀底道	(別)平城、本城
51-3	花北城	大字花北字丸山	丘陵	山林	200×350 複	良	嘉暦元年～慶長15年	牛尿氏	花北氏 菱刈氏、島津氏	46	丸山	郭、腰郭、空堀、 たて堀、通路、 大手	(別)鳥ヶ城
51-4	飛田城	下手字飛田	丘陵	山林	150×400 複	良	永禄年前後			46	飛田	腰郭、空堀、たて堀 大手、からめ手	
51-5	湯ノ尾城	川北字湯之元	丘陵	山林 (公園地)	250×300 複	良	建久5年～慶長19年	菱刈氏	菱刈氏 島津氏	3.46	湯之元	郭、空堀、水堀、 たて堀、大手、 からめ手	(別)水天城
51-6	馬越城	前目字城山	丘陵	山林	150×400 複	良	建久5年～寛永7年	馬越氏	馬越氏、菱刈氏 井手氏、大塚氏	3.46	城山	郭、腰郭、空堀、 たて堀、土塁、通路、 大手、からめ手、堀底道	(別)高見城
51-7	球摩陣	下手字比良田	山頂 丘陵	山林	150×300 複	やや良	永禄年間			3.46	比良田	郭、堀、空堀、 たて堀	
51-8	荒田岩	荒田字早風下	丘陵	山林 畠	200×300 単	やや良	永禄10年～12年	島津氏	島津氏	3.46	早風下	郭	(別)荒田陣、陣ノ岡
51-9	陣城	田中	台地端	山林	200×300	やや良	戦国						④
51-10	徳辺城	徳辺	台地端	山林	150×500	やや良	戦国						④

始良郡

加治木町

52-1	岩屋城	大字木田字岩屋寺	山麓	山林	150×200 複	不良					岩屋寺	石塁、池	
52-2	柵城	大字小山田字上学力	丘陵	平地		消滅	不安末期～慶長12年	加治木氏	加治木氏		上学力	水の手	
52-3	加治木城	大字反土字本丸他	丘陵	山林 島 宅地	400×1000 複	やや良	平安末期～慶長12年	加治木氏	加治木氏 伊地知氏 肝付氏		本丸、寺ノ上、松尾 向江城、瀬戸ノ上 大手口、井手口、下新堀	郭、堀、空堀、 水の手、井戸、大手	(別)本城、古城 龍門ヶ城
52-4	葛原塁	大字日本山字西の原	丘陵	山林	200×300 単	不良					西の原	堀、空堀	(別)楠原塁
52-5	陣ヶ平	大字日本山字龍口	山頂	山林	150×450 単	不良	文和4年～天文18年	島山氏	島山氏 伊集院氏		龍口、陣ヶ平		(別)黒川崎

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
52-6	かたはらので 土器園壘	大字日木山字黒川	山麓	宅地 墓地、国道	150×200 単	不良	南北朝～ 文和3、4年頃	畠山氏	畠山氏		黒川		
52-7	やくら 奴久良城	大字日木山字前原	丘陵	ゴルフ場		消滅					前原		
52-8	向陣	大字区土字小陣	平地	水田		消滅					小陣	井戸	
52-9	大藏館	大字日木山字観音宇都	山麓	寺社境内地	100×100 単	不良		大藏氏	大藏氏		観音宇都、園田		
52-10	内城	西別府	台地 低丘	畑地 山林	400×500 複	不良	戦国						
52-11	陣ノ尾城	小山田	低 丘陵上	ゴルフ場		消滅	戦国						
52-12	日之迫壘	小山田	低 丘陵上	山林	200×300	やや良	戦国						㊦

始良町

53-1	岩鏡城	平松字下山ノ口	山頂	山林	200×300 複	不良	～天文23年	渋谷氏	渋谷氏	3	下山ノ口	郭、腰郭、堀、石塁 礎石	(別)剣の平、剣の峯
53-2	下城	北山字下城	丘陵	山林	250×250 複	やや良	南北朝～文禄2年	平山氏 梅北氏			下城	郭、腰郭、堀	
53-3	城瀬城	平松字城瀬	山麓	山林	150×200 複	やや良					城瀬	堀、土塁	
53-4	新城	三十町字三十町	山頂	山林	150×200 複	不良	明応4年～弘治元年	辺川氏	辺川氏、伊藤知氏 藤谷氏、藤田氏	3.5	三十町	郭、堀、空堀	
53-5	諏訪城	平松字城ヶ字都	山頂	山林	150×250 複	やや良	享徳3年～文明18年	島津氏	島津氏	3	城ヶ字都	郭、腰郭、堀	(別)宇都城
53-6	惣陣鹿倉山	平松字平田	山頂	山林	150×300 複	不良	～天文23年	島津氏	島津氏	3	平田	郭	
53-7	高城	住吉字高城	山頂	山林 島	150×200 複	不良	南北朝～	平山氏	平山氏	68	高城	郭、腰郭、石塁	
53-8	建昌城	西餅田字建昌	山頂	山林	500×600 複	やや良	享徳3年～文明18年	島津氏	島津氏	3.67.68	建昌城	郭、腰郭、堀、からめ手 土塁、折れむすみ、 櫓台、大手	(別)瓜生野城
53-9	山田城	上名字中城	山頂	山林	200×200 複	不良	～大永7年	源氏 川越氏	源氏 川越氏、梅田氏	3.5	城	郭、堀、礎石	(別)王城山、為朝城 上名中城
53-10	中甕城	北山字中甕	山頂	山林	100×150 複	不良	弘治3年～文禄2年	平山氏	平山氏		中甕	郭、井戸	(別)古城 北山丸城
53-11	古城	中津野字瀬戸上	山頂	山林	100×100 複	不良	南北朝～享徳4年	平山氏	平山氏	3.68	瀬戸上、テイロ	郭、腰郭	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
53-12	中城	北山字二の瀬戸	山頂	山林	150×150 複	不良	弘治3年～文禄2年	平山氏	平山氏		二の瀬戸	郭、腰郭、土塁	
53-13	萩峯城	西餅田字拾石迫	山頂	山林	200×250 複	不良	正平12年～	島山氏 野元氏	野元氏	3.68	拾石迫	郭、堀	(別)餅田丸城
53-14	日高比良	平松字山ノ口	山麓	山林		消滅	～天文23年	島津氏	島津氏	3.5	山ノ口	石塁	
53-15	平松城	平松字上星原	山麓	小学校	150×200 複	やや良	～天文23年	島津氏	島津氏	3.5	上星原	郭、石塁、井戸	
53-16	狩集陣	平松字城瀬他	山頂	山林	100×250 複	不良	～天文23年	島津氏	島津氏	3	城瀬、山口		
53-17	為朝城	上名字城ノ平	山頂	山林	150×200 複	不良		源氏(?)	源氏(?)		城ノ平		(別)内田城
53-18	上脇城	木津志字上脇	山頂	山林		消滅					上脇	郭、腰郭	
53-19	平山城	鍋倉字本丸	山頂	山林 寺社境内地	500×500 複	やや良	弘安年中～文禄4年	平山氏	平山氏	3.68.69	本丸	郭、帯郭、堀、空堀 水の手、のしろ台、 大手、からめ手	(別)平安城
53-20	茶臼城	西餅田字上場	丘陵	山林	300×500 複	不良	南北朝時代～	平山氏	平山氏	5	上場	土塁	(別)餅田城、上場城
53-21	焼山宮	平松字山口他	山麓	山林	100×100 複	不良				3.5	山口、下山ノ口	郭、堀	
53-22	白銀坂陣	脇元字龍ノ字都他	山頂	山林	100×150 単	不良	～天文23年	島津氏	梅北氏 島津氏	3.5	瀧ノ字都、平田		
53-23	帖佐館	鍋倉字字都	平地	宅地 寺社境内地	100×150 複	やや良	文禄4年～慶長11年	島津氏	島津氏	68.69	字都	ます形、石塁、井戸	(別)酒屋地
53-24	北山城ケ段城	北山字城ケ段	丘陵	山林 畠	100×200 複	やや良	南北朝～戦国末期				城ケ段		
53-25	上名楠ヶ丸城	上名字楠ヶ丸	丘陵	山林	100×300 複	やや良	南北朝～戦国末期				楠ヶ丸		
53-26	陽春院城	上名小字陽春院跡	丘陵	山林 宅地	100×100 複	やや良	戦国中期～戦国末期				陽春院跡		
53-27	中城	中津野字中城他	丘陵	山林、宅地 寺社境内地	100×200 複	やや良	南北朝～戦国末期	平山氏(?)	平山氏(?)		中城、瀬戸上		
53-28	大山城	上名字柳丸他	丘陵	山林	200×450 複	やや良	南北朝～戦国末期				柳丸、大丸 高首、百田		(別)上名、柳丸城
53-29	下名陣ノ尾城	下名字陣ノ尾	丘陵	山林	150×150 複	やや良	戦国中期～戦国末期				陣ノ尾		
53-30	鍋倉柳丸塁	鍋倉字柳丸	丘陵	山林	100×400 単	不良	南北朝～戦国中期	平山氏	平山氏		柳丸		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
53-31	三十町陣ノ尾	三十町字陣之尾	丘陵	山林	100×150 複	やや良	大永元年～大永7年	川上氏			陣ノ尾		
53-32	井手丸壘	春花字井手丸	丘陵	山林	100×150 複	やや良	天正3年～	敷根氏	敷根氏		井手丸		
53-33	餅田中ノ丸	東餅田字中ノ丸	小台地	宅地	100×100 単	不良	鎌倉中期～戦国	平山氏	平山氏		中ノ丸		
53-34	平松山ノ丸壘	平松字山ノ丸	丘陵	山林	150×200 単	不良	奈良時代～戦国末期	大隅氏			山ノ丸		
53-35	寺師柳丸城	寺師字柳丸	丘陵	山林 宅地	200×200 複	やや良	南北朝～戦国				柳丸		

蒲生町

54-1	北村城	北字小迫	丘陵	山林	200×500 複	不良	鎌倉時代～弘治3年	北村氏	北村氏	3.14.37 143.144 147	小迫	菅野、空堀、土塁、 礎石、櫓台、大手、 からめ手	(別)矢宮城、高城
54-2	尾ヶ城	下久徳字弓場ヶ宇都	丘陵	山林	150×150 複	不良	弘治2年～弘治3年	島津氏	島津氏	142.144	引場ヶ宇都 金丸	空堀、水の手、櫓台 大手	(別)新櫓、陣
54-3	蒲生城	久未字竜ヶ山他	丘陵	山林	1000×1300 複	不良	保安4年～弘治3年	蒲生氏	蒲生氏	3.14.37 141.142 143	竜ヶ山、細川、外口、 下城、三浦下、建山、 建山下	郭、空堀、空堀、礎石 水の手、からめ手、ます形 櫓台、大手、古木	(別)竜ヶ城
54-4	松坂城	米丸字松坂他	丘陵	山林 水田	200×300 複	不良	天文弘治年間	中原氏	市菜氏 中原氏	3.5.14.37 142.143 144.151	松坂、御納戸	菅野、大走り、堀、空堀、 土塁、水の手、櫓台、通路 のしろう台、大手、堀底道	
54-5	梶野城	漆字梶野	丘陵	山林	150×200 複	不良	天文～弘治2年	楠氏	楠氏	3.5.142 145	梶野	水の手、通路	(別)馬道の山、府城
54-6	松元城	漆字松元	丘陵	山林	100×150 複	不良	戦国時代	楠氏	楠氏	3.5.142	松元	ます形、水の手 通路、大手	
54-7	本南陣	漆字荒田原	山頂	山林	100×150 単	不良	戦国時代	楠氏	楠氏	3.5.142	荒田原	水の手、大手	
54-8	遠江ヶ壘	漆字野峯口	丘陵	山林 島 宅地	150×150 単	不良	戦国時代	楠氏	楠氏	3.5.142	野峯口	水の手、通路、大手	
54-9	切手園	漆字切手園	丘陵	山林	200×400 単	不良	弘治2年	島津氏	島津氏	3.5.142	切手園	水の手、大手、 からめ手	
54-10	平之城	米丸字平之城	平地	山林		消滅	天文～弘治年間				平之城	のしろう台、大手	
54-11	馬立陣	上久徳字陣	丘陵	山林	200×200 複	不良	弘治2年～弘治3年	島津氏	島津氏	3.14.37 142.143	陣	水の手、櫓台、大手	
54-12	貝皿陣	上久徳字貝皿	丘陵	山林 島 宅地	200×400 複	不良	天文～弘治年間	島津氏	島津氏		貝皿	水の手、櫓台、大手	
54-13	堂之平	米丸字堂ノ平	山頂	山林	100×200 単	不良		山ノ内氏	山ノ内氏		堂ノ平	水の手、大手	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
54-14	平ノ城	白男字平ノ城	丘陵	山林	150×350 複	不良	天文～弘治年間	島津氏	島津氏	3	平ノ城	水の手、大手 からめ手	
54-15	向城	白男字向城	丘陵	山林 畠	150×300 複	不良	天文～弘治年間	島津氏	島津氏	3.145	向城	水の手、大手	
54-16	掛橋	北字掛橋	山頂	山林	200×300 単	不良	天文～弘治年間	北村氏		142	掛橋	水の手、大手	
54-17	金原	白男字金原	山頂	小学校敷地		消滅	天文～天文23年	蒲生氏	蒲生氏	1.19	金原	大手	
54-18	菱刈陣	米丸字陣平他	丘陵	山林 畠	200×200 複	不良	弘治2年～弘治3年	菱刈氏	菱刈氏	3.14.37 142.143 146	陣平、外陣 陣ヶ平	水の手、櫓台 大手、からめ手	(別)菱刈寨、北村宮 瀬戸城、高陣
54-19	蛙ヶ城	下久徳字蛙ヶ城	平地	宅地		消滅	保安4年～弘治年間	蒲生氏	蒲生氏(?)	141	蛙ヶ城		
54-20	城ヶ崎	下久徳字城ヶ崎	丘陵	山林 養鶏場	100×150 複	不良	弘治年間	島津氏	島津氏	3	城ヶ崎		(別)武田どんの屋敷
54-21	松原陣	西浦字松原他	丘陵	山林	150×400 複	不良	天文弘治の頃	蒲生氏	蒲生氏(?)		松原、竹下 追田		(別) ハガクシノウシト
54-22	陣	久未字北枝	丘陵	山林 宅地	200×200 単	不良	天文弘治の頃	蒲生氏	蒲生氏(?)		北枝		

溝辺町

55-1	高松城	有川字高松	山頂	山林	200×400 複	やや良			北原氏		高松	腰郭、犬走り、 堀、たて堀	
55-2	高松山城	三繩字高松	丘陵	山林	150×200 複	やや良					高松	腰郭、犬走り、堀 空堀、土塁	
55-3	玉利城	崎森字玉利	丘陵	山林 宅地	150×200 複	やや良					玉利	犬走り、堀、たて堀	
55-4	溝辺城	麓字平山田	山頂	山林	150×500 複	やや良			溝辺氏 富山氏 肝付氏		平山田	腰郭、犬走り、堀 通路、たて堀、土塁 水の手、櫓台	
55-5	中丸城	玉利字中ノ丸	台地端	宅地 山林	150×150 複	やや良	南北朝～戦国末期	肝付氏			中ノ丸		

横川町

56-1	片城	中ノ下尾田	丘陵	道路 山林	300×400 複	良	永祿年間	島津氏	島津氏			郭、堀	(別)中尾田城 発堀右
56-2	鳥越城	中ノ下尾田	独立 丘陵	山林	150×200 複	やや良						郭、堀	
56-3	長坂上城	中ノ長坂上	丘陵	山林	200×300 単	良							

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
56-4	横川城	中ノ字城山	山頂丘陵	山林	700×700 複	やや良	承久年間～永禄5年	横川氏	横川氏			郭、空堀、土塁	発掘有 (別)長尾城
56-5	横川古城	上ノ字古城	山頂	畠山林	400×600 複	やや良	寛永年間～永禄6年	北原氏	横川氏 北原氏 河内氏			水の手、土塁、井戸 折れひすみ	(別)横川城 出城の跡
56-6	宇都墨	上ノ字南ノ迫	平地	工場用地		消滅	永禄年間	北原氏	横川氏 北原氏 島津氏			郭	
56-7	佐々木城	下ノ字大崩	山頂	山林	100×150	やや良		佐々木氏				空堀	㊦

栗野町

57-1	松尾城	木場字	山麓平地	山林	500×600 複	やや良	天正15年～天正末	島津氏	島津氏	3.167	本城、炭城	空堀	(別)栗野城
57-2	坂元城	米永字鐘月	山頂	山林	150×400 複	やや良				166	鐘月	堀、空堀	
57-3	北里城	北方字大迫	山頂	山林畠	300×300 複	不良	正平7年～正平8年 文和元年～文和2年		島山氏 島津氏	1	大迫	堀	(別)彦崎城
57-4	上村城	上村	台地端	山林畑地	300×400	やや良	戦国時代						㊦
57-5	笹峯城	木場笹峰	台地端	山林	300×400 ×2	良	戦国時代						(別)上古城、古城 ㊦
57-6	新城	木場新城	台地端	山林	200×300	良	戦国時代						發
57-7	陣ノ岡	幸田陣ノ岡	丘陵上	山林	200×200	やや良	戦国時代						發

吉松町

58-1	亀鶴城	大字鶴丸字城	山頂	山林	150×300 複	消滅	～永禄元年	北原氏	北原氏 島津氏		城		
58-2	中城	大字中津川麓	台地端	宅地畠	200×250	やや良					中ノ城		發
58-3	赤坂城	川西	台地端	畑地	200×400	やや良	戦国時代						發
58-4	麿城	中津川堀之内	低丘陵端	山林	300×300	やや良	戦国時代				堀之内		發

牧園町

59-1	踵城	原窪田字城山	山頂	山林	200×500 複	やや良	享禄年間	北原氏	白坂氏 島津氏	3.5.22	城山	堀、空堀、通路	
------	----	--------	----	----	--------------	-----	------	-----	------------	--------	----	---------	--

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
59-2	改田城	下中津川字向田平	山頂	山林	250×400 複	やや良		改田氏	改田氏		向田平	堀、空堀、土塁	(別)城ヶ岡
59-3	小唯城	宿窪田字雀ヶ原山	山頂	山林	150×300 複	やや良							
59-4	馬込城	馬込	丘陵端 小台地	山林、 畠地	200×600 単	やや良	戦国中期～戦国末期						

霧島町

60-1	大窪城	大窪字大窪	丘陵	山林	300×400 単	やや良					大窪		
60-2	梶城	田口字楯井	丘陵	山林	200×500 複	不良					楯井	空堀	
60-3	永入城	永入字笹ノ段他	丘陵	山林	200×500 複	やや良	平安時代～戦国時代				笹ノ段、後迫 草場		
60-4	川北城	川北字大丸他	丘陵	山林	200×300 複	やや良	南北朝～戦国時代	税所氏			大丸、小丸	空堀	

隼人町

61-1	荒瀬城	西光寺字湯田	丘陵	山林、 畠地	250×300 複	やや良						空堀、ます形、石塁	
61-2	小田城	小田岩神	丘陵	山林 畠	150×200 複	不良						郭、石塁	
61-3	咲隈城	内	丘陵	山林	200×700 複	不良		北原氏、本田氏 渋谷氏、伊藤院氏	3			郭、空堀、石塁	(別)隈之城
61-4	鶴ヶ城	松永	丘陵	山林 宅地	300×300 複	不良			3			郭、空堀、石塁	
61-5	富隈城	真孝大里	平地	宅地 寺社境内地	200×300 複	やや良	文禄4年～慶長9年	島津氏	3			郭、空堀、石塁、 礎石	
61-6	長浜城	小浜	丘陵	山林、水田 畠、宅地	600×700 複	不良			3			郭、空堀、ます形、 石塁	(別)生別府城
61-7	野神城	朝日	山麓 丘陵	山林、水田 畠、宅地	300×300 複	やや良			3			空堀、ます形、井戸	
61-8	日当山城	西光寺城下	山頂 丘陵	山林、水田 寺社境内地	150×150 複	不良		北原氏、本田氏 日野氏、中津川氏 伊藤院氏	3			郭、空堀、石塁、 井戸、礎石	
61-9	平熊城	松永平熊	丘陵	山林 畠	150×250 複	不良			3			郭、空堀、ます形 石塁、井戸	
61-10	茶臼ヶ城	東郷	山頂 丘陵	山林 畠	150×300 複	やや良			3			郭、腰郭、水堀、 石塁、水の手	

番号	名・称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
61-11	角井ヶ城	西光寺平田	山頂	山林、 山地、 寺社境内地	150×200 複	不良			3		平田	郭、たて堀、石塁、 井戸	(別)後代日当山城
61-12	湯之峯砦	姫城小野	山林 丘陵	山林、 老地	200×200 複	不良			3		山野	折れひずみ、石塁	
61-13	石踊砦	姫城石踊	丘陵	山林 老地	100×100 単	やや良	南北朝～戦国時代	秘所氏			石踊		
61-14	内山田砦	内山田豊丸他	丘陵	町公共施設		消滅	奈良時代～戦国中期	大伴氏			豊丸、獅子尾山		
61-15	上野一上山城	嘉例川山ノ城他	台地端	山林	400×700 複	やや良	奈良時代				山ノ城、上山城		
61-16	堀之内内砦	小浜堀之内	丘陵	山林 水田	200×200 複	やや良	南北朝～戦国時代				堀之内		
61-17	大丸砦	野久美田大丸	丘陵	山林	150×200 単	やや良	南北朝～戦国時代				大丸		
61-18	真孝高城	真孝高城	平地	畠、 宅地、 市営住宅、 寺社境内地	200×250 単	不良	南北朝～戦国末期				高城		
61-19	小浜古城	小浜古城	丘陵	山林 老地	150×400 複	やや良	南北朝～戦国末期				古城		
61-20	陣之尾城	西光寺陣ノ尾	丘陵 端	山林	100×350 複	やや良	戦国中期	大隈氏			陣之尾		
61-21	槇尾城	槇尾	低 丘陵上	山林 神社	200×250	不良	戦国時代						㊦

福山町

62-1	馬立砦	福山字南園	平地	畠	100×150 複	不良	永禄4年～	島津氏	島津氏	3	南園	空堀	(別)古城、古城周い
62-2	廻城	福山字麓	山頂	山林	250×700 複	良	建久7年～慶長7年	廻氏、 肝付氏、島津氏、 伊集院氏	廻氏、 伊集院氏	3.185	麓	空堀、土塁、石塁	(別)仁田尾城 空堀有
62-3	竹原山陣	福山字竹原山	丘陵	山林	100×300 複	やや良	永禄4年～	北郷氏、 島津氏	北郷氏、 島津氏			堀、空堀	(別)高原ヶ陣
61-4	惣陣ヶ丘陣	福山字牧ノ原	山頂	山林	100×500 複	不良	永禄4年	島津氏	島津氏		牧ノ原		(別)大塚砦、大牟礼
62-5	福山古城	福山字旧城	丘陵	山林	200×250 単	やや良	奈良時代～戦国時代	大隅氏			旧城		
62-6	宝瀬城	福山字城ノ尾	台地端	山林、 老地	250×600 複	やや良	戦国中期～戦国末期	廻氏			城ノ尾		
62-7	小廻古城	小廻	丘陵 中腹	山林 みかん山	100×200	やや良	南北朝～戦国時代						㊦

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
62-8	古石城	大廻	丘陵 中腹	山林	200×500	やや良	南北朝～戦国時代						㊦
62-9	福地城	福地	小丘陵	山林	250×700	やや良	南北朝～戦国時代						㊦
62-10	福沢城	福沢	台地端	山林	300×350	やや良	南北朝～戦国時代						㊦

曾於郡

大隅町

63-1	岩北城	中之内字土成屋敷	丘陵	山林	200×200 複	良					土成屋敷	土塁	(別)土成城
63-2	梶井城	中之内字陣之尾	丘陵	山林 畠	200×400 複	不良					陣ノ尾	土塁	
63-3	新城	中之内字北山	丘陵	山林 畠	250×400 単	やや良		新納氏	新納氏	3.5.14 152	生首迫(旧字) 北山, 城迫	土塁	
63-4	槻野城	月野字岡川路	丘陵	小学校		消滅			島津氏 肝付氏 若松氏		岡川路		
63-5	手取城	中之内字城他	台地端	山林	200×350 複	良		鎌倉末期	岩川氏	3.126 153	城, 手取, 陣ノ元	空堀	
63-6	恒吉城	恒吉囲他	山頂	山林	300×500 複	良			肝付氏, 北郷氏 新納氏 伊集院氏	1.2.3.143	囲, 陣ノ尾 陣ノ内	空堀, 土塁	(別)日輪城
63-7	馬場城	岩川字上馬場	沖積地	寺社境内地		消滅		鎌倉末期	岩川氏	126, 154	上馬場		(別)いわお城
63-8	(旧) 槻野城	月野字手水川他	山頂 丘陵	山林 畠 宅地	200×300 複	やや良	南北朝～元龜3年		肝付氏		手水川, 堂迫 坂ノ上, 井手谷		
63-9	柳井谷城	中之内字城ヶ尾他	山頂 丘陵	山林 畠 宅地	200×500 複	やや良				3	城ヶ尾, 野首 遠目塚, 上山中		
63-10	飯田城	岩川字宮田他	丘陵	宅地	150×200 複	不良					宮田, 深田		
63-11	広津田城	月野字井神山他	山頂 丘陵	山林 畠	500×1600 複	不良	建武年間～元龜年間		肝付氏		井神山, 関ヶ迫 鳥井段, 国見岡 竹迫		
63-12	上府城	恒吉字上圃	台地端	山林 畠	250×350 複	やや良	南北朝～慶長4年		山田氏		上府, 馬場	空堀, 大て堀, 大手 からめ手, 堀底道	
63-13	坂元城	坂元字城山他	丘陵 台地端	山林	250×500 複	やや良	南北朝～戦国期		岩川氏		城山, 城ヶ谷 三反田	腰郭, 空堀, 土橋 大手, からめ手	
63-14	岩元城	月野字岩元他	丘陵	山林	300×500 複	やや良	南北朝～戦国末期		肝付氏		野首, 堂山, 岩元	腰郭, 空堀, 大手 からめ手, 堀底道	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
63-15	愛宕山塁	長江字大路他	丘陵	山林	200×300 複	やや良	南北朝～戦国末期				大路、愛宕山		
63-16	大谷城	大谷字本城他	丘陵 台地端	山林 畠 宅地	150×500 複	やや良	南北朝～戦国末期	肝付氏			本城、城ヶ原 城ヶ迫	腰郭、空堀、虎口、土塁 のしろ台、大手 からめ手、堀底道	
63-17	伊屋松城	月野字伊屋松	台地端	山林 畠 宅地	350×350 複	やや良	南北朝～戦国末期	肝付氏	肝付氏 新納氏 北郷氏		伊屋松	空堀、大手 からめ手	
63-18	松尾田城	月野字野首	丘陵	山林	300×400 複	やや良	戦国中期～戦国末期	新納氏			野首		
63-19	中大谷城	大谷字中大谷	丘陵	山林 畠、宅地	350×500 複	やや良	戦国末期～慶長4年				中大谷	腰郭、空堀、たて堀 大手、からめ手 堀底道	
63-20	岡元城	月野字岡元	丘陵	山林	300×700 複	やや良	戦国中期～戦国末期	新納氏 島津氏			岡元		

輝北町

64-1	加瀬田ヶ城	平房字城山	山頂	山林	150×350 複	良	文禄4年～元和元年	肝付氏	肝付氏 伊賀倉氏 市成氏、山田氏 新納氏、中村氏、川島氏 島津氏、伊集院氏 吉田氏、備前氏	3	城山	犬走り、堀、空堀 たて堀、水の手、通路、大手 からめ手、堀底道、古木	(別)高雲加世田城
64-2	白岩城	上百引	丘陵	山林	150×400 複	良	弘治2年		伊賀倉氏			腰郭、犬走り、井戸、空堀 ます形、大手	(別)御城ヶ山、うし城
64-3	垂野城	市成字小字大園	丘陵	山林	200×450 複	良	弘安元年～享徳3年		市成氏、山田氏 肝付氏、伊集院氏 島津氏、新根氏			腰郭、犬走り、堀、空堀 堀底道、土塁、折れひすみ、 通路、大手	(別)鶴舞城
64-4	西原城	上百引	丘陵	公園	150×250 複	やや良		函師氏	函師氏			犬走り、空堀	(別)舞天城
64-5	小城	下百引	丘陵	宅地	50×100 単	やや良	～天文7年		島津氏 肝付氏				(別)崩城
64-6	百引本城	百引	丘陵	山林	150×200 複	やや良			肝付氏 島津氏			犬走り、空堀	
64-7	登見城	市成字登見山	丘陵	公園	150×200 単	やや良	奈良時代初期 戦国時代	市成氏 大隈氏	市成氏 小田氏		登見山	のしろ台	
64-8	諏訪原城	諏訪原字朝倉	台地端	山林	300×700 複	やや良	戦国中期～戦国末期	山田氏(?)	山田氏		城ノ元	空堀、たて堀、虎口 大手、からめ手	

財部町

65-1	黒棚陣	南俣字石塚	山麓	山林	100×300 複	やや良	慶長4年～	島津氏	新納氏、島津氏 伊集院氏 北郷氏	186	石塚	折れひすみ	
65-2	花平陣	南俣字丸鶴他	山頂	山林	150×300 複	やや良	慶長4年～	島津氏	島津氏	186	丸鶴、城ヶ原	ます形	(別)城ヶ原
65-3	竜虎城	北俣字水の手他	丘陵	公園	300×500 複	やや良	永正4年～元和元年	財部氏	新納氏、北郷氏 伊集院氏 島津氏	187	水の手、城之口	郭、空堀、土塁	(別)北俣城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
65-4	提城	下財部字塚田他	丘陵	山林	100×200 複	やや良	南北朝時代	提氏	提氏		塚田		
65-5	城ヶ尾陣	下財部字西栗須	丘陵	島	100×200 単	やや良	享祿元年～	北郷氏	北郷氏 島津氏 新納氏		西栗須		

末吉町

66-1	末吉城	大字諏訪方 小字湯ノ尻他	丘陵	山林 宅地	400×900 複	やや良	建久7年～慶長年間	稲村氏	島津氏		湯ノ尻、田村	郭、空堀	(別)鳥籠城 (別)内城、中城、宇城、下平城、 野久尾城、馬場城、南城
66-2	宝珠庵城	大字深川 小字深川西	台地端	宅地 墓地	200×300 複	良	永祿3年～慶長年間	伊勢氏	伊勢氏 島津氏		深川西	空堀	
66-3	平松城	大字南之郷 小字陣ノ山	台地端	山林	600×800 複	良	天正年間～	本郷氏	本郷氏		陣ノ山、陣ノ前	郭、堀、土塁	(別)陣城
66-4	岩北城	岩北字内堀	台地端	山林、 水田 宅地 台地端	200×300 複	やや良	戦国中期～戦国末期	新納氏					
66-5	虎丸城	岩崎虎丸	台地端	山林、 島 宅地	150×200 複	やや良	戦国中期～戦国末期	新納氏	新納氏			空堀、たて堀、大手 からめ手、堀底道	
66-6	橋野居館	橋野字楯	台地	島 宅地	250×400 単	やや良	平安中期	平氏	平氏		楯		
66-7	上ノ城	深川	台地端	畑地	250×300	やや良	戦国時代						㊦
66-8	野首小陣	深川	台地端	畑地 山林	200×350	良	戦国時代						㊦
66-9	南郷城	南郷堀之内	低丘陵	山林	200×400	やや良	戦国時代						㊦

松山町

67-1	松山城	新橋字松尾他	山頂	公園	300×500 複	やや良	文治4年～	平氏	平氏、赤松氏 平山氏、肝付氏	189	松尾、野久尾 馬場、射場	空堀	(別)松尾城
67-2	秦野城	秦野字京の峯	山頂	山林	200×400 複	やや良				188	堀之内、南中	空堀	
67-3	尾野見城	尾野見	台地端	山林 畑地	200×350	やや良	戦国時代						㊦

志布志町

68-1	新城	帖宇都上	丘陵	山林 島	150×250 複	不良	永祿7年～		肝付氏				発掘有
68-2	高城	帖高城	丘陵	山林	150×400 複	やや良			島津氏		高城		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文獻	地名	遺構	備考
68-3	内城	帖内城他	丘陵	山林 畠	250×650 複	やや良			島山氏、島津氏 新納氏、肝付氏	3.160	内城、野首、高浜	腰郭、犬走り、空堀 土塁、石塁、虎口、 井戸	(別)城山、名古屋 広朝城
68-4	松尾城	帖松尾	丘陵	山林	300×400 複	やや良	建久2年～天正5年		檢井氏 島津氏 新納氏		松尾	郭、腰郭、犬走り、空堀 土塁、石塁、水の手、 大手、からめ手	(別)白雉城 西谷城、玉山
68-5	安楽城	安楽和田他	丘陵	山林	150×250 複	やや良			安楽氏 島津氏 新納氏	160	和田、宮下	郭、腰郭、犬走り、 空堀、土塁	
68-6	夏井城	夏井前田他	丘陵	山林 宅地 畠	200×300 複	やや良	～天正5年	新納氏	新納氏 肝付氏		前田、樋口		
68-7	陣岳畠	帖宇都上他	丘陵	山林	150×250 畠	やや良	戦国中期～戦国末期	新納氏			陣岳		

有明町

69-1	片平城	大字蓬原字木ノ下	丘陵	山林	150×200 複	不良	平安末期～	教仁院氏	教仁院氏	156.157	木ノ下		(別)片平古城
69-2	蓬原城 ふつはら	大字蓬原字出水	丘陵	山林	100×200 複	良	平安末期～	教仁院氏	教仁院氏、肝付氏 伊集院氏、大野氏 大寺氏	1.3.14	出水	堀、空堀、土塁	
69-3	金丸城	大字蓬原字金丸	丘陵	山林 宅地 シラス採取場	150×250 複	不良					金丸	空堀	
69-4	高牧城	大字山重字高牧	丘陵	山林	100×300 畠	良					高牧	堀	

大崎町

70-1	金丸城	井俣字西井俣	丘陵	山林 畠	100×150 複	やや良	鎌倉時代～延文4年	教仁院氏	教仁院氏		西井俣	郭、腰郭、犬走り 堀、通路	
70-2	大崎城	飯宿字馬場他	丘陵 平地	山林、宅地 学校敷地	250×700 複	不良	天正5年～慶応3年	比志島氏 迫水氏	比志島氏 迫水氏	3.190	馬場、城内	腰郭、堀、ます形	
70-3	胡摩ヶ崎城	飯宿字飯宿下	山頂 丘陵	山林	100×250 複	やや良	建久元年～文明2年		肝付氏(?)	3.190	飯宿下	郭、腰郭、犬走り、 堀、土塁、通路	
70-4	楯谷城	永吉字楯谷	丘陵	山林 畠	150×500 複	やや良	鎌倉時代	肥後氏	肥後氏	190	楯谷	腰郭、犬走り、堀 土塁、ます形	
70-5	天守城	菱田字在郷	丘陵	山林 畠	150×200 複	やや良	鎌倉初期～平安末期		楯井氏	3.190	在郷	腰郭、堀、土塁、 水の手	
70-6	野御城	永吉字崎園	山頂	山林 畠	100×350 複	不良	建久元年～天正8年		千葉氏、名越氏 島津氏、新納氏	190	崎園	腰郭、犬走り、堀	
70-7	野方娘煙台	野方字曲迫	山頂	山林	100×150 複	良				3.190	曲迫	のしろ台	
70-8	竜相城	神領字天子丘他	丘陵 平地	山林、 宅地	200×400 複	不良	建久元年～天正5年	肝付氏	肝付氏 島津氏 新納氏	3.190	天子丘、神領町 穂園、後迫	郭、腰郭、犬走り、 堀、土塁、ます形	(別)井出田城 大崎城

番号	名称	所考地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
70-9	庐山城	上持留字庐山	台地端	山林、畠	300×350 複	やや良	戦国時代～天正2年	庐山氏(?)	庐山氏(?)		庐山		(別)山ノ城
70-10	松尾塁	野方字松尾	丘陵	山林	200×250 単	やや良	南北朝～戦国末期				松ノ尾		
70-11	楯井城	野方字水之谷他	丘陵	畠	150×300 複	やや良	南北朝～戦国期	肝付氏			水の谷、楯井		
70-12	大崎古城	神領字古城	古墳 利用	宅地	100×200 単	不良	南北朝～戦国時代	教仁卿氏				空堀	
70-13	矢ヶ城	岡別府	台地端	畑地 山林	150×250	やや良	南北朝～戦国期						㊦
70-14	横瀬城	横瀬	台地端	山林		やや良	南北朝～戦国期						㊦

肝付郡

串良町

71-1	肝付氏古城	下小原字園田	平地	山林 畠	150×400 複	不良	戦国時代～永禄9年	肝付氏		42	園田		(別)城之園
71-2	松崎城	上小原字松崎	台地 端城	山林 畠 寺社境内地	200×300 複	やや良	南北朝初期～	松崎氏	松崎氏		木府木元、東谷 横堀	空堀、たて堀、土塁 通路、堀底道	
71-3	北原城	細山田字平瀬	丘陵	山林	250×600 複	やや良	長寛2年～正平12年	北原氏	北原氏	3.42.43	城山、城山下、 宝山	郭、腰郭、空堀 のしろ台	
71-4	串良城	岡崎字麓	台地端	山林	300×500 複	不良	文明2年～	平田氏	肝付氏、平田氏、 島津氏、伊集院氏、 藤原氏、横鼻崎氏	3.42.43.44	麓	郭、腰郭、帯郭、 虎口、のしろ台	(別)鶴亀城
71-5	細山田城	細山田字生栗須	丘陵	山林	150×200 複	やや良		細山田氏			中水流、徳島 後迫、東頭		
71-6	小原城	上小原字城ヶ崎	台地端	山林 畠、宅地	150×200 複	やや良	南北朝初期	松崎氏			久保ノ下、薄中 牧神ノ下	空堀、土塁、ます形 通路、大手	(別)城ヶ崎城
71-7	白寒水城	下小原字白寒水	台地端	山林 共同墓地 寺社境内地	200×200 複	やや良	南北朝初期～戦国期	津野氏	津野氏	42.43	白寒水	腰郭、空堀、水堀、たて堀 土塁、ます形、虎口、大手 のしろ台、からめ手	
71-8	岡崎城	岡崎字城ヶ鼻	突出 台地端	山林、畠 宅地 寺社境内地	150×250 複	やや良	正平9年～応永18年	田代氏	田代氏	45	城ヶ鼻、西ノ下 三角畑、天神畑 牧ノ内、柳の丸	郭、堀、空堀、土塁 堀底道	(別)城ヶ鼻
71-9	中山城	上小原字中山	台地端	山林	200×300 複	不良	～南北朝初期	津野氏		42.43		堀、空堀	
71-10	肝付氏古城	岡崎字西ノ丸	平地	畠	100×400 複	不良	平安末期～	肝付氏	肝付氏	43.45	西ノ丸		(別)西ノ丸居館
71-11	稲村城	下小原字寒水	丘陵	山林	150×250 複	やや良	南北朝初期～戦国期	津野氏	津野氏		後藤迫、稲村迫	堀、空堀、通路 土塁、堀底道	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
71-12	中村城	岡崎字竹之内	丘陵	山林、畠 宅地	150×400 複	やや良	南北朝～				竹ノ内	空堀	
71-13	北原氏居館	細山田字北原	平地	山林 畠		消滅	長寛2年～正平12年	北原氏	北原氏、寺崎氏 内之浦氏、大蔵氏 伴氏、梶見氏		北原	空堀、通路	
71-14	霧島城	細山田字下中	丘陵	山林、宅地 神社敷地	200×200 複	やや良	7世紀末～8世紀初期				霧島領、古川		

東串良町

72-1	別府ヶ城	小字別府ヶ城	平地	畠		消滅		肝付氏	肝付氏		別府城、城山 城堀込		
72-2	曲之城	新川西字曲之城	平地	水田		消滅		肝付氏	肝付氏		曲之城、古市、南古市 漆原、馬場、堀内、 弓場前		
72-3	堀込城	新川西字崩尾	平地	水田 畠		消滅		肝付氏(?)	肝付氏(?)		崩尾、城堀込		
72-4	笹塚城	新川西字笹塚	平地	水田 畠		消滅		肝付氏(?)	肝付氏(?)		笹塚		
72-5	下伊倉城	新川西字城ノ山他	平地	山林、畠 水田、墓地古墳	200×300 複	やや良		肝付氏	肝付氏	3	堀之山、水洗、池廻、竹下 釜倉、古川、竹原、龜崎、 堀川堀、樋ノ原	水堀、土塁、ます形 堀、通路、からめ手 大手、古木	(別)肝付氏古城東の丸 伊倉城
72-6	岩弘城	岩弘字後迫他	丘陵	山林	150×150 複	やや良	応永18年～明応4年	平田氏	平田氏	3.37	後迫、権現迫、牧ノ内 早馬下、合戦野、 井手ノ上	菅郭、空堀、土塁、 通路、大手、古木 からめ手、古木	

内之浦町

73-1	荒田城	北方平牟田	丘陵	畠	100×150 単	やや良					荒田		
73-2	川上城	江平字川上	丘陵	山林 畠	150×100 複	良	文永時代～				川上	郭、空堀、 堀底道、通路	
73-3	岸良城	岸良字宇都	岡城	山林	200×300 複	良	文永11年～応永中期	岸良氏	岸良氏		宇都	郭、堀、空堀、 堀底道、通路	
73-4	甕田城	小野字仁田山塩入	丘陵	藪地	150×200 複	やや良					仁田山塩入	郭、堀、空堀、 堀底道、通路	
73-5	真福寺壘	岸良字大富田	丘陵	山林	50×100 単	良	文永11年～応永中期	岸良氏	岸良氏		大富田		

高山町

74-1	宇都の陣	前田字堂園	山頂	山林	100×200 単	良	正平元年～永祿9年	北原氏		158	堂園	郭、空堀、水の手	
74-2	大平城	後田字大平	丘陵 平地	山林	200×400 複	良	暦応3年～天正8年	大平氏		158	大平	郭、空堀、堀、土塁 虎口、通路	(別)城台平 ジョウウンテラ

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
74-3	御幣園城	前田字大脇	丘陵	山林 宅地	200×400 複	良	南北朝時代	肝付氏		158	大脇	郭、堀、空堀、水の手 折れひずみ、水の手	(別)大脇城
74-4	合戦田の陣	前田字上西方	丘陵	山林	150×250 単	やや良	永正3年～天正8年	新納氏		158	上西方		(別)古城
74-5	求摩陣	新富字下永山地	丘陵	山林	200×250 単	良		肝付氏		3.158.159	下永山 築ヶ城	空堀、折れひずみ 水の手	(別)下丸陣、築ヶ城
74-6	検見崎城	後田字検見崎	平地	山林	150×200 複	良	長元9年～永禄9年	肝付氏 横見崎氏	横見崎氏	158	検見崎	空堀、折れひずみ 水の手	
74-7	高山城	新富字本城	山頂 丘陵	山林	300×500 複	良	正平9年 観応2年 →永禄9年	伴氏 肝付氏	肝付氏	3.5.158 159		郭、腰郭、堀、空堀 土塁、ます形、 折れひずみ	(別)肝付城 山之城、本城 围指定
74-8	塚崎城	野崎字塚崎	平地	山林 墓地	150×150 単	やや良	南北朝～永禄年間			158	塚崎		
74-9	堂園の陣	前田字長能寺	丘陵	山林	100×200 複	やや良	永正3年～天正8年	島津氏		158	正能寺		
74-10	富山城	富山字堂迫	丘陵	山林	100×400 複	やや良	弘安3年～天正8年	富山氏	富山氏	158.159	堂迫	郭、堀、空堀、 折れひずみ、水の手、大手 からめ手、堀底道	
74-11	永山陣	新富字川路	丘陵	山林 洞窟	100×150 単	やや良	正平7年～永正3年 文和元年	新留氏 永山氏		158.159	川路		
74-12	波見城	波見字轟	山麓	山林	150×200 単	良	弘安の頃～永禄時代	波見氏		158.159		郭、空堀、折れひずみ 大手、からめ手	
74-13	宮下城	宮下字畑内	丘陵 平地	山林	150×250 複	不良	南北朝時代	肝付氏		158.159	堀内、宮前、宮上	空堀、水の手	
74-14	柳井谷の陣	新富	山麓	山林	150×200 複	やや良	永正3年～永禄9年	島津氏	河内氏	3.5.158 159		郭、土塁	(別)麓ノ城
74-15	弓張城	新富字城山他	丘陵	山林	400×600 複	良	正平5年～文禄9年	楡井氏		3.5.158 159	城山、新城上	郭、空堀、たて堀 水の手	
74-16	和田城	野崎字和田	山麓	山林	200×250 複	やや良	建武2年～永禄9年	肝付氏		158.159	和田	郭、空堀、たて堀 水の手	
74-17	波見の陣	波見字牟礼	山麓	公園地	150×200 複	良	弘安6年～永禄年間	波見氏	波見氏	158.159	牟礼	堀、空堀、大手、 からめ手、堀	
74-18	天道山塁	野崎字天道山	丘陵	山林 寺社境内地	150×300 単	やや良	戦国中期～天正2年	肝付氏			天道山		

吾平町

75-1	松下城	上名字西府他	丘陵	山林 畠、宅地	100×200 複	やや良	戦国時代～江戸時代		松下氏		西府、諏訪尾 軍宮、門前(鶴峯下)	腰郭、空堀、土塁 井戸、通路	発掘有
75-2	井上城	下名字井神島他	丘陵	山林、畠 宅地、寺社境内地	200×250 複	やや良	正平年間～文明年間	肝付氏 島津氏 楡井氏	1.2.3.37 38.39		井神馬、川東 末次	空堀、土塁、井戸、 通路、古木	(別)末次城

番号	名・称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
75-3	山古城	麓字椿他	独立状丘陵	山林荒地	200×250 複	不良	天正5年～元治元年	得丸氏	平氏 島津氏 伊地知氏	3.40	麓、椿、古牟田城ヶ迫原	腰郭、空堀、土塁、水の手、池、通路、大手、からめ手	
75-4	筒ヶ迫城	上名字筒ヶ迫他	丘陵	山林、草地	200×200 複	原形状やや良	室町時代～永祿時代		肝付氏 伊地知氏	3	筒ヶ迫、追門前筒迫原、幸瀬	郭、腰郭、堀、空堀、土塁、井戸、通路、大手	
75-5	岩下城	麓字神野他	丘陵	山林、草地	150×350 複	やや良	鎌倉末期～大正15年		岩下氏(?)	41	神野、東岳	空堀、土塁、石塁、礎石、通路、大手、古木	

大根占町

76-1	馬場中原城	池田字馬場中原	丘陵	山林		消滅	戦国～戦国末期	称寝氏(?)			馬場中原		
76-2	高城	神ノ川字城ヶ崎	丘陵	山林、草地	200×650 複	不良	天慶6年～	富山氏			城ヶ崎	空堀、石塁、大手、からめ手	
76-3	高尾山塁	宿利原字高尾	丘陵	山林	100×150 単	やや良	南北朝～天正2年	称寝氏			高尾	からめ手、大手、空堀、土塁、のしろ台	
76-4	崩原城	馬場字崩原	丘陵	山林、草地	200×600 複	やや良	南北朝～戦国末期	称寝氏			城ノ岡		
76-5	神之川城	神ノ川字神ノ川城	丘陵	山林、草地	200×300 複	やや良	戦国期～	富山氏			神ノ川城		

根占町

77-1	国見城	川北字城内	丘陵	山林、草地、寺社境内地	100×1100 複	やや良	南北朝～江戸初期	称寝氏	称寝氏	3.5.192	城ノ内坂、瀨野、国見崎、國見、瀨野、大谷口、北野首、野首	郭、空堀、土塁、虎口、水の手	(別)白三山、鴻之城
77-2	水流域	川南字城ノ脇他	丘陵	山林	100×200 単	やや良	南北朝～江戸初期	称寝氏	称寝氏		城ノ脇、鶴城	郭、腰郭、堀、空堀、虎口	(別)鶴城、城之尾
77-3	瀬脇城	川南字丸塚	丘陵	山林	200×300 複	やや良	南北朝～戦国時代	称寝氏	称寝氏 税所氏	3.5.192	丸塚	郭、腰郭、虎口	(別)妹尾城、潮入城
77-4	高田城	川南字古城他	丘陵	山林、草地	200×300 複	不良	江戸初期～元和元年	称寝氏	称寝氏	3.5.192	古城、本城、東城	郭、堀、空堀、虎口、水の手	(別)南谷城
77-5	野間城	川北字野間城他	丘陵	山林、草地	200×300 複	やや良	南北朝～江戸初期	称寝氏	称寝氏 野間氏	3.5	野間城、中城、辺郡前	郭、腰郭、堀、空堀、土塁、虎口	
77-6	山田城	山本字高城	丘陵	山林	100×300 複	やや良	平安末期～江戸初期	長田氏	長田氏 山本氏 称寝氏	3.5.191	高城、山田城	郭、腰郭、土塁、虎口	(別)平瀬戸城
77-7	建部城	川北字建部城	丘陵	山林、草地	150×150 複	不良	平安末期～南北朝	建部氏	建部氏		建部城	郭、腰郭、虎口	

田代町

78-1	田代城	麓字城内他	丘陵	山林	200×500 複	やや良	鎌倉期～元和元年	田代氏	称寝氏 田代氏	3.5	城内、西ノ城	郭、腰郭、空堀、土塁、虎口、水の手	(別)勝尾城
------	-----	-------	----	----	--------------	-----	----------	-----	------------	-----	--------	-------------------	--------

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
78-2	原田城	麓字春田城	丘陵	山林	100×200 複	やや良	鎌倉時代～戦国時代	田代氏	田代氏	3.5	春田城	郭、腰郭、堀、空堀 土塁、虎口	
78-3	諏訪城	麓字城ヶ迫	丘陵	山林	200×300 複	やや良	鎌倉時代～戦国期	田代氏	田代氏		城ヶ迫 寺山野首	郭、腰郭、空堀、 土塁、虎口	
78-4	鶴園城	鶴園字城ノ尾他	丘陵	山林	250×300 複	やや良	戦国時代～戦国末期	田代氏	田代氏		城ノ尾、城ノ脇	腰郭、空堀、大手	

佐多町

79-1	高木城	郡字小崎	丘陵	畠	150×300 複	不良	建仁3年～正安3年	平氏	平氏	3.5	山崎	堀、空堀、土塁、 水の手、通路、大手	
79-2	辺塚城	辺塚字中郷他	丘陵	果樹園	200×200 複	やや良	応永年間～文禄4年	竹崎氏	竹崎氏	3.5	中郷、西ノ城 東ノ城	郭、堀、空堀、通路 大手	(別) 困之城、西之城
79-3	伊座敷城	字城ヶ崎他				消滅		島津氏 佐多氏 伊座敷氏		3.5			(別) 佐多城
79-4	馬籠城	馬籠字城ヶ崎	台地端	山林 畠	100×300 複	やや良	鎌倉時代～戦国期	建部氏	野田上氏		城ヶ原、勝地		
79-5	古里城	郡字城ヶ原	台地端	山林 畠	100×400 複	やや良	鎌倉時代～戦国期	建部氏	島津氏(?)		城ヶ原	空堀、大手、からめ手	
79-6	萩崎城	郡字城ノ下他	台地端	山林	100×400 複	やや良	鎌倉時代～戦国期	建部氏	島津氏(?)		城ノ下、萩ノ崎		

熊毛郡

中種子町

80-1	増田城	増田字古房	丘陵	山林	150×200 複	不良		上妻氏		52	古房	郭、堀、空堀、 ます形、虎口	
------	-----	-------	----	----	--------------	----	--	-----	--	----	----	-------------------	--

南種子町

81-1	上妻城	向方字内城	丘陵 舌状台地	山林、畠 宅地、通路	200×400 複	やや良		上妻氏			内城	郭、堀、空堀、土塁、 堀底道、虎口、水の手 庭園、池、通路、古木	
81-2	上里城 <small>うまさと</small>	基永字林	山頂	山林 寺社境内地	200×300 複	良		最上氏				郭、空堀、虎口	(別) ヒジリ山

上屋久町

82-1	津城	本城字城ノ山	丘陵	山林 畠	200×300 複	良		日高氏		48	城ノ山	郭、腰郭、堀、空堀 虎口、土橋、通路	
82-2	湯向城 <small>ゆまへ</small>	口永良部湯向字城ヶ平	山麓 丘陵	畠 牧場	100×150 複	やや良		種ヶ島氏		48	城ヶ平	郭、堀、土塁	

番号	名称	所在	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	造構	備考
82-3	富田原城 とんだはら	口永良部湯向	丘陵 平地	島	300×300 複	不良						郭	
82-4	楠川城 くすかわ	楠川折山	丘陵	山林	200×250 複	不良	大永4年～	種ヶ島氏		48	折山	郭、堀、空堀、土塁 ます形、大手、 堀底道	
82-5	宮ノ浦城	宮ノ浦字城ノ平	山頂 山麓	山林	100×200 複	やや良				48	城ノ平	郭、犬走り、空堀	
82-6	小瀬田城	上屋久町小瀬田	丘陵	原野 山林		消滅					城之平		
82-7	永田城	上屋久町永田	丘陵	山林	120×50 複	良	天正年間～	称寝氏	称寝氏 種ヶ島氏	48	城山	曲郭、土塁	
82-8	一漆城 いっそう	上屋久町一漆	丘陵	墓地	100×100 複	不良	永禄年間～	種ヶ島氏	種ヶ島氏		松山	曲郭、土塁	墓地で地形は変形

屋久町

83-1	栗生平家城 くりなべ	栗生字甲ノ峰他	山頂 尾根	山林 荒地	100×400 複	良					甲ヶ峰、鍋松 平床、甲ノ坂、 隠谷		(別)甲ヶ峰、甲ノ峰
83-2	湯泊平家城 ゆどまり	湯向字平家城他	山頂 尾根	山林	150×200 複	やや良					平家城、休松 仮屋敷		(別)城下平家城
83-3	原城	原字神山	山頂	山林	150×250 単	やや良					神山(森山)		(別)神山(森山)
83-4	安房城 あなぼう	安房字城山	平地	山林 島	200×300 複	良						腰郭、空堀、たて堀 土塁	

大島郡

大和村

84-1	国直城 くにちき	大字国直字城	山頂	山林		消滅					城		
------	-------------	--------	----	----	--	----	--	--	--	--	---	--	--

住用村

86-1	坂元城 さもと	大字城字池平	山麓	島		消滅					池平		
------	------------	--------	----	---	--	----	--	--	--	--	----	--	--

瀬戸内町

87-1	海城 うみ	字西古見字兼久	山甲	自然公園		消滅					兼久		
87-2	諸鈍城 しよどん	字諸鈍字スワームテ	山頂	山林		消滅					スワームテ		

竜郷町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
88-1	まつとう 松当城	戸口字大三田他	丘陵	山林 畠 寺社境内地		消滅	13世紀初期～	山野氏	山野氏		大三田, 内原		
88-2	ややかつやく 屋々勝城	戸口字真ら勝他	山頂 山麓	山林, 畠 寺社境内地 宅地		消滅	13世紀初期～		戸口氏 二俣氏 友野氏	36	真ウ勝, 内袋		
88-3	こみくやく 古見城	戸口字川渡	山頂	山林	150×200 複	不良	13世紀初期～	古見氏	古見氏 福利氏		川渡		
88-4	とくちやく 戸口城	戸口字池野他	丘陵	畠 原野		消滅	元久2年～建長2年	平氏	戸口氏 平氏	36	池野, 上天川	空堀	(別)大成 (アークゲスク)

笠利町

89-1	はきまな 赤木名城	里字溜池ノ又他	山頂	山林	100×350 複	不良					溜池ノ又 川道, 赤又	空堀, たて堀, 土塁	
89-2	べる 辺留城	辺留字辺留城	丘陵	畠	100×250 単	不良			笠利氏		辺留城		
89-3	とみ 富城	大笠利字富城	平地	畠 宅地	100×150 菓	やや良	15世紀中頃～16世紀中頃	笠利氏	笠利氏		富城	水の手	
89-4	やまと 大和城	手花部字大和城原	丘陵	畠 原野		消滅	15世紀後期～	笠利氏	笠利氏		大和城原		
89-5	さき 崎城	須野字崎城	丘陵	畠 宅地		消滅	15世紀初期～				崎城		
89-6	あじ 按司城	屋仁字崎山他	山頂	山林	150×150 複	やや良	15世紀初期～	屋仁氏	屋仁氏		崎山, 濟又 井ノ花, 畑		
89-7	にやと 漆城	用安字ニニヤト他	丘陵	山林 畠, 宅地	100×250 複	不良	16世紀初期～		湯湾氏		フンニヤト 漆城		

喜界町

90-1	ななじょう 七城	志戸桶字増ヶダ	丘陵	山林	200×200 複	やや良	建久2年～宝徳2年	平氏	平氏	30.31	増ヶダ	郭	
90-2	へいけり 平家盛	早町字上ヶ田	山頂	山林	200×200 複	やや良	建久2年～文正元年	平氏	平氏	30.31	上ヶ田		(別)平家盛

徳之島町

91-1	かみのみやく 神之嶺城	神之嶺字アギマス	丘陵	宅地	150×150 複	やや良	15世紀～	ウンジキア	ウンジキア	102.103 104	アギマス		
91-2	さーもじやく 佐安元屋敷	亀徳字里	丘陵 平地	山林 寺社境内地 宅地	150×200 単	やや良	15世紀頃～16世紀中期		徳之島氏	105.106 107	里	石塁, 庭園, 礎石	

番号	名・称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
91-3	宮城	花徳字宮城	丘陵	山林 寺社境内地	150×200 複	良	12世紀～16世紀	按司氏	按司氏	102.103 104	宮城		
91-4	ヤト城	手々	丘陵 平地	山林	100×200 単	良		梶丈八目	梶丈八目	109			

天城町

92-1	玉城	天城字真瀬名	山頂	島	200×300 単	不良	12世紀～16世紀				真瀬名	礎石	
92-2	大和城	天城字上名道他	山頂	山林	200×300 単	良	12世紀～15世紀				上名道、瀬名山 津当部、当山		
92-3	大城	松原字大城	山頂	山林	250×200 単	良					大成		

伊仙町

93-1	妙藏城	大田布字明眼	山頂 寺社境内地	寺社境内地	200×200 複	良	14世紀～15世紀	妙藏按司氏			明眼	堀、空堀、石塁	
93-2	按司城	阿三字谷保	丘陵	山林 島	150×200 単	やや良	9世紀				谷保	堀	
93-3	思納城	面縄字ウガミ	丘陵	山林 島	200×250 単	やや良	～15世紀				ウガミ	堀、空堀、虎口	(別)ウガン城
93-4	アマノ城	字大香字下島権	丘陵	山林	100×200 単	やや良						石積	
93-5	ウウヒラ城	字大香字鳥根	丘陵	山林	200×200 単	やや良							
93-6	喜念按司屋敷	字大香字喜念	丘陵	山林	100×300 単	やや良							

和泊町

94-1	後蘭孫八城	後蘭字前田川	丘陵	宅地 雑木林	150×250 複	やや良	～応永20年	後蘭孫八氏	平氏	34	前田川 (ヌエ・タゴウ)		(別)大屋々敷
94-2	世之主城	字内城上城	山頂	寺社境内地	100×200 複	やや良	応永2年～	後蘭孫八氏		35	上城	通路、堀底道	(別)内城 具指定(幕)

知名町

95-1	上城	字下城字先間他	山麓	原野	150×250 複	やや良	応永年間頃(?)	西目氏	西目氏		先間、次石	礎石	
------	----	---------	----	----	--------------	-----	----------	-----	-----	--	-------	----	--

与論町

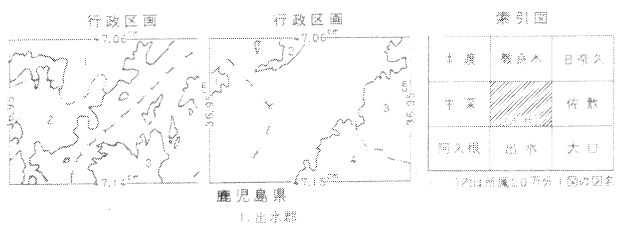
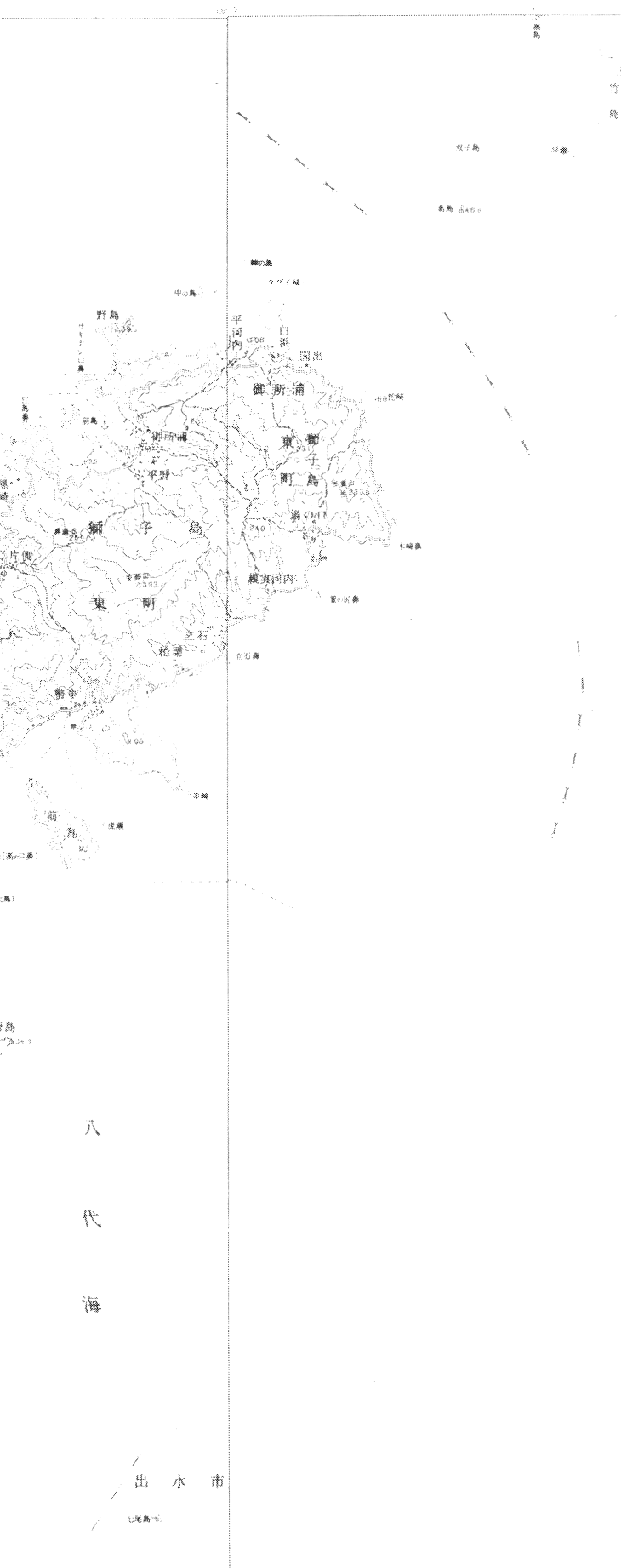
番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
96-1	与論城	字立長辺後地	丘陵	山林 畠 寺社境内地	100×300 複	やや良	応永12年～応永30年	王舅氏		32,33	辺後地		
96-2	うわみずく 上城	字東区アマミズ	平地	山林 畠・宅地	150×150 複	不良				32	アマミズ		

城館跡分布図



分布図 1

東 町
49-1 高 羅 城
長 島 町
50-1 鬼 城



八 代 海

出 水 市

1:50,000 地形図 NI-52-12-16, 18-4
 あくね (八代16号, 野母崎4号)

阿久根



片島

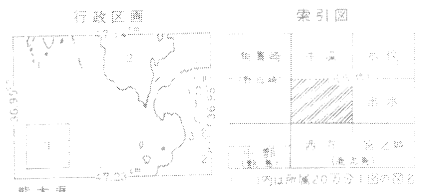


西方

分布図 2



- 東 町
- 49-2 山門野城
- 長島町
- 50-2 堂崎城
- 阿久根市
- 7-1 莫祢城
- 2 新城
- 3 中之城
- 6 桑原城
- 8 大石城
- 9 賀喜城
- 10 小田城
- 13 大下城
- 14 陳之尾砦



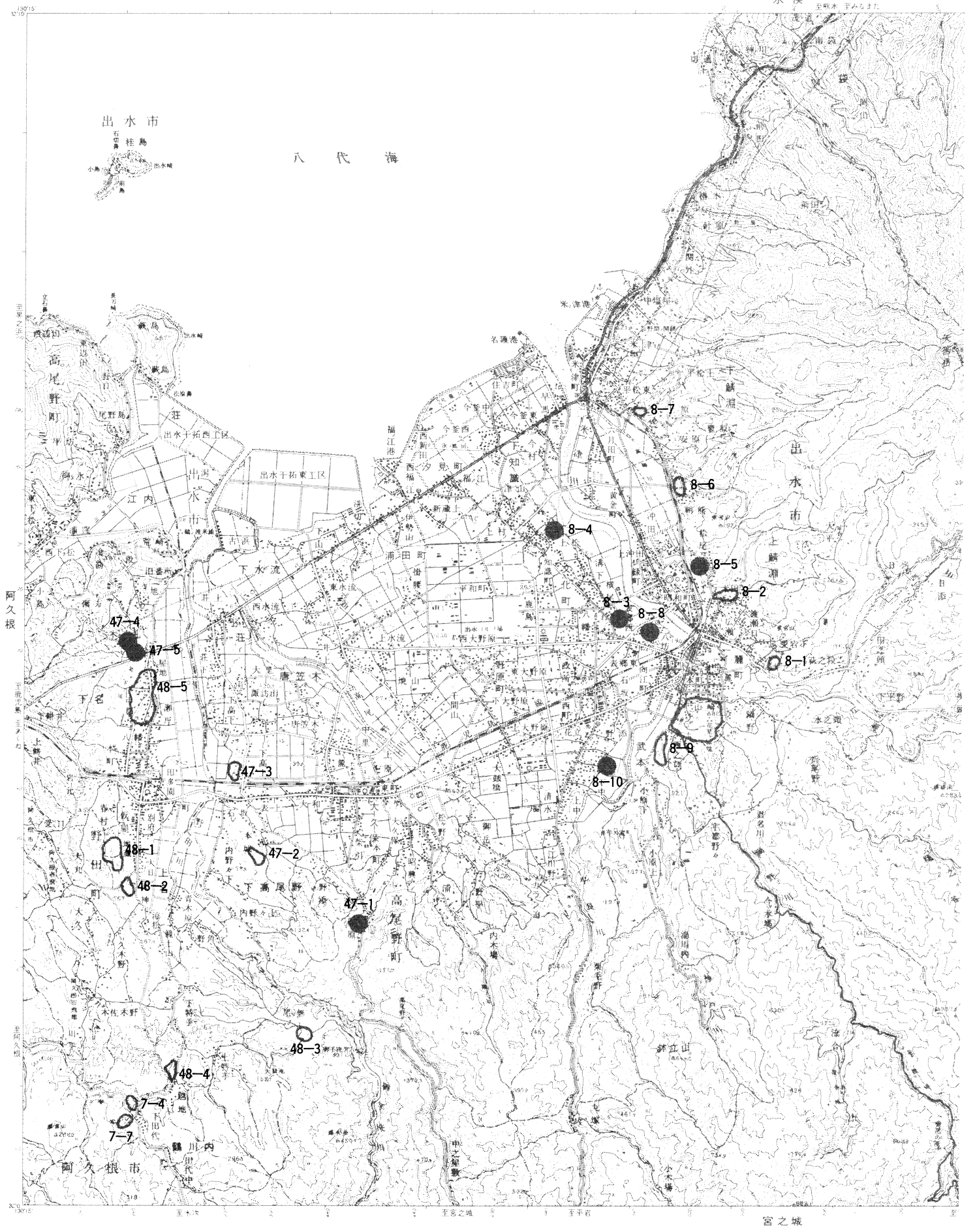
熊本市
 1 市役所
 鹿兒島県
 2 田代町 3 阿久根市

明治34年測量
 昭和42年編集
 昭和54年修正

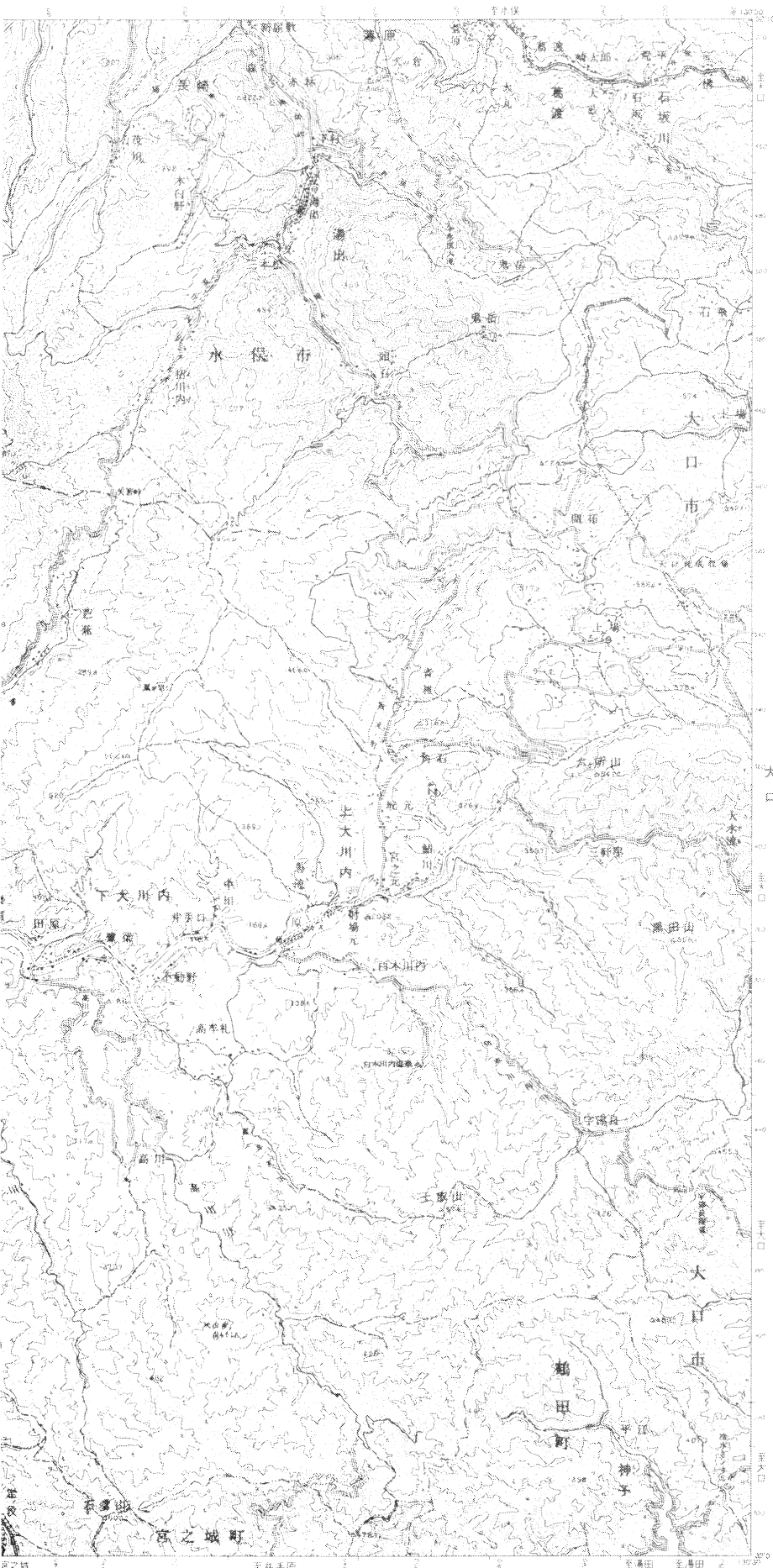
1. 資料：昭和52年修正測量(1:25,000地形図)
 昭和53年関係図工の資料
 2. 換算：阿久根市と高尾野町の境界は一部未定



昭和55年4月30日発行 (6色刷) 許可証(複製を禁ずる)
 著作権所有兼発行者 国土地理院



分布図 3



出水市

- 8-1 井之上城
- 2 太田城
- 3 知色城
- 4 谷城
- 5 松尾城
- 6 朝熊城
- 7 安原城
- 8 内城
- 9 出水城
- 10 平山城

高尾野町

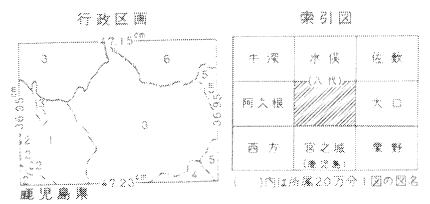
- 47-1 紅葉城
- 2 本城
- 3 新城
- 4 竹林城
- 5 木牟礼城

野田町

- 48-1 亀井山城
- 2 新城
- 3 尾ヶ無城
- 4 越地城
- 5 木牟礼城屋形跡

阿久根市

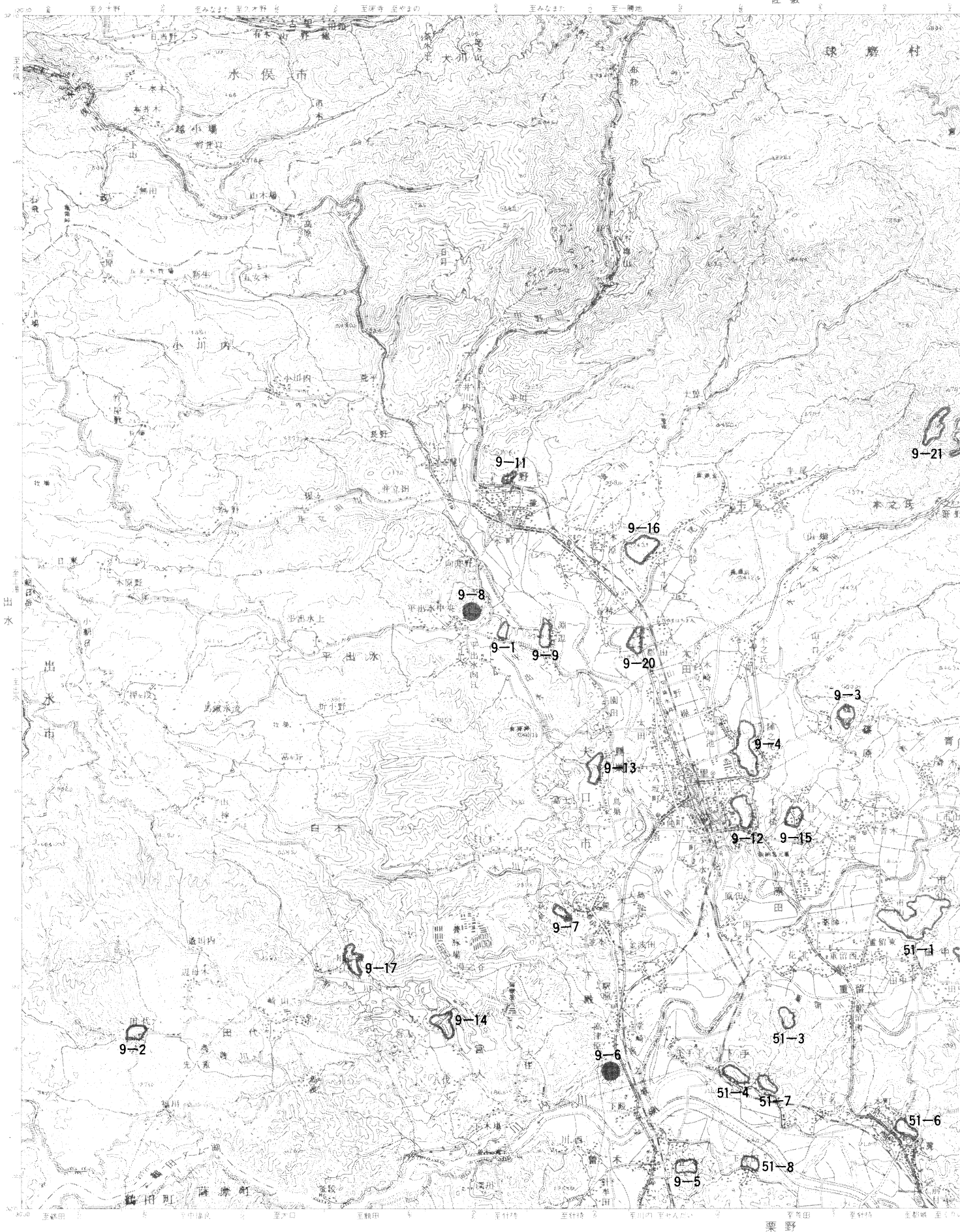
- 7-4 出水ヶ塁
- 7 田代城



鹿児島県 1. 出水市 2. 阿久根市 3. 出水市 4. 薩摩郡
 5. 大口市
 熊本県 6. 水保市

明治34年測量
 昭和42年編集
 昭和57年修正
 1. 資料：昭和65年修正測量1:25,000地形図
 2. 境界：出水市と高尾野町の境界は一部半定

昭和58年8月30日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる
 著作権所有兼発行者 国土地理院



分布図 4

大口市

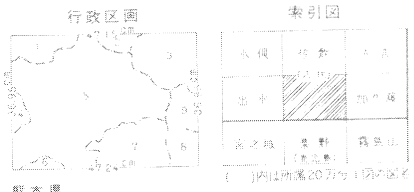
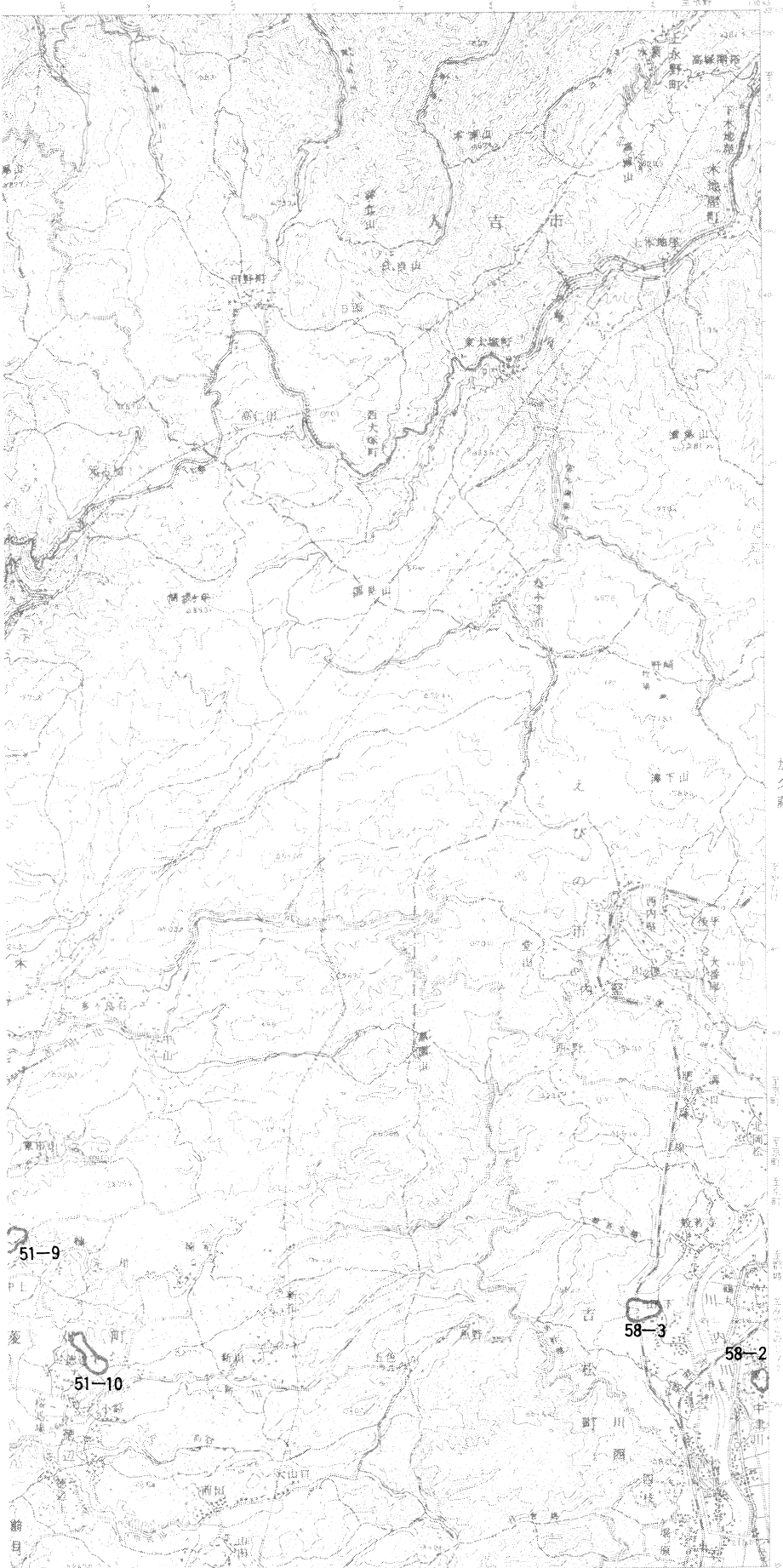
- 9-1 壬 城
- 2 大平 城
- 3 篠原 城
- 4 陣之尾 城
- 5 曾木 城
- 6 小鷹 城
- 7 羽月 城
- 8 平泉 城
- 9 洲辺 城
- 11 山野 城
- 12 大口 城
- 13 鳥巢 城
- 14 梶 城
- 15 目丸 城
- 16 半尾 城
- 17 川岩瀬 城
- 20 郡山 城
- 21 木之氏 城

菱刈町

- 51-1 市山 城
- 3 花北 城
- 4 飛田 城
- 6 馬越 城
- 7 球摩陣 城
- 8 荒田 城
- 9 陣徳 城
- 10 徳辺 城

吉松町

- 58-2 申 城
- 3 赤坂 城

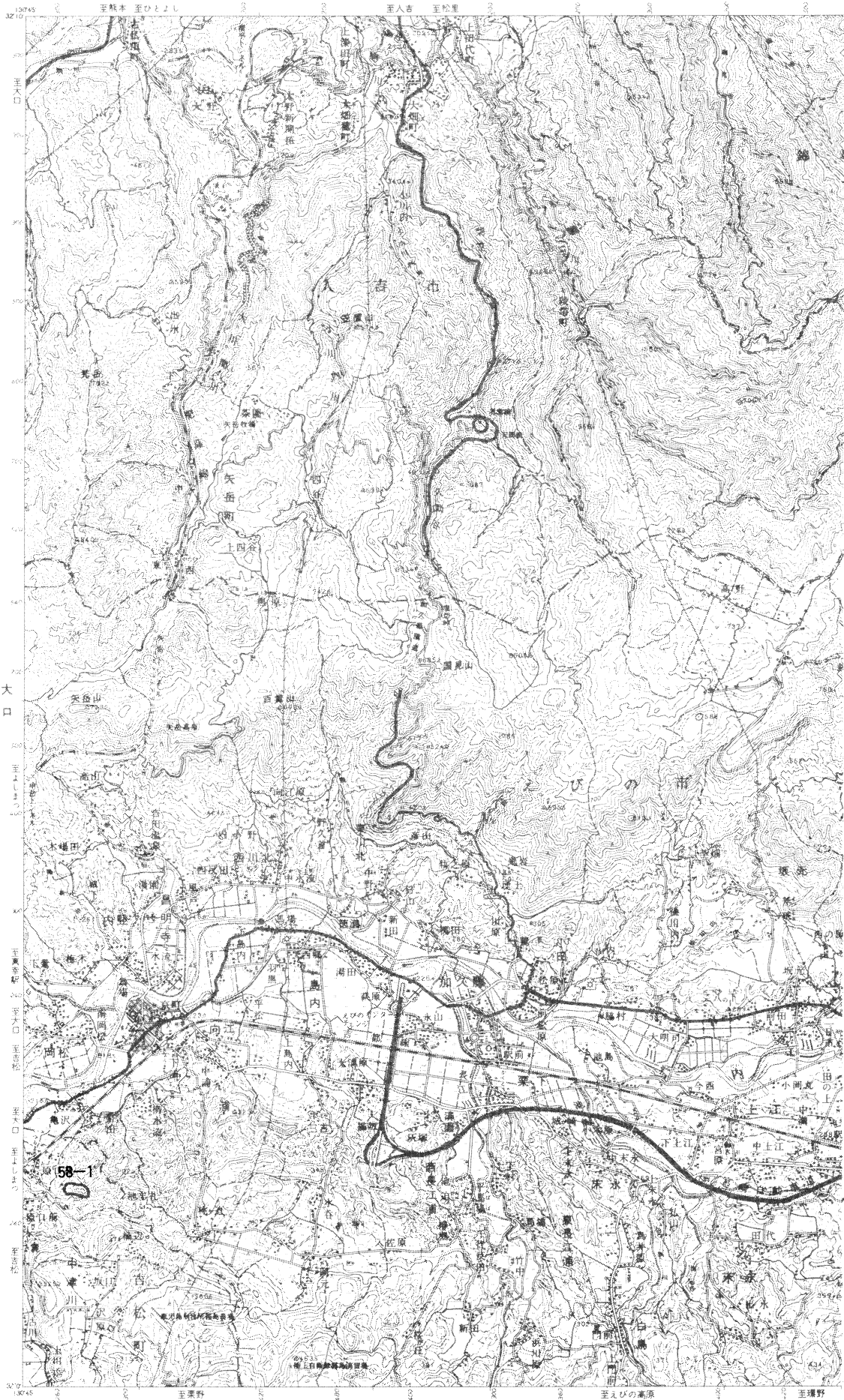


熊本県
 1. 宇保市 2. 球摩郡 3. 人吉市
 鹿児島県
 4. 出水市 5. 大口市 6. 球摩郡 7. 伊佐市
 8. 姶良郡
 宮崎県
 9. えびの市

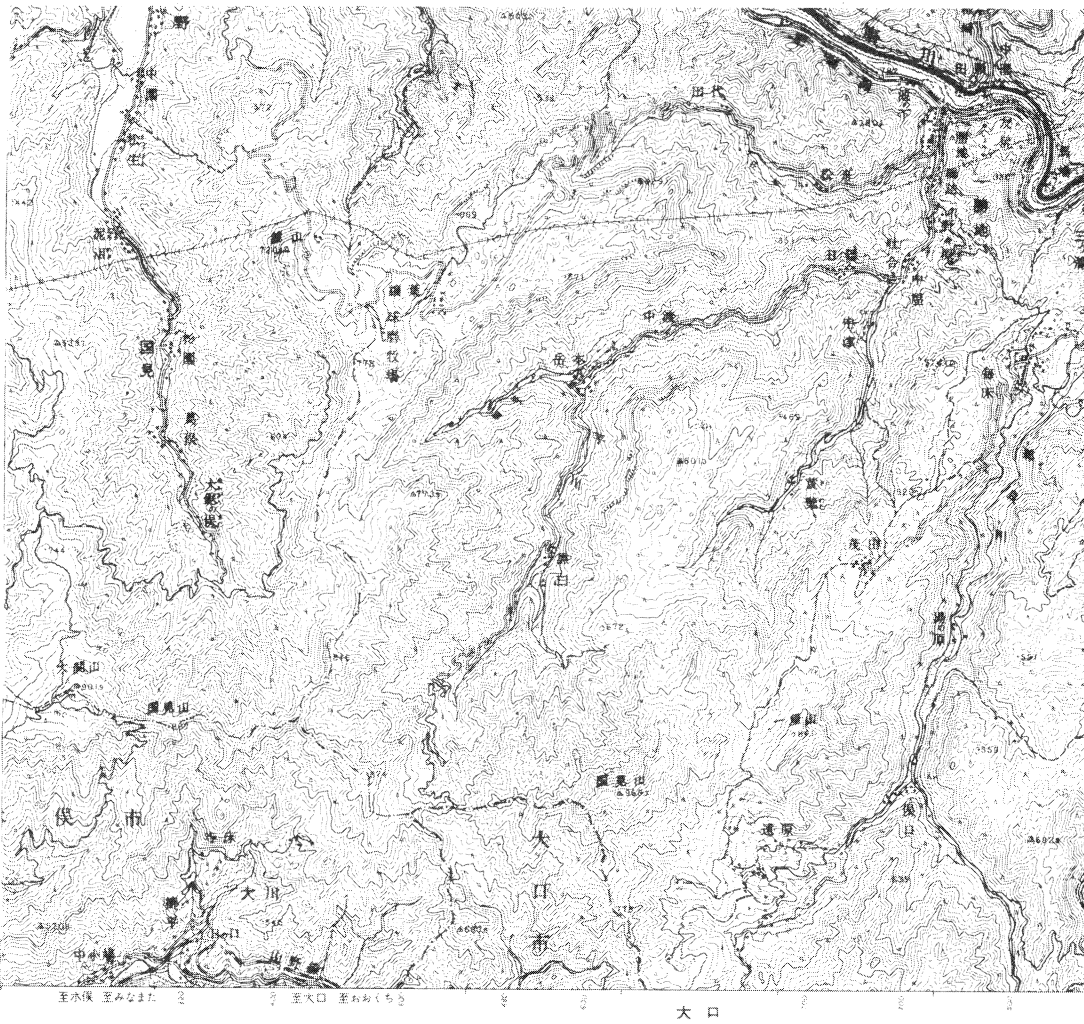
明治34年測量
 昭和42年編集
 昭和54年修正
 1. 資料：昭和42年修正測量(1:25,000)地形図
 2. 境界：吉松町とえびの市の境界は一部未定

昭和55年12月28日発行 (4色刷) 計測室(複製を禁ず)
 著作権所有兼発行者 国土地理院

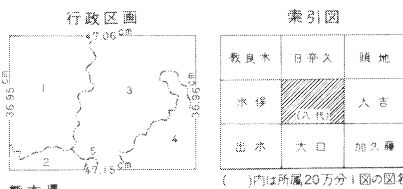
加久藤



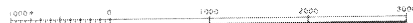
吉松町
58-1 亀 鶴 城



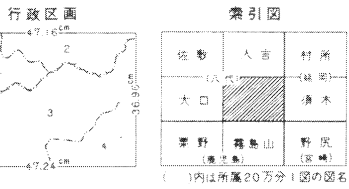
大口



熊本県
1. 芦北郡 2. 水俣市 3. 球磨郡 4. 人吉市
鹿児島県
5. 大口市

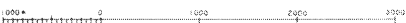


昭和55年12月28日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる
著作権所有兼発行者 国土地理院



熊本県
1. 人吉市 2. 球磨郡
宮崎県
3. えびの市 4. 小林市
鹿児島県
5. 給良郡

1:50,000 加久藤

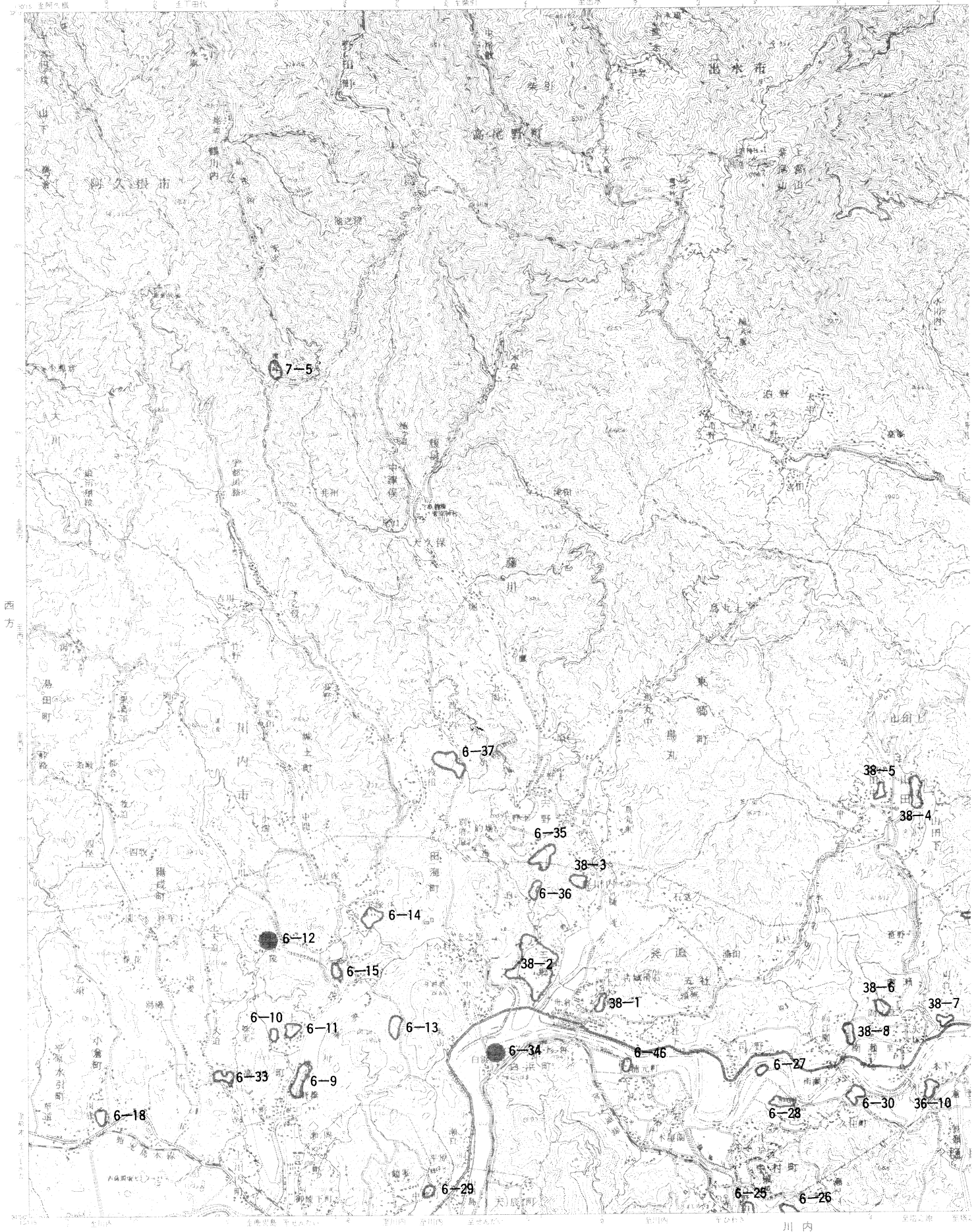


昭和55年2月28日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる
著作権所有兼発行者 国土地理院

宮之城

1:50,000 地形図 NH-52-7-9
みやのじょう (鹿児島9号)

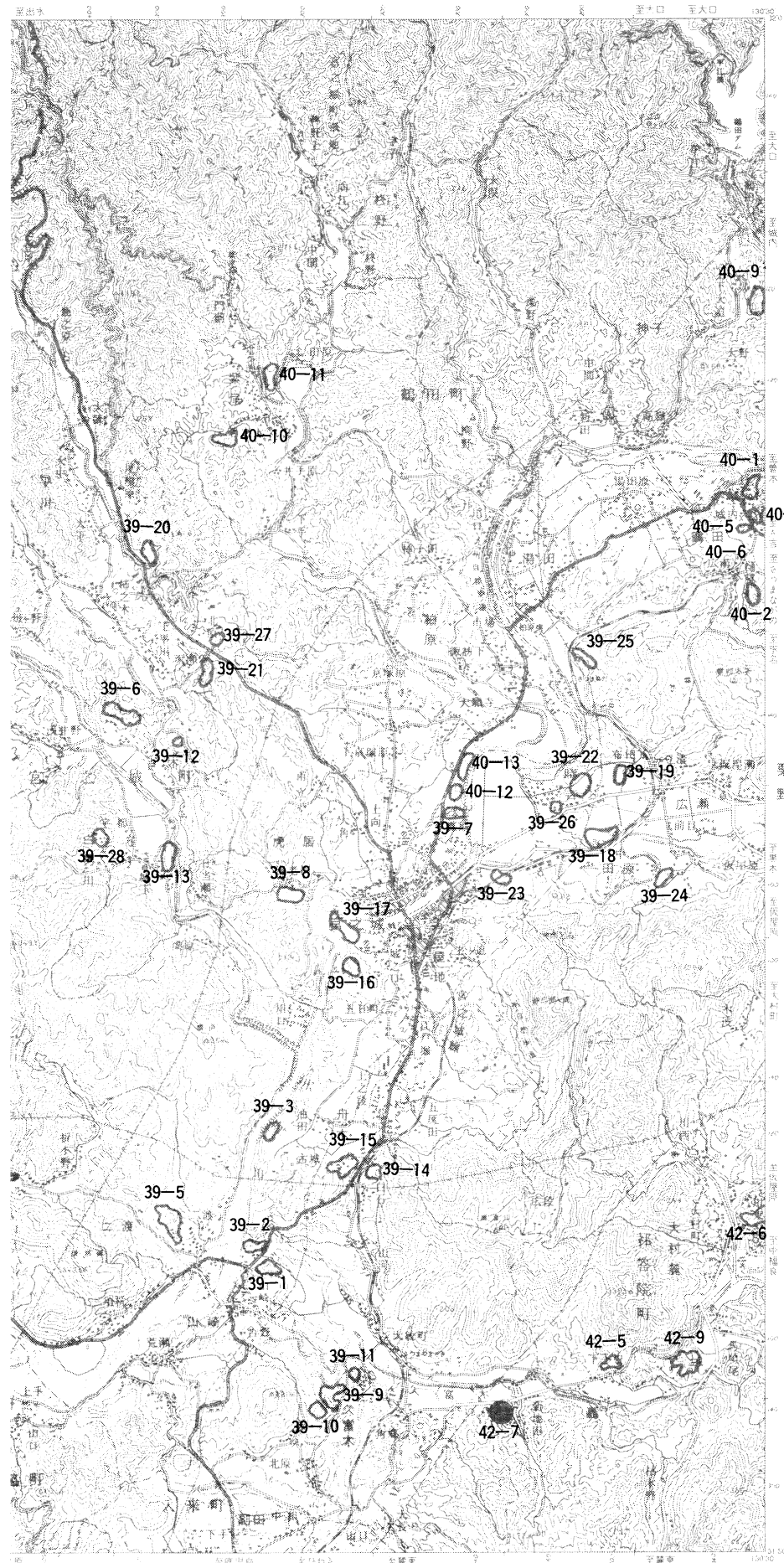
出水



西方

川内

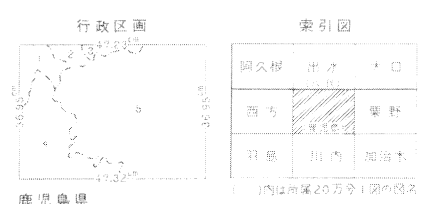
分布図 6



- | | | |
|-----|----------|----------|
| 川内市 | 6-9 妹背之城 | 39-8 松尾城 |
| | 10 内染城 | 9 久富木城 |
| | 11 染梅ヶ城 | 10 松尾城 |
| | 12 梅ヶ城 | 11 平栗城 |
| | 13 タンタコ城 | 12 栗駒城 |
| | 14 平山城 | 13 白男川城 |
| | 15 藤峰城 | 14 恋ノ巣城 |
| | 18 八丸城 | 15 吉城 |
| | 25 榎上山城 | 16 吉居城 |
| | 26 雲倉城 | 17 虎居城 |
| | 27 小清水城 | 18 吉城 |
| | 28 亀之住城 | 19 古居城 |
| | 30 久白谷城 | 20 鶴ヶ城 |
| | 33 白浜城 | 21 新吉城 |
| | 34 新高城 | 22 新吉城 |
| | 35 高川内城 | 23 旗ヶ城 |
| | 37 西川内城 | 24 旗ヶ城 |
| | 46 楠元城 | 25 湯田城 |
| | | 26 中吉城 |
| | | 27 古穴城 |
| | | 28 穴城 |

- | | | | |
|-----|-----------|-----|-----------|
| 穂脇町 | 36-10 野首城 | 鶴田町 | 40-1 梅ヶ君城 |
| | | | 2 鶯之巣城 |
| 東郷町 | 38-1 斧淵城 | | 4 丸尾城 |
| | 2 鶴ヶ岡城 | | 5 萩之平城 |
| | 3 原之屋城 | | 6 善福寺陣 |
| | 4 假山田城 | | 9 城ノ段 |
| | 5 古智屋城 | | 10 城ヶ宇都 |
| | 6 古智屋城 | | 11 築瀬城 |
| | 7 古智屋城 | | 12 椿城 |
| | 8 古智屋城 | | 13 長岡城 |

- | | | | |
|------|----------|------|-----------|
| 宮之城町 | 39-1 余ヶ城 | 阿久根市 | 7-5 出水ヶ陣 |
| | 2 山崎城 | | |
| | 3 於天ノ城 | 祁答院町 | 42-5 大久保城 |
| | 4 城ノ段 | | 6 大村古 |
| | 5 高橋城 | | 7 菊池田 |
| | 6 轟城 | | 9 松尾城 |
| | 7 轟城 | | |



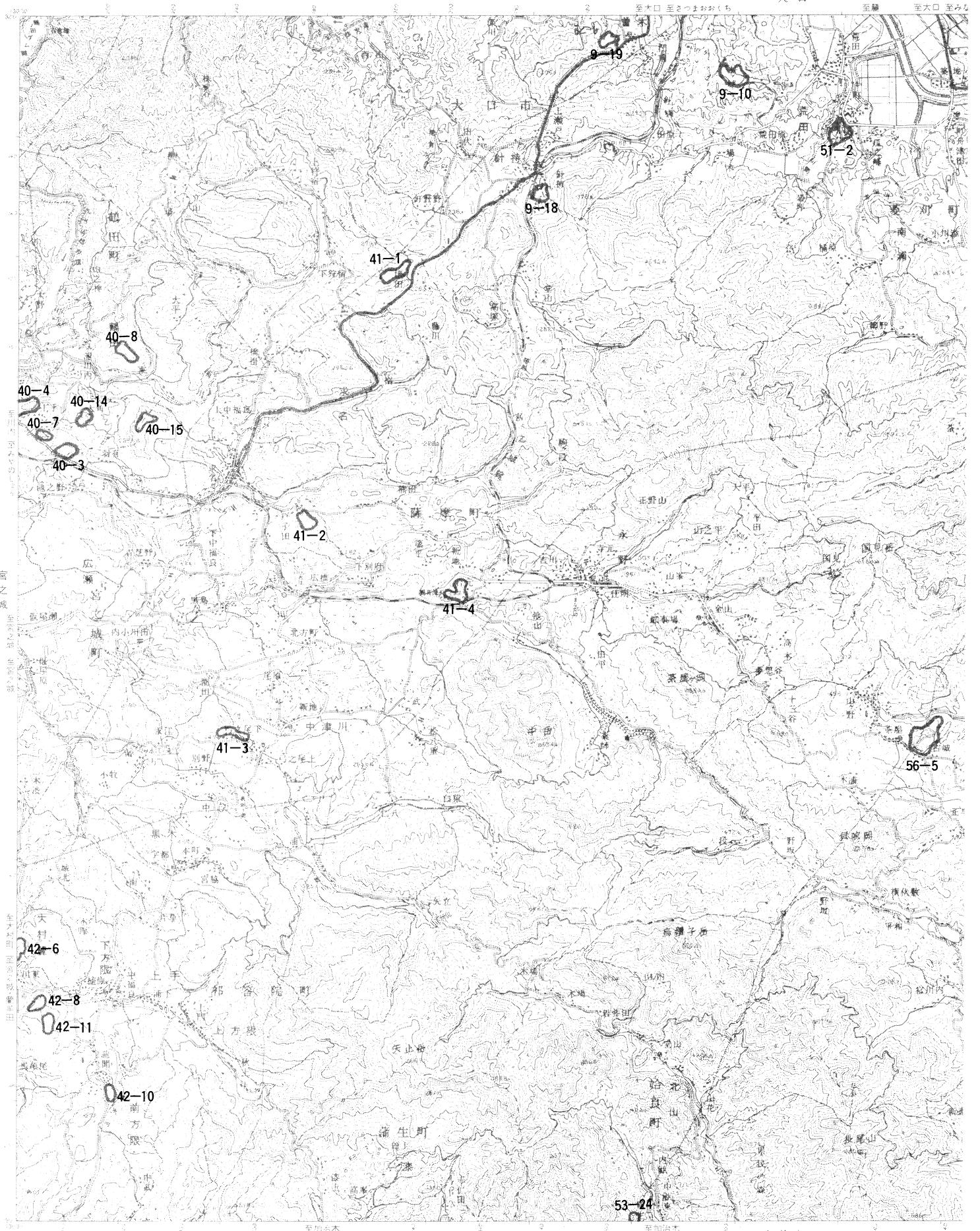
鹿児島県
 1. 阿久根市 2. 出水郡 3. 出水市 4. 川内市
 5. 穂脇町

明治34年測量
 昭和43年編集
 昭和59年修正
 資料：昭和57年修正測量1:25,000地形図

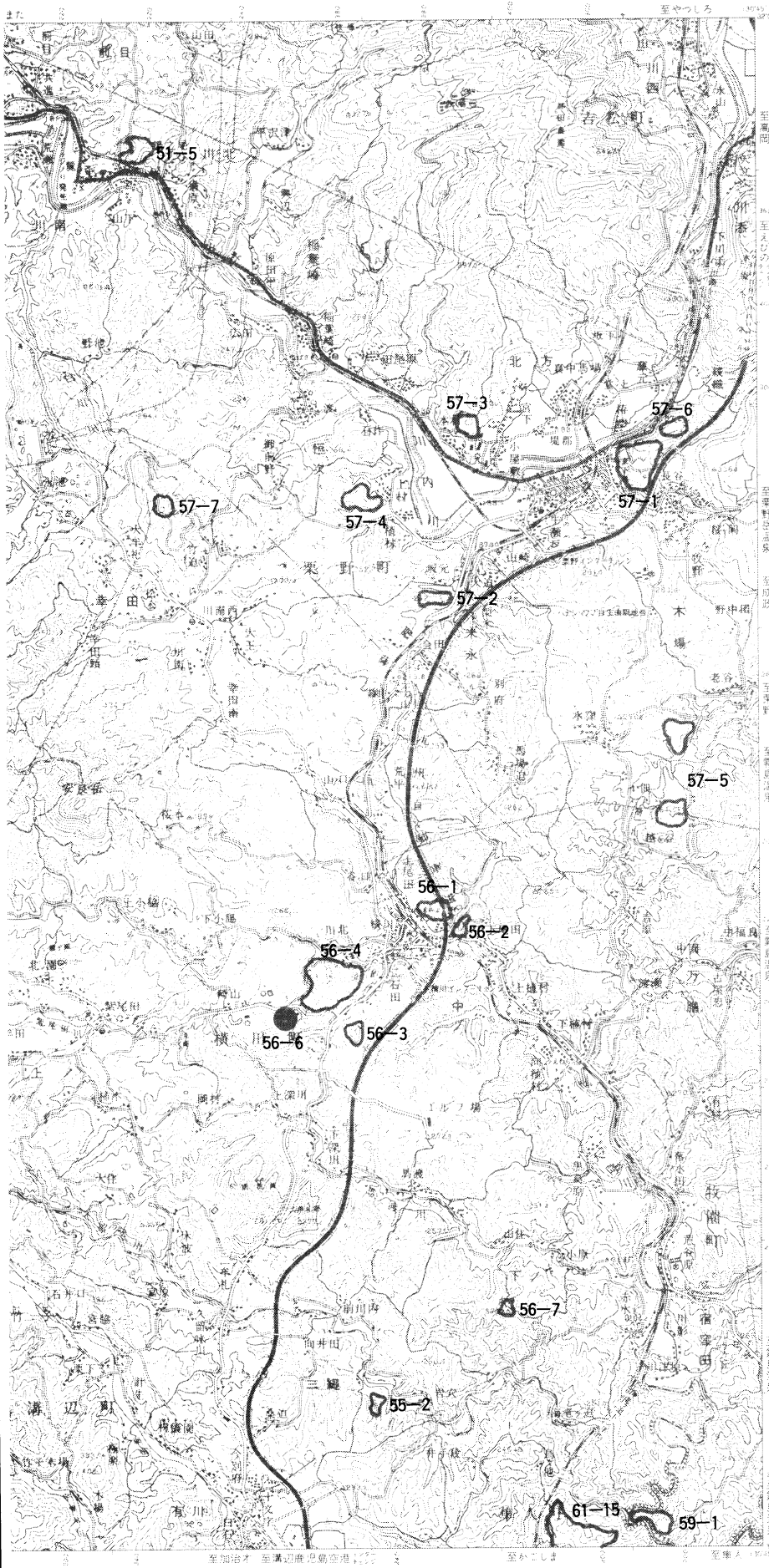
昭和61年2月28日発行 (4色刷) 許可：複製を禁ずる
 著作権所有兼発行者 国土院

栗野

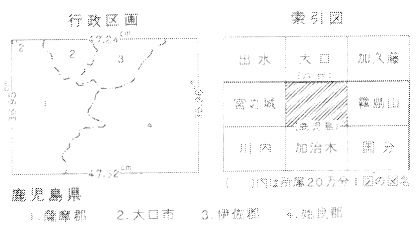
1:50,000 地形図 NH-52-7-5
(鹿見島5号)



分布図 7



- | | |
|--------------|--------------|
| 大口市 | 溝辺町 |
| 9-10 山之城 | 55-2 高松山城 |
| 18 関白陣 | |
| 19 針持城 | 横川町 |
| | 56-1 片城 |
| 鶴田城 | 2 鳥越城 |
| 40-3 鶴田城 | 3 長坂上城 |
| 4 丸尾城 | 4 横川城 |
| 7 神崎山陣 | 5 横川古城 |
| 8 鷗之巢陣 | 6 宇宿塁城 |
| 14 ヨケガ迫陣 | 7 佐々木城 |
| 15 球摩陣 | |
| | 栗野町 |
| 薩摩陣 | 57-1 松尾城 |
| 41-1 境田城 | 2 坂元城 |
| 2 戸子田城 | 3 北里城 |
| 3 中津川城 | 4 上村城 |
| 4 松尾城 | 5 笹峰城 |
| | 6 新城 |
| 祁答院町 | 7 陣ノ岡 |
| 42-6 大村古城 | |
| 8 新城 | 牧園町 |
| 10 滝間城 | 59-1 踊城 |
| 11 西牟田城 | |
| | 隼人町 |
| 菱刈町 | 61-15 山野一上山城 |
| 51-2 大良城 | |
| 5 湯之尾城 | |
| 始良町 | |
| 53-24 北山城ノ段城 | |

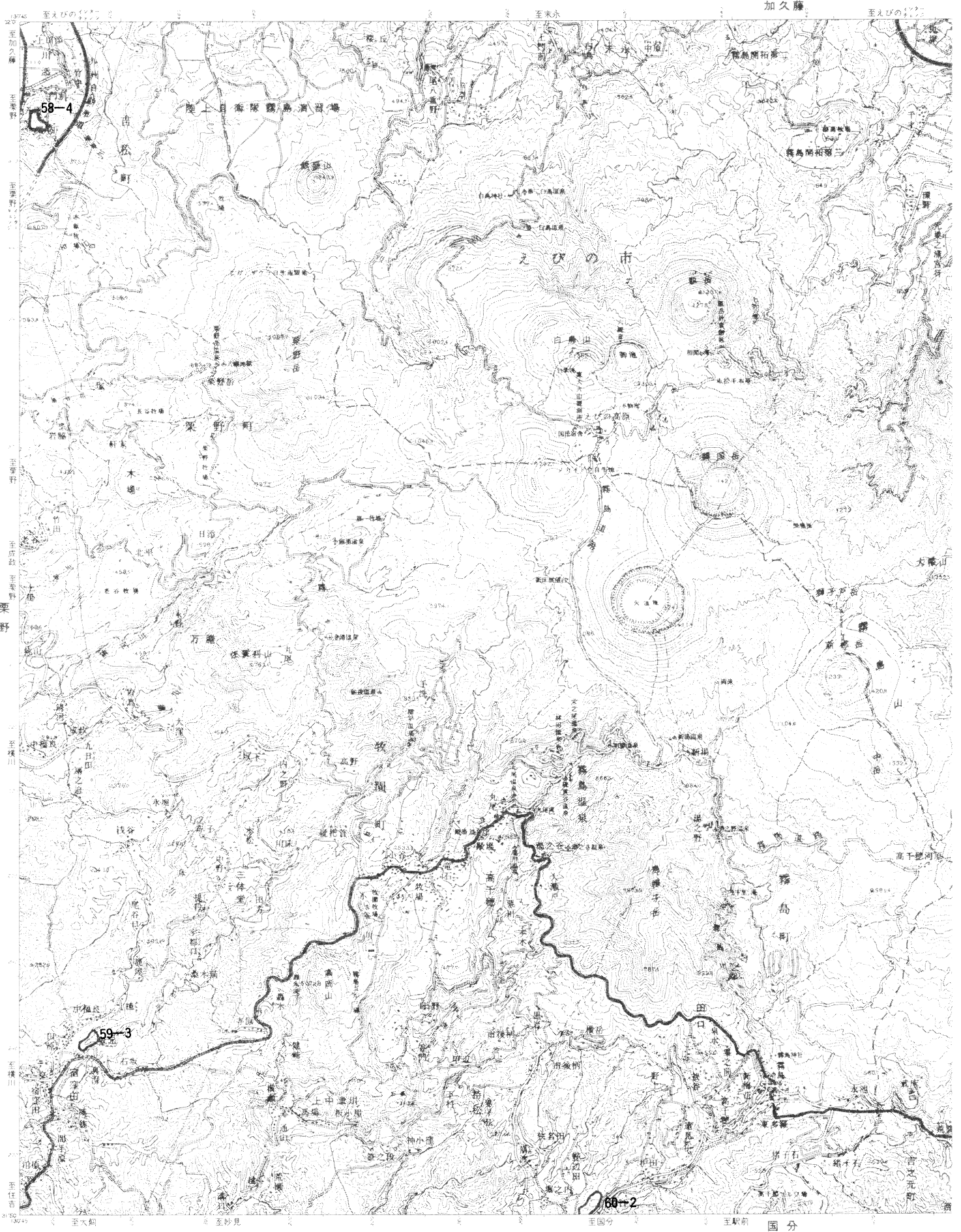


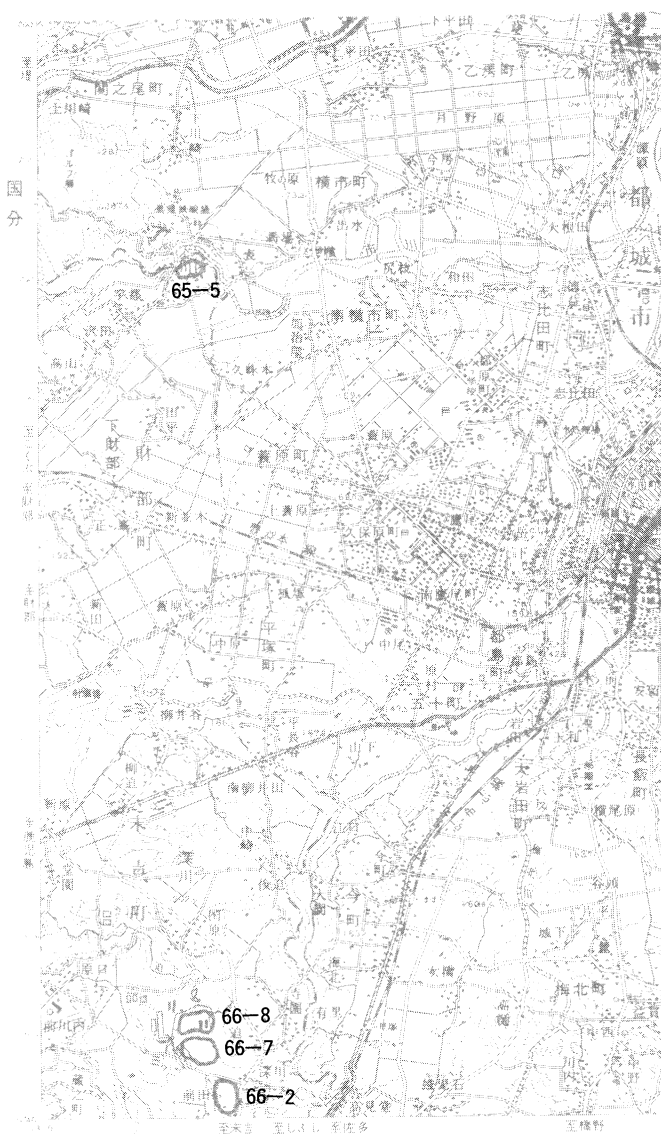
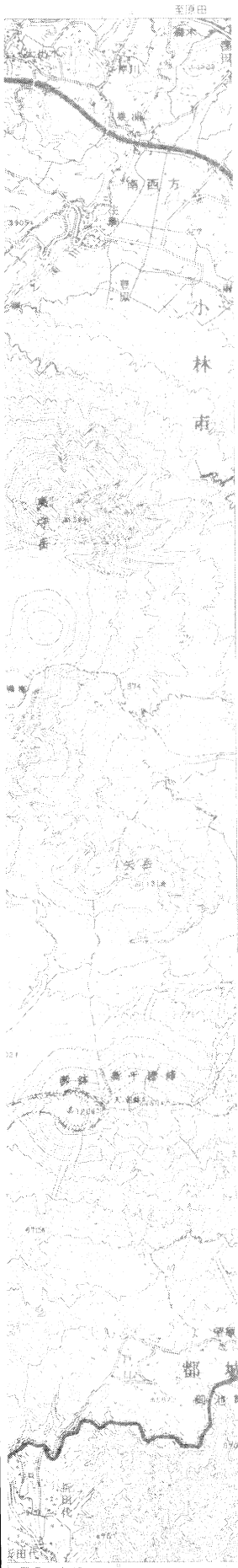
鹿兒島県
1. 薩摩郡 2. 大口市 3. 伊佐郡 4. 始良町

明治35年測量
昭和43年編集
昭和59年修正
1. 資料：昭和57年修正測量1:25,000地形図
2. 境界：大口市と菱刈町の境界は一部未定

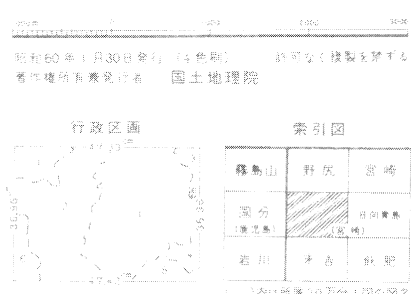
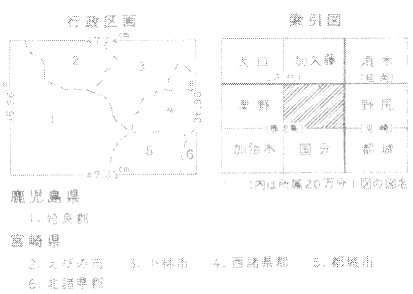
昭和60年11月30日発行（4色刷） 許可号：複製を禁ずる
著作権所有兼発行者 国土地理院

霧島山

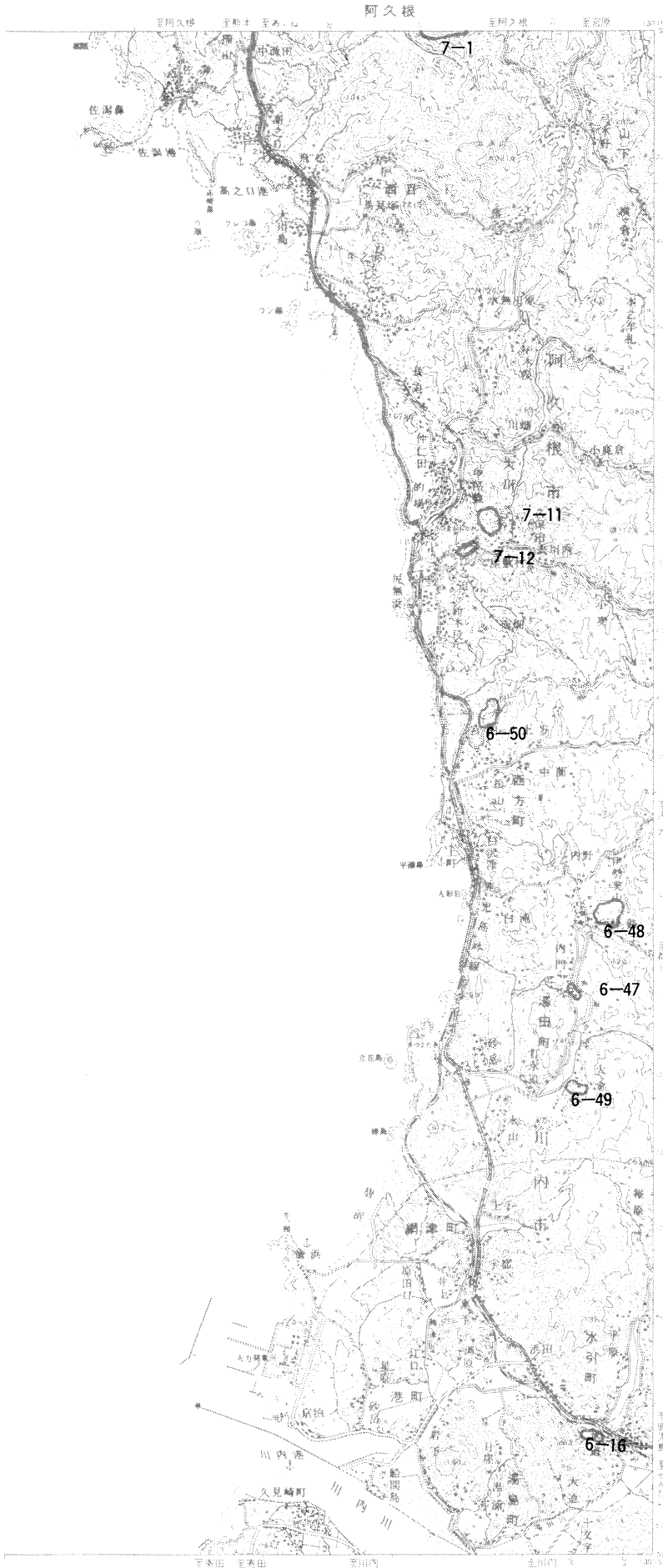




- 吉松町
58-4 麩 城
- 牧園町
59-3 小 唯 城
- 霧島町
60-2 楳 城
- 財部町
65-5 城ヶ尾 陣
- 末吉町
66-2 宝珠庵 城
7 上ノ 城
8 野首小 陣



西 方



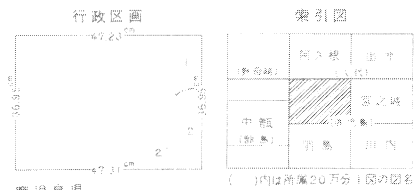
阿久根市

- 7-1 莫 祢 城
- 11 大 川 上 城
- 12 大 川 下 城

川内市

- 6-16 楯 城
- 47 松 尾 城
- 48 湯 田 城
- 49 萩 城
- 50 仕 檢 丸 城

宮之城



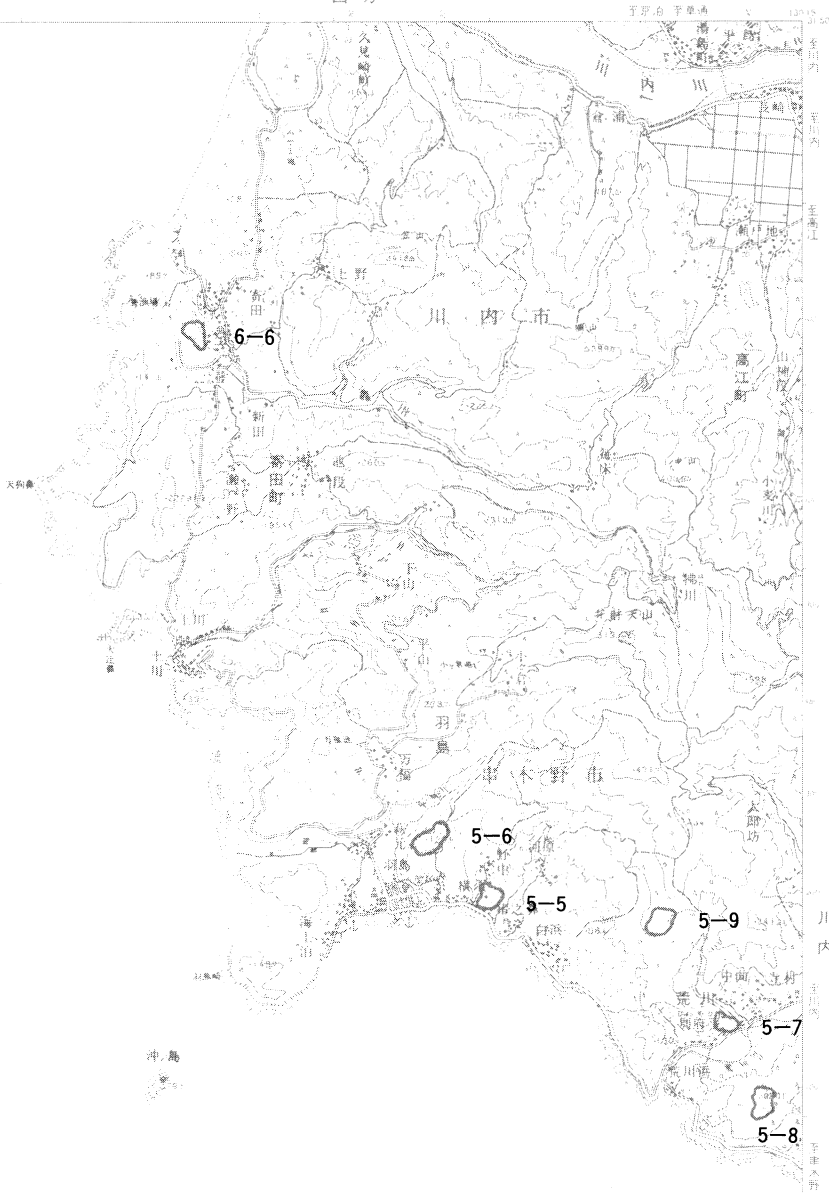
明治34年測量
昭和43年編纂
昭和54年修正
資料：昭和52年測量1:25,000地形図

昭和56年3月30日発行 (4色刷) 許可号：複製を禁ずる
著作権所有兼発行者 国土地理院

羽 島

分布図 9

西方

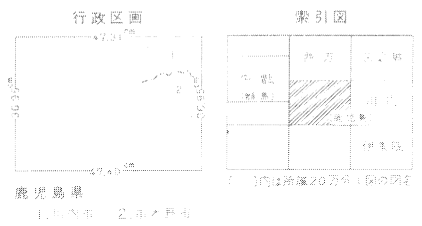


串木野市

- 5-5 羽 島 城
- 6 陣 ノ 岡 城
- 7 城 ノ 岡 城
- 8 陣 ケ 岡 城
- 9 出 城

川内市

- 6-6 寄 田 城

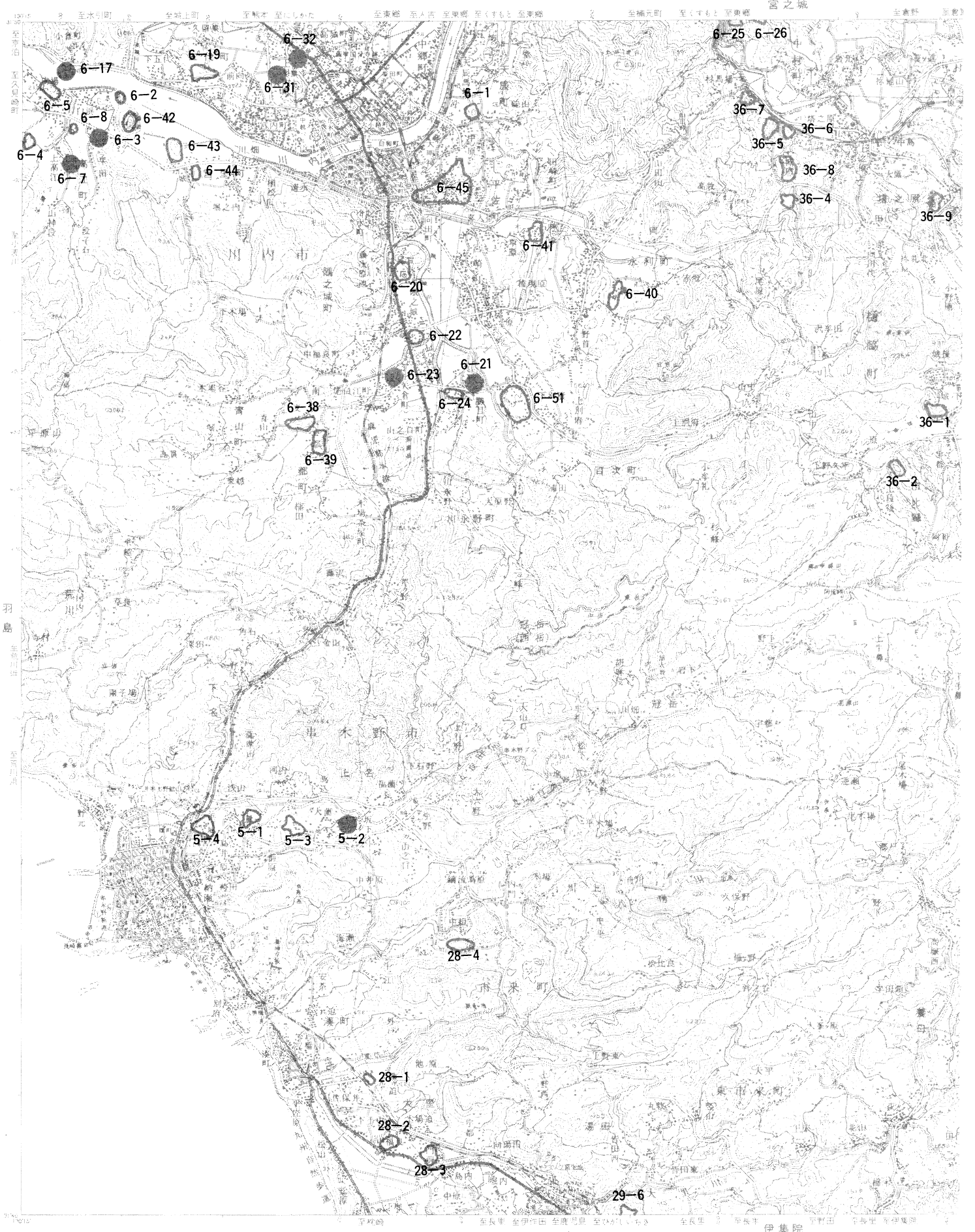


明治35年測量
 昭和43年編集
 昭和54年修正
 資料：昭和52年測量1:25,000地形図

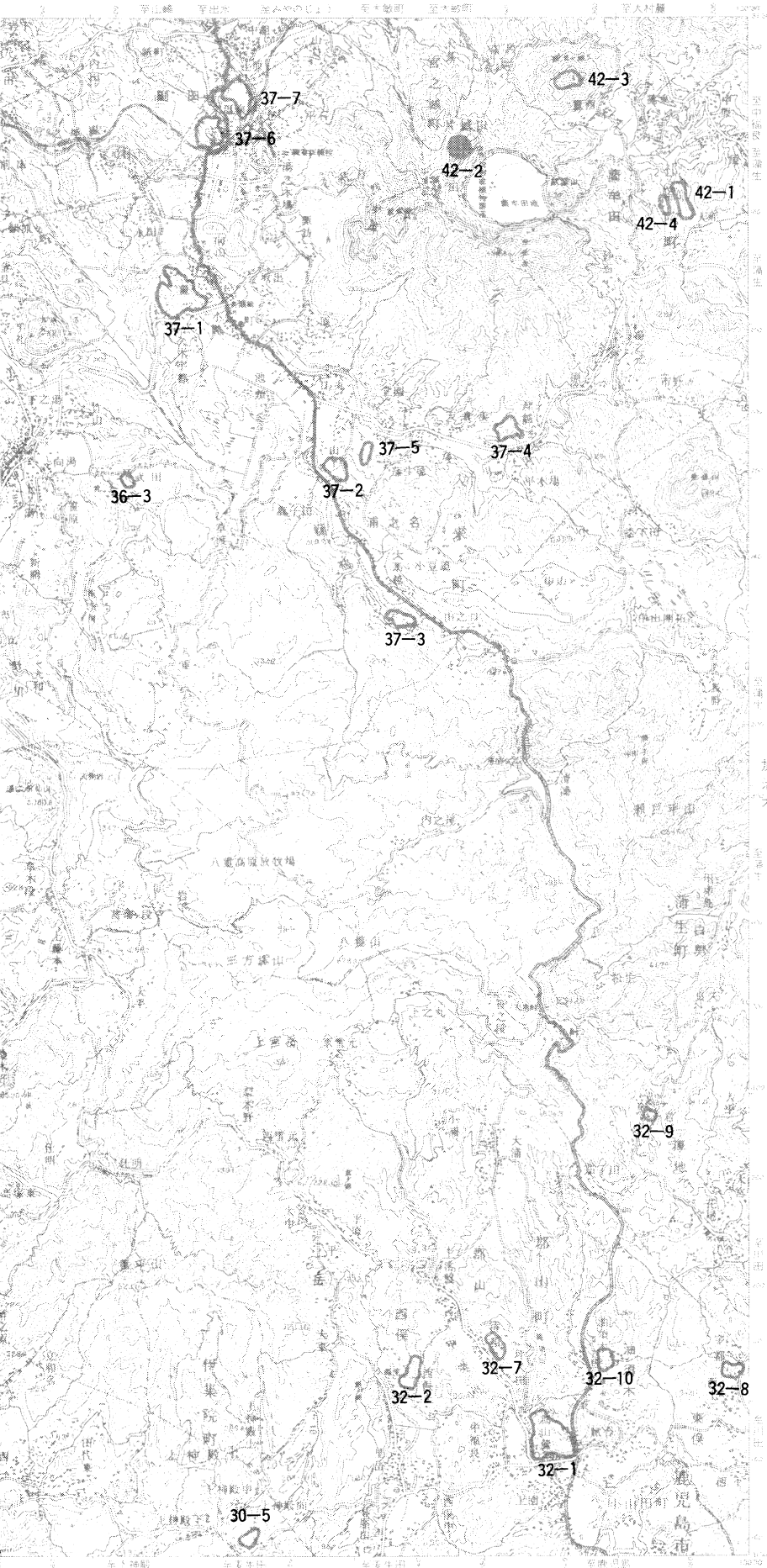
昭和55年11月30日発行 (4年刷) 許可：複製を禁ず
 著作権所有兼先行者 国土地理院

川内

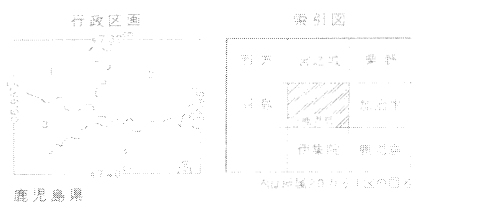
1:50,000 地形図 NH-52-7-10
せんだい (鹿児島10号)



分布图 10



- | | |
|----------|-----------|
| 串木野市 | 東市来町 |
| 5-1 串木野城 | 29-6 吉城 |
| 2 坂下城 | |
| 3 椿ヶ城 | 郡山町 |
| 4 浜ヶ城 | 32-1 松尾城 |
| | 2 平城 |
| 川内市 | 7 水ノ手城 |
| 6-1 藤山城 | 8 陣ノ尾城 |
| 2 猪子岳城 | 9 厚地城 |
| 3 高江城 | 10 油須木城 |
| 4 白石ヶ城 | |
| 5 高江峰城 | 樋脇町 |
| 7 大峰元城 | 36-2 市比野城 |
| 8 検見ヶ城 | 1 2 内田城 |
| 17 小倉城 | 3 久木野城 |
| 19 椿城 | 4 肥之城 |
| 20 尾賀椿城 | 5 助之城 |
| 21 小福城 | 6 高城 |
| 22 二福城 | 7 高城 |
| 23 矢倉城 | 8 樋脇城 |
| 24 勝目椿城 | 9 前田城 |
| 25 椿山城 | |
| 26 雲之上城 | 入来町 |
| 31 小松城 | 37-1 清色城 |
| 32 水引城 | 2 洞上城 |
| 38 総徳ノ城 | 3 箕冠城 |
| 39 都城 | 4 川床城 |
| 40 木利城 | 5 椿城 |
| 41 石神城 | 6 大住吉城 |
| 42 猪子岳城 | 7 椿城 |
| 43 鉢鉢里城 | |
| 44 宮平佐城 | 祁答院町 |
| 45 平佐城 | 42-1 蘭牟田城 |
| 51 百次城 | 2 片城 |
| | 3 富城 |
| 市来町 | 4 西之城 |
| 28-1 重信城 | |
| 2 詰城 | 伊集院町 |
| 3 鍋ヶ城 | 30-5 上神郷城 |
| 4 河上城 | |



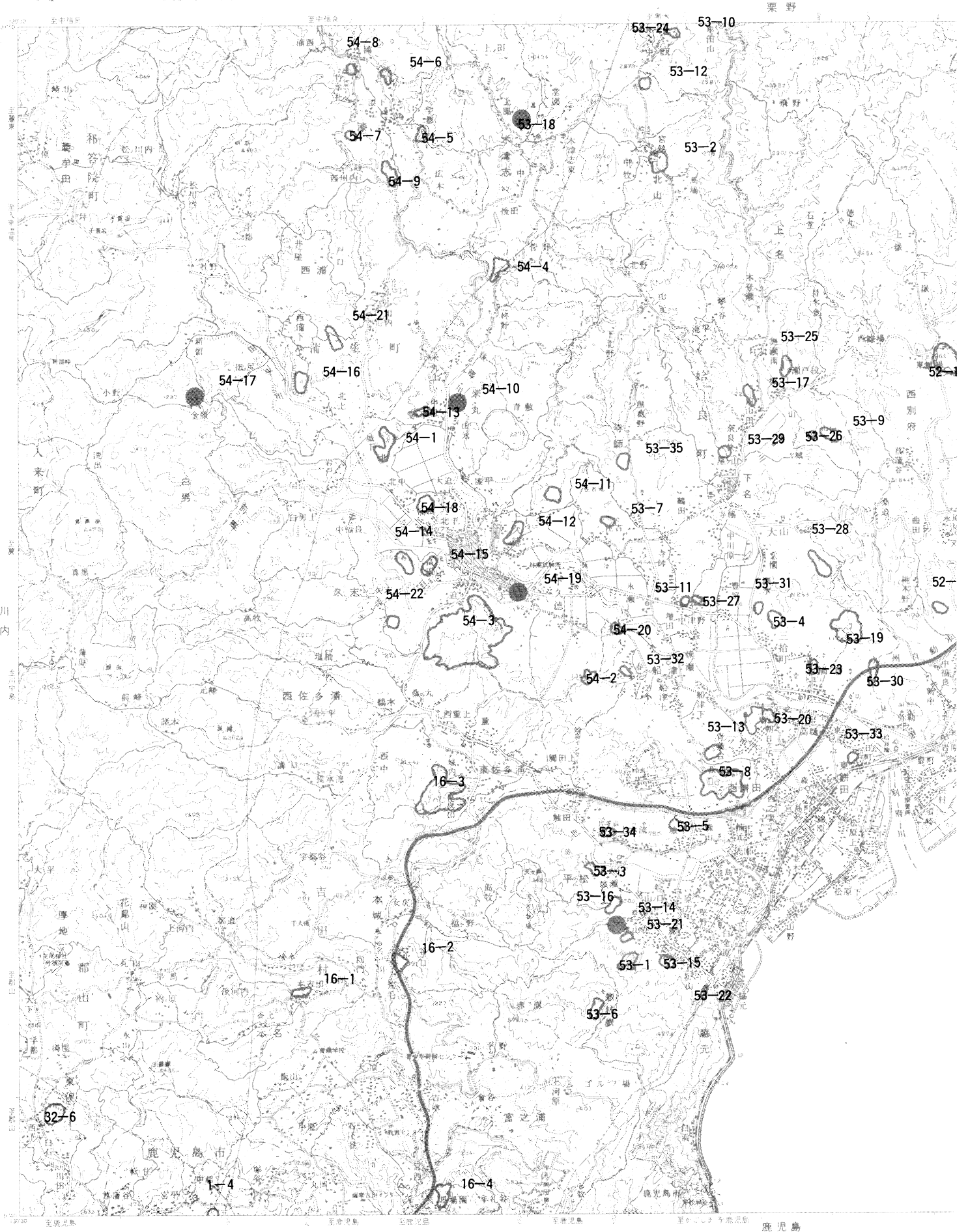
鹿児島県
 1. 田代町 2. 藤原市 3. 串木野市 4. 川内市
 5. 鹿野町 6. 加治木町

明治35年測量
 昭和43年編集
 昭和59年修正
 (資料: 測図院官正測量(1:25,000)地形図)

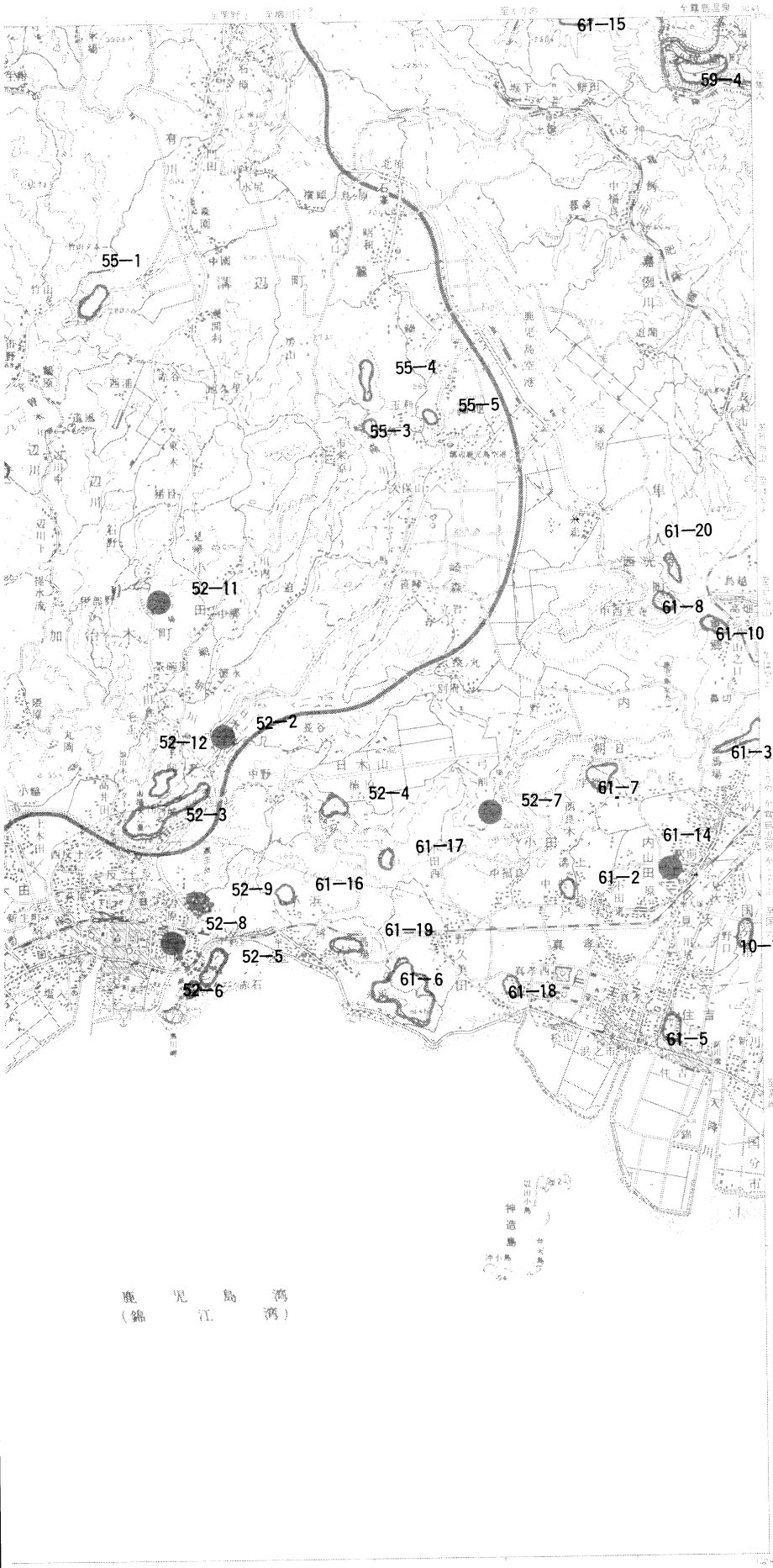
昭和60年12月28日発行 (4色刷) 許可文: 複製・写字
 著作権所有 美空社 国土地理院

加治木

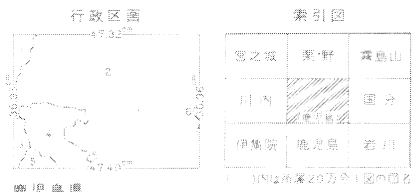
1:50,000 地形図 NH-52-7-6
かじき (鹿児島6号)



分布図 11



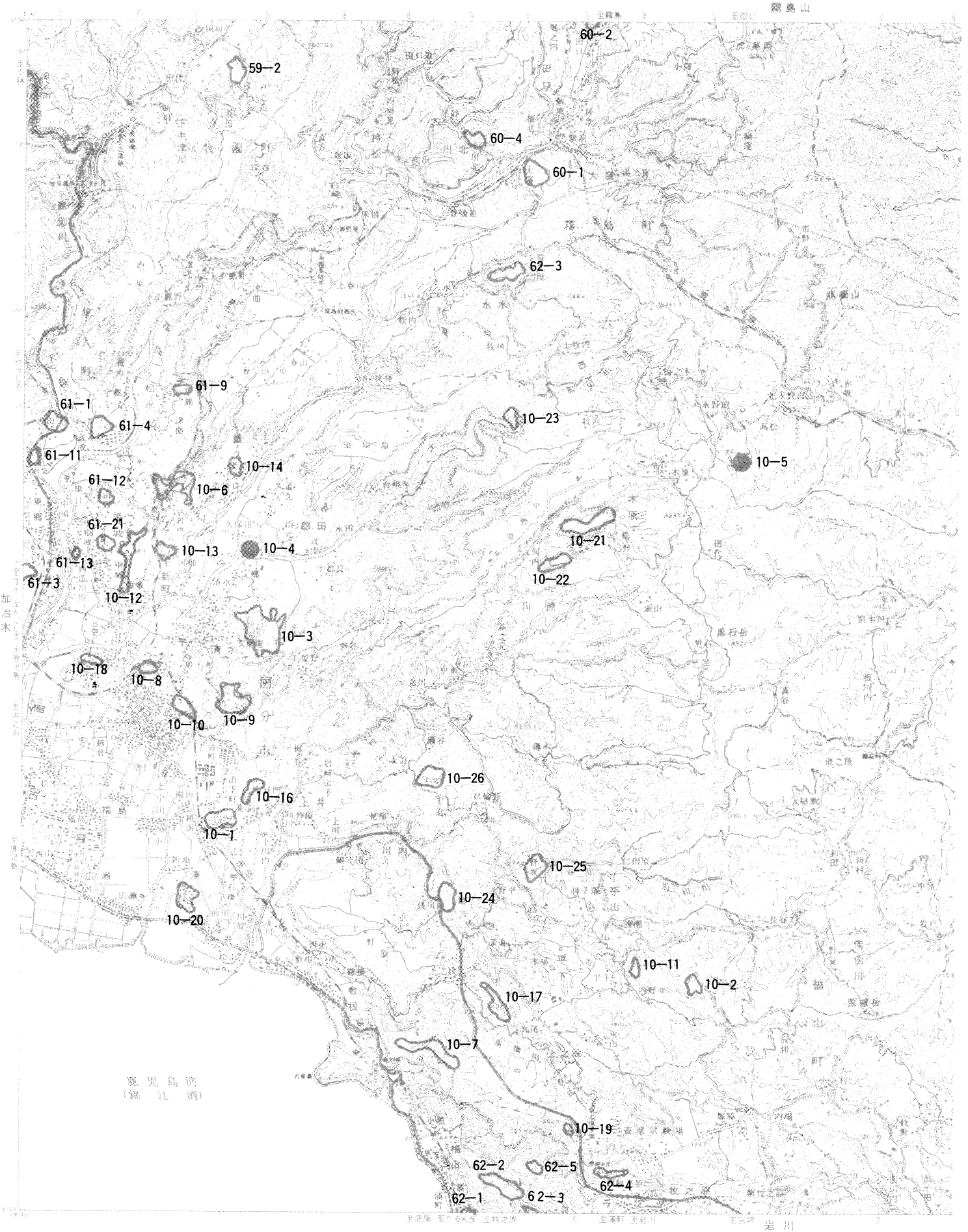
- | | | |
|---------------|-------|-------------|
| 鹿 児 島 | 53-28 | 大 山 城 |
| 1-4 比 志 島 城 | 29 | 下 名 陣 丸 城 |
| 国 分 市 | 30 | 鍋 倉 柳 丸 城 |
| 10-15 野 口 高 城 | 31 | 三 十 町 陣 丸 城 |
| 吉 田 町 | 32 | 井 手 丸 城 |
| 16-1 本 吉 田 城 | 33 | 前 田 中 丸 城 |
| 2 上 松 尾 城 | 34 | 平 松 山 丸 城 |
| 3 松 尾 城 | 35 | 寺 師 柳 丸 城 |
| 4 鷹 巣 城 | | |
| 郡 山 町 | 蒲 生 町 | |
| 32-6 毘 沙 門 城 | 54-1 | 北 村 城 |
| 加 治 木 町 | 2 | 尾 城 |
| 52-1 岩 屋 城 | 3 | 蒲 生 城 |
| 2 榊 坂 城 | 4 | 松 坂 城 |
| 3 加 治 木 城 | 5 | 榊 坂 城 |
| 4 葛 原 城 | 6 | 野 元 城 |
| 5 陣 ヶ 園 城 | 7 | 松 本 城 |
| 6 土 器 久 城 | 8 | 涼 江 ヶ 城 |
| 7 奴 向 城 | 9 | 切 手 之 城 |
| 8 大 内 城 | 10 | 平 馬 立 之 城 |
| 9 大 内 城 | 11 | 馬 立 之 城 |
| 10 陣 丸 城 | 12 | 具 堂 之 城 |
| 11 陣 丸 城 | 13 | 具 堂 之 城 |
| 12 陣 丸 城 | 14 | 平 岡 城 |
| 始 良 町 | 15 | 掛 金 城 |
| 53-1 岩 鏡 城 | 16 | 掛 金 城 |
| 2 下 城 | 17 | 菱 原 城 |
| 3 城 新 舘 城 | 18 | 菱 原 城 |
| 4 新 舘 舘 城 | 19 | 菱 原 城 |
| 5 舘 舘 舘 城 | 20 | 菱 原 城 |
| 6 舘 舘 舘 城 | 21 | 菱 原 城 |
| 7 舘 舘 舘 城 | 22 | 菱 原 城 |
| 8 舘 舘 舘 城 | | |
| 9 舘 舘 舘 城 | 蒲 辺 町 | |
| 10 舘 舘 舘 城 | 55-1 | 高 松 城 |
| 11 舘 舘 舘 城 | 3 | 高 松 城 |
| 12 舘 舘 舘 城 | 4 | 高 松 城 |
| 13 舘 舘 舘 城 | 5 | 高 松 城 |
| 14 舘 舘 舘 城 | | |
| 15 舘 舘 舘 城 | 集 人 町 | |
| 16 舘 舘 舘 城 | 61-2 | 小 田 城 |
| 17 舘 舘 舘 城 | 3 | 小 田 城 |
| 18 舘 舘 舘 城 | 5 | 高 長 城 |
| 19 舘 舘 舘 城 | 6 | 高 長 城 |
| 20 舘 舘 舘 城 | 7 | 野 浜 城 |
| 21 舘 舘 舘 城 | 8 | 野 浜 城 |
| 22 舘 舘 舘 城 | 10 | 茶 臼 城 |
| 23 舘 舘 舘 城 | 14 | 内 山 城 |
| 24 舘 舘 舘 城 | 15 | 内 山 城 |
| 25 舘 舘 舘 城 | 16 | 堀 大 丸 城 |
| 26 舘 舘 舘 城 | 17 | 堀 大 丸 城 |
| 27 舘 舘 舘 城 | 18 | 堀 大 丸 城 |
| | 19 | 堀 大 丸 城 |
| | 20 | 堀 大 丸 城 |
| | 牧 園 町 | |
| | 59-4 | 馬 込 城 |



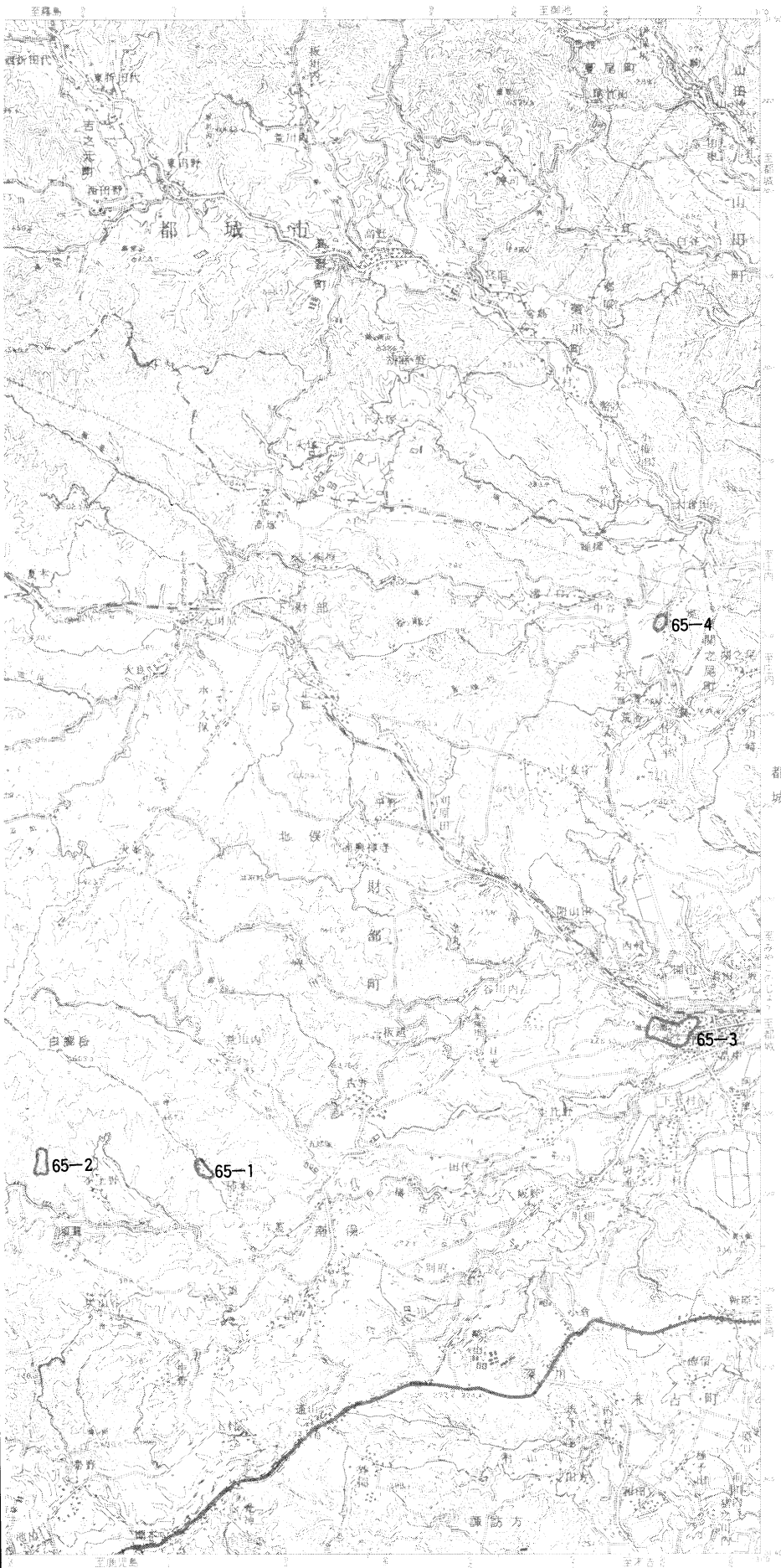
鹿 児 島 県
 1. 盛 岡 市 2. 北 見 市 3. 日 東 市 4. 鹿 児 島 市
 5. 鹿 児 島 市 6. 国 分 市

明治35年測量
 昭和43年編集
 昭和59年修正
 資料：昭和57年改正測量1:25,000地形図

昭和61年3月30日発行 (4色別) 計可公：複製を禁ず
 著作権所有者発行所 国土地理院



分布図 12



- | | |
|----------|----------|
| 国分市 | 隼人町 |
| 10-1 上井城 | 61-1 荒瀬城 |
| 2 桂姫城 | 3 咲隈城 |
| 3 清水城 | 4 鶴ヶ城 |
| 4 郡田小城 | 9 平熊城 |
| 5 高松城 | 11 角井ヶ城 |
| 6 橋木城 | 12 湯之峯砦 |
| 7 長尾城 | 13 石踊砦 |
| 8 鼻連山城 | 21 横尾城 |
| 9 年人城 | |
| 10 舞鶴城 | 財部町 |
| 11 渡瀬ノ陣 | 65-1 黒棚陣 |
| 12 姫木城 | 2 花平城 |
| 13 楡井城 | 3 竜虎城 |
| 14 桑ノ丸城 | 4 提城 |
| 16 宇豆峯城 | |
| 17 脇ノ丸城 | 牧園町 |
| 18 府中城 | 59-2 改田城 |
| 19 片城砦 | |
| 20 下井城 | 福山町 |
| 21 幸原城 | 62-1 馬立砦 |
| 22 陣ノ口 | 2 廻城 |
| 23 台明寺砦 | 3 竹原山陣 |
| 24 後川内城 | 4 惣陣ヶ陣 |
| 25 野坂砦 | 5 福山古城 |
| 26 川内城 | |
| | 霧島町 |
| | 60-1 大窪城 |
| | 2 柁城 |
| | 3 水入城 |
| | 4 川北城 |

行政区画



索引図



鹿兒島県
宮崎県

明治35年測量
昭和57年第2回編集
資料：昭和55年改測1:25,000地形図

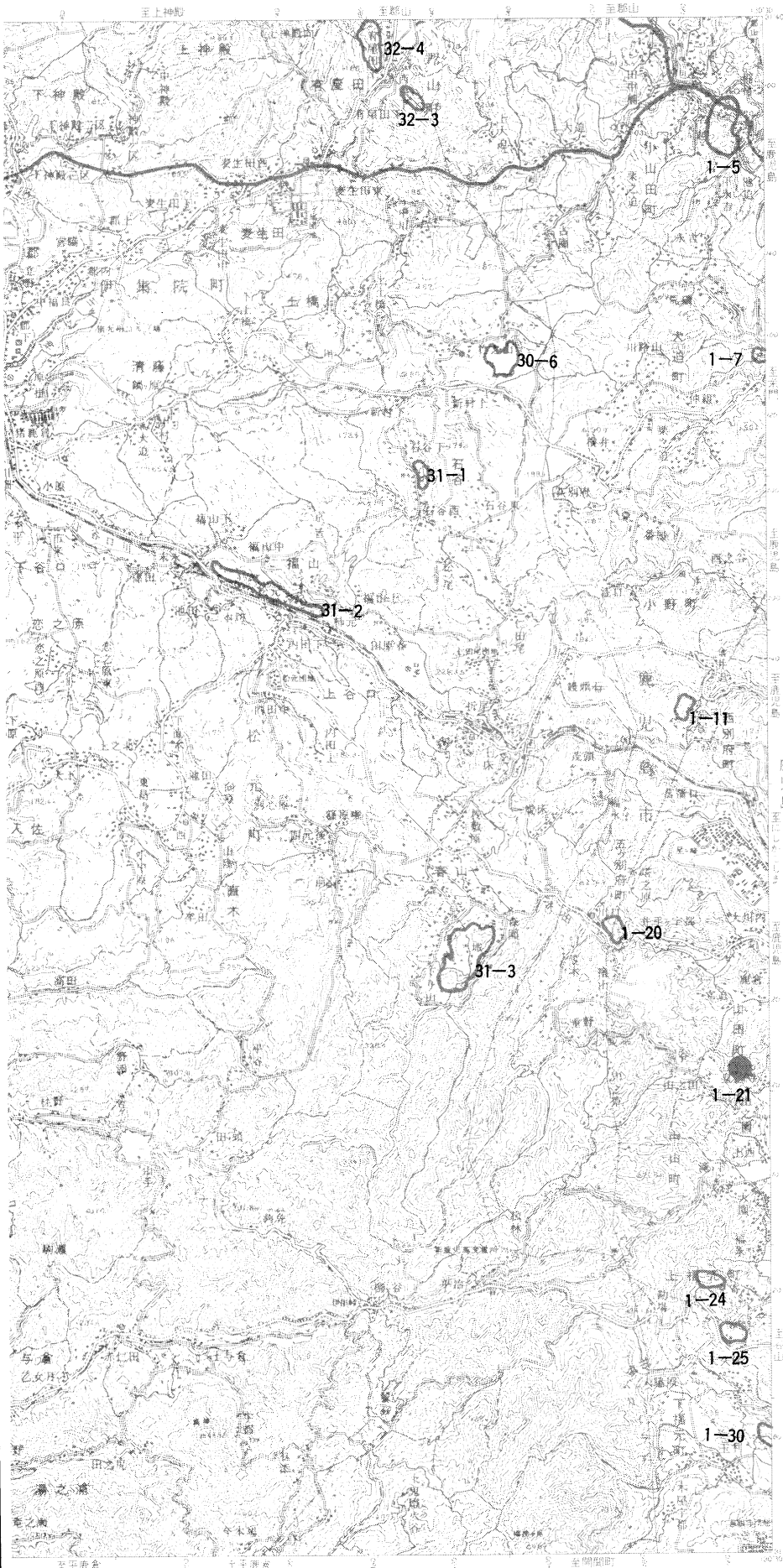
昭和60年2月28日発行 (4色刷) 許可：建設省
著作権所有兼発行者 国土地理院

伊集院

1:50,000 地形図 NH-52-7-11
いじゅういん (鹿児島11号)



分布图 13



鹿児島市

- 1-5 小山田城
- 7 大道塁城
- 11 小田城
- 20 川口城
- 21 苦辛城
- 24 菊池城
- 25 御所ヶ原城
- 30 茶臼ヶ城

東市来町

- 29-1 鶴丸城
- 2 番屋城
- 3 平之城
- 4 大田原塁城
- 5 伊作田城
- 6 古崎城
- 7 総陣之尾城
- 8 得仏城
- 9 楯城
- 10 向楯城

伊集院町

- 30-1 一字治城
- 2 大田城
- 3 内城
- 4 大内山城
- 6 長崎城
- 7 小城

松元町

- 31-1 石谷城
- 2 谷口城
- 3 春山城

郡山町

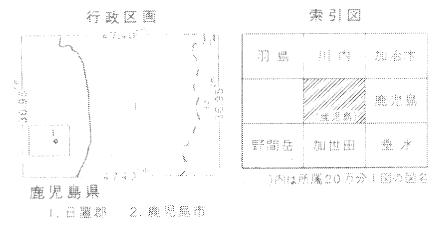
- 32-3 聖城
- 4 有屋田城

日吉町

- 33-1 井尻城
- 2 井手ヶ城
- 3 勝手ヶ城
- 4 田平城
- 5 南谷城
- 6 野崎城
- 7 若松城
- 8 松尾城
- 9 古垣城
- 10 吉利古城
- 11 吉利城
- 12 領家政所城
- 13 春日城

吹上町

- 34-1 池之城
- 2 伊作城
- 3 亀山城
- 4 中原城
- 5 柗ヶ峰城
- 6 堀之内城
- 7 山ノ城
- 8 打越城
- 9 皮籠石城
- 10 三石城
- 11 大牟田城
- 12 田尻城
- 14 楯ノ城
- 15 南郷城
- 16 勇介城



明治35年測量
 昭和43年編集
 昭和60年修正
 資料：昭和58年修正測量1:25,000地図
 昭和59年関係官公庁の資料

昭和61年3月30日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる
 著作権所有者発行 国土地理院

鹿児島

1:50,000 地形図 NH-52-7-7
かごしま (鹿児島7号)

加治木



分布図 14

鹿児島湾
(錦江湾)



鹿児島市

- 1-1 川上城
- 2 尾頭小城
- 3 催馬楽城
- 4 比志島城
- 6 伴掾館跡
- 7 犬迫畷
- 8 夏蔭城
- 9 原羅宮
- 10 野元營
- 12 上山城
- 13 鹿見島城
- 14 清水城
- 15 東福寺城
- 16 内城
- 17 浜崎城
- 18 谷峰城
- 19 唐湊城
- 22 榊城
- 23 神前城
- 26 城ヶ原
- 27 椿山陣
- 28 波之平城
- 29 谷山城
- 30 茶臼ヶ城
- 32 宇宿城
- 34 辺田城
- 35 茶磨畷
- 36 橋之口城

垂水市

- 11-1 入船城
- 5 崎山城
- 8 垂水城
- 10 早崎畷
- 14 小浜畷
- 15 茶臼ヶ屋畷
- 16 平常の陣
- 19 中保城

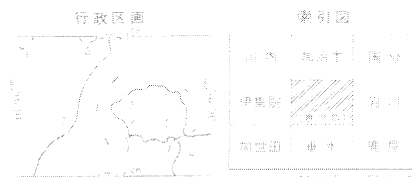
桜島町

- 15-1 横山城

郡山町

- 32-5 川田城

岩川



鹿児島県
1. 日置郡 2. 鹿角郡 3. 鹿屋郡 4. 志布志

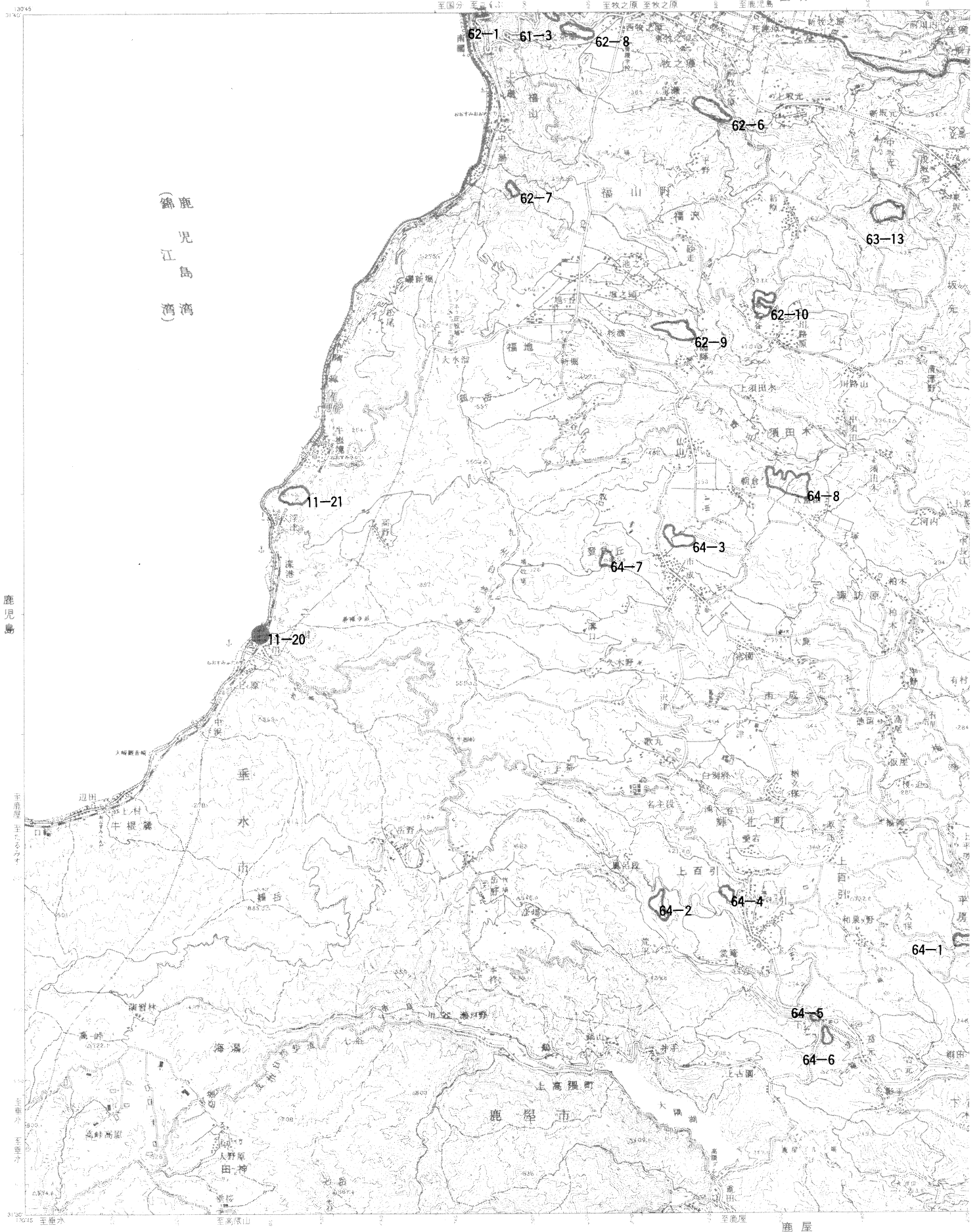
大正4年測量
昭和43年編集
昭和59年修正

- 1. 資料：昭和57年国土測量院25,000地形図
- 2. 換算：鹿児島市と桜島の境界は、部定

昭和60年12月28日発行 (4巻別) 発行所：建設省国土院
著作権所有 建設省 国土院

岩川

1:50,000 地形図 NH-52-7-3
いわがわ (鹿見島3号)

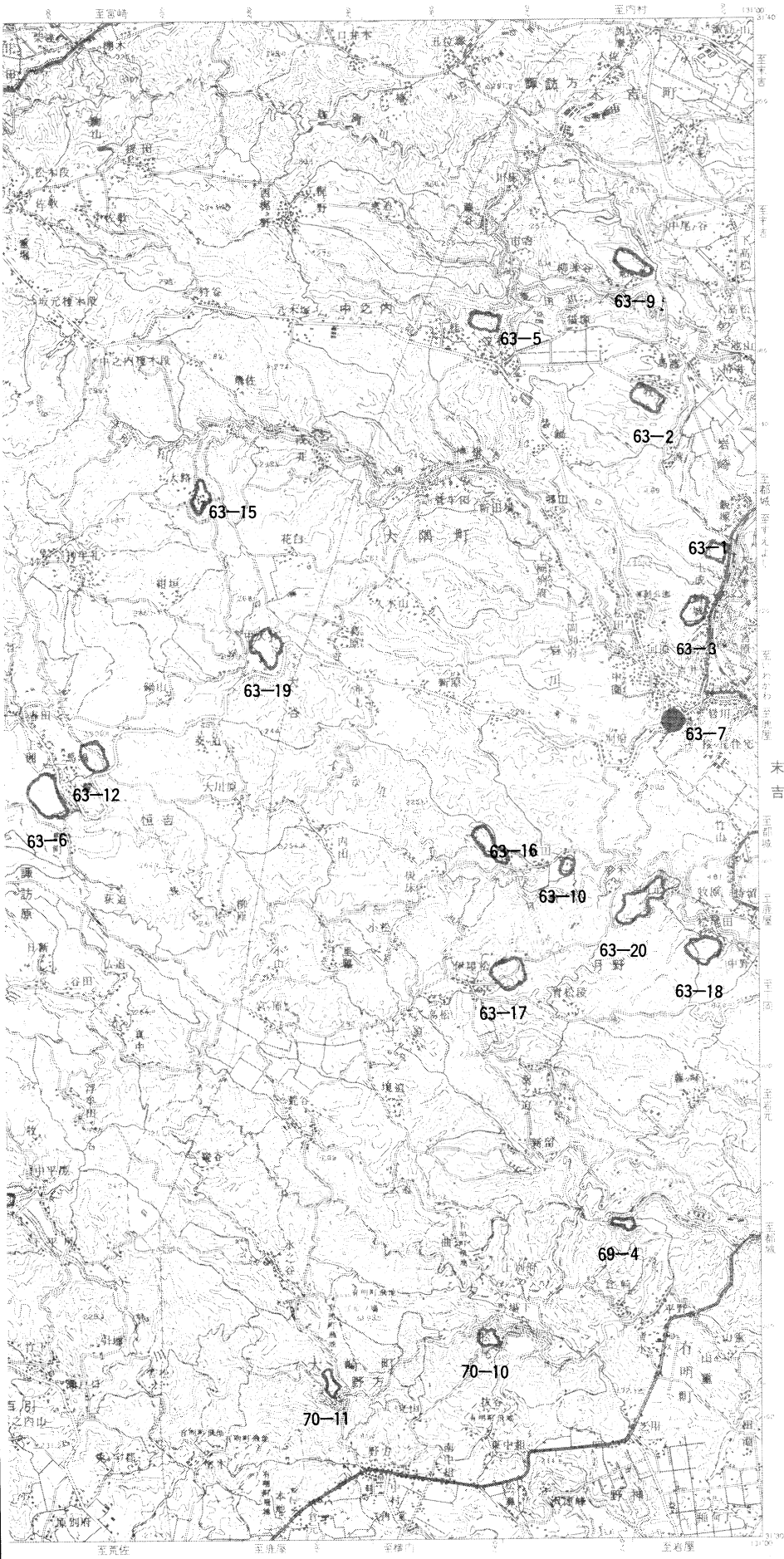


(鹿見島江湾)

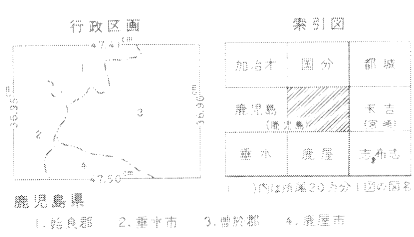
鹿見島

鹿屋

分布図 15



- | | |
|-----------|------------|
| 垂水市 | 輝北町 |
| 11-20 二ツ砦 | 64-1 加瀬田ヶ城 |
| 21 境城 | 2 白岩城 |
| | 3 垂野城 |
| 福山町 | 4 西原城 |
| 62-1 馬立砦 | 5 小城 |
| 3 竹原山陣 | 6 百引本城 |
| 6 室瀬城 | 7 登見城 |
| 7 小廻古城 | 8 諏訪城 |
| 8 古石城 | |
| 9 福地城 | 有明町 |
| 10 福沢城 | 69-4 高牧城 |
| | |
| 大隅町 | 大崎町 |
| 63-1 岩北城 | 70-10 松尾城 |
| 2 榊井城 | 11 榊井城 |
| 3 新城 | |
| 5 手取城 | 隼人町 |
| 6 恒古城 | 61-3 咲隈町 |
| 7 馬場城 | |
| 9 柳井谷城 | |
| 10 飯田城 | |
| 12 上榊城 | |
| 13 坂元城 | |
| 15 愛石城 | |
| 16 大谷城 | |
| 17 伊屋松城 | |
| 18 松尾田城 | |
| 19 中大谷城 | |
| 20 岡元城 | |



鹿兒島県
1. 鈴鹿郡 2. 垂水市 3. 豊後郡 4. 鹿屋市

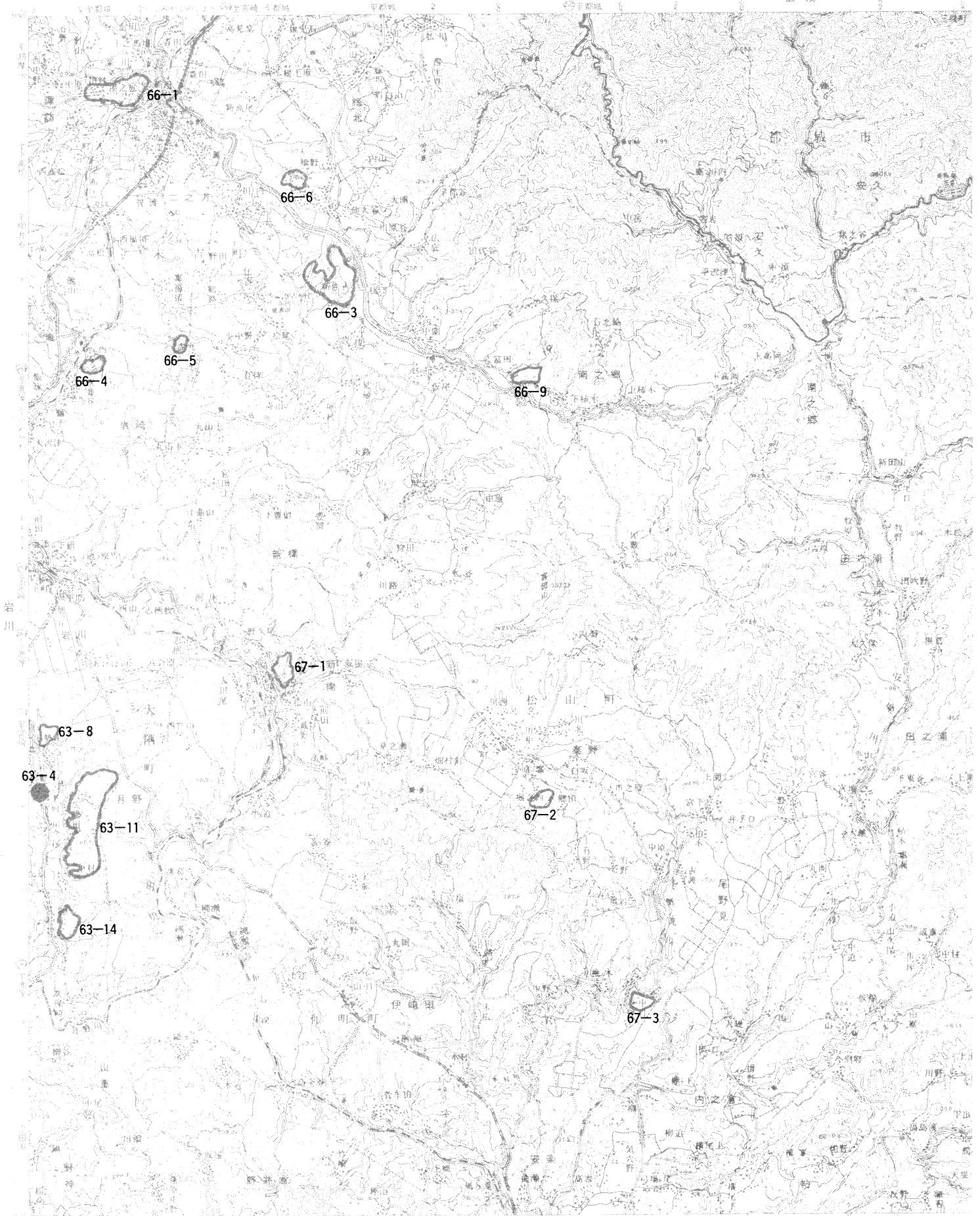
明治35年測量
昭和43年編集
昭和58年修正
1. 資料：昭和56年修正測量1:25,000地形図
2. 境界：福山町と垂水市の境界は一部未定

昭和60年1月30日発行 (4色刷) 許可：複製を禁ずる
著作権所有 発行所 国土地理院

末吉

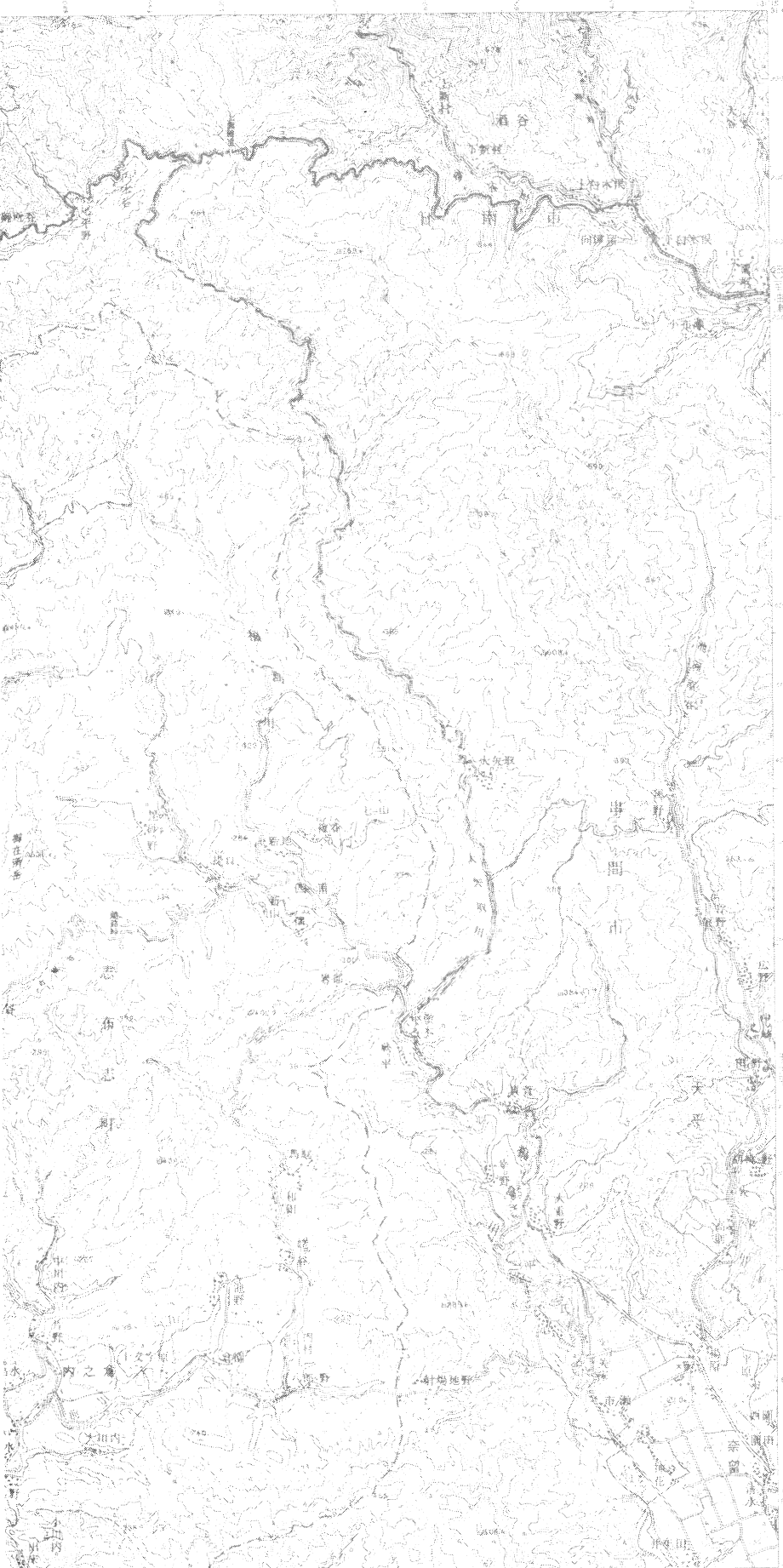
1:50,000 地形図 NH-52-1-15
すえよし (室崎15号)

都城



志布志

分布図 16



大隅町

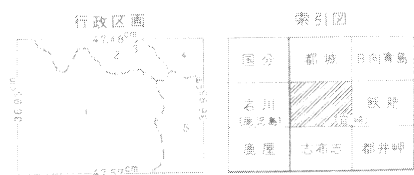
- 63-4 槻野城
- 8 槻野城
- 11 広津川城
- 14 岩元城

末吉町

- 66-1 末吉城
- 3 平松城
- 5 岩北城
- 5 虎丸城
- 6 橋野居館
- 9 南郷城

松山町

- 67-1 松山城
- 2 奈野城
- 3 尾野見城



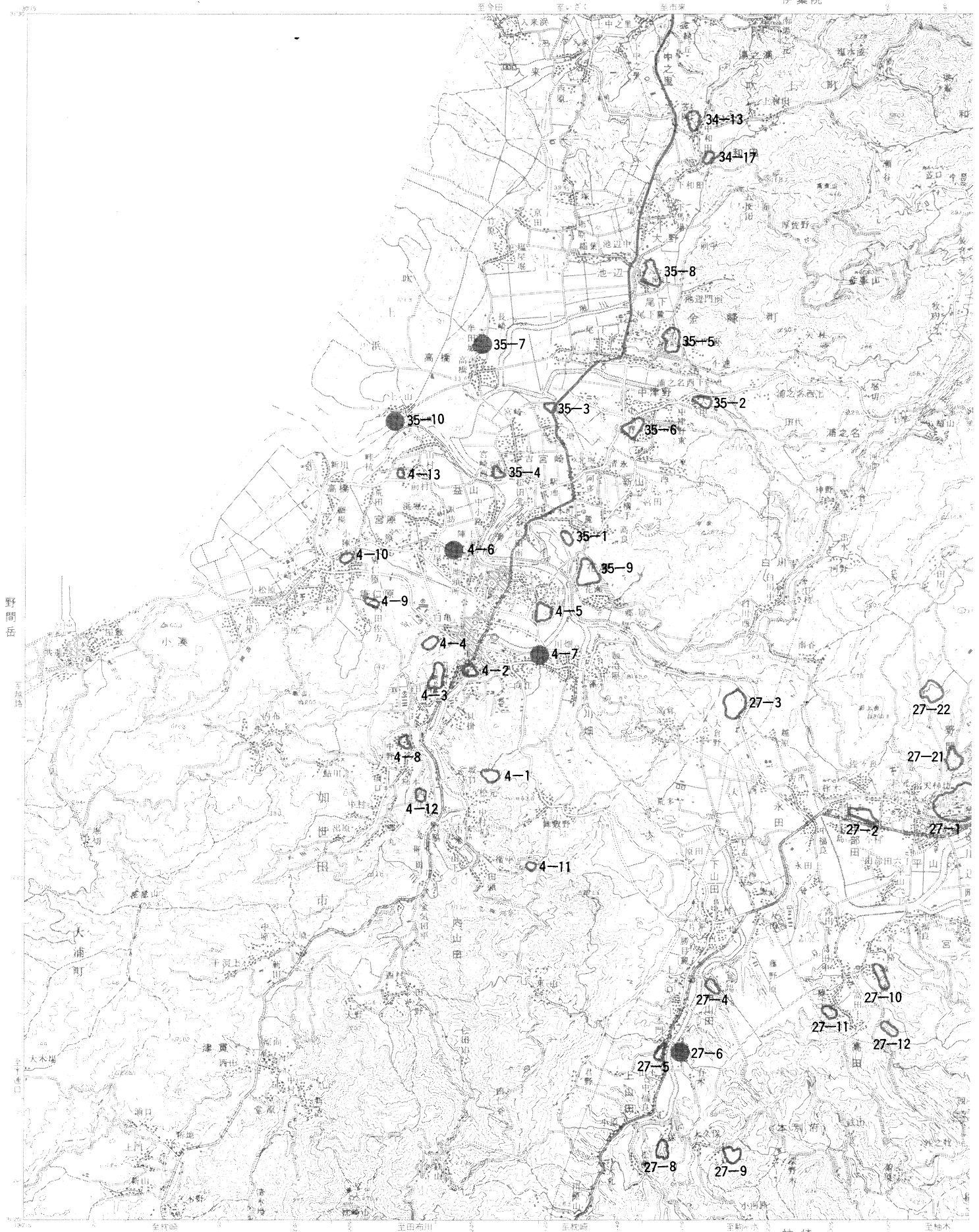
鹿兒島県
1. 曾野郡
宮崎県
2. 都城市 3. 北諸郎郡 4. 日南市 5. 串間市

明治34年測量
昭和43年編集
昭和50年修正
資料：昭和49年修正測量1:25,000地形図
昭和49年関係官公庁の資料

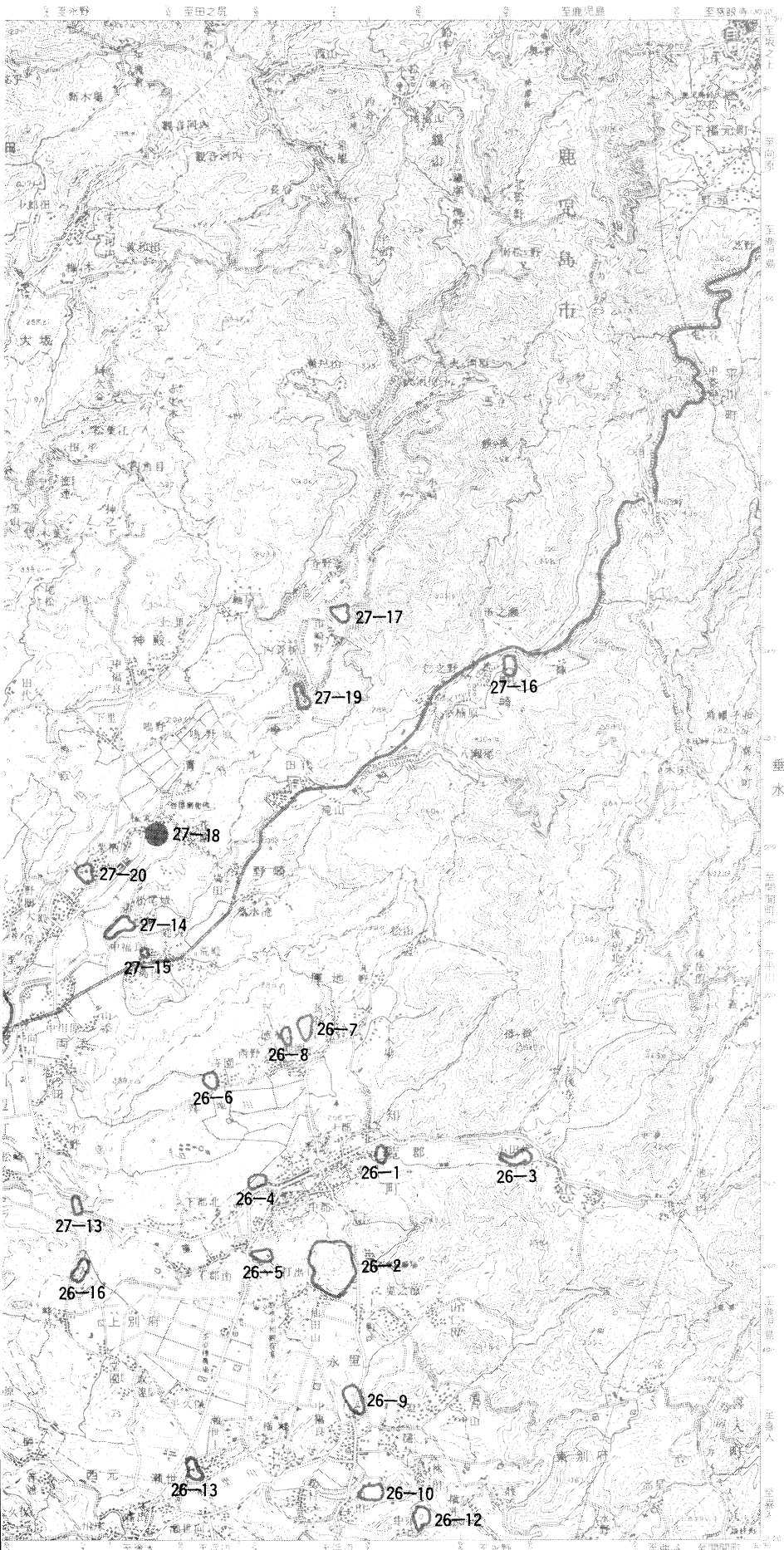
昭和51年3月30日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる
著作権所有兼発行者 国土地理院

加世田

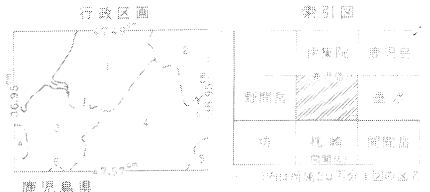
伊集院



分布図 17



- | | | |
|-------------|--------|-----------|
| 加世田市 | | 27-6 堀之内城 |
| 4-1 荒瀬城 | 2 別府城 | 3 上ノ城 |
| 4 内田城 | 5 尾守城 | 6 陣 |
| 7 花牟礼城 | 8 楠本城 | 9 佐方城 |
| 10 小陣 | 11 上城 | 12 古城 |
| 13 廻ノ塚陣 | | |
| 知覧町 | | 26-1 亀甲城 |
| 2 知覧城 | 3 穴ヶ城 | 4 寺師城 |
| 5 古城 | 6 厚地城 | 7 野石城 |
| 8 山石城 | 9 柴立城 | 10 園田城 |
| 12 為朝城 | 13 川畑城 | 16 猿山古陣 |
| 吹上町 | | 34-13 天ヶ城 |
| | | 17 田中城 |
| 金峰町 | | 35-1 鶴之城 |
| | | 2 上床城 |
| | | 3 貝殻崎城 |
| | | 4 古城 |
| | | 5 亀ヶ城 |
| | | 6 江田城 |
| | | 7 牟田城 |
| | | 8 牟礼ヶ城 |
| | | 9 今城 |
| | | 10 棧敷木陣 |
| 川辺町 | | 27-1 平山城 |
| | | 2 田部田城 |
| | | 3 兎ヶ城 |
| | | 4 勝目城 |
| | | 5 陣之尾城 |



鹿兒島県
 1. 日置郡 2. 鹿兒島市 3. 加世田市 4. 川辺町
 5. 川内郡 6. 枕崎市

明治35年測量
 昭和44年編集
 昭和59年修正

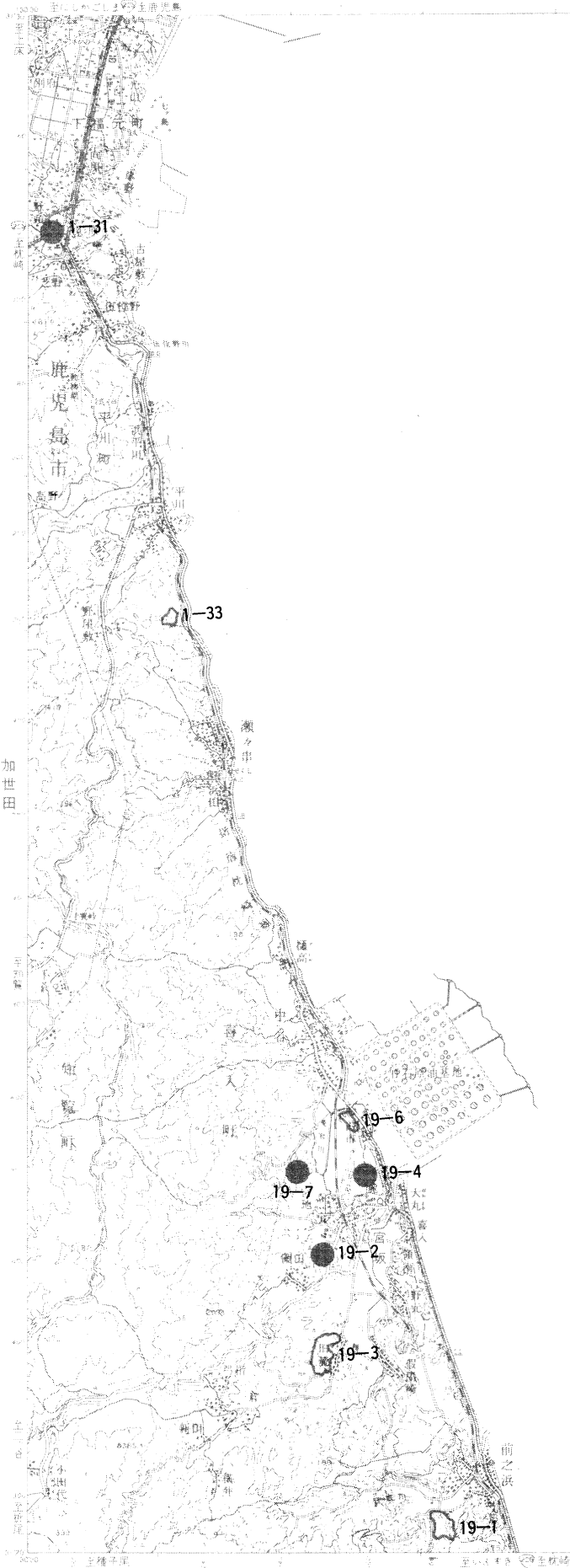
1. 資料：昭和59年修正測量1:25,000地形図
 昭和59年関係官公庁の資料
 2. 参考：川辺町と知覧町の境界は一部未定

昭和60年12月28日発行 14巻1号
 著作権者兼発行者 国土地理院

垂水

1:50,000 地形図 NH-52-7-8
たるみず (鹿児島8号)

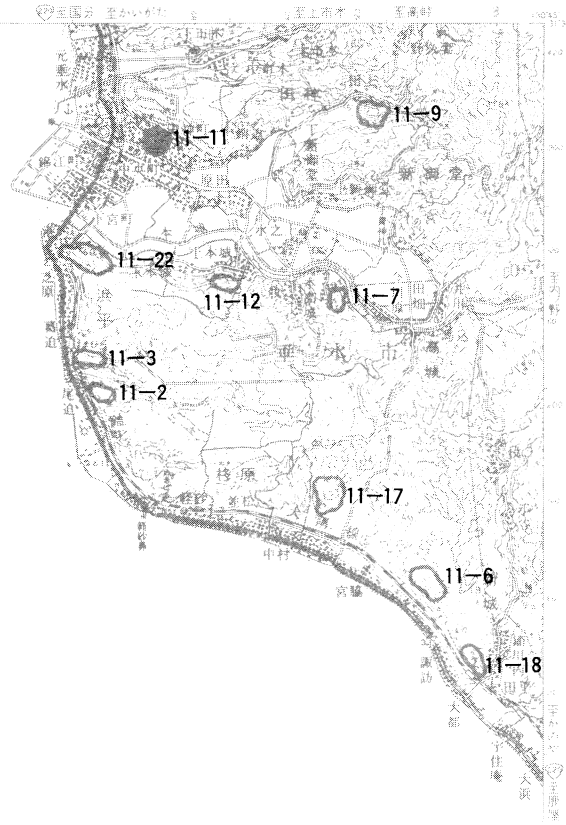
鹿児島



鹿児島湾
(錦江湾)

開闢岳

分布図 18



鹿児島市

- 1-31 堀ノ内
- 33 大船山陣

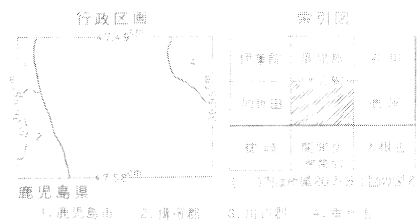
垂水市

- 11-2 尾迫城
- 3 葛迫城
- 6 白石城
- 7 高城
- 9 田上城
- 11 林城
- 12 垂水城
- 17 占城
- 18 諏訪城

喜入町

- 19-1 綱屋城
- 2 上籠城
- 3 給黎城
- 4 長懸山城
- 6 愛宕城
- 7 上ノ城

鹿屋

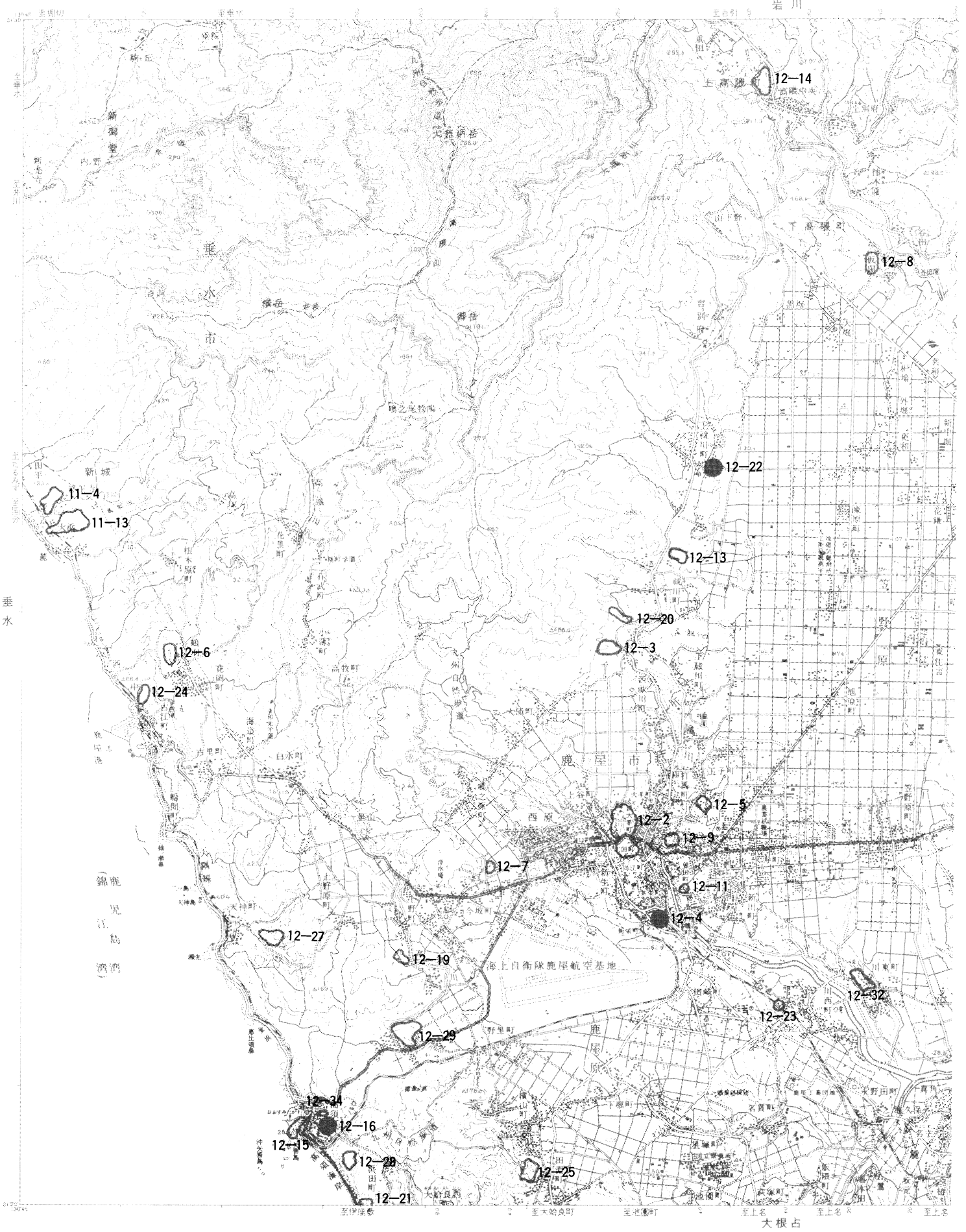


明治35年測量
昭和44年編集
昭和51年修正
資料：昭和49年改正測量1：25,000地形図

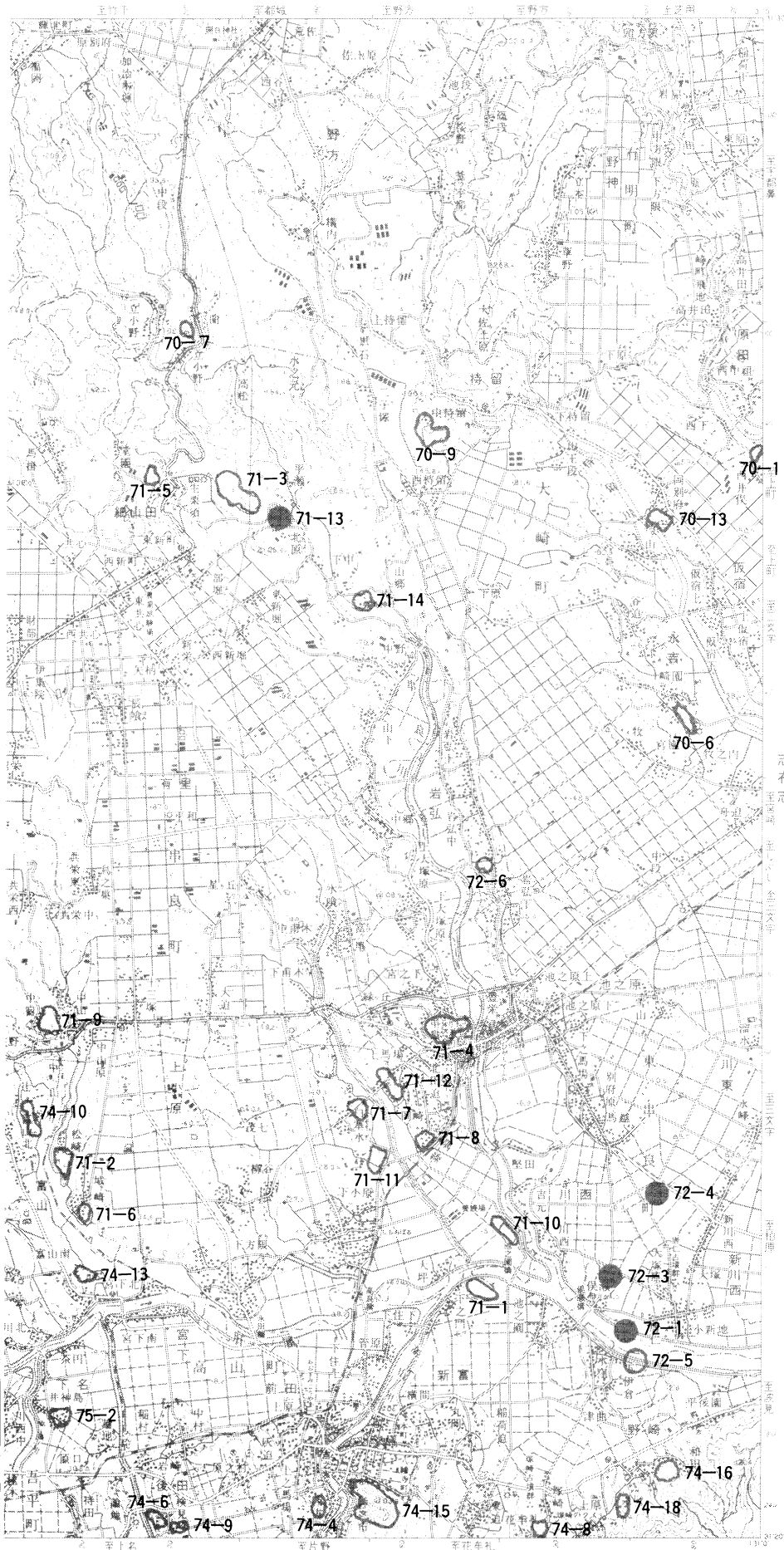
昭和52年3月30日発行 14色刷 鹿屋市役所印刷
著作権所有権発行者 国土地理院

鹿屋

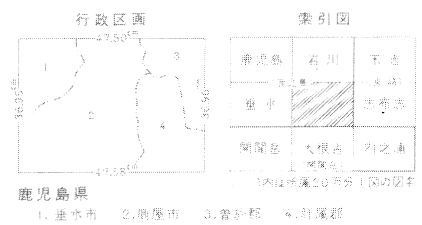
1:50,000 地形図 NH-52-7-4
かのや (鹿児島4号)



分布図 19



- 垂水市
 - 11-4 古今城
 - 13 新城
- 鹿屋市
 - 12-2 鹿屋城
 - 3 鹿屋一谷城
 - 4 鹿屋古城
 - 5 鹿屋元町
 - 6 木谷城
 - 7 久恵城
 - 8 飯屋城
 - 9 古前城
 - 11 白崎城
 - 11 白崎城
 - 13 瀬戸城
 - 14 高隈城
 - 15 高須城
 - 16 高須古城
 - 19 野里城
 - 20 長谷城
 - 21 浜田城
 - 22 日ヶ根城
 - 23 船古江城
 - 24 横山城
 - 27 荒平城
 - 28 金比羅山城
 - 29 小牧城
 - 32 宮ノ前城
 - 34 観音山
- 串良町
 - 71-1 肝付氏古城
 - 2 松崎城
 - 3 北原城
 - 4 串良城
 - 5 細山田城
 - 6 小原城
 - 7 白寒水城
 - 8 岡崎城
 - 9 中山城
 - 10 肝付氏古城
 - 11 稲村城
 - 12 中村城
 - 13 北原氏居館
 - 14 霧島城
- 東串良町
 - 72-1 別府ヶ城
 - 3 堀込城
 - 4 笹塚城
 - 5 下伊倉城
 - 6 岩弘城
- 高山町
 - 74-4 合戦田の陣
 - 6 検見崎城
 - 8 塚崎城
 - 9 堂園の陣
 - 10 富山城
 - 13 宮下城
 - 15 弓張城
 - 16 和田城
 - 18 天道山
- 大崎町
 - 70-1 金丸城
 - 6 野御城
 - 7 野方狼煙台
 - 9 榎山城
 - 13 矢ヶ城
- 吾平町
 - 75-2 井上城



明治35年測量
 昭和43年編集
 昭和58年修正
 資料：昭和56年修正測量1:25,000地形図

昭和60年1月30日発行 (4色刷) 許可：複製を禁ずる
 著作権所有兼発行者 国土地理院

志布志

1:50,000 地形図 NH-52-1-16
しぶし (宮崎16号)



分布図 20



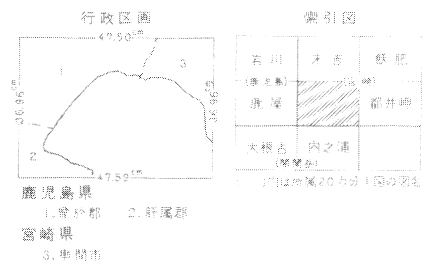
- 志布志町
- 68-1 新 城
 - 2 高 城
 - 3 肉 城
 - 4 松 尾 城
 - 5 安 楽 城
 - 6 夏 井 城
 - 7 陣 岳 塁

- 有明町
- 69-1 片 平 城
 - 2 蓬 原 城
 - 3 金 丸 城

- 大崎町
- 70-2 大 崎 城
 - 3 胡 摩 ヶ 崎 城
 - 4 梶 谷 城
 - 5 天 守 城
 - 8 竜 相 城
 - 12 大 崎 古 城
 - 15 横 瀬 城

- 東串良町
- 72-2 曲 之 城

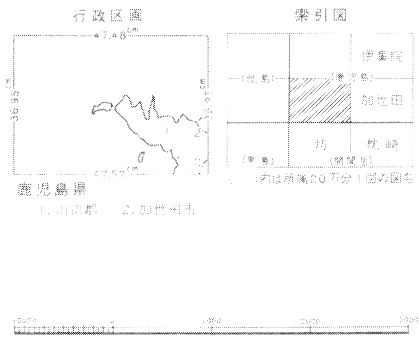
- 高山町
- 74-14 波 見 城
 - 17 波 見 の 陣



明治35年測量
昭和44年編集
昭和53年修正
資料：昭和52年修正測量：25,000地形図

昭和55年2月28日発行 1:4色刷り 許可：複製を禁ずる
著作権所有兼発行所 国土地理院

野間岳



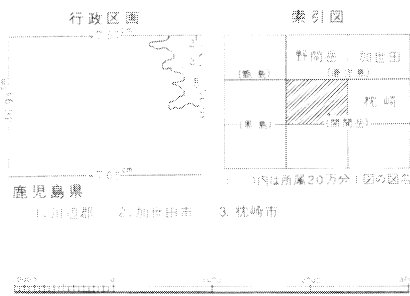
坊

分布図 21

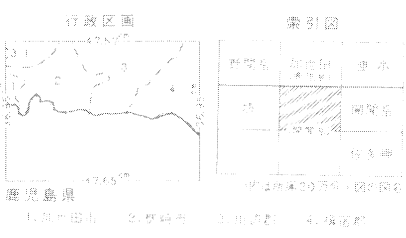
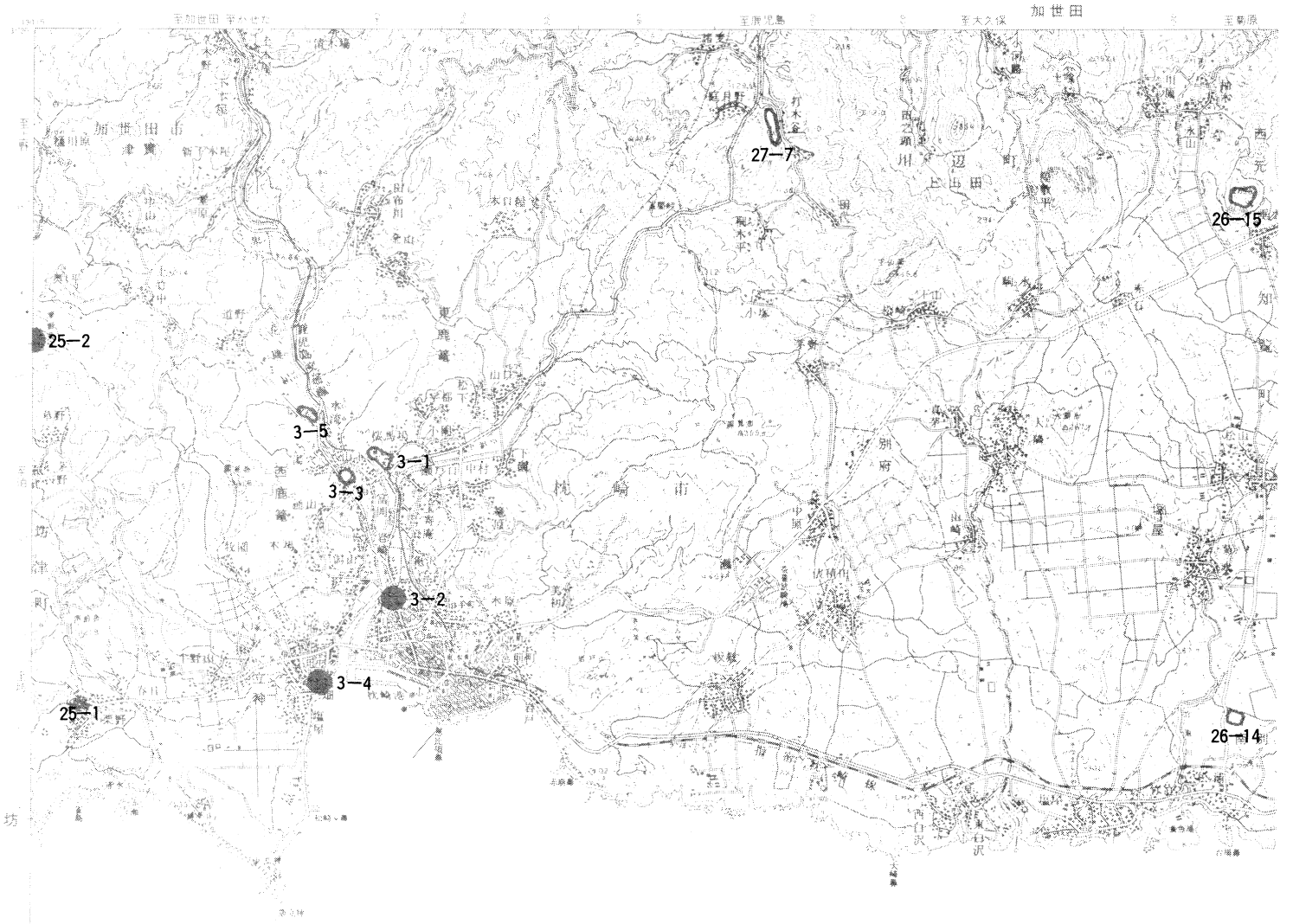


坊津町

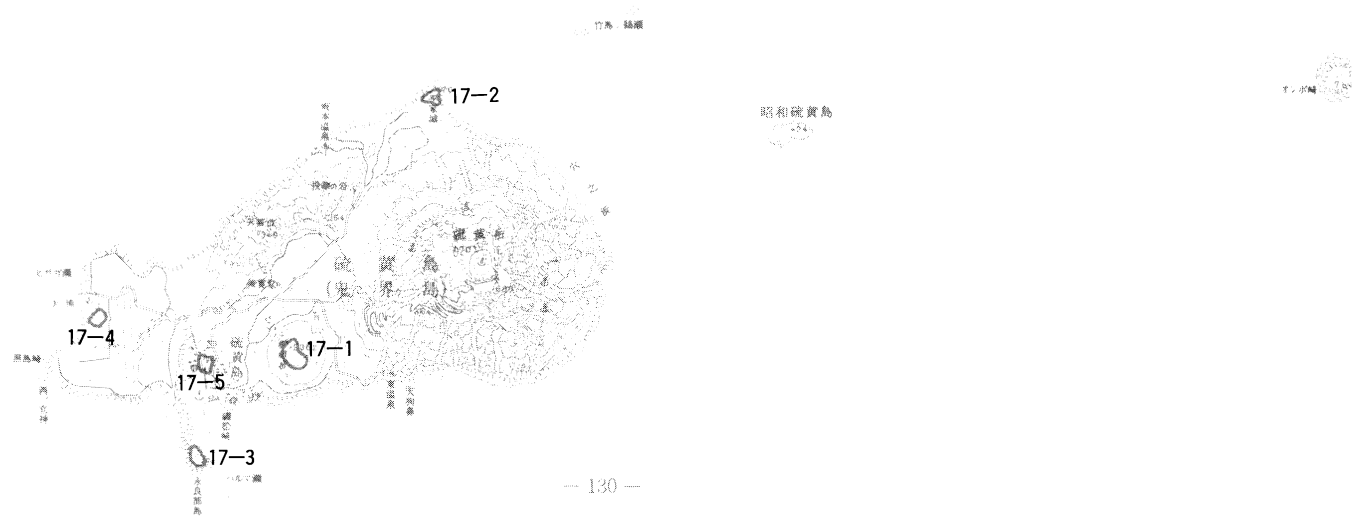
25-2 陣ヶ岳



枕崎



薩摩硫黄島



分布図 22



- 枕崎市
- 3-1 桜之城
 - 2 熊之城
 - 3 鳥城
 - 4 小湊城陣
 - 5 小陣

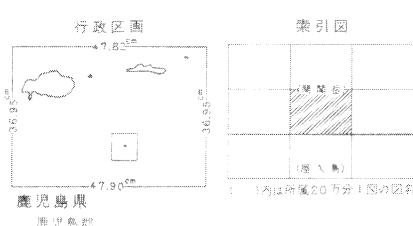
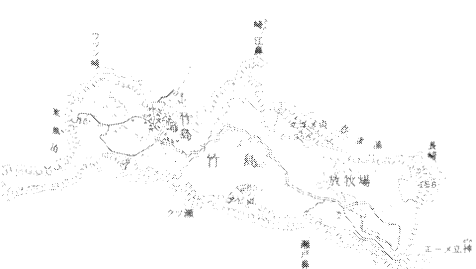
- 三島村
- 17-1 青尾の城
 - 2 平家城
 - 3 永良部崎城
 - 4 城ヶ原
 - 5 黒木御所

- 類娃町
- 22-5 猫城
 - 6 只角城

- 坊津町
- 25-1 野首城
 - 2 陣ヶ岳

- 知覧町
- 26-11 新 柘
 - 14 南別府城
 - 15 陣の岡城

- 川辺町
- 27-7 城ヶ南風城



開聞岳

垂水



分布図 23



- 指宿市
- 2-1 松尾城
 - 2 清見城
 - 3 原田城

- 喜入町
- 19-5 米倉城

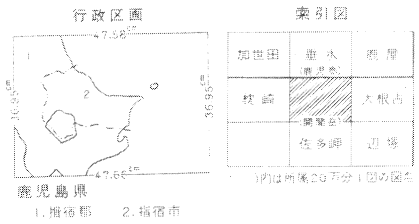
- 山川町
- 20-1 白ヶ城
 - 2 馬背城
 - 3 鎌田城
 - 4 土矢倉城

- 開聞町
- 21-1 仙田城
 - 2 上野城
 - 3 小 城

- 額娃町
- 22-1 額娃古城
 - 2 楳山城
 - 3 額娃城
 - 4 陣山塁

(錦
鹿
見
江
島
湾)

大根占



明治34年測量
昭和43年編集
昭和58年修正

資料：昭和37年修正測量(1:25,000地形図)
等深線は昭和47年測量の湖沼図による

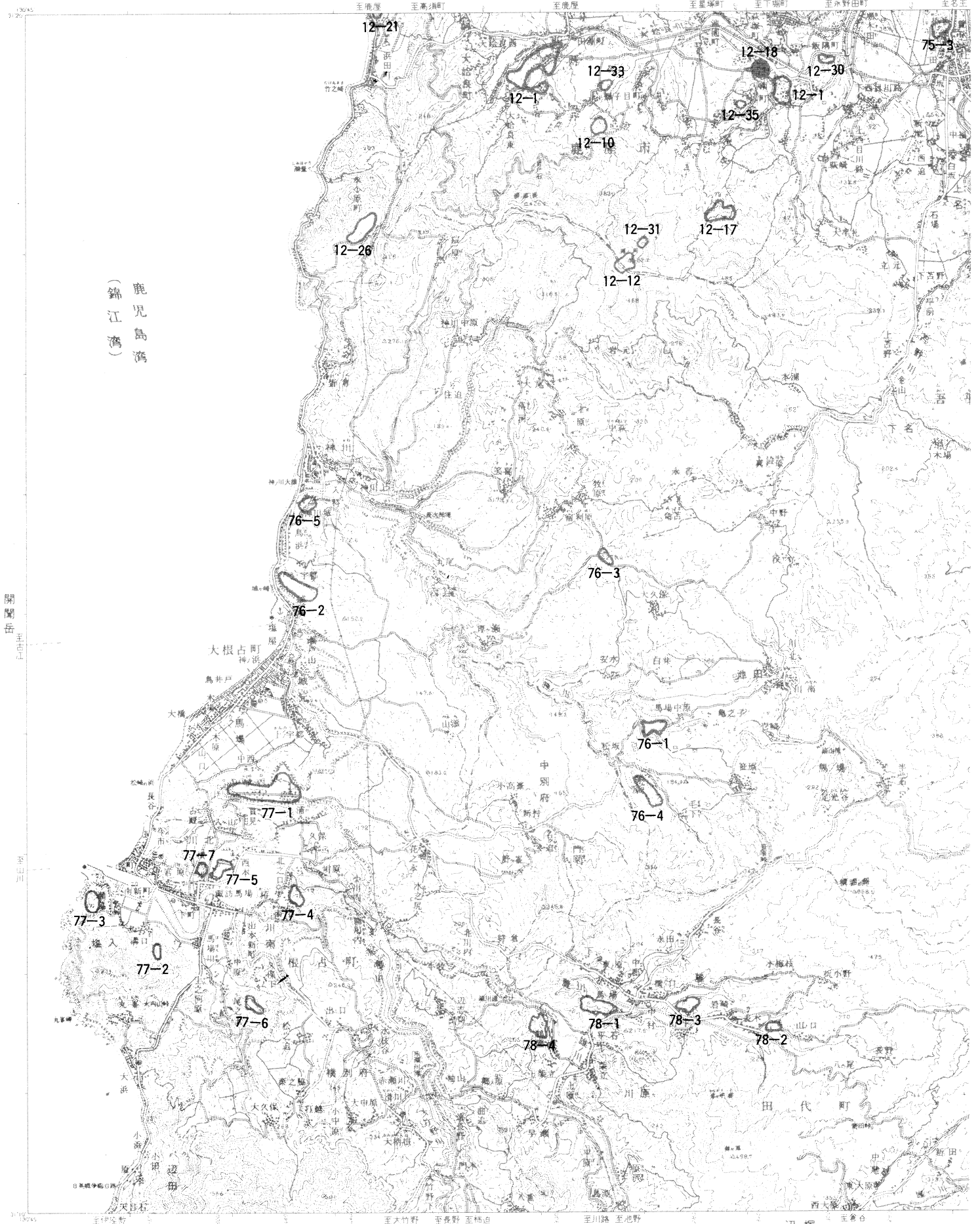


昭和60年11月30日発行 (4色刷) 許可(複製を禁ずる)
著作権所有兼発行者 国土地理院

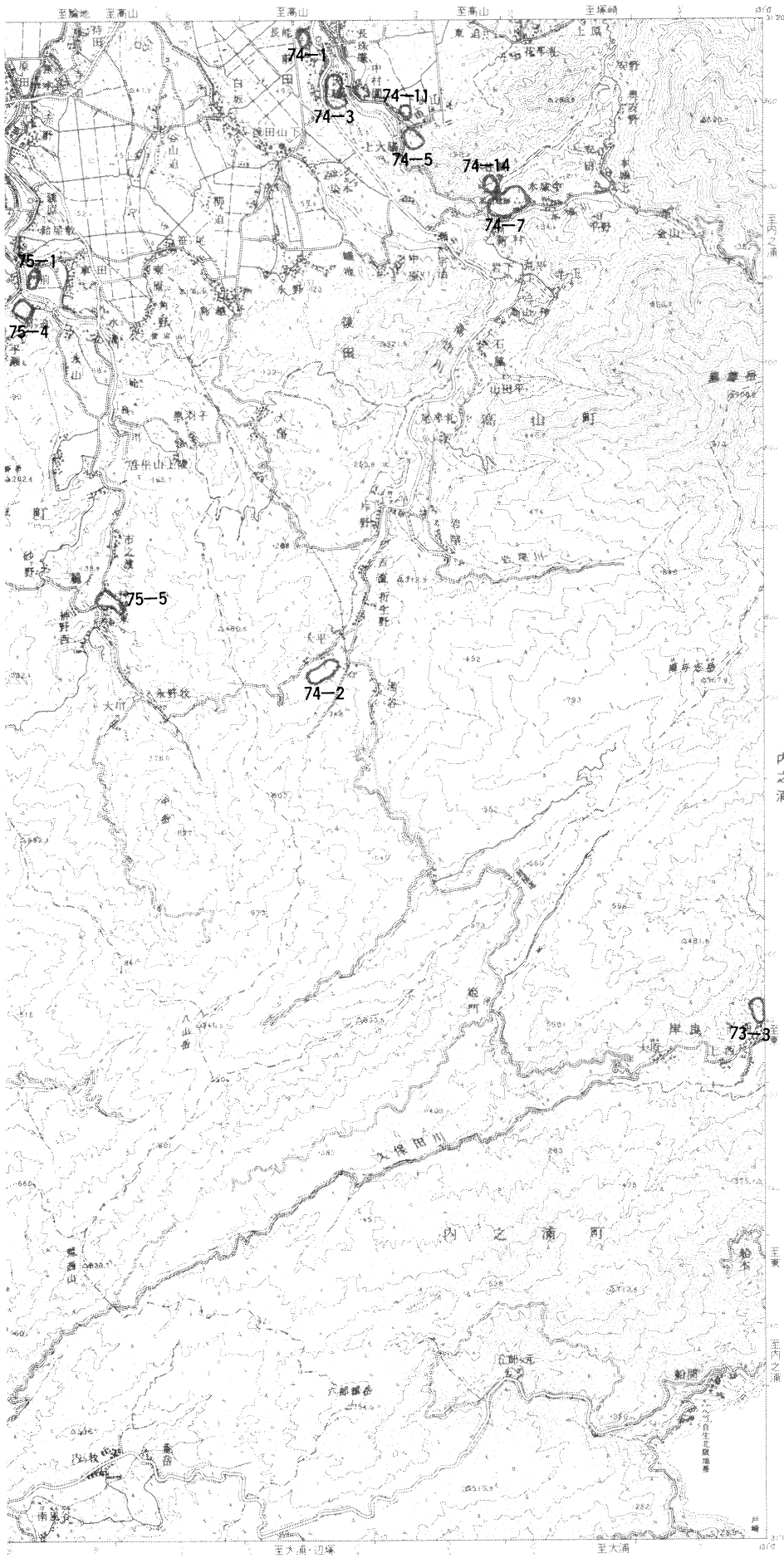
大根占

1:50,000 地形図 NH-52-8-1
おおねじめ (開闢岳1号)

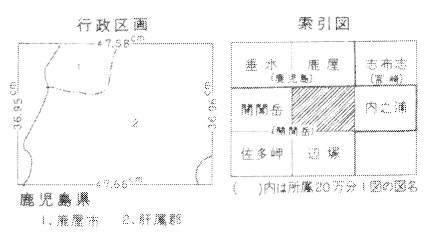
(鹿兒島湾)
錦江湾



分布図 24



- | | |
|--------------------|-------------|
| 鹿屋市 | 大根占町 |
| 12-1 大始良城 | 76-1 馬場中原城 |
| 10 志々目城 | 2 高城 |
| 12 陣之尾塁 | 3 高尾山塁 |
| 17 茶臼城 | 4 崩原城 |
| 18 西俣城 | 5 神ノ川城 |
| 21 浜田城 | |
| 26 陣城 ² | 根占町 |
| 30 年貫城 | 77-1 国見城 |
| 31 山ヶ城 | 2 永流城 |
| 33 志々目城 | 3 瀬脇城 |
| 35 大塚山塁 | 4 富田城 |
| | 5 野間城 |
| 内之浦町 | 6 山田城 |
| 73-3 岸良城 | 7 建部城 |
| 高山町 | 田代町 |
| 74-1 宇都の陣 | 78-1 田代城 |
| 2 大平城 | 2 原田城 |
| 3 御幣園城 | 3 謙訪城 |
| 5 求摩陣 | 4 鶴園城 |
| 7 高山城 | |
| 11 永山陣 | |
| 14 柳井谷の陣 | |
| 内之浦 | 吾平町 |
| | 75-1 松下城 |
| | 3 山古城 |
| | 4 筒ヶ迫城 |
| | 5 岩下城 |



明治35年測量
昭和43年編集
昭和52年修正
資料：昭和51年修正測量(1:25,000)地形図
昭和52年関係官公庁の資料

昭和53年10月30日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる
著作権所有兼発行者 国土地理院

内之浦

志布志

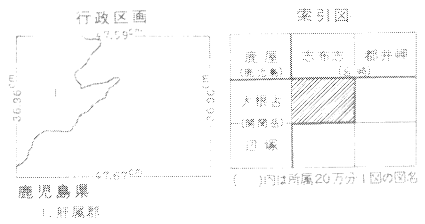
1:50,000 地形図 NH-52-2-13
うちのうら (開闢岳1号東)



分布図 25

内之浦町

- 73-1 荒田城
- 2 川上城
- 3 岸良城
- 4 甕田城
- 5 真福寺墓



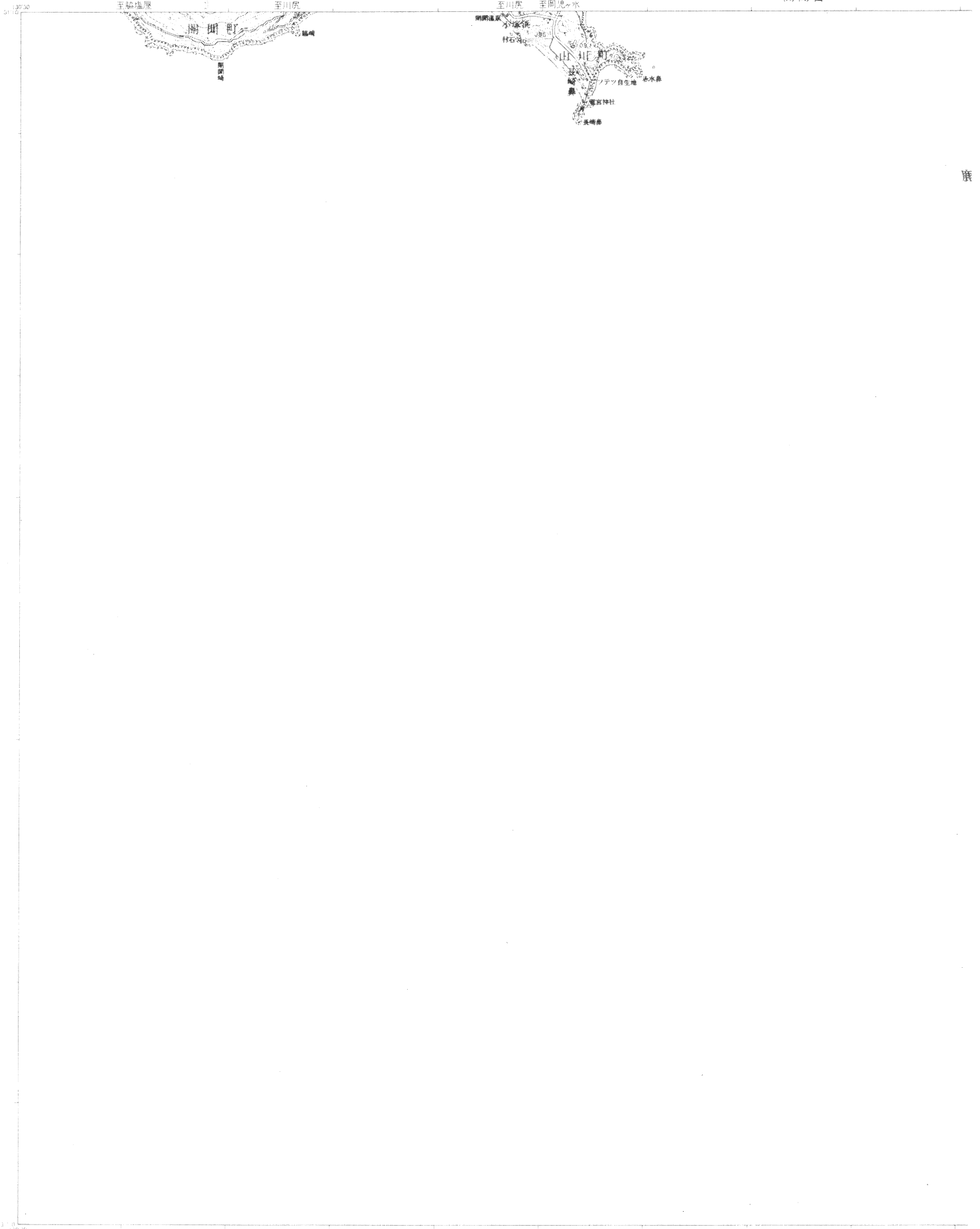
明治35年測量
昭和43年編集
昭和52年修正
資料：昭和51年修正測量1:25,000地形図
昭和52年関係官公庁の資料

昭和53年11月30日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる
著作権所有兼発行者 国土地理院

佐多岬

1:50,000 地形図 NH-52-8-6・7
さたみさき (開闢岳6号・7号)

開闢岳



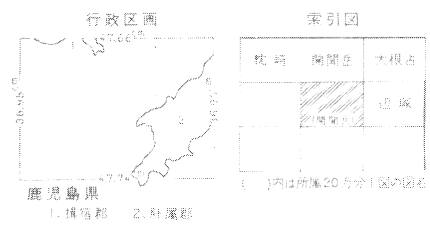
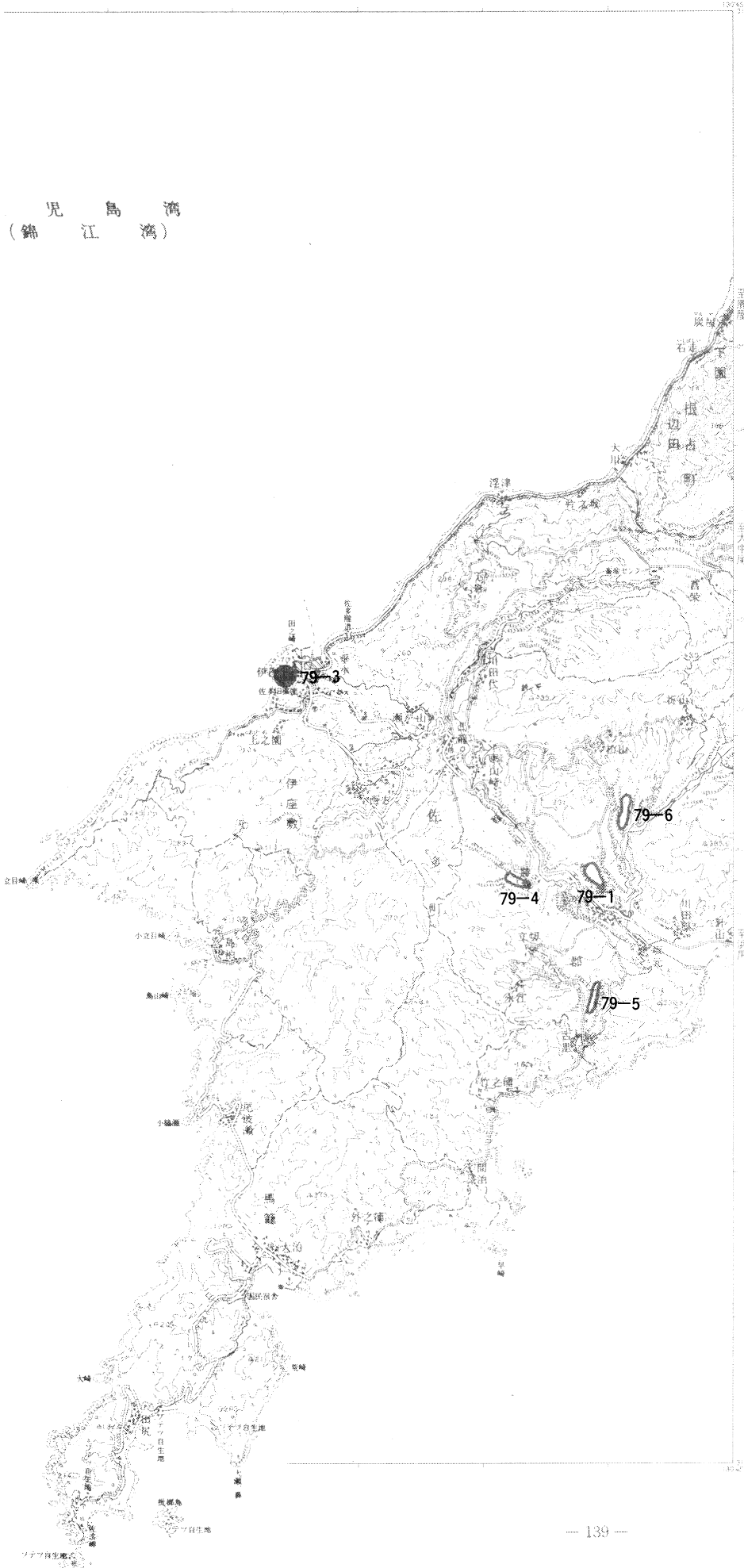
廣

分布図 26

田代町

- 79-1 高木城
- 3 伊座敷城
- 4 馬籠城
- 5 占里城
- 6 萩崎城

児島湾
(錦江湾)



明治35年測量
昭和44年編集
昭和52年修正
資料：昭和51年修正測量1:25,000地形図
昭和52年関係官公庁の資料

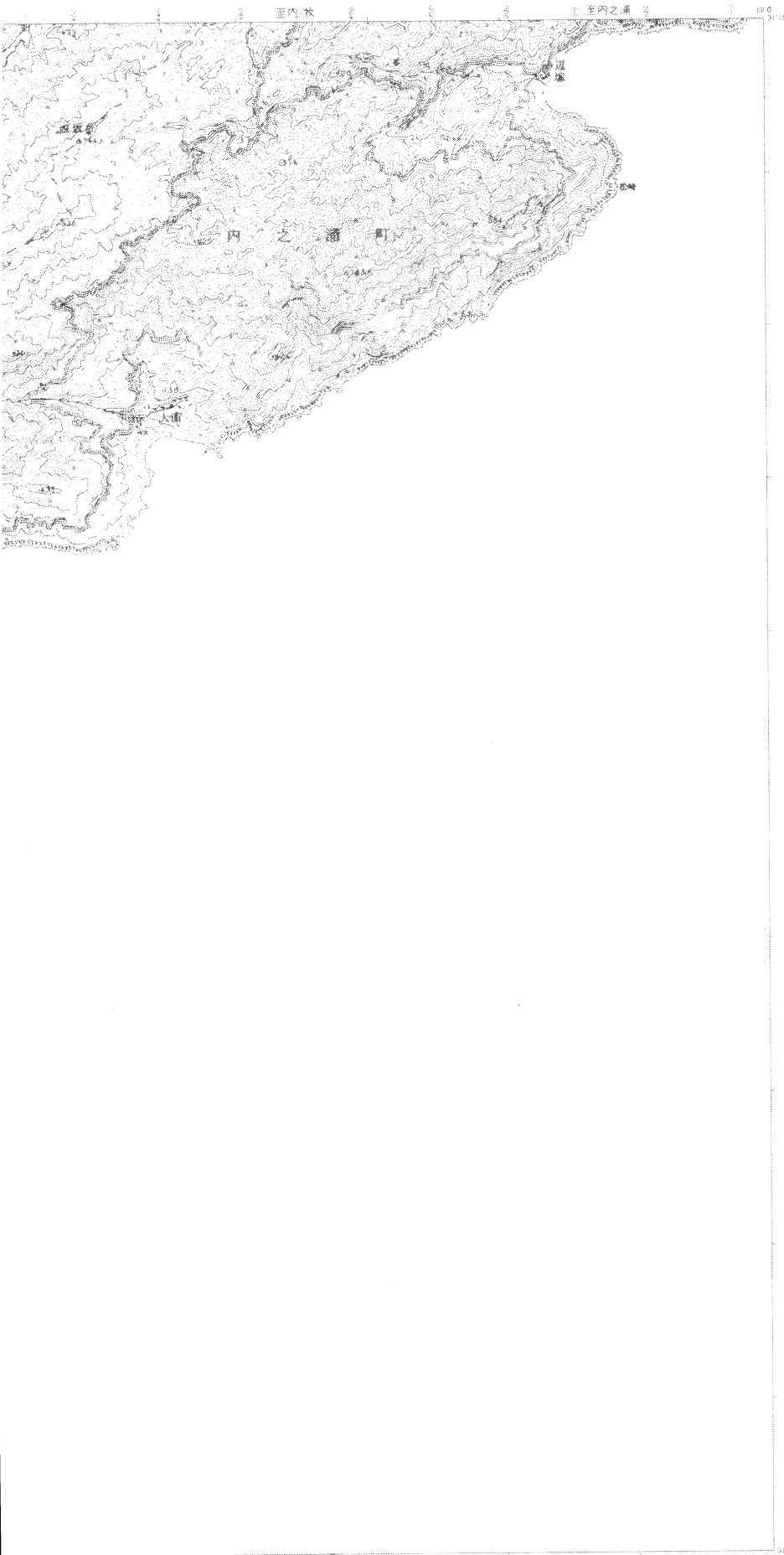
昭和55年10月30日発行 (4色刷) 許可：複製を禁ずる
著作権所有 著者 国土地理院

辺 塚

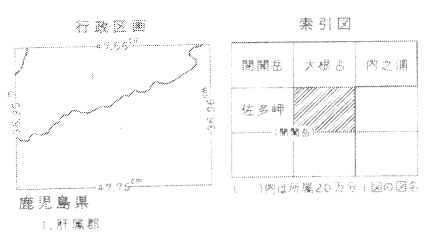
1:50,000 地形図 NH-52-8-2
へつか (開闢岳2号)



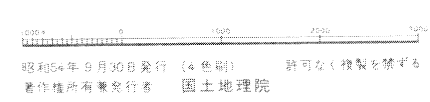
分布図 27



田代町
79-2 辺塚城



明治35年測量
昭和43年編集
昭和52年修正
資料：昭和51年修正測量(1:25,000)地形図
昭和52年関係官公庁の資料

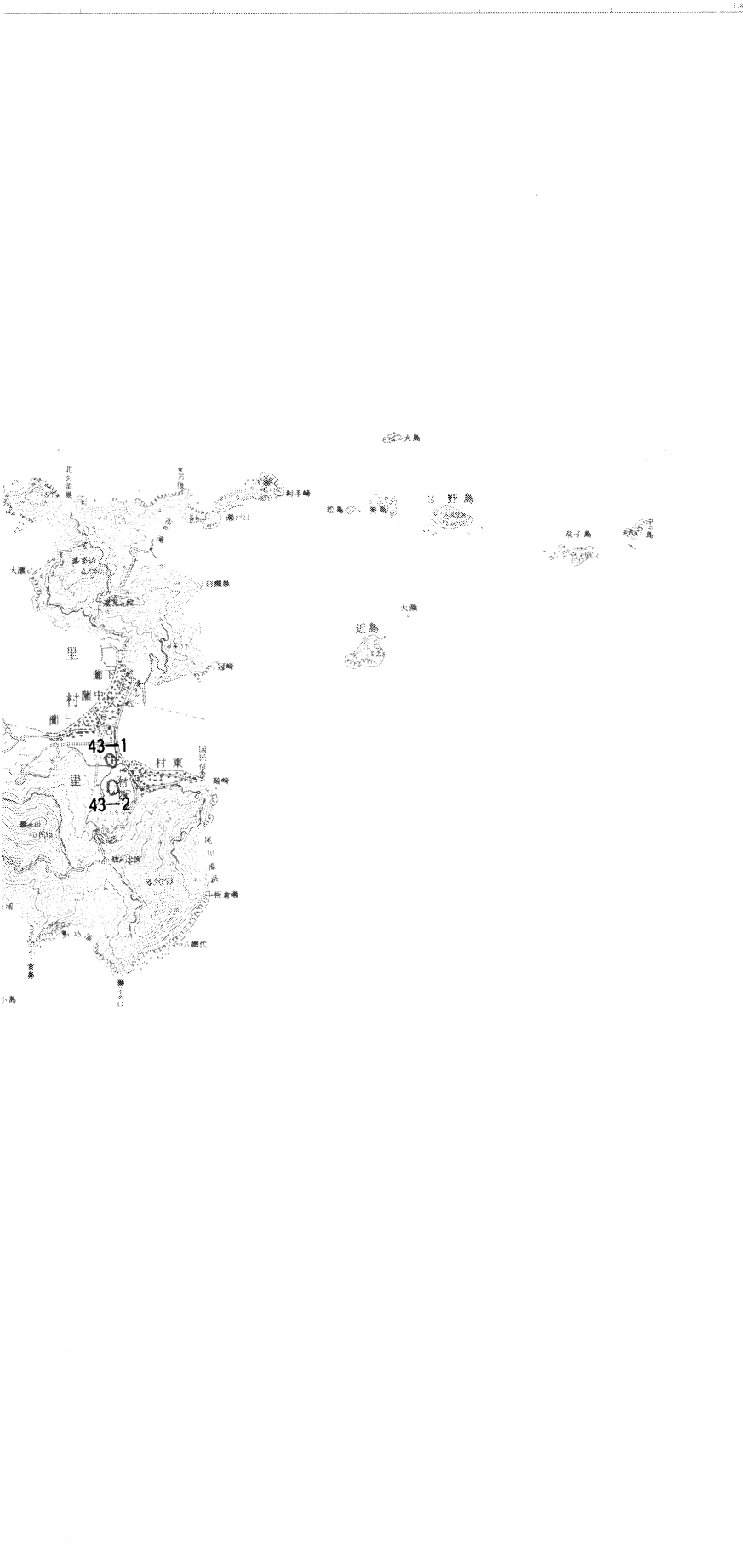




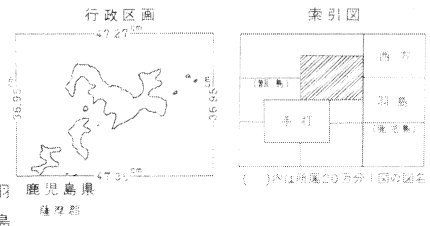
手打

分布図 28

黒 村
 城
 43-1 亀
 2 鶴



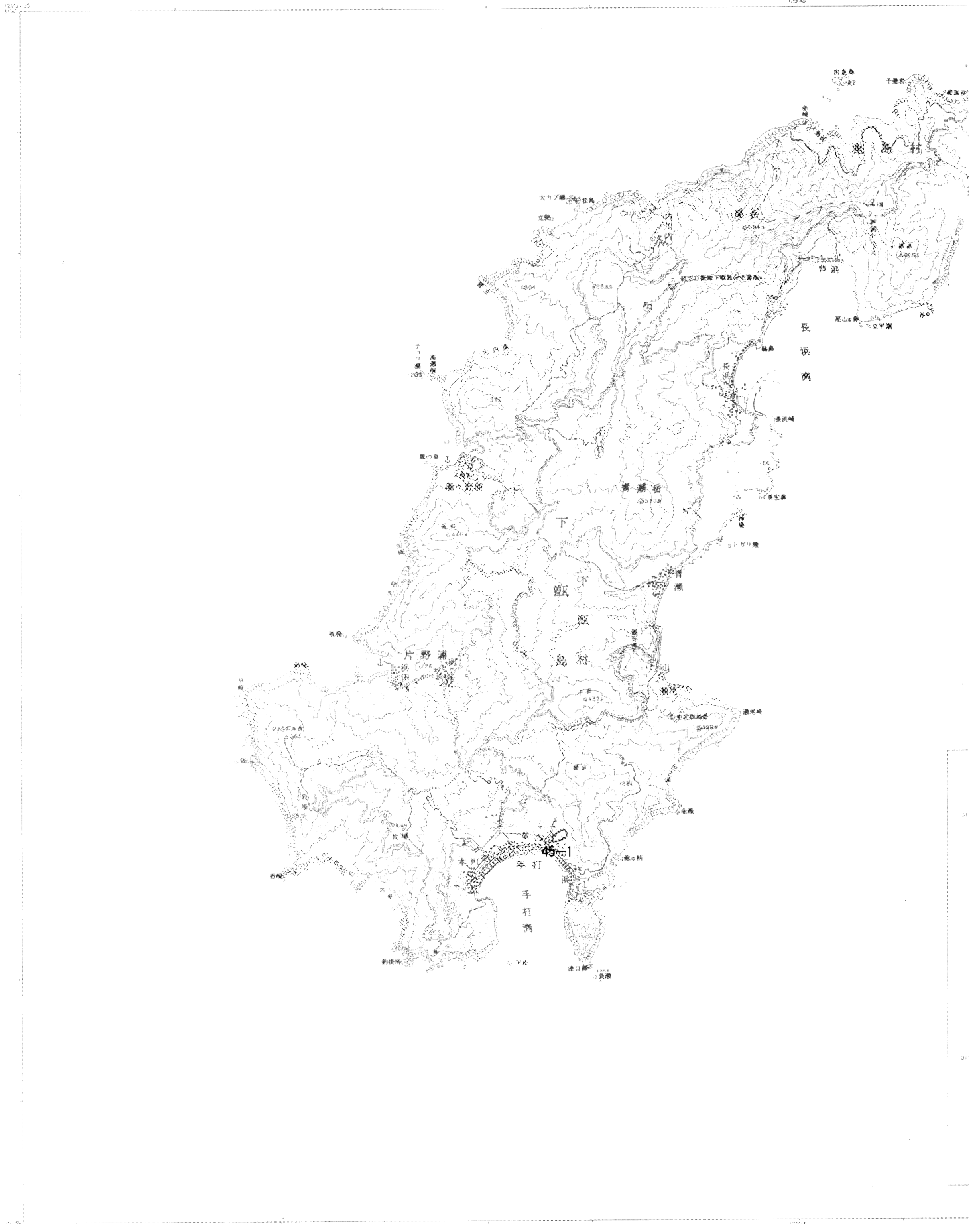
西
方



明治34年測量
 昭和43年編集
 昭和58年修正
 1. 資料：昭和57年修正測量1:25,000地形図
 2. 境界：里村と上鶴村の境界は一部未定

手 打

1:50,000 地形図 NH-52-13-2・3・6・7
てうち (甌島2号・3号・6号・7号)

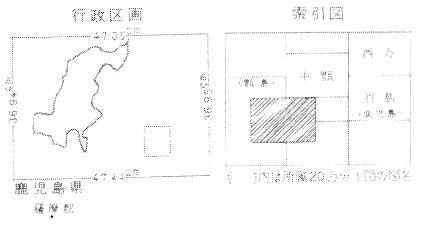
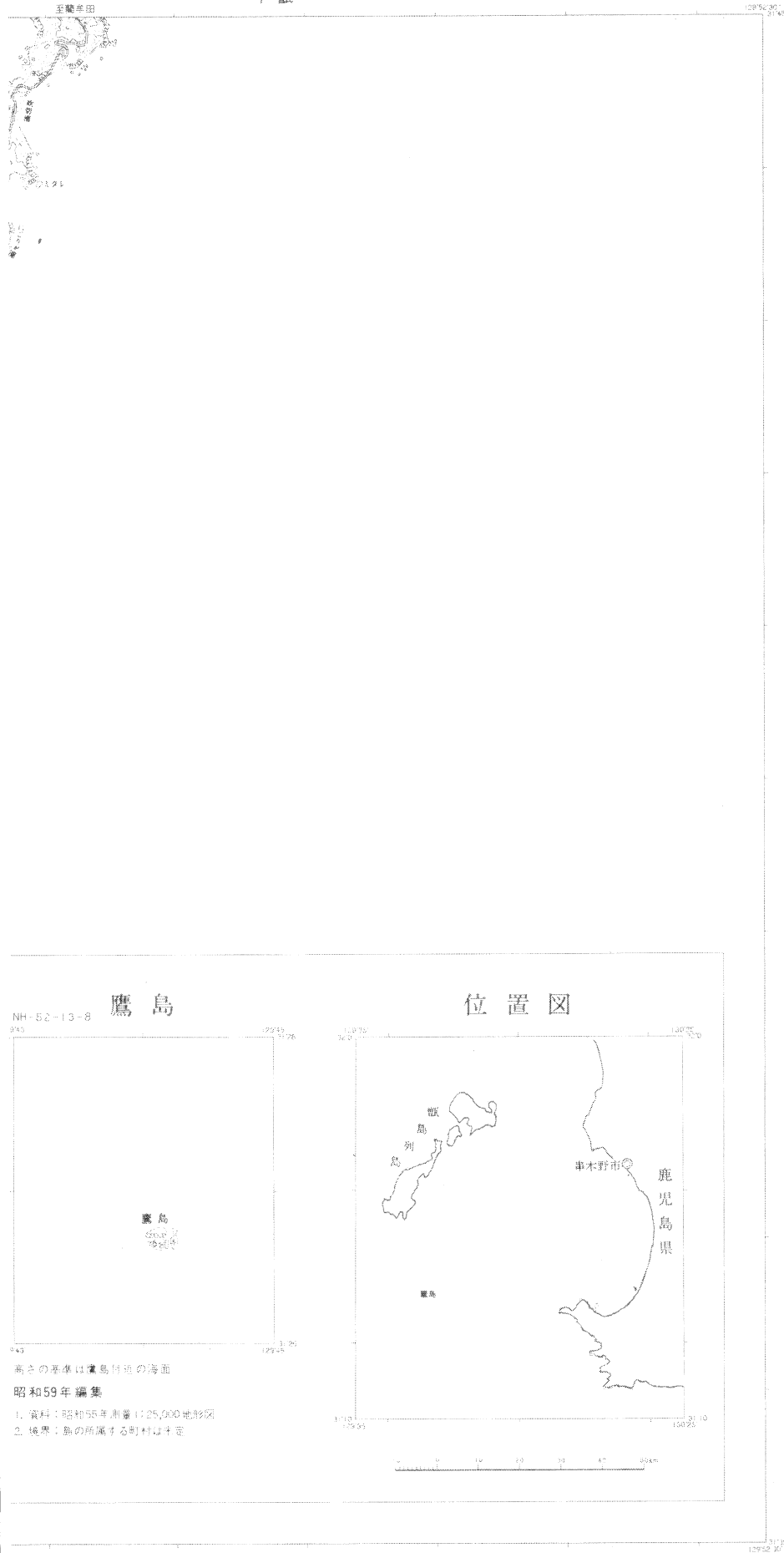


分布図 29

中 甑

下 甑 村

45-1 大 城



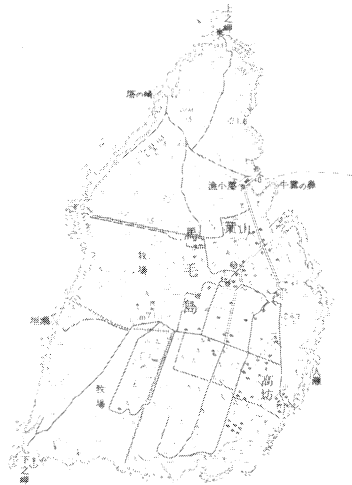
明治34年測量
 昭和43年編集
 昭和59年修正
 資料：昭和57年修正測量1:25,000地形図

昭和61年3月30日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる
 著作権所有兼発行者 国土地理院

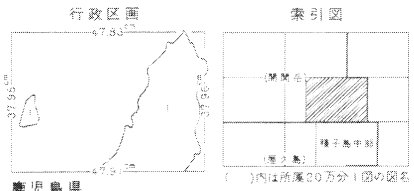
種子島北部

西之表市

- 13-1 野久尾城
- 2 黒山尻城
- 3 赤尾木城
- 5 古 城
- 6 安 納 城
- 7 屋久田城
- 9 古 城



分布図 30

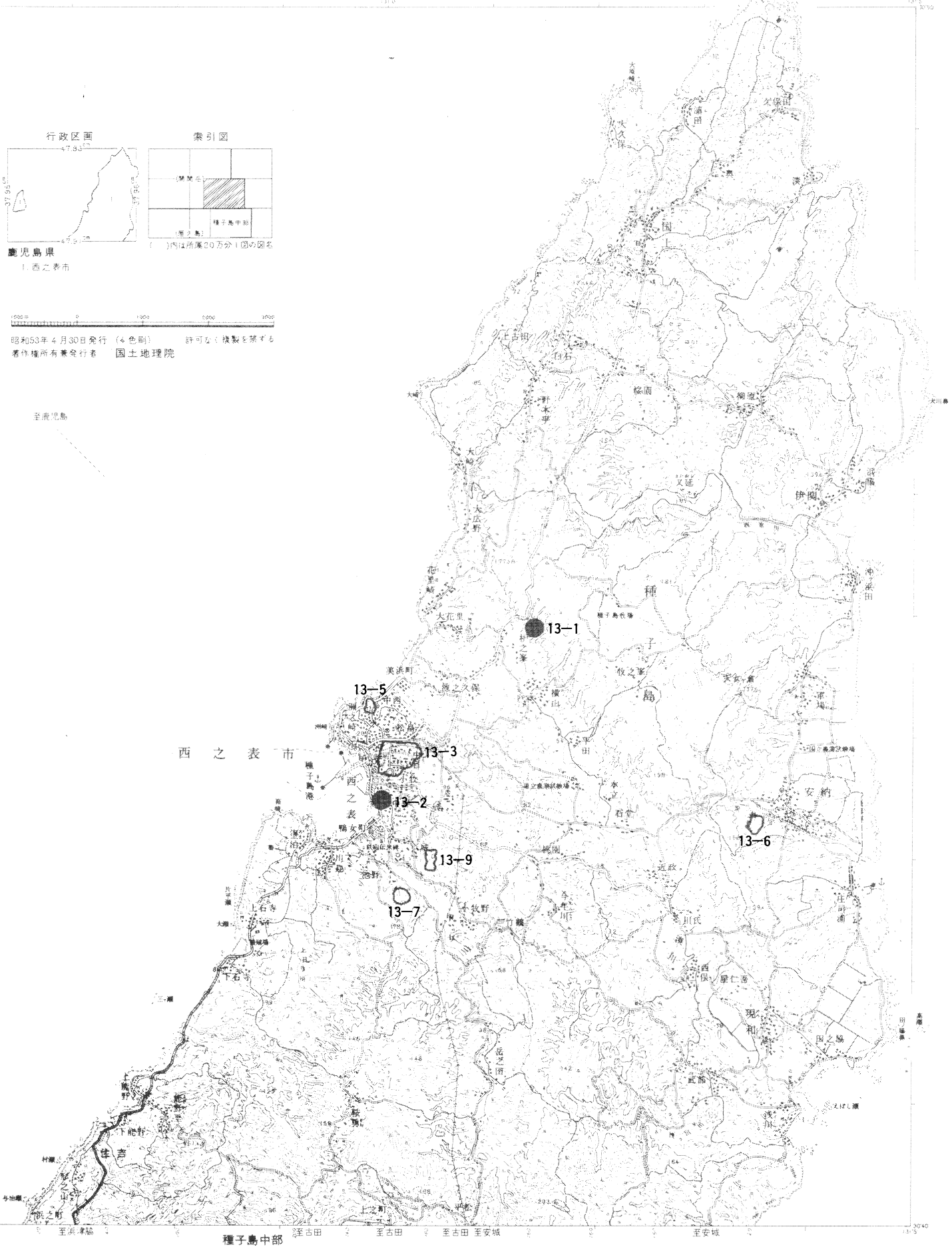


鹿児島県
I. 西之表市



昭和53年4月30日発行 (4色刷) 許可号：複製を禁ず
著作権所有兼発行者 国土地理院

至鹿児島
至鹿兒島



種子島中部



分布図 31

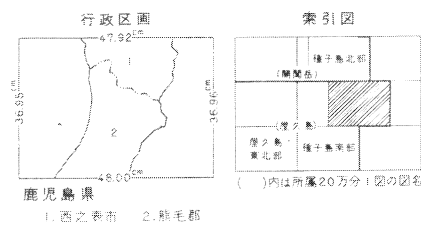
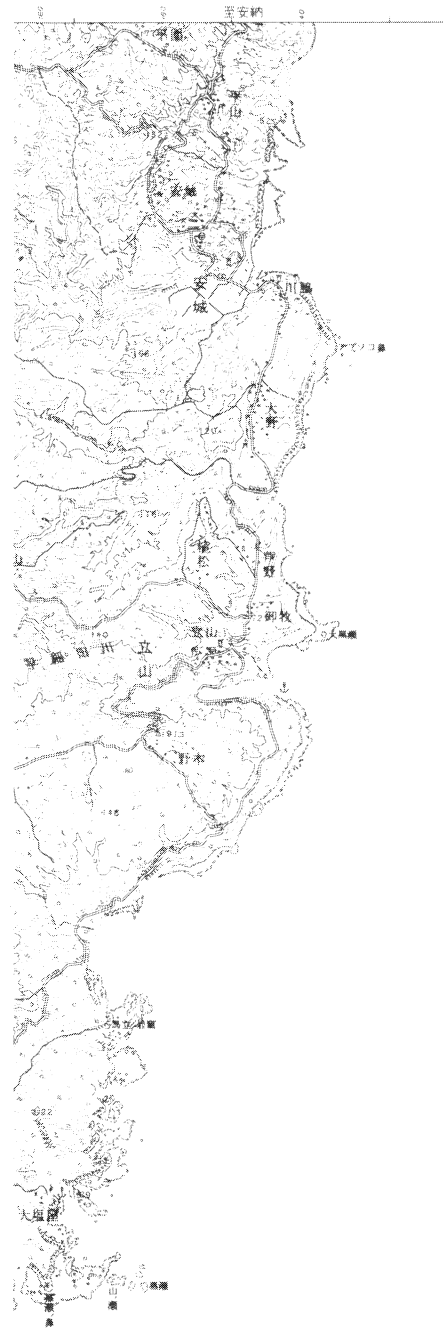
西之表市

13-4 住吉城

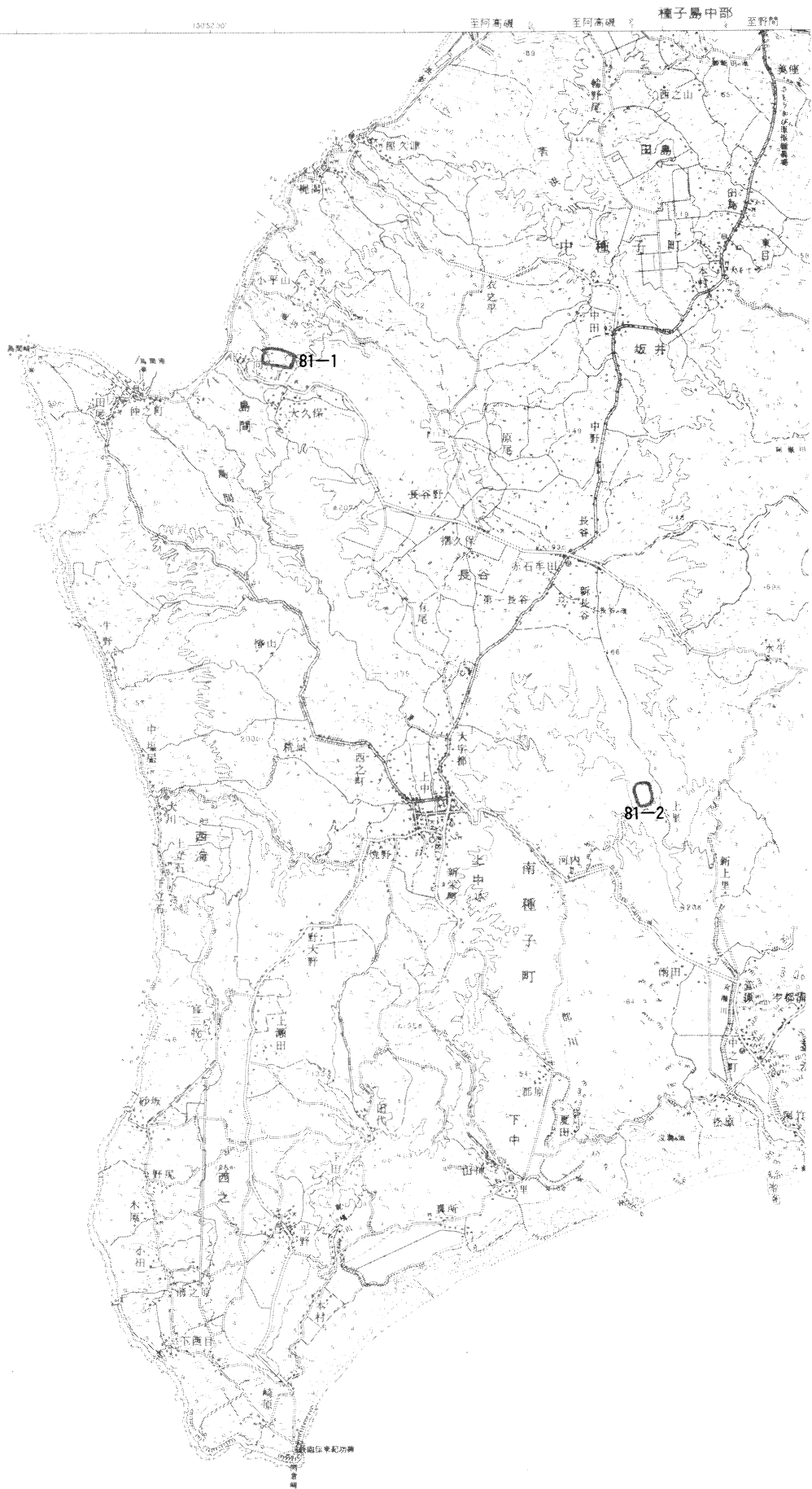
8 古田城

中種子町

80-1 増田城



種子島南部

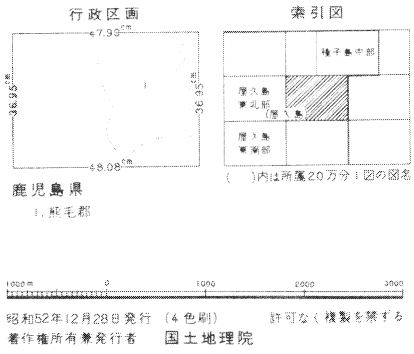
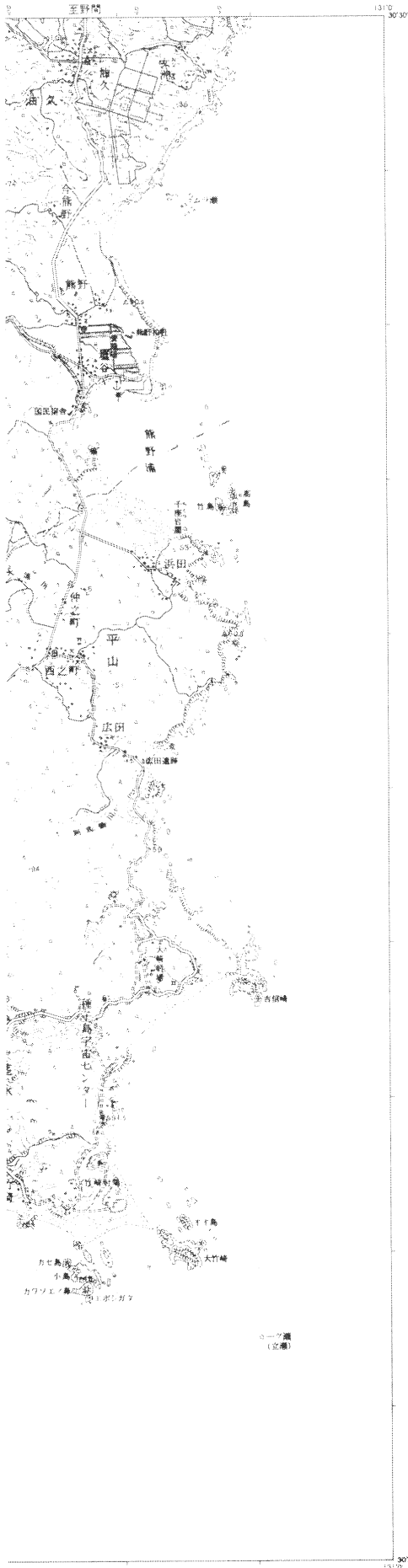


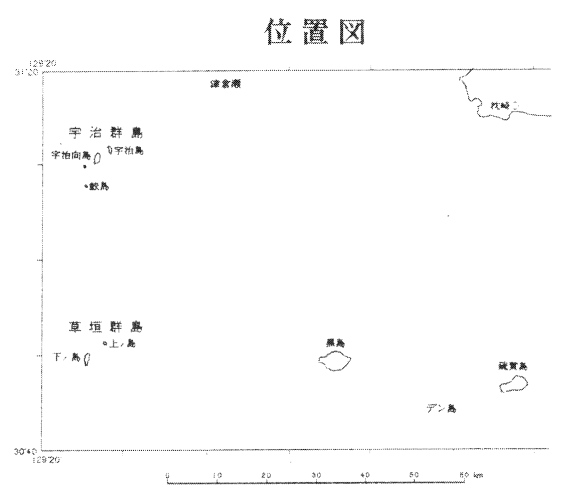
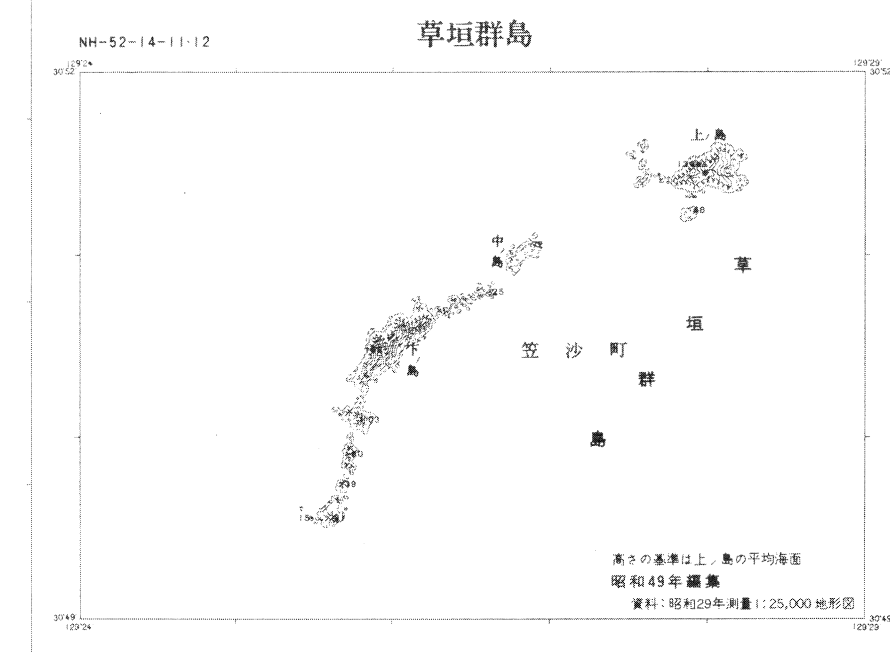
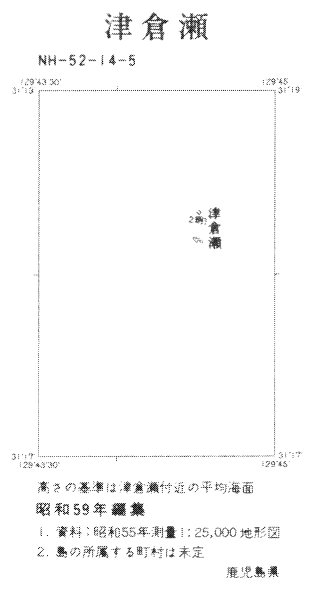
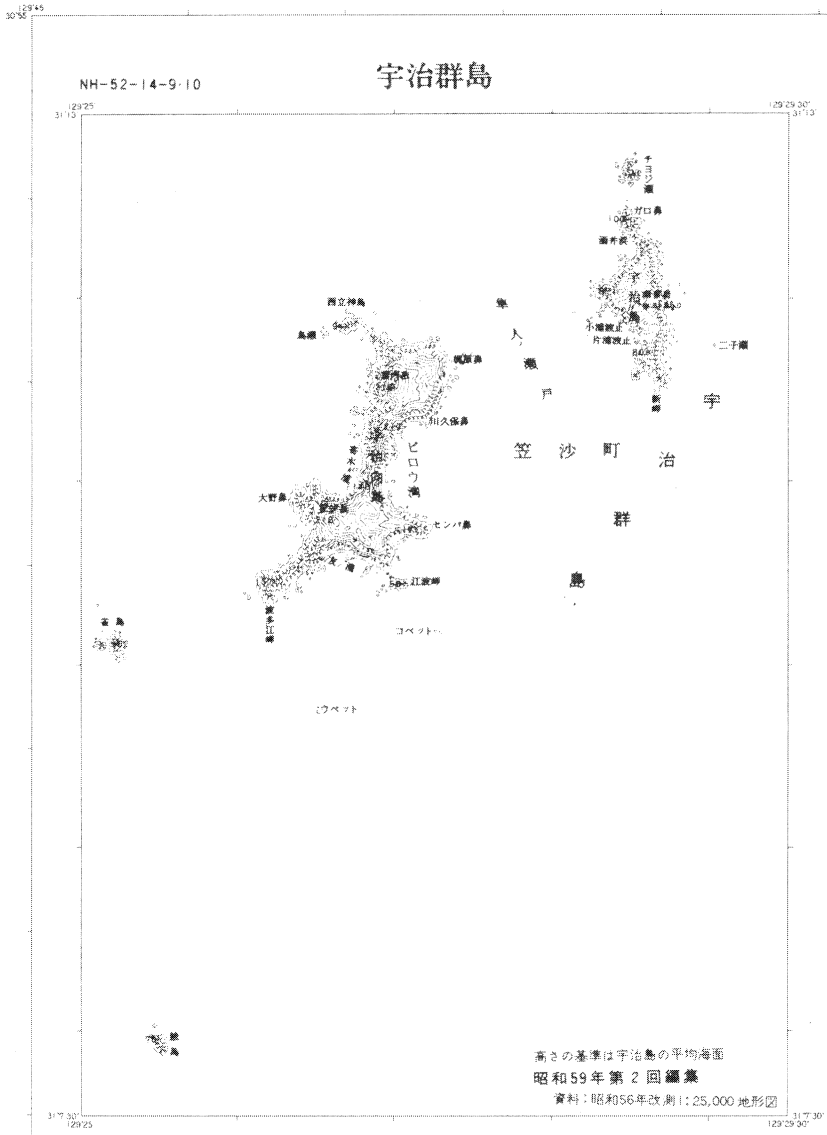
分布図 32

南種子町

81-1 上妻城

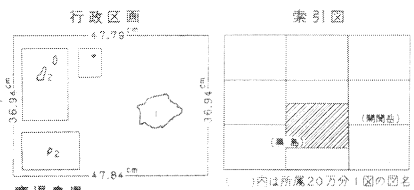
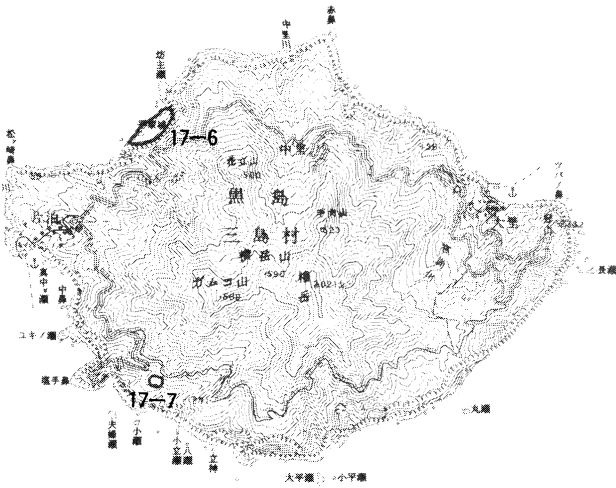
2 上里城





分布図 33

三島村
 17-6 平家城
 7 の 城



鹿児島県
 1. 鹿児島郡 2. 川辺郡

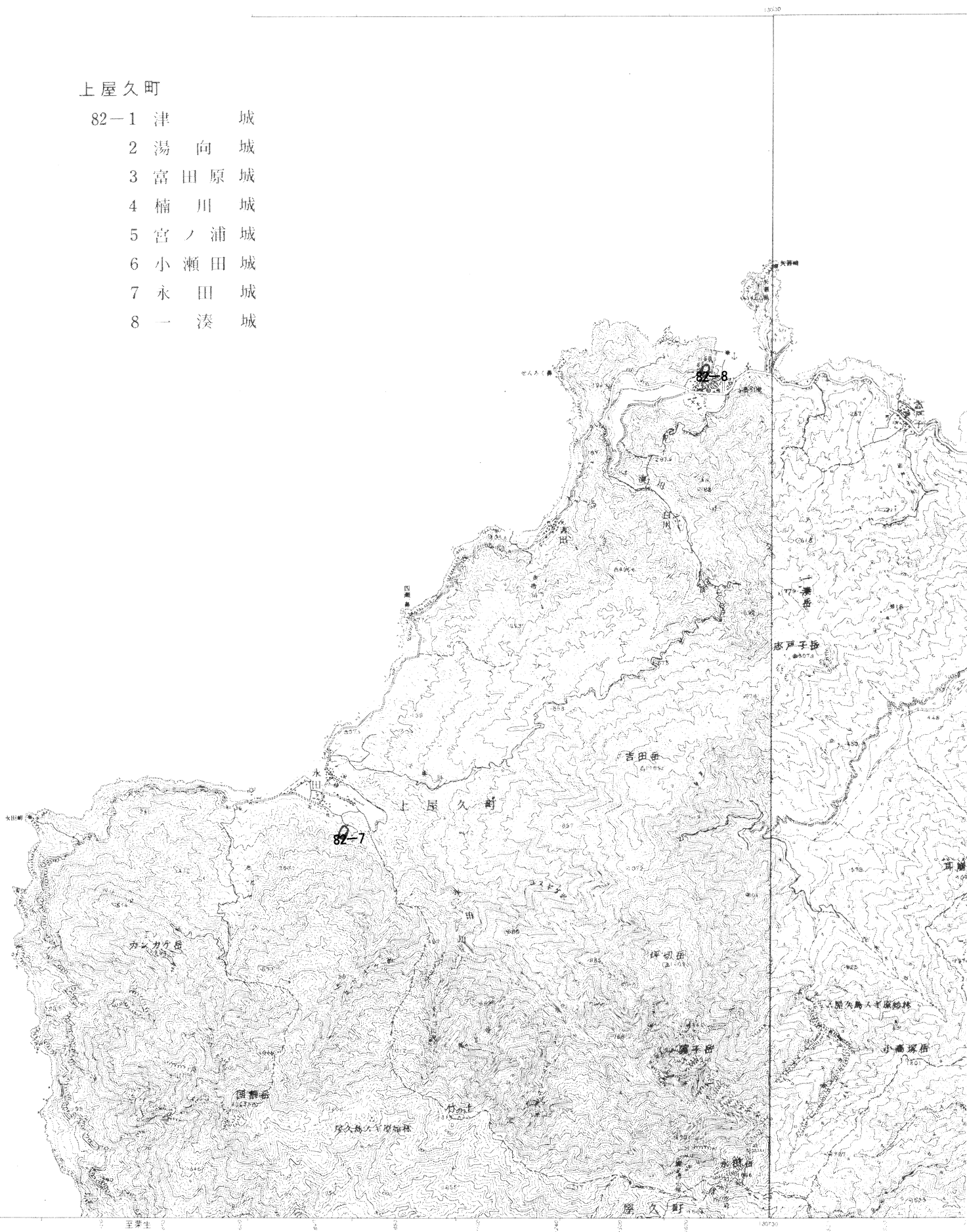
昭和49年編集
 昭和59年第2回編集
 資料:昭和57年改測1:25,000地形図

昭和60年3月30日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる
 著作権所有兼発行者 国土地理院

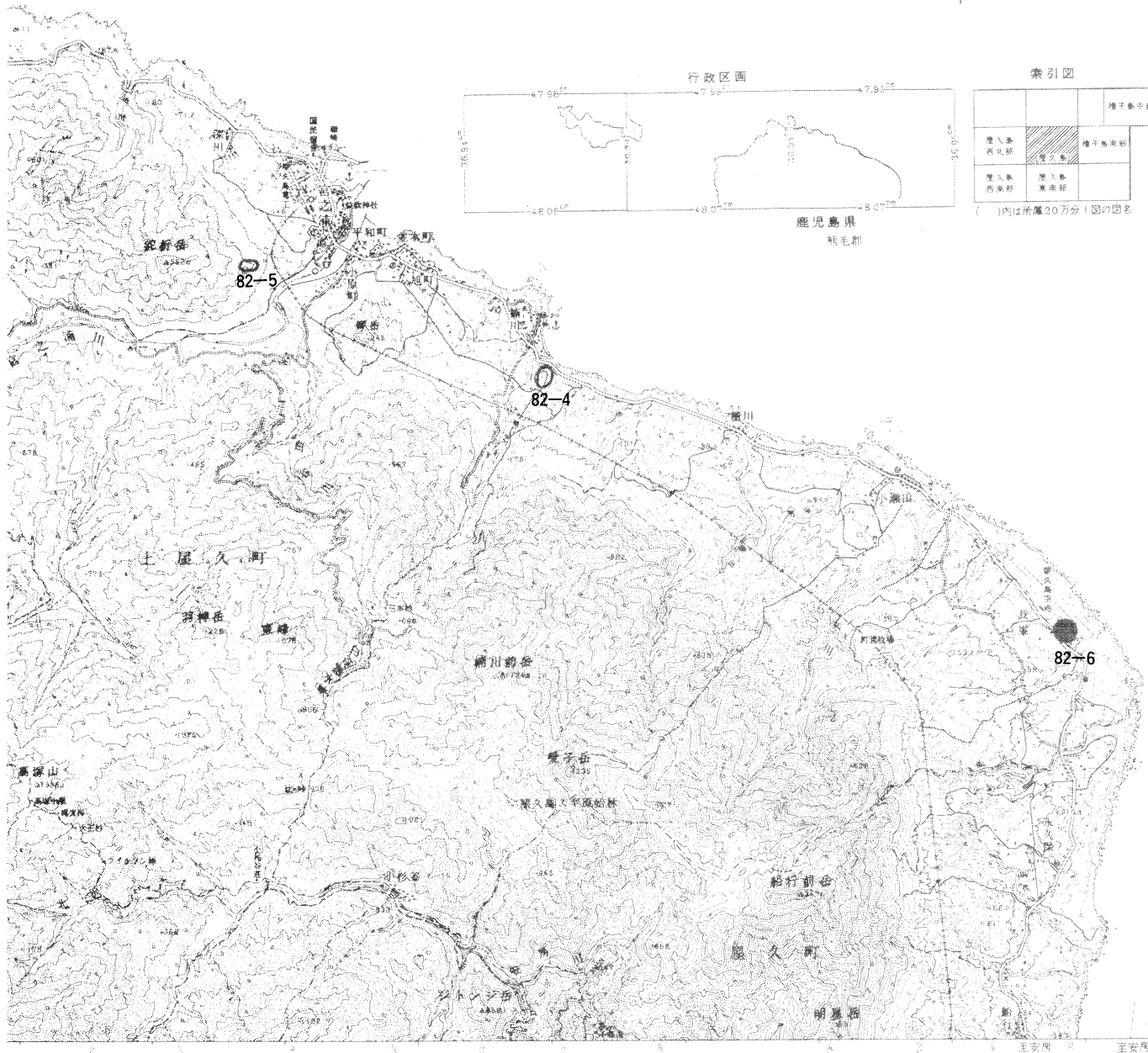
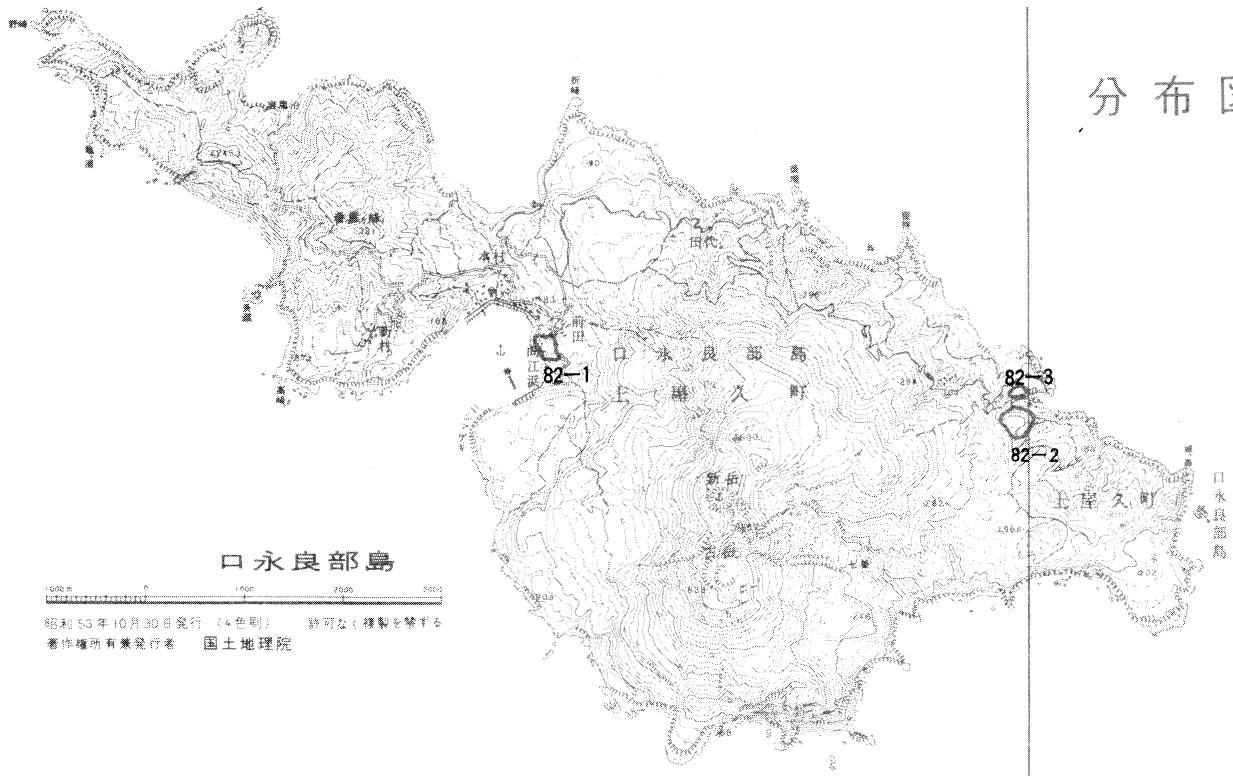
屋久島 北部

上屋久町

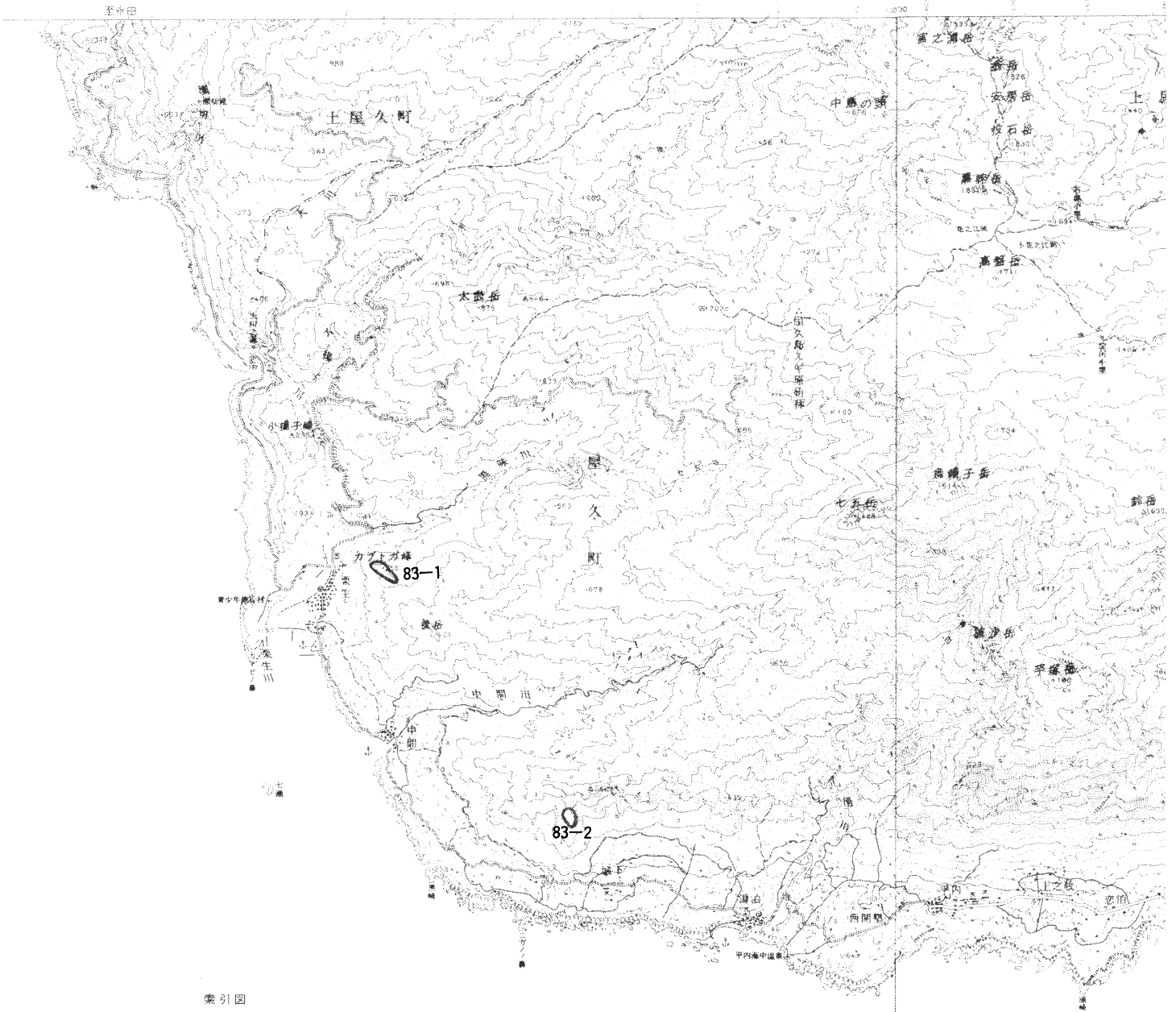
- 82-1 津 城
- 2 湯 向 城
- 3 富 田 原 城
- 4 楠 川 城
- 5 宮 ノ 浦 城
- 6 小 瀬 田 城
- 7 永 田 城
- 8 一 湊 城



分布図 34



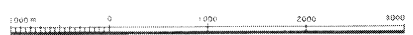
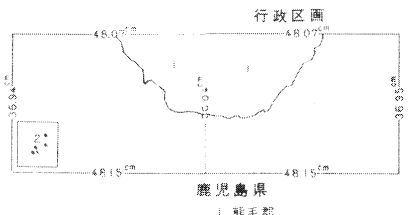
屋久島 南部



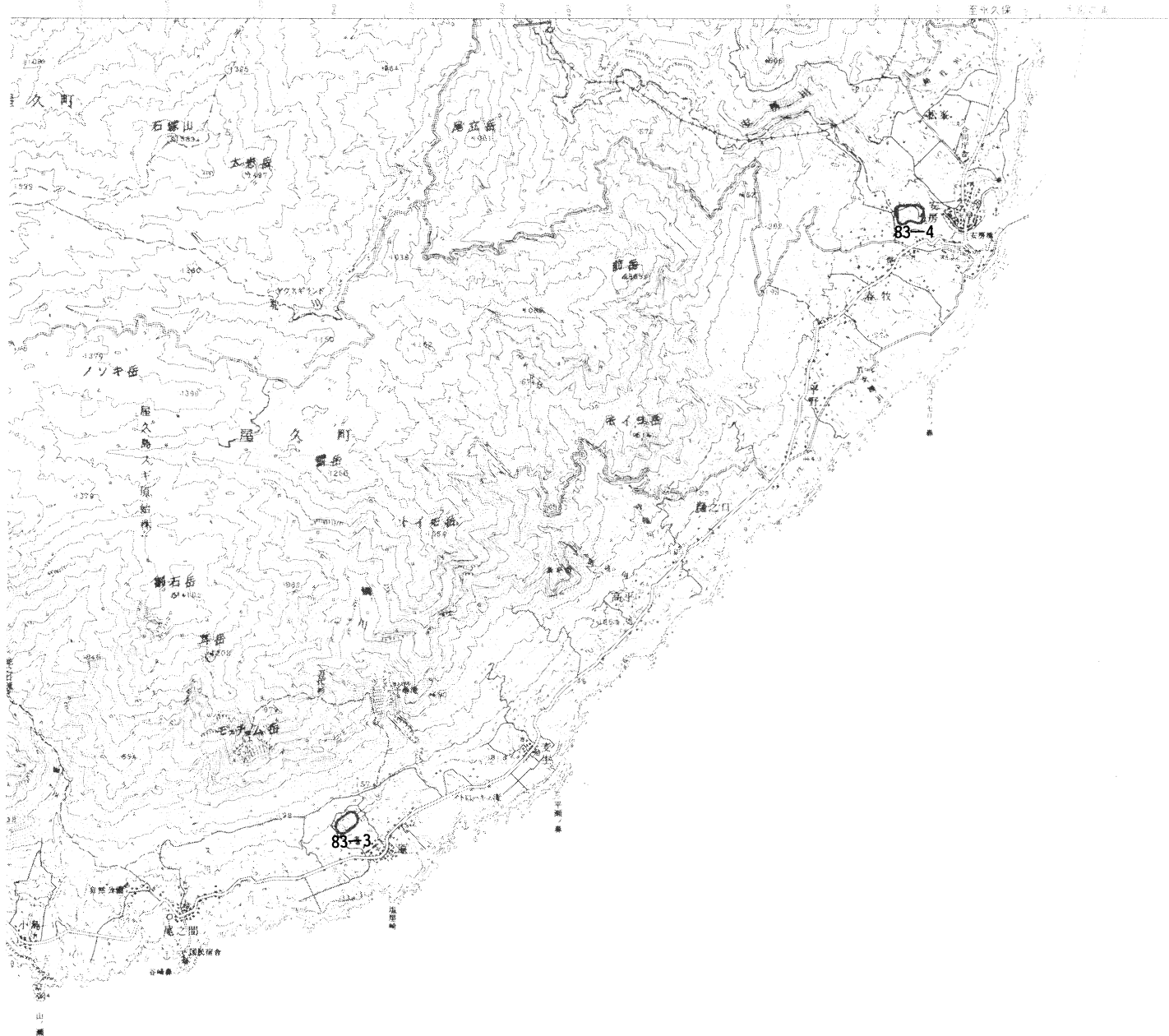
索引図

□ 久良野	屋久島 西正部	屋久島 東正部
▨	屋久島 南正部	屋久島 東正部

()内は所屬20万份 1園の図名



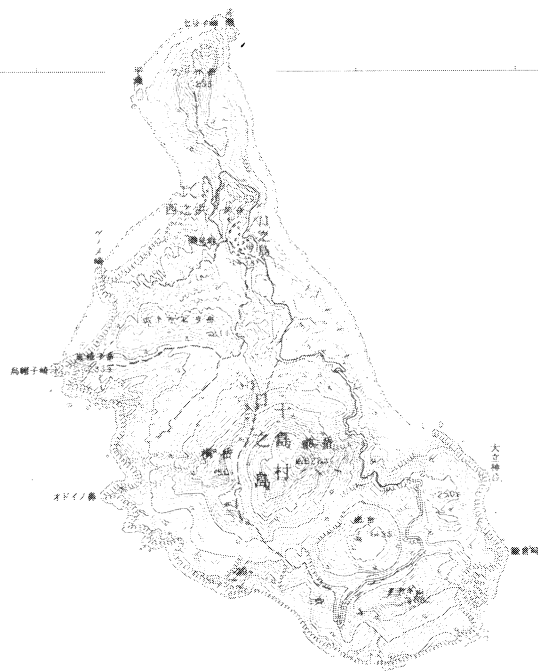
昭和53年12月28日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる
著作権所有兼発行者 国土地理院



屋久町

- 83-1 栗生平家城
- 2 湯泊平家城
- 3 原 城
- 4 安 房 城

中之島



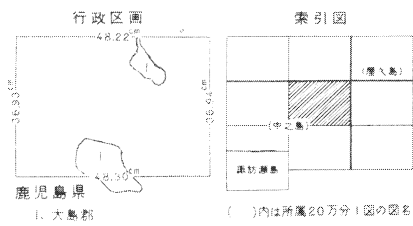
昭和4'



分布図 36

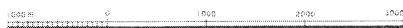
135°
136°

32°30'
33°

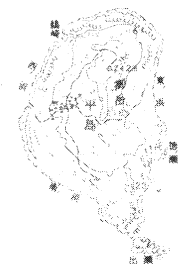
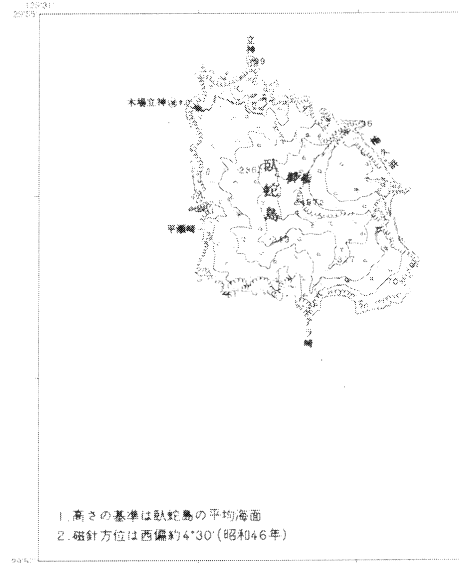


平成2月28日発行 著作権所有兼発行者 国土地理院
(4色刷) 許可なく複製を禁ずる

昭和46年編集
資料：昭和43年測量1:25,000地形図



諏訪瀬島

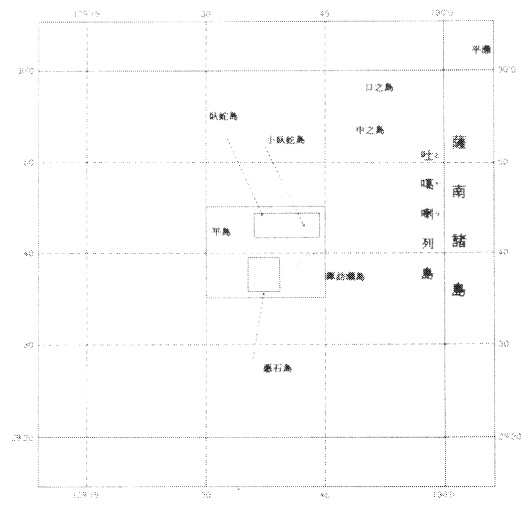


薩南諸島
吐噶喇列島
十島村

悪石島



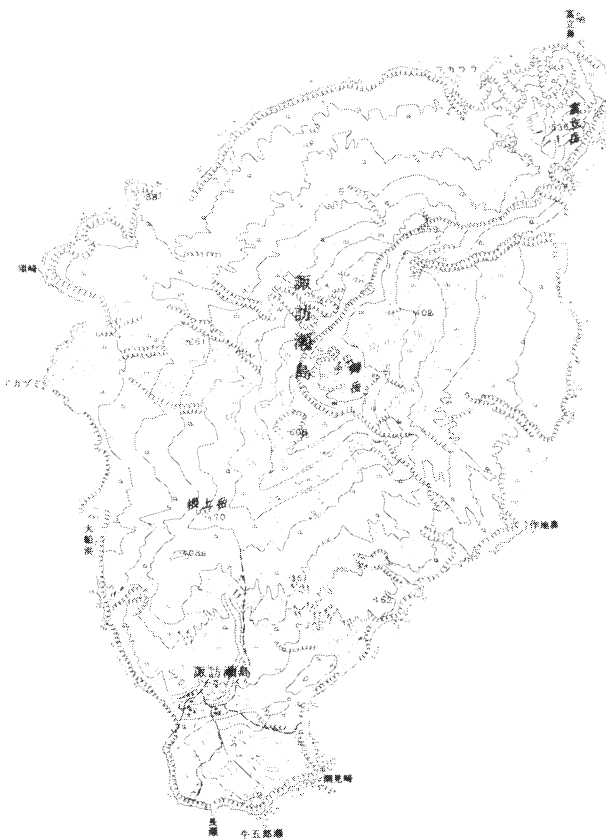
位置図



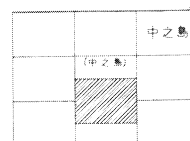
臥蛇島

薩南諸島
吐噶喇列島

十島村

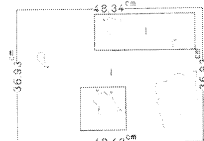


索引図



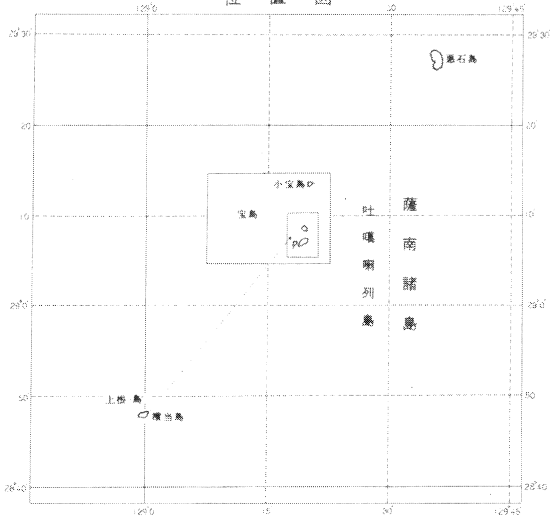
()内は所屬20万分1図の図名

行政区画

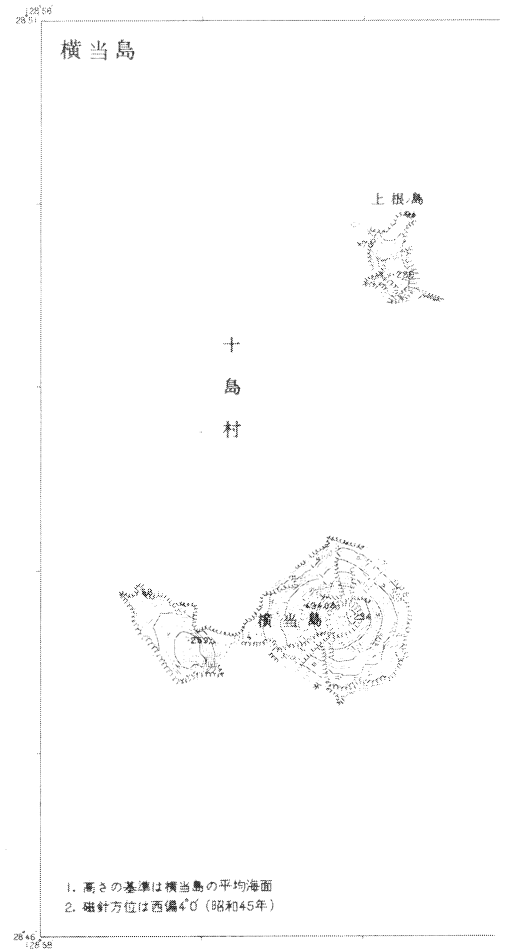


宝 島

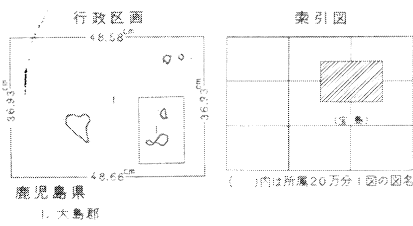
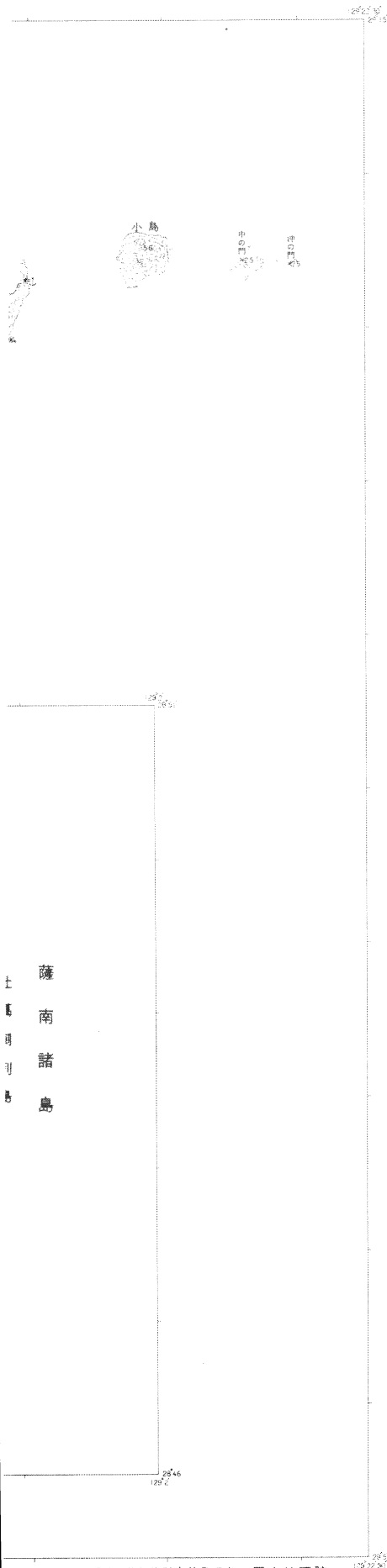
位置図



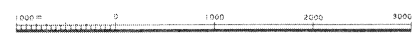
薩 南 諸 島
吐 噶 喇 列 島
十 島 村



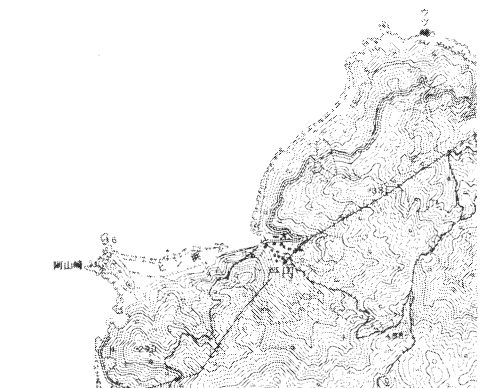
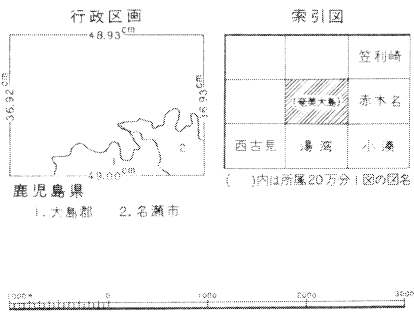
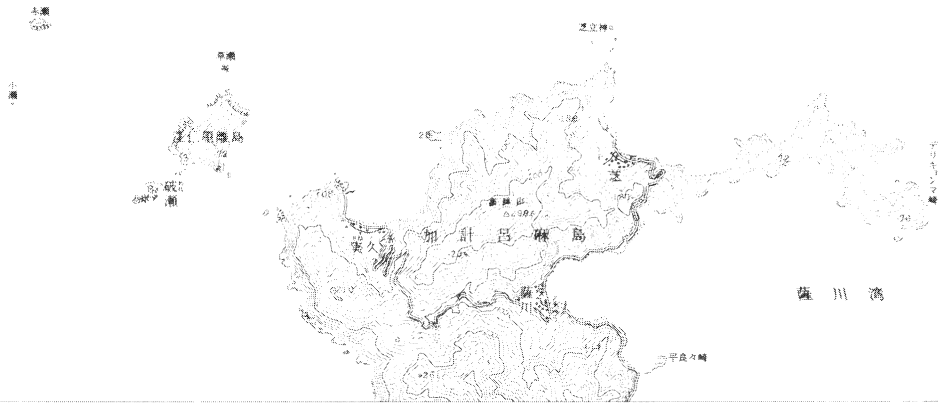
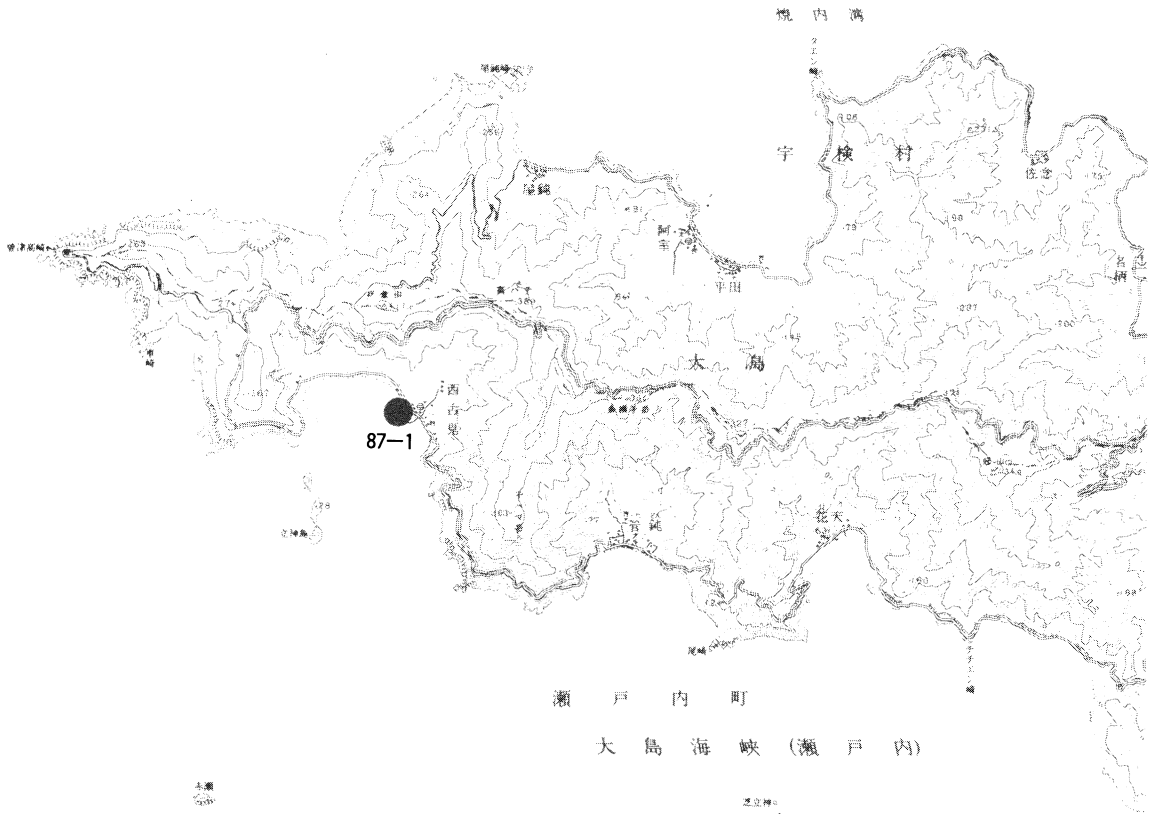
1. 高さの基準は横当島の平均海面
2. 磁針方位は西偏4°(昭和45年)



昭和5年測量
昭和46年編集
資料：昭和45年測量 1:25,000 地形図



西古見



分布図 39

名瀬市

14-3 小宿城

4 知名瀬城

5 根瀬部城

10 上川城

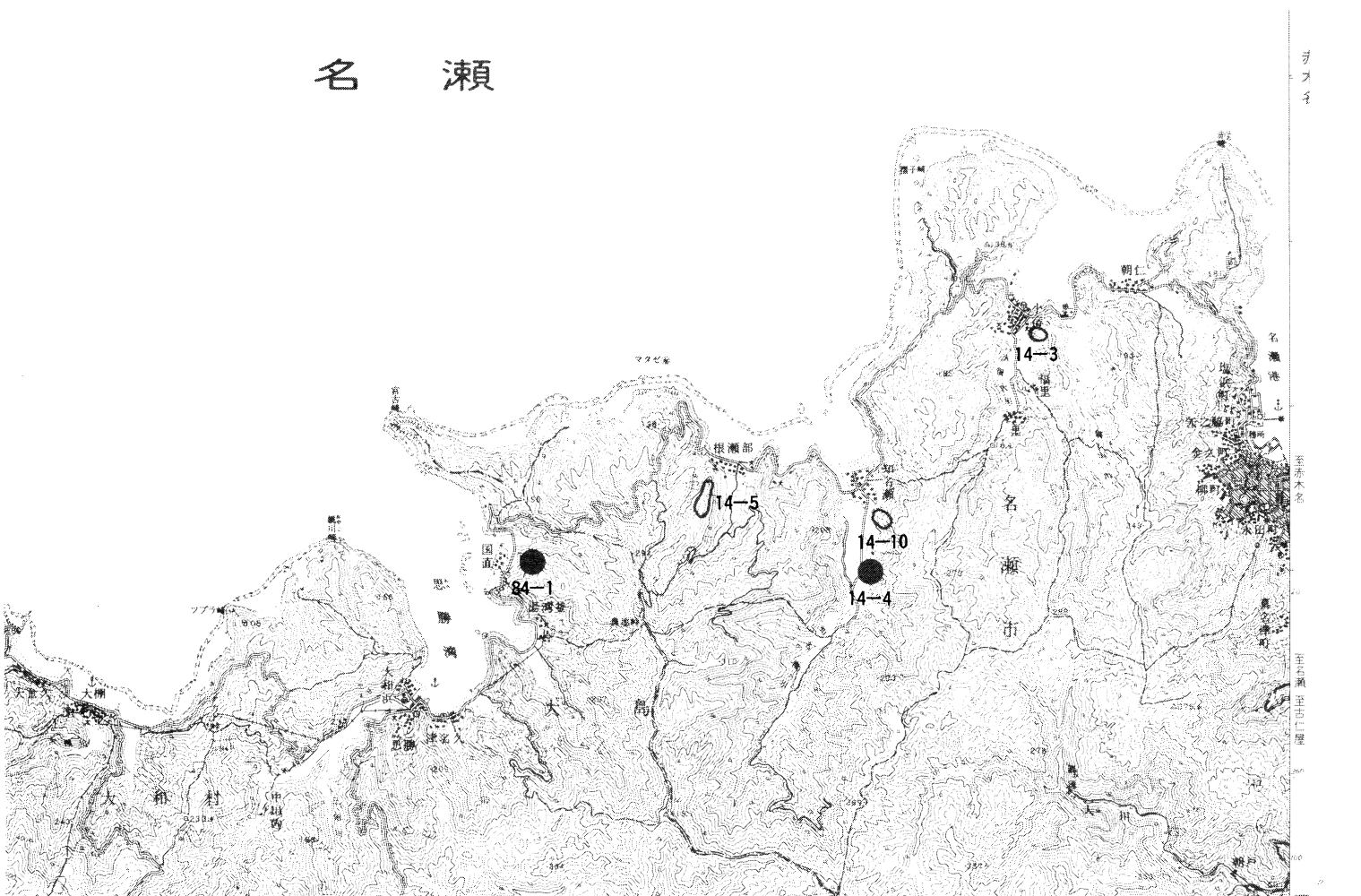
大和村

84-1 国直城

瀬戸内町

87-1 海城

名瀬



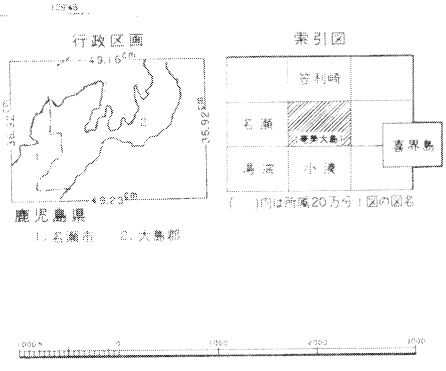
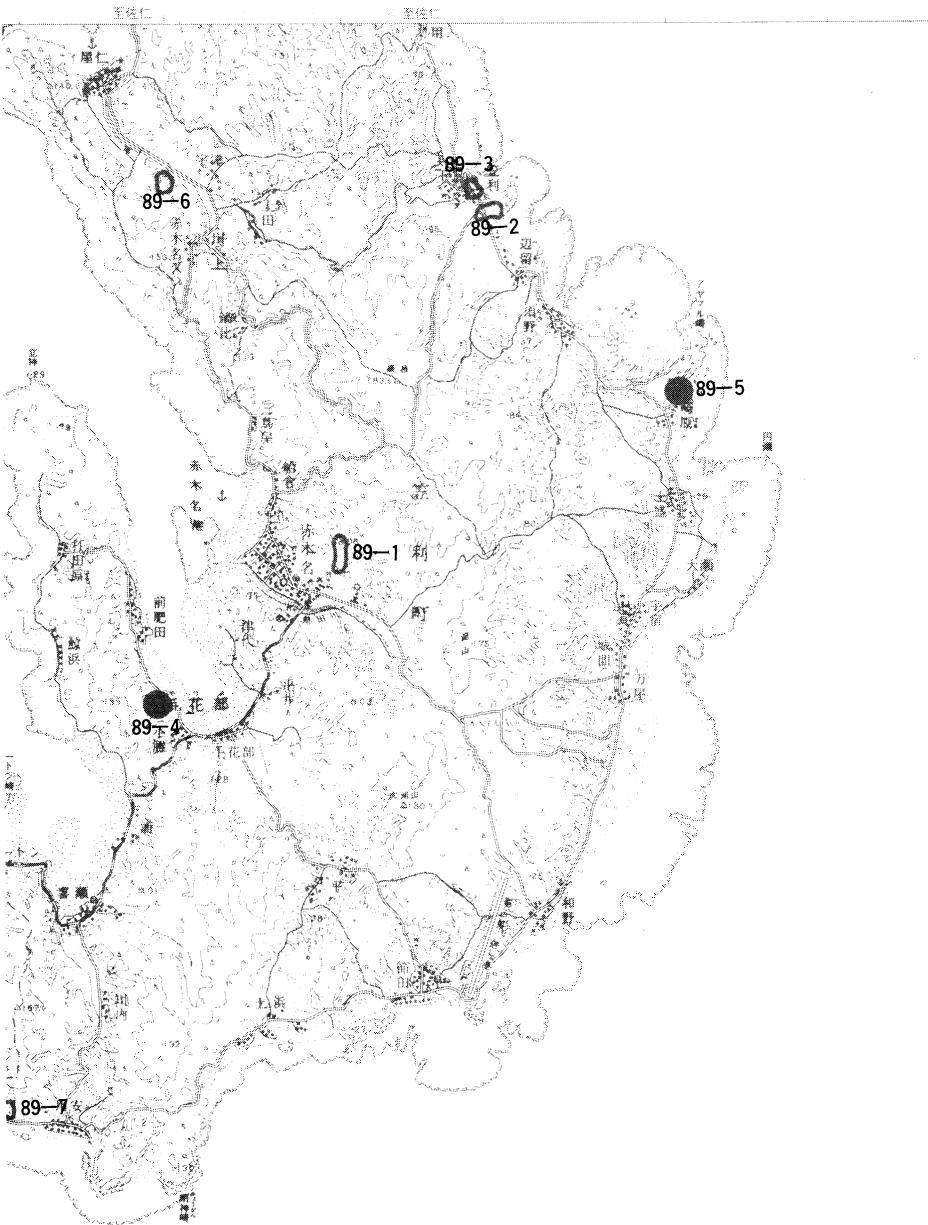
赤木名

笠利崎



昭和43年編集 資料：昭和41年修正測量1:25,000地形図

分布図 40



昭和43年10月30日発行 著作権所有 兼発行者 国土地理院
 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる

名瀬市

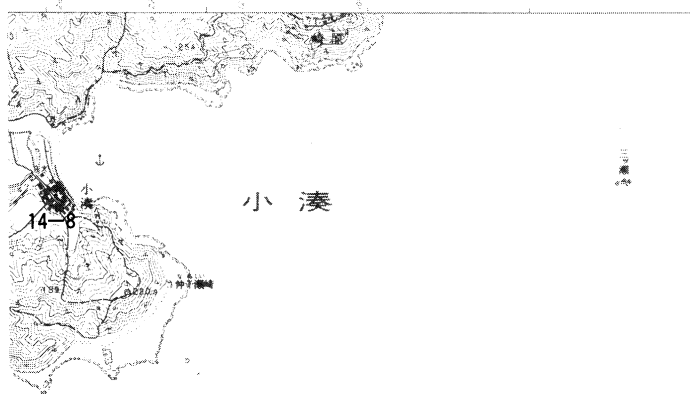
- 14-1 浦上城
- 2 有屋アジ屋敷
- 6 伊津部勝城
- 7 中勝原テラ屋敷
- 8 小湊アジ屋敷

竜郷町

- 88-1 松当城
- 2 屋々勝城
- 3 占見城
- 4 戸口城

笠利町

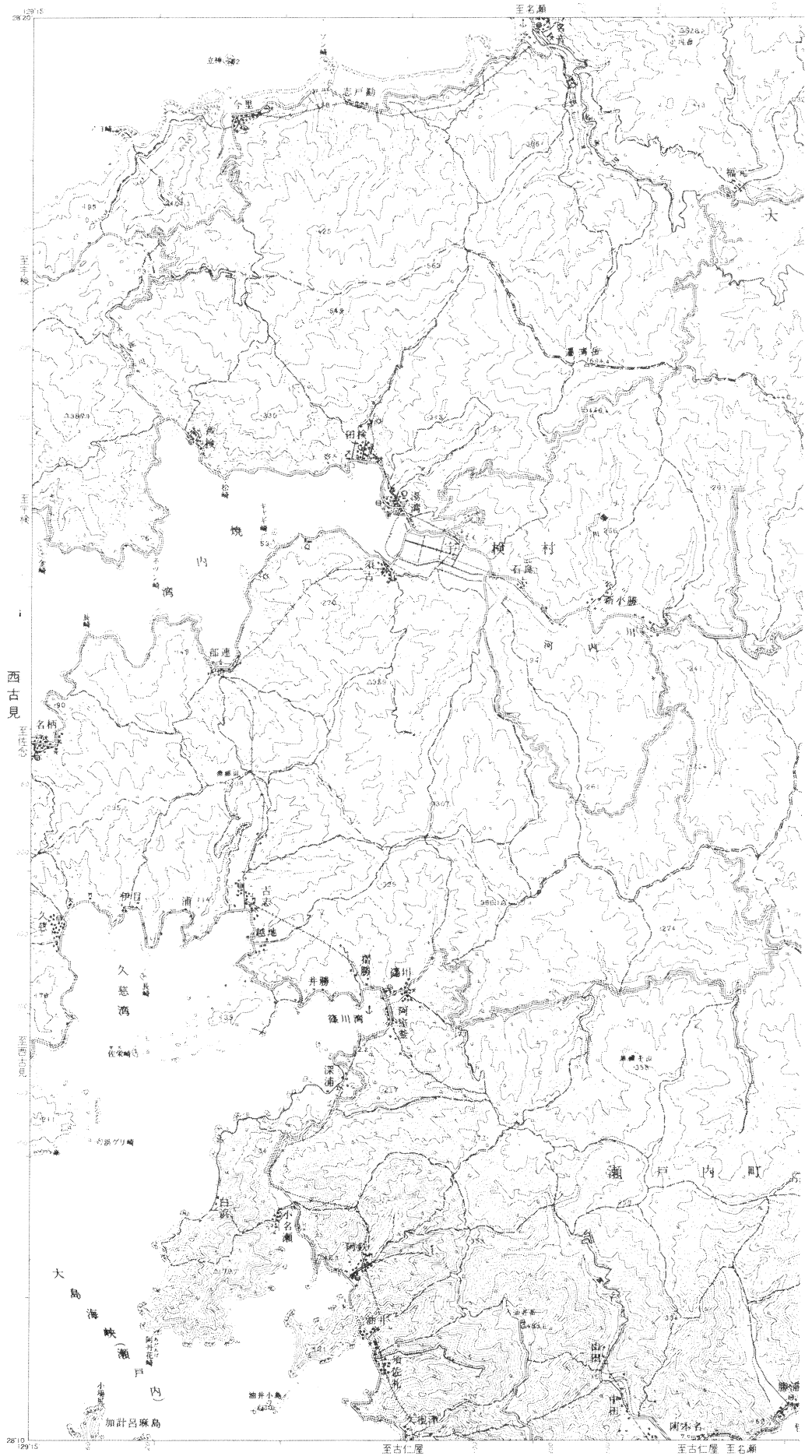
- 89-1 赤木名城
- 2 辺留城
- 3 富城
- 4 大和城
- 5 崎城
- 6 按司城
- 7 湊城



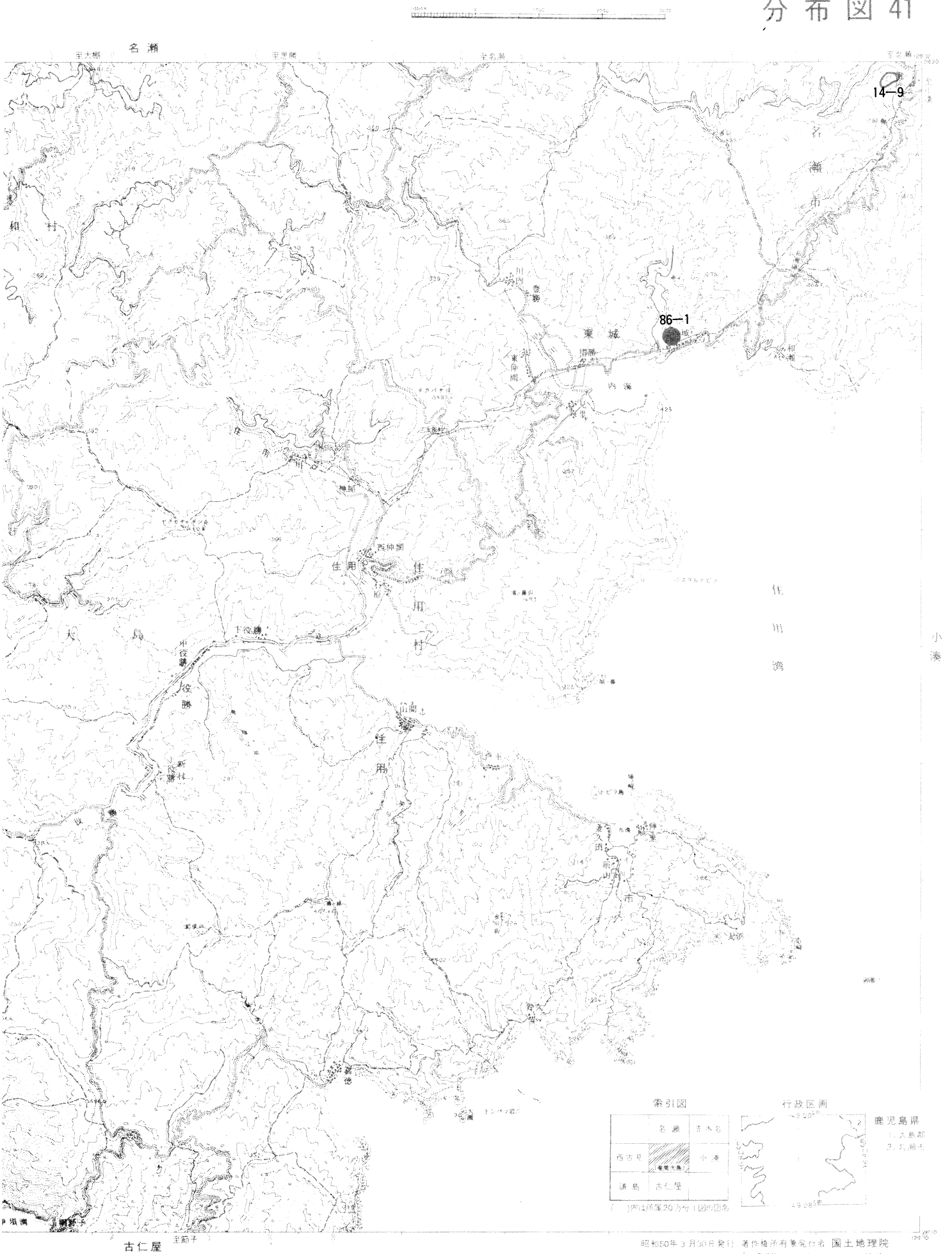
湯 湾

1:50,000 地形図 NH-52-18-11
ゆわん (奄美大島11号)

名瀬市
14-9 朝戸城
住用村
86-1 坂元城



分布図 41



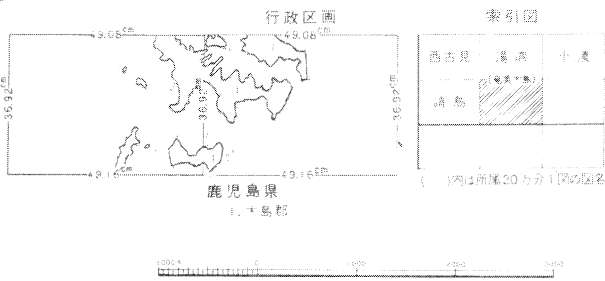
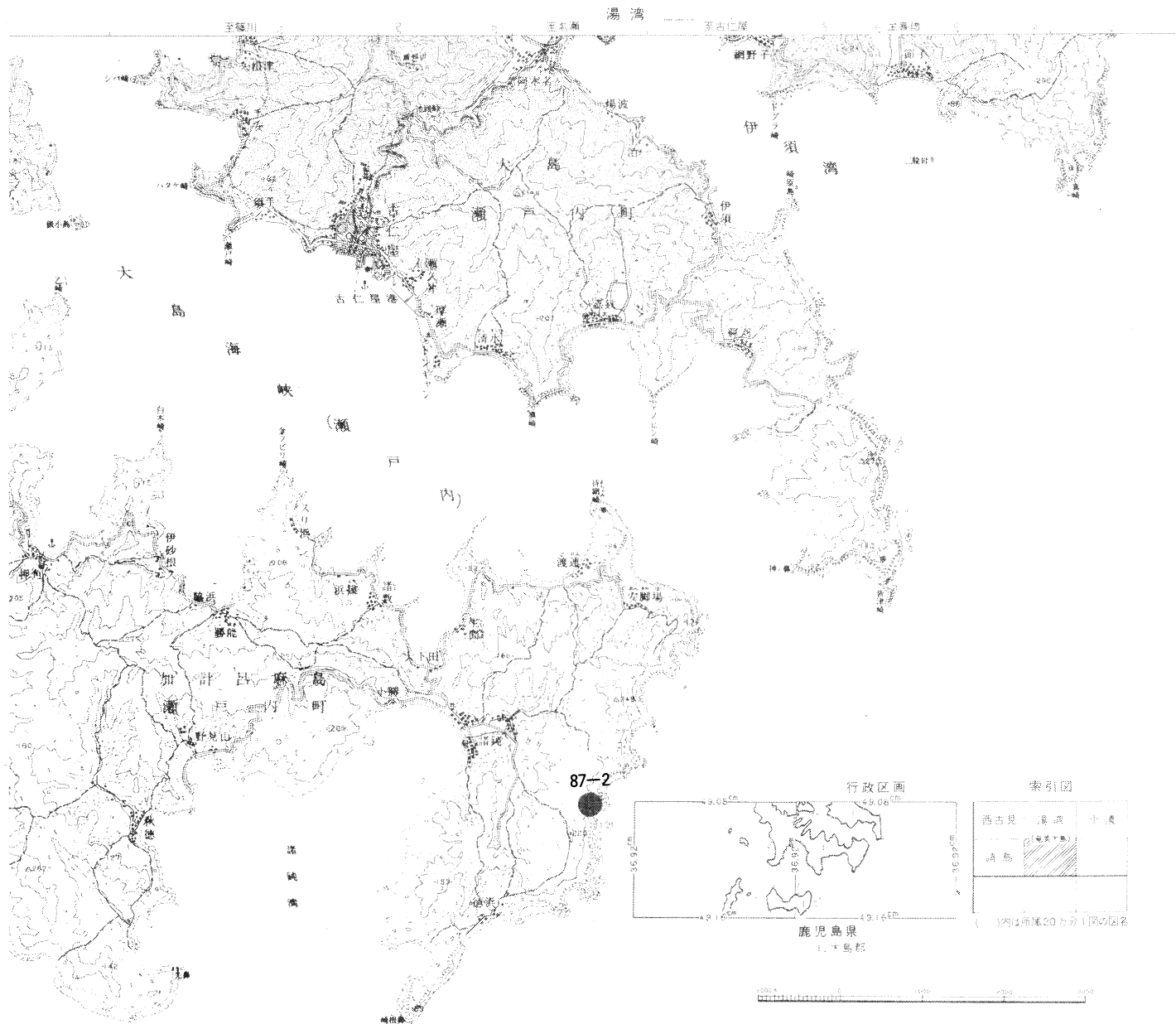
請島

西古見



古仁屋

分布図 42



道

瀬戸内町
87-2 諸鈍城



喜界島



大正9年測量 資料：昭和46年修正測量1:25,000地形図
昭和43年編集
昭和47年修正

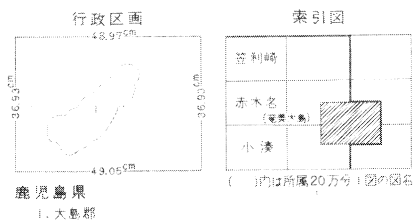


分布图 43

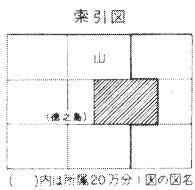
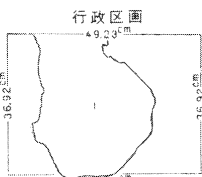
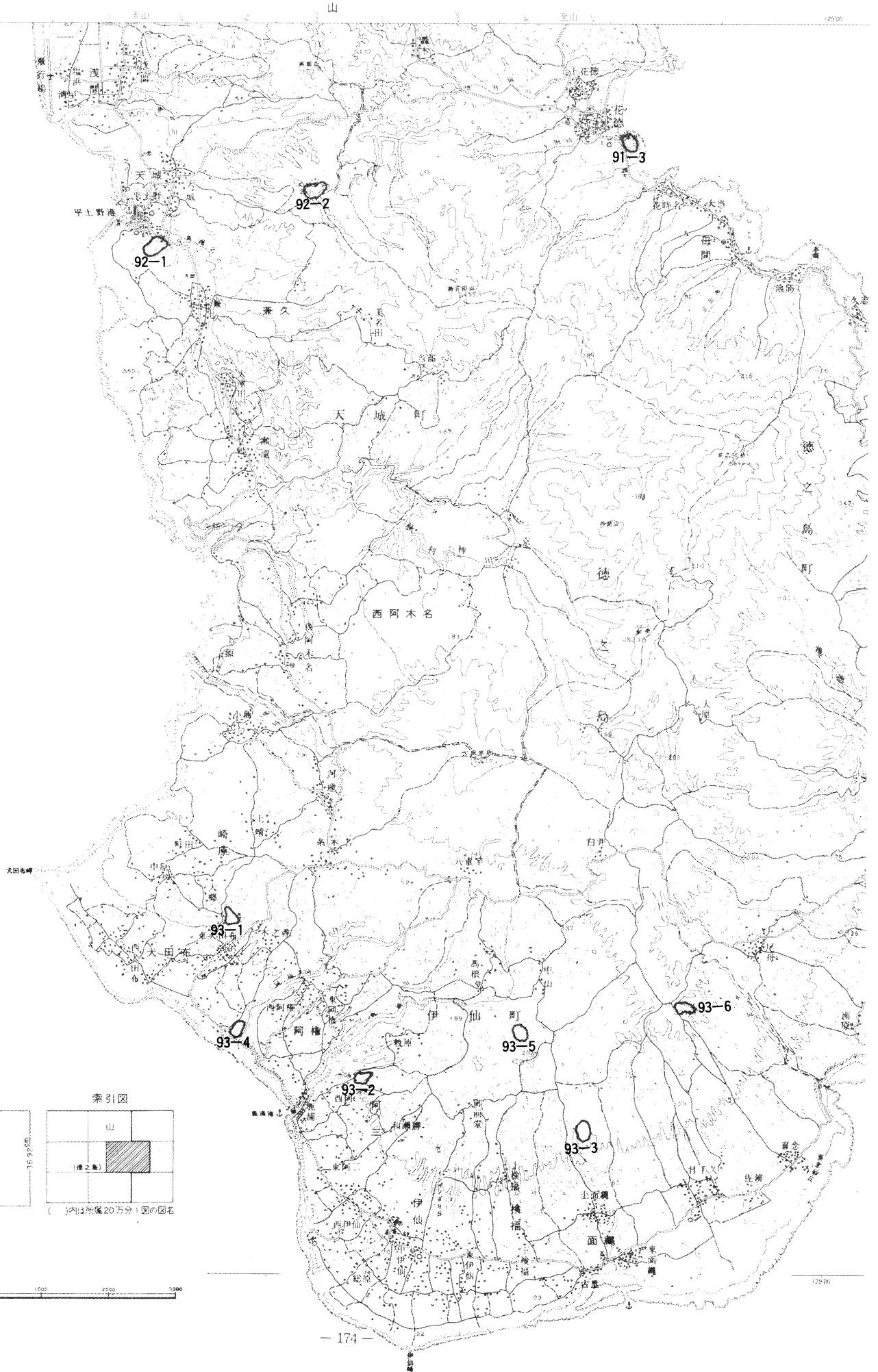
喜界町

90-1 七 城

2 平 家 城

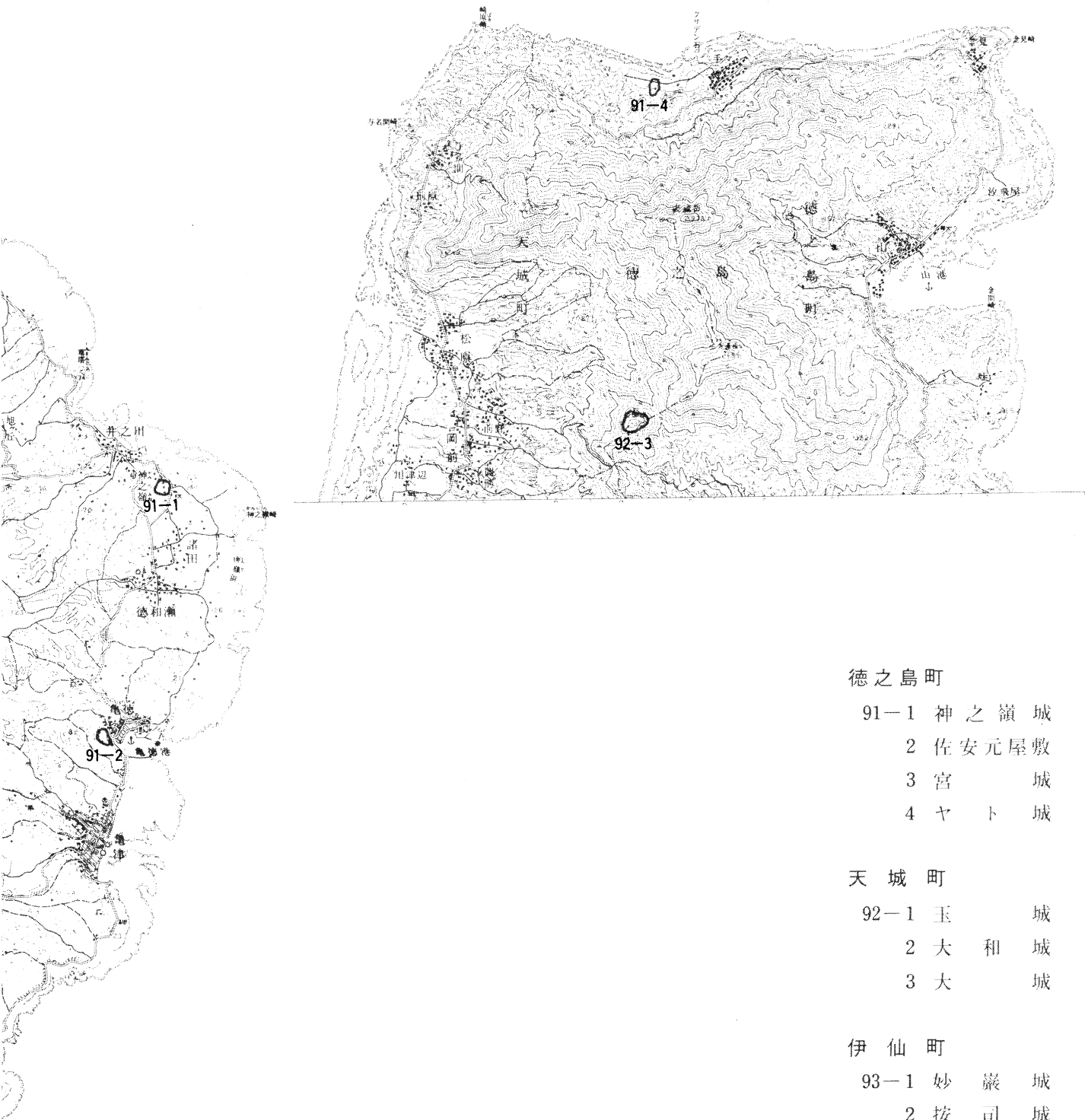


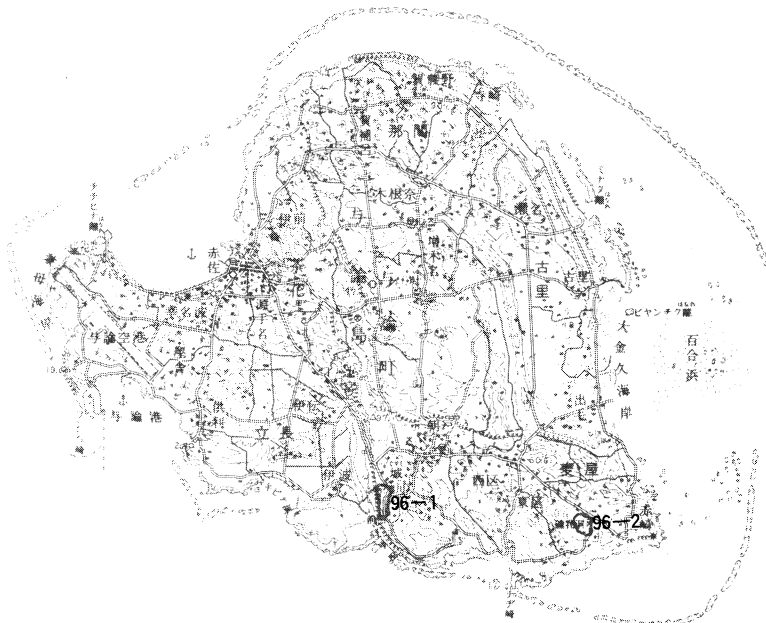
亀津



分布図 44

山





与論島

1000 0 1000 2000 3000

昭和60年3月30日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ずる
著作権所有兼発行者 国土地理院



昭和43年編纂

資料：昭和41年修正測量1:25,000地形図

分布図 45

和泊町

94-1 後蘭孫八城

2 世之主城

知名町

95-1 上 城

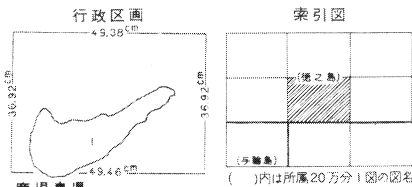
与論町

96-1 与 論 城

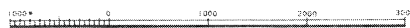
2 上 城



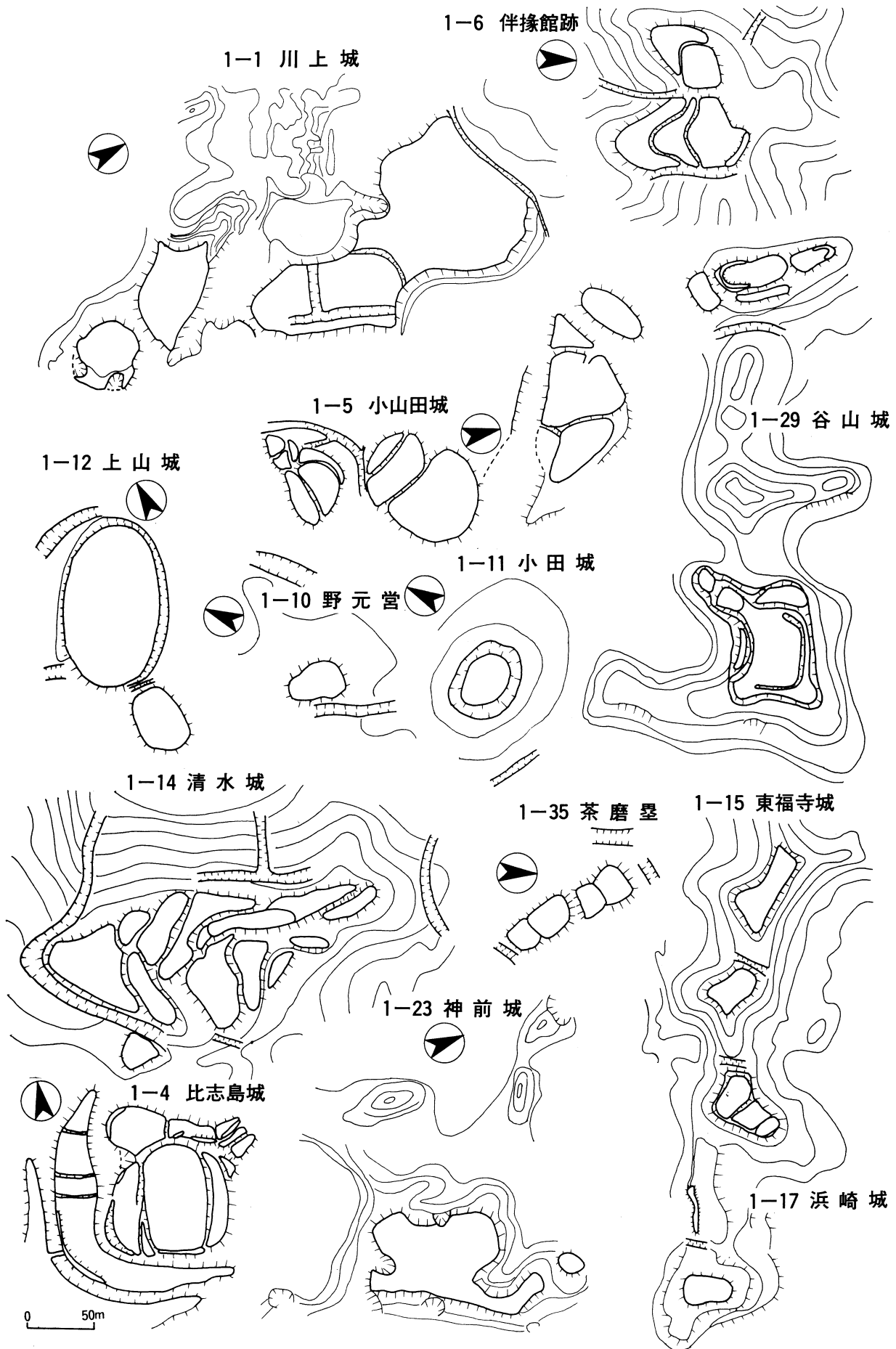
1. 投影はユニバーサル種メルカトル図法、座標帯は第52帯、中央子午線は東経129°
2. 図郭に付した短線は経緯度差1分ごとの目盛
3. 高さの基準は和泊港の平均海面
4. 等高線の間隔は20メートル
5. 磁針方位は西偏約3°10' (昭和43年)
6. 図式は昭和40年式1:50,000地形図図式



沖永良部島

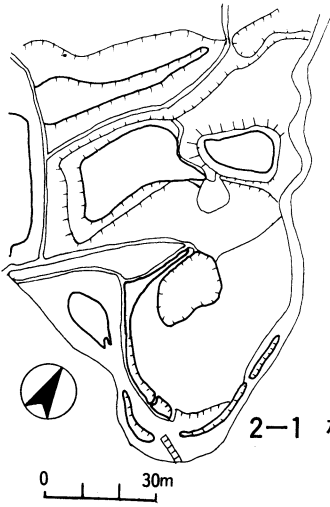


鹿児島市



指宿市

串木野市



2-1 松尾城

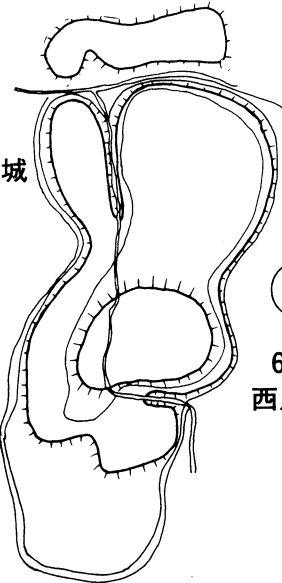


5-1 串木野城

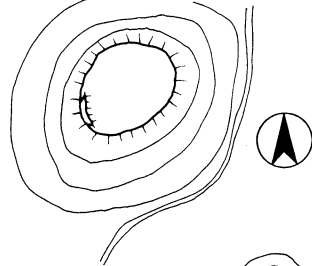
川内市

6-50 仕剣丸城

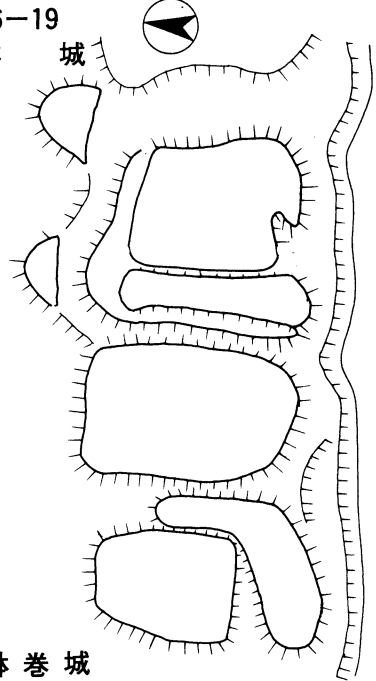
6-9 妹背城



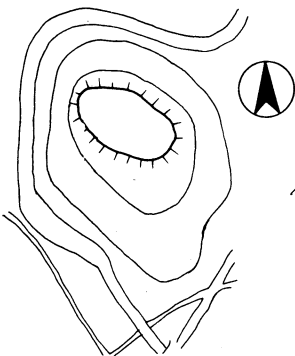
6-37 西川内城



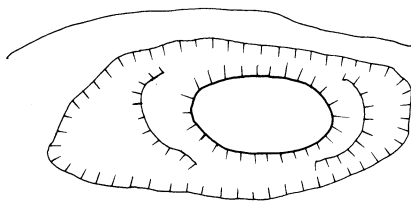
6-19 梶城



6-15 藤峰城



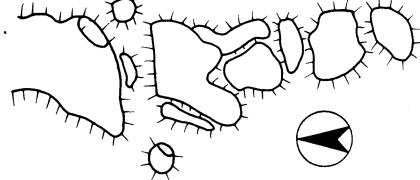
6-44 宮里城



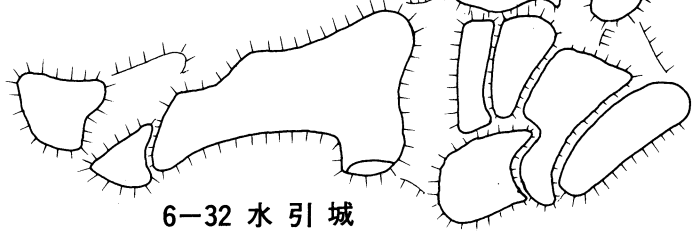
6-43 鉢巻城



6-3 高江城

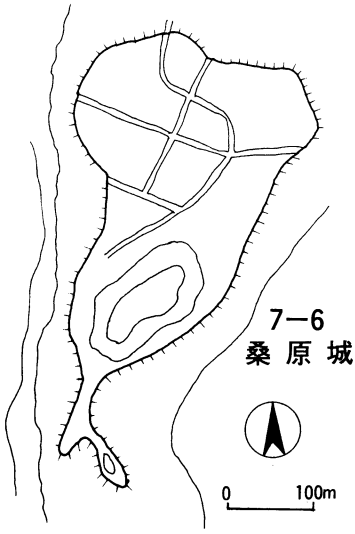


6-32 水引城

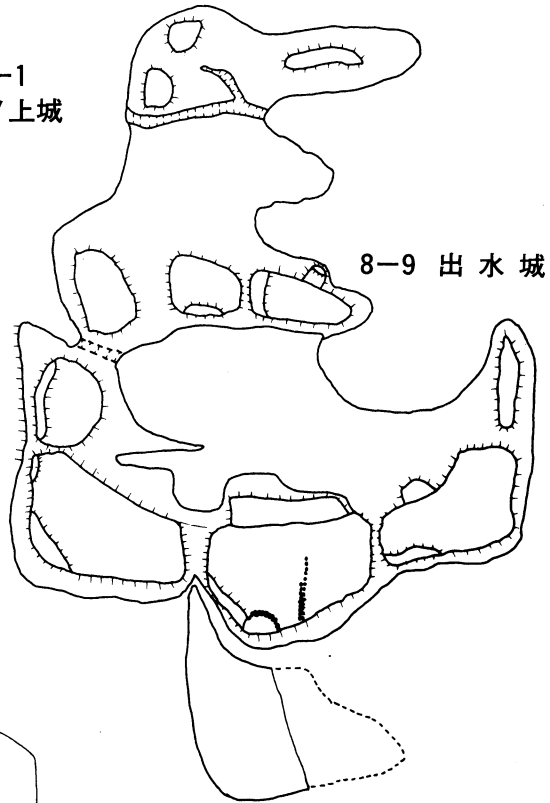
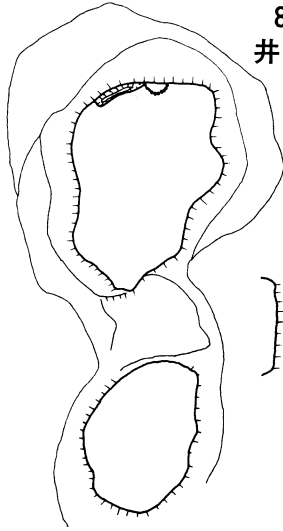


阿久根市

出水市



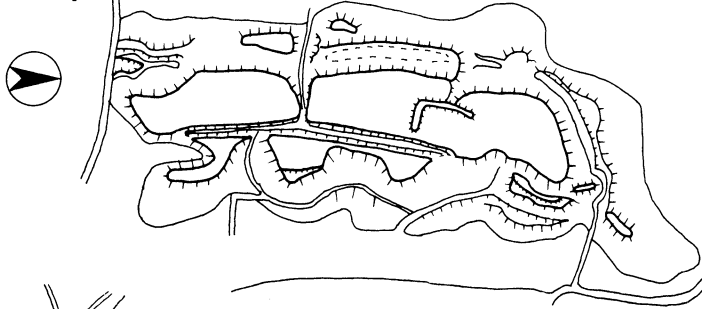
8-1 井ノ上城



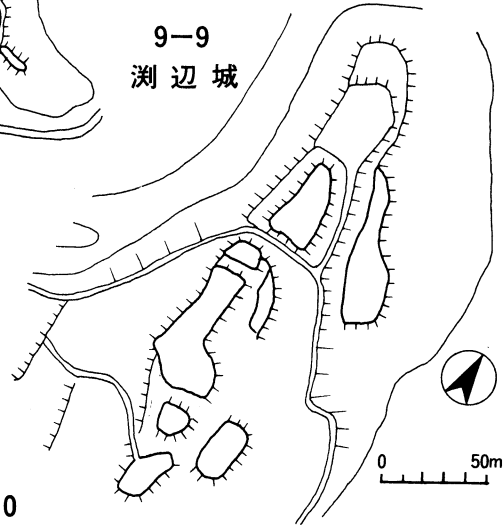
8-9 出水城

大口市

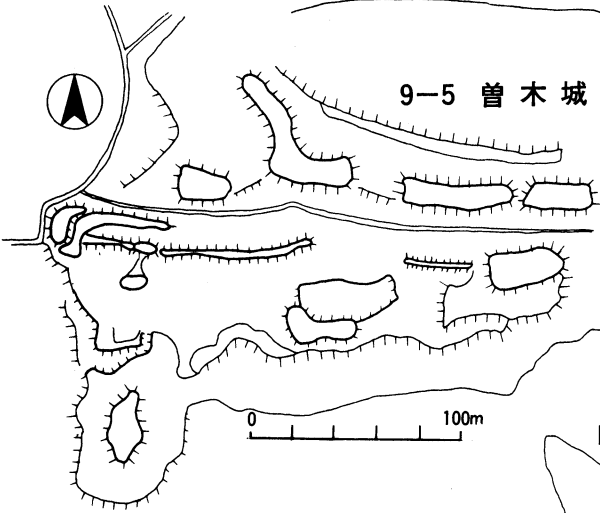
9-12 大口城



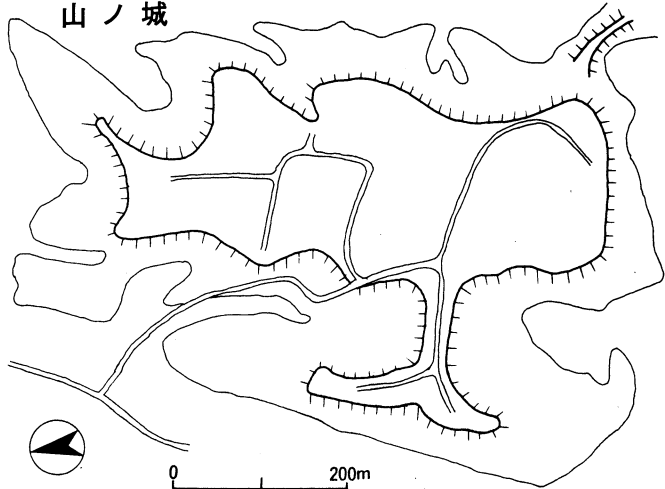
9-9 湊辺城



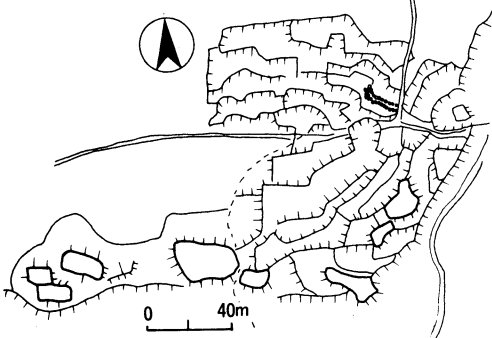
9-5 曾木城



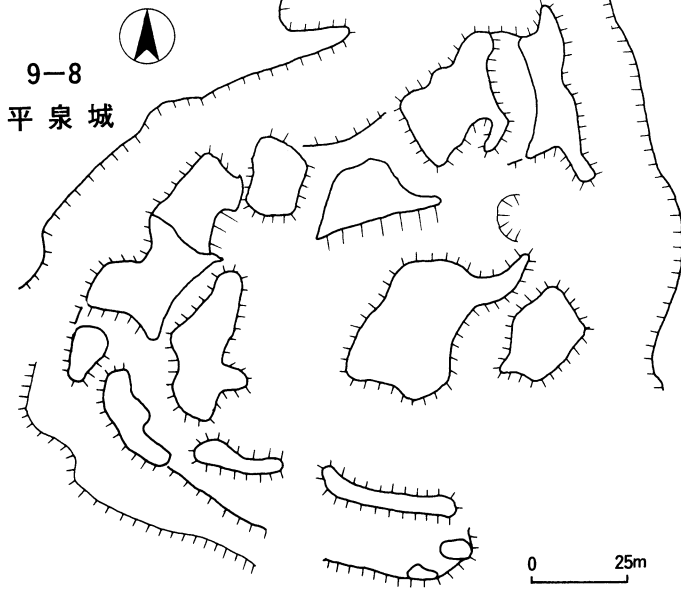
9-10 山ノ城



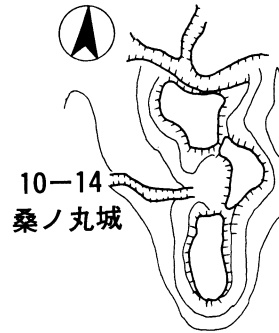
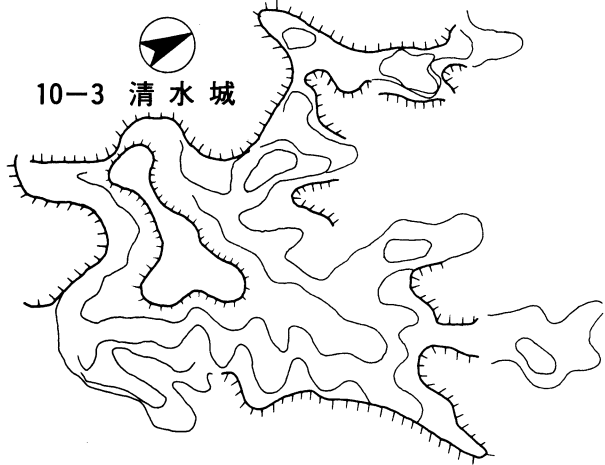
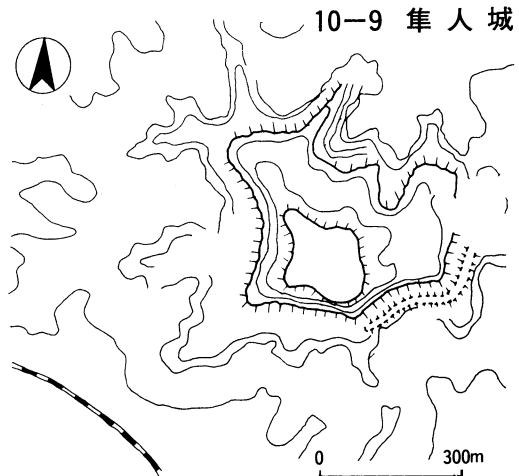
9-11 山野城



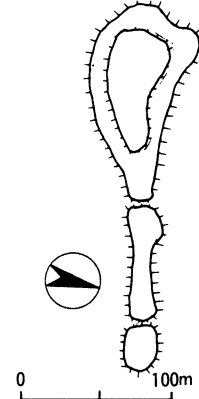
大口市



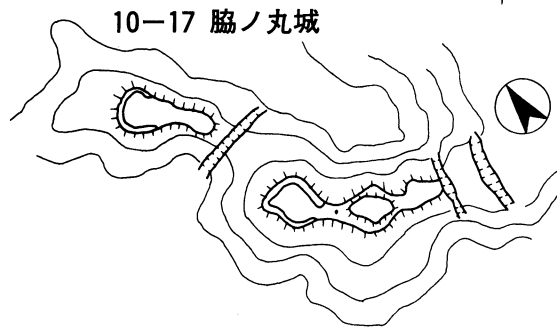
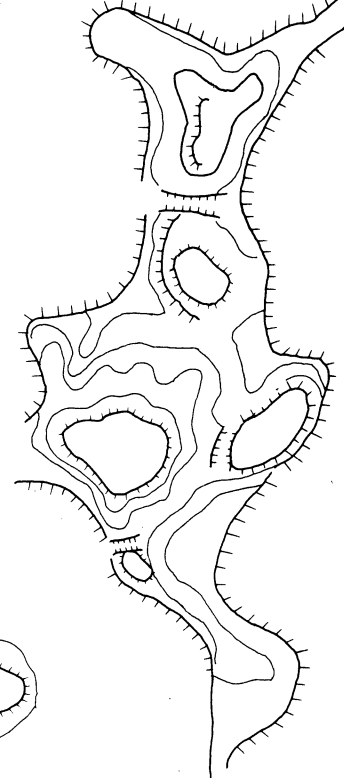
国分市



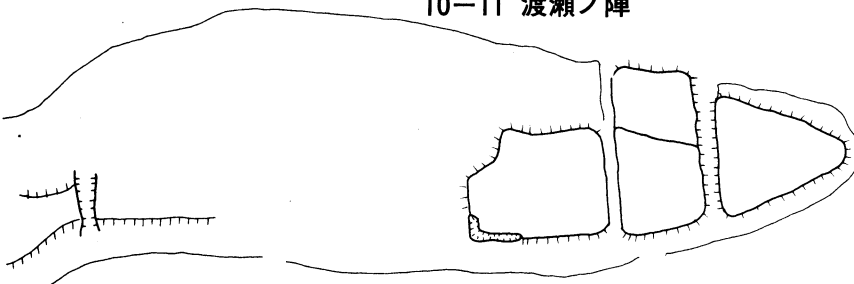
10-1 上井城



10-12 姫木城

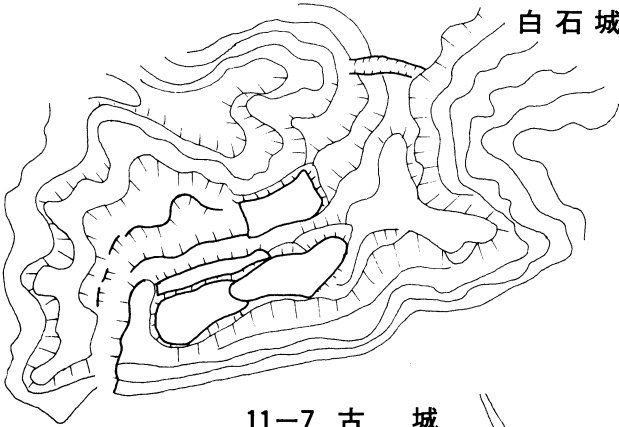


10-11 渡瀬ノ陣

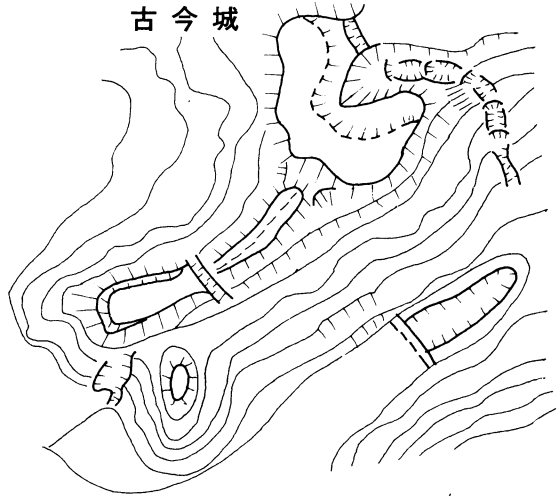


垂水市

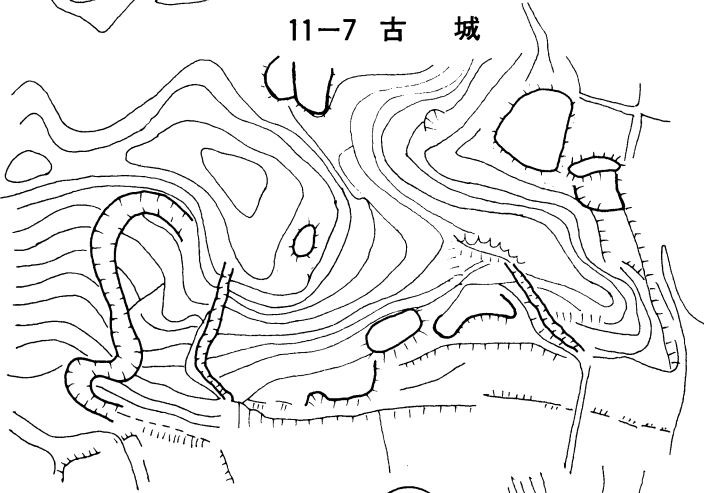
11-6
白石城



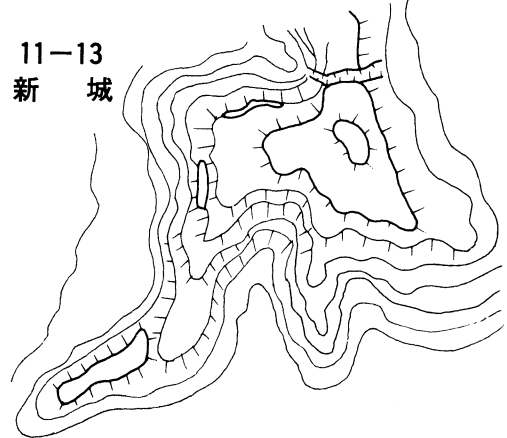
11-4
古今城



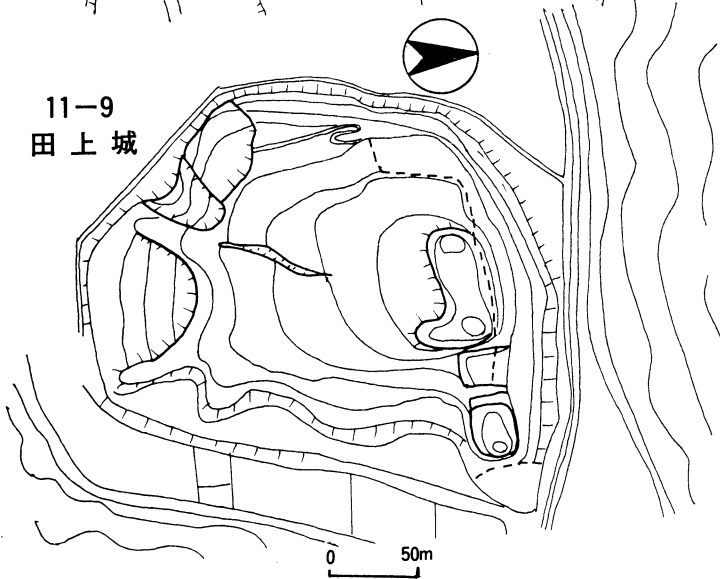
11-7 古城



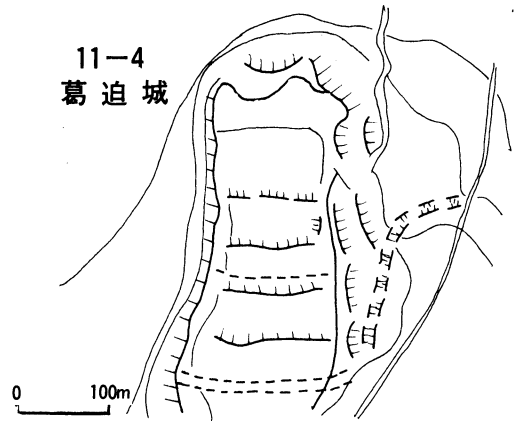
11-13
新城



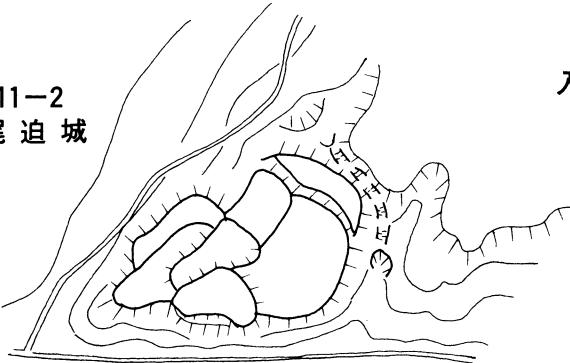
11-9
田上城



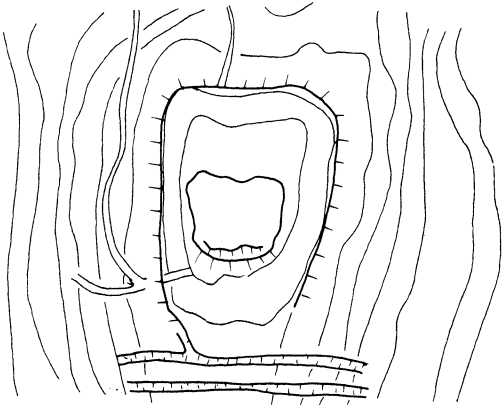
11-4
葛迫城



11-2
尾迫城

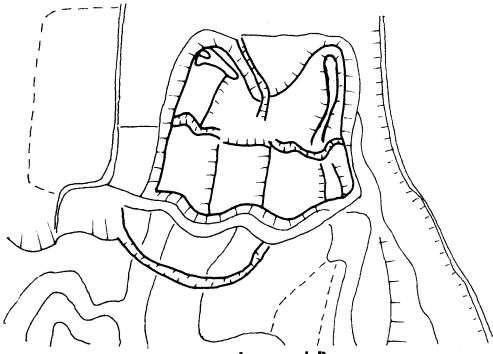


11-1
入船城

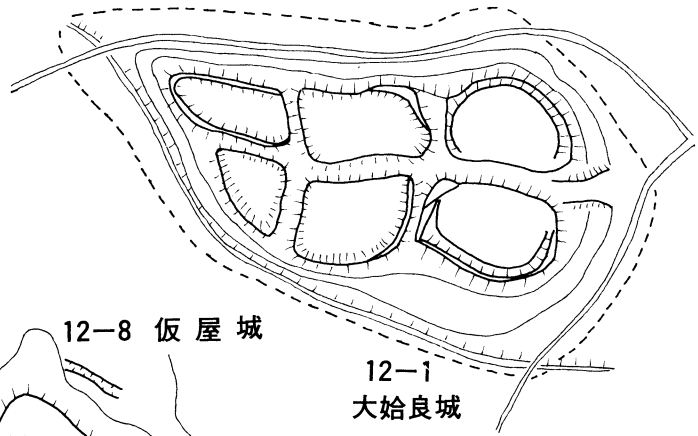


垂水市

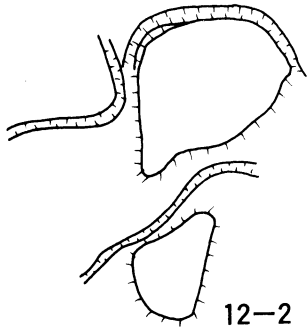
鹿屋市



11-7 高城



12-1 大始良城



12-2 鹿屋城

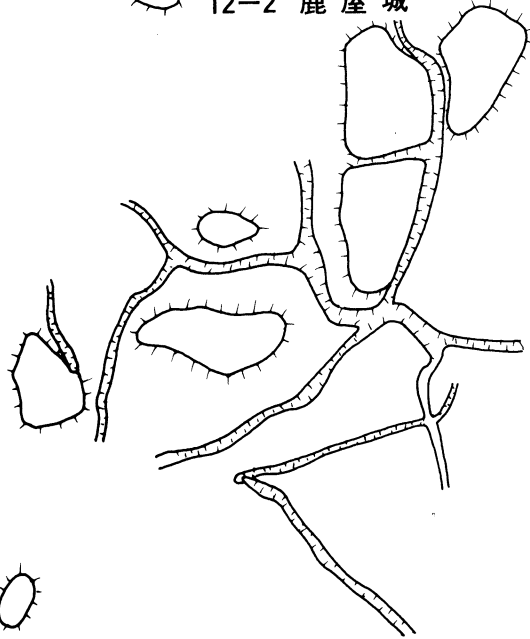


12-8 仮屋城

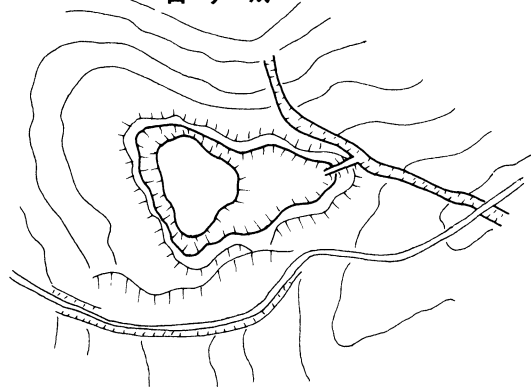
12-10 志々目城



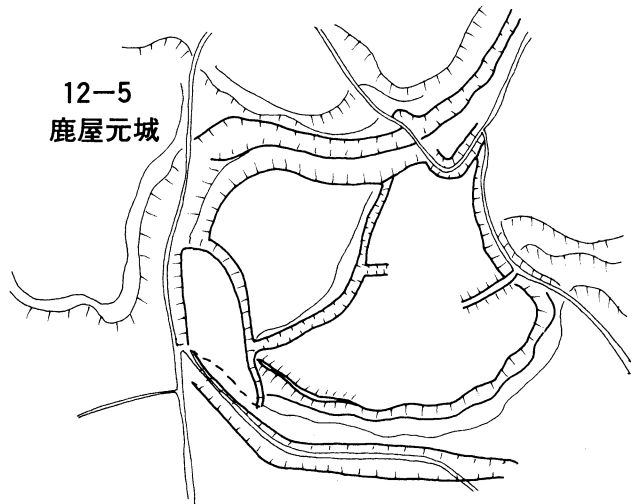
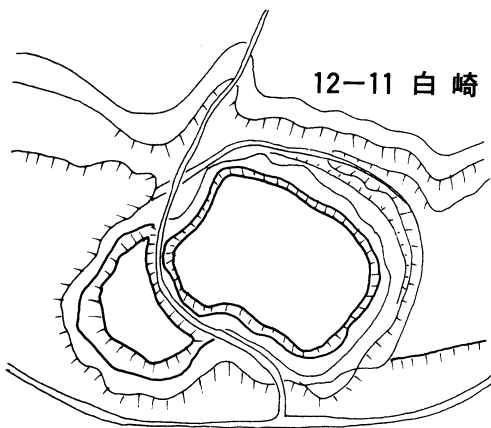
12-22 日ヶ城



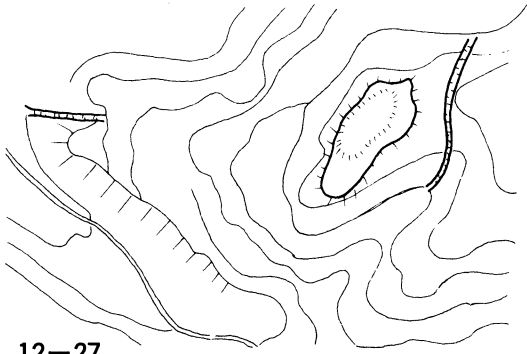
12-11 白崎城



12-5 鹿屋元城



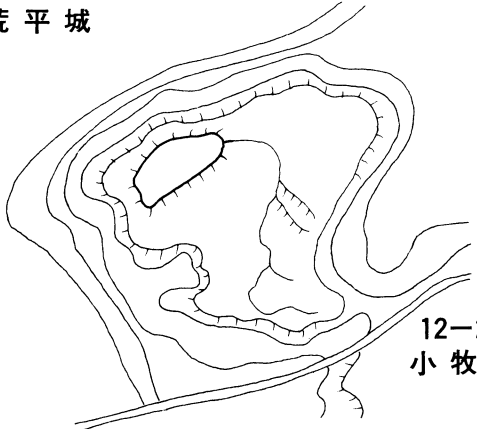
鹿屋市



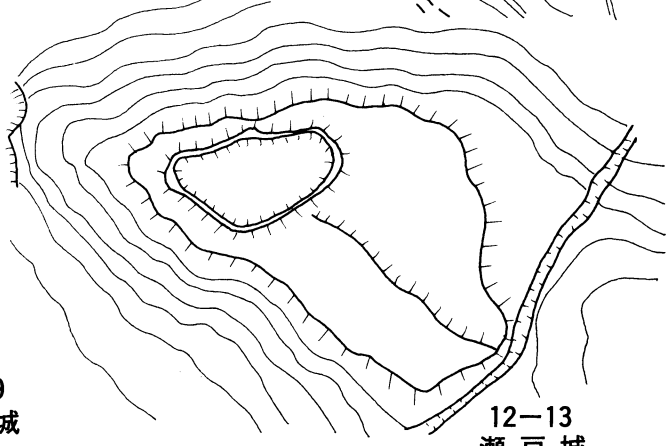
12-27
荒平城



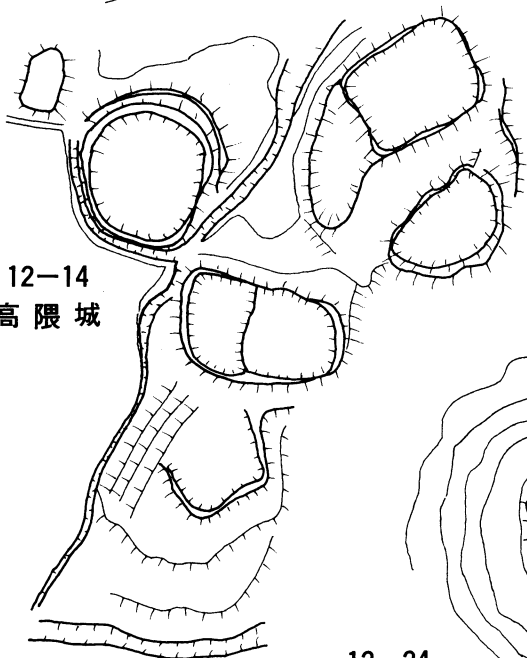
12-30
年貫城



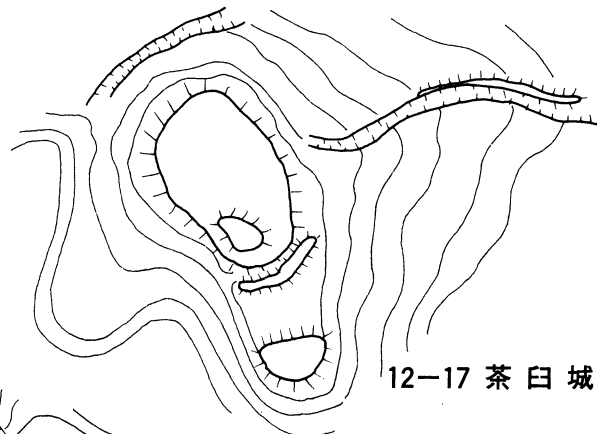
12-29
小牧城



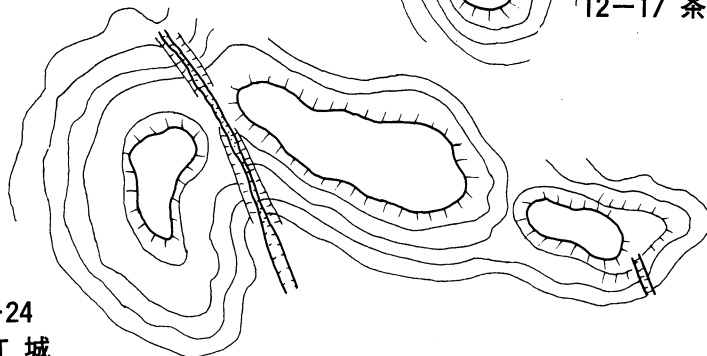
12-13
瀬戸城



12-14
高隈城

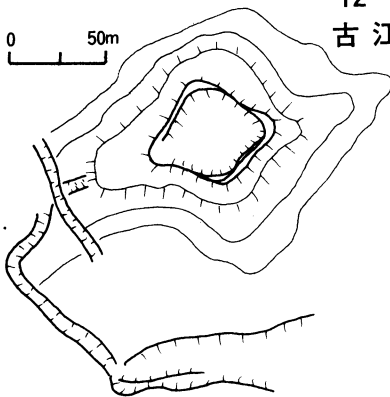


12-17 茶臼城

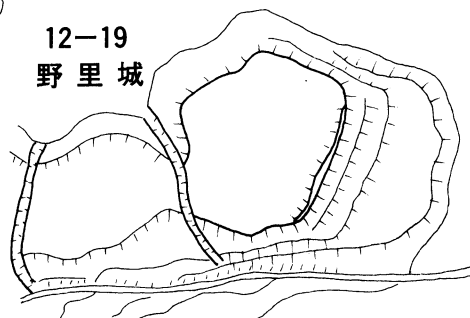


12-24
古江城

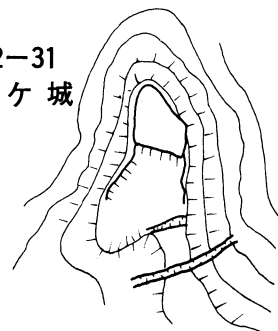
0 50m



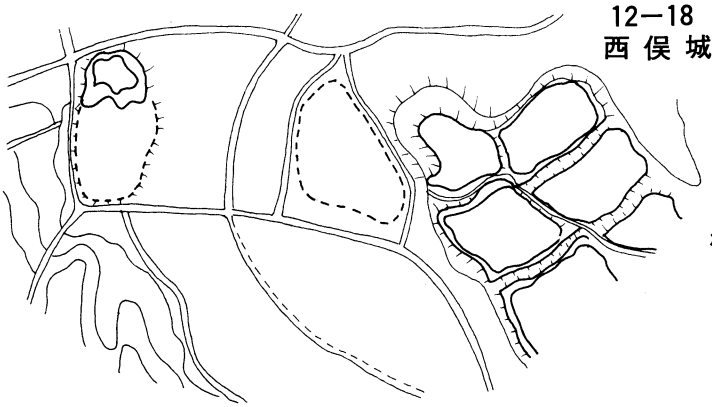
12-19
野里城



12-31
山ヶ城



略測図 8

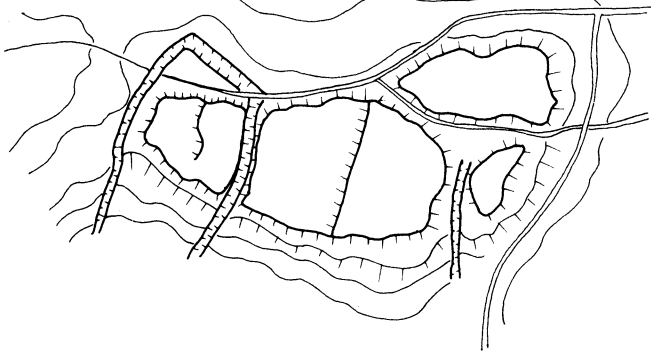


12-18
西俣城

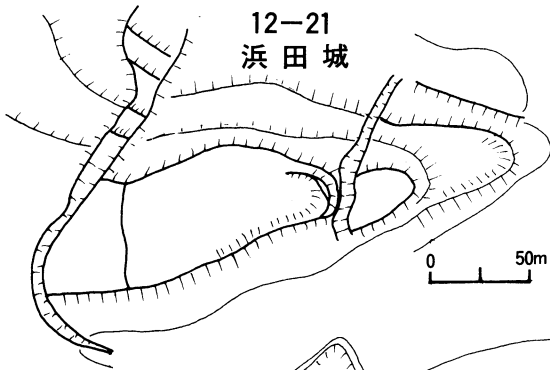
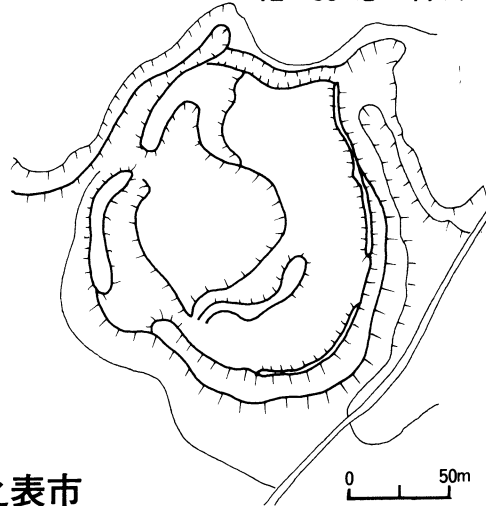


12-25
横山城

12-32 宮ノ前城



12-33 志々目城



12-21
浜田城

0 50m

西之表市

13-5
本城

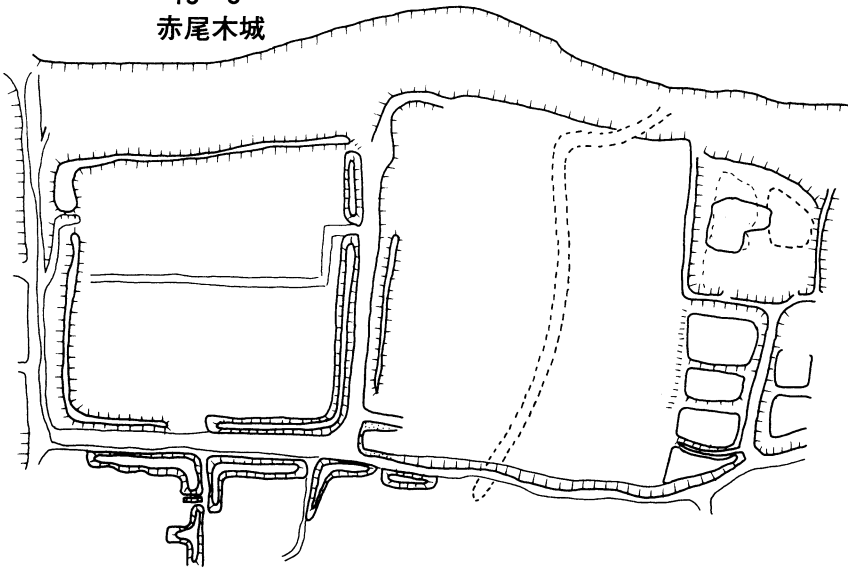
0 50m



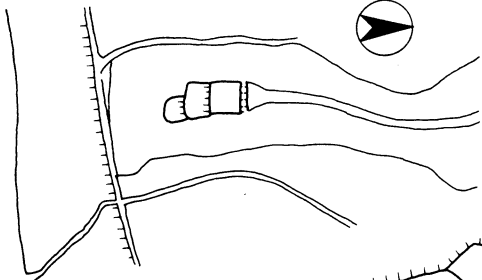
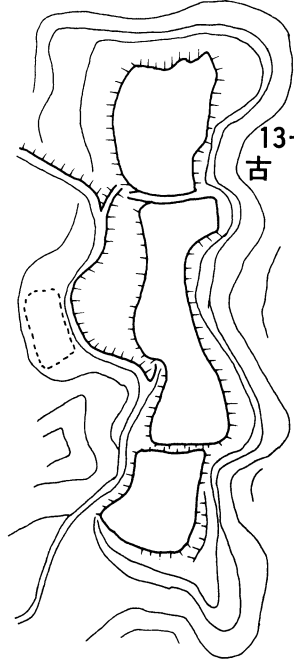
0 30m

西之表市

13-3
赤尾木城



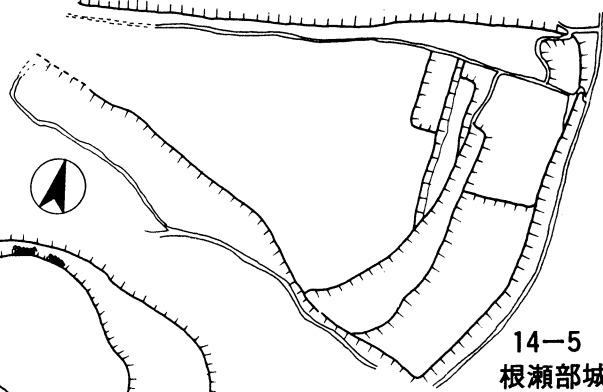
13-9
古城



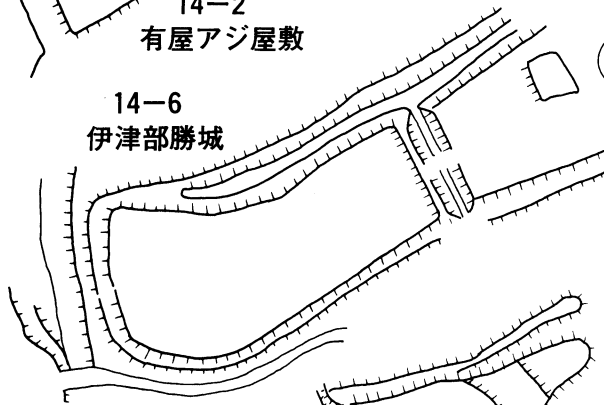
0 10 20m

14-2
有屋アジ屋敷

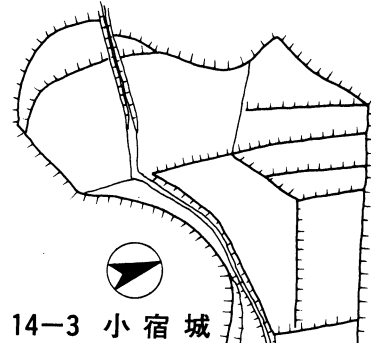
0 20m



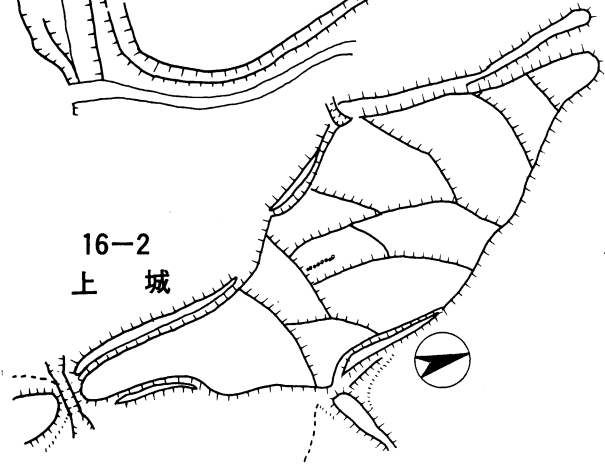
14-5
根瀬部城



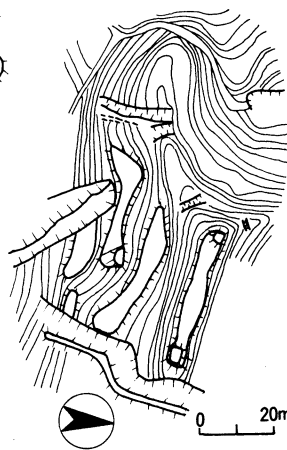
14-6
伊津部勝城



14-3 小宿城



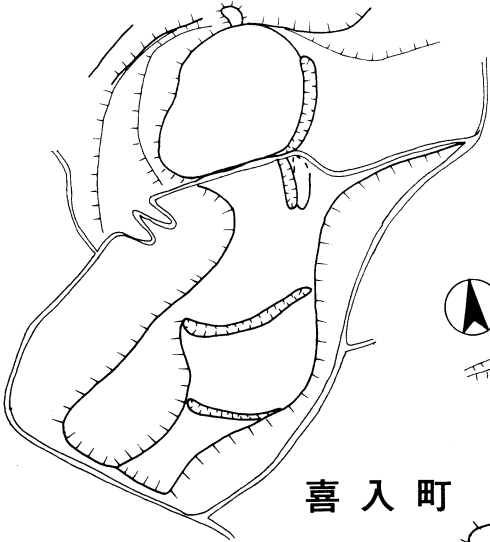
16-2
上城



0 20m

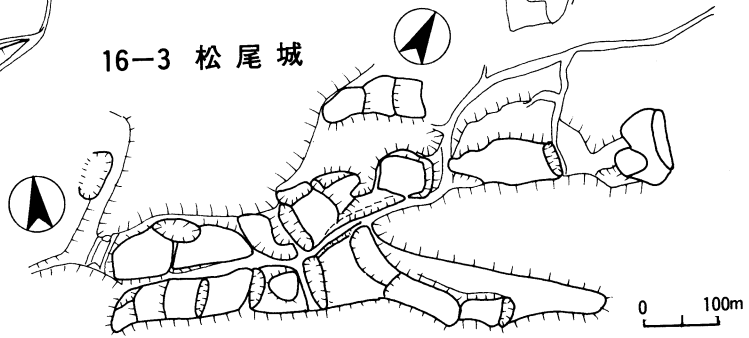
0 20m

16-4 鳶巢城



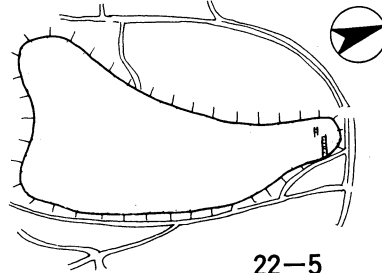
吉田町

16-3 松尾城

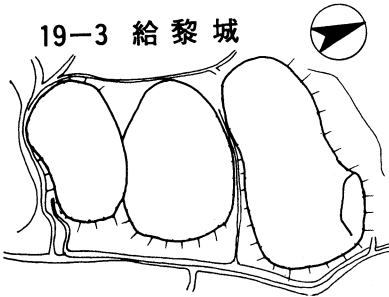


喜入町

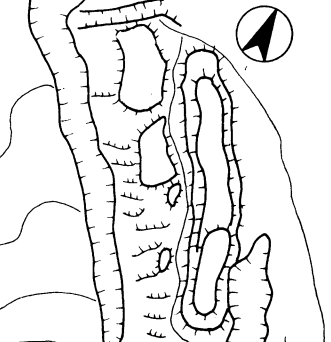
19-6 愛宕城



19-3 給黎城



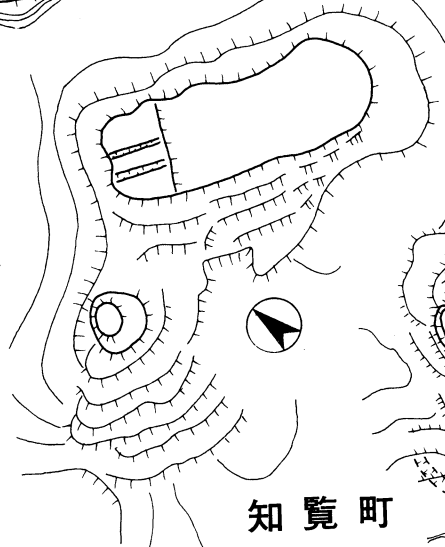
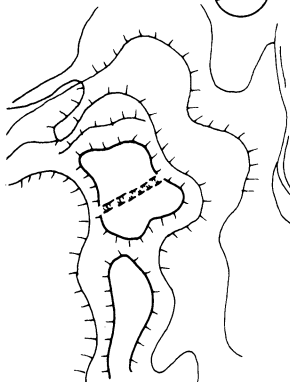
22-3 穎娃城



22-5 猫城

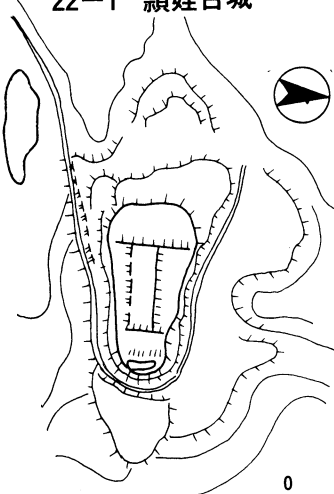
穎娃町

22-2 栴山城

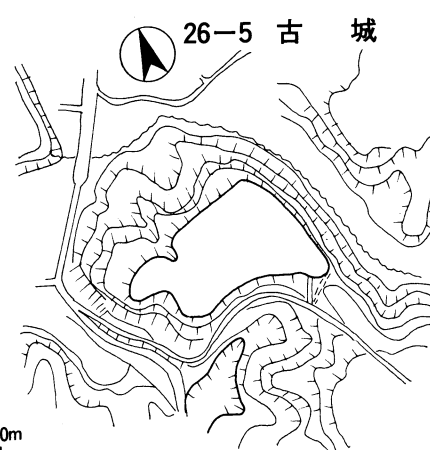


知覧町

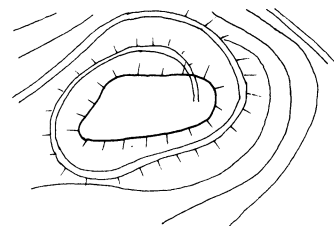
22-1 穎娃古城



26-5 古城



26-1 亀甲城

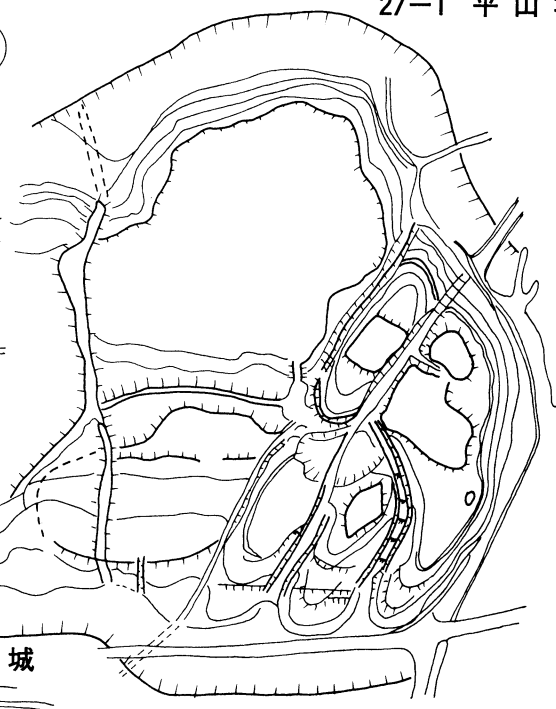


知覧町

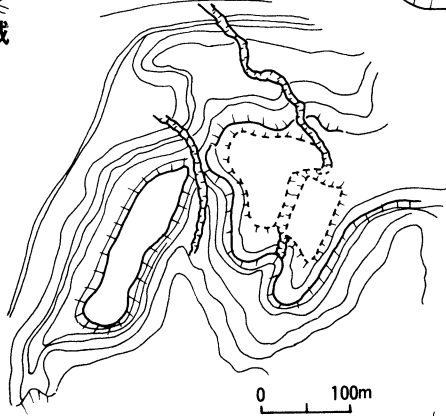
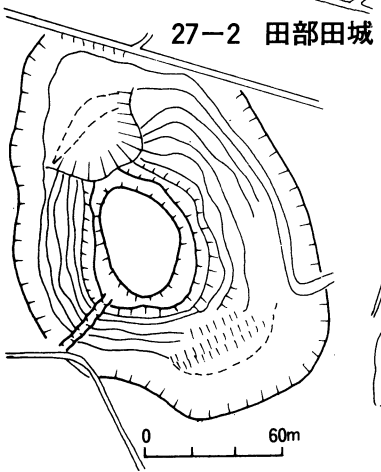
26-2 知覧城

川辺町

27-1 平山城



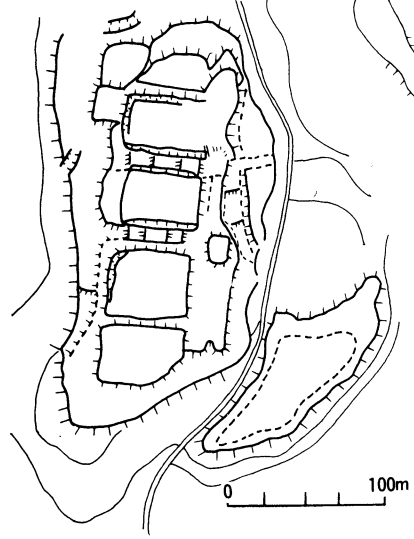
27-3 兎ヶ城



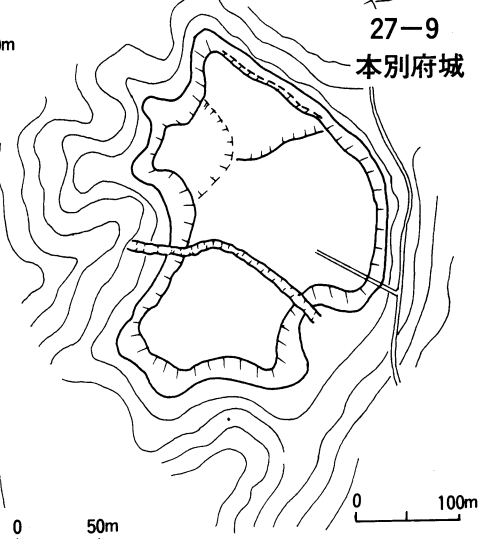
27-11 堀之内城

27-9 本別府城

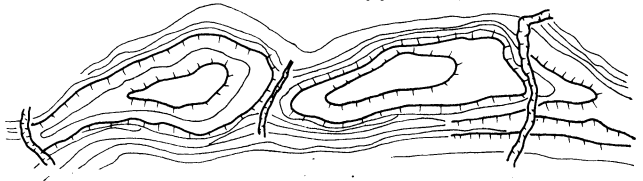
27-4 勝目城



27-10 高田城

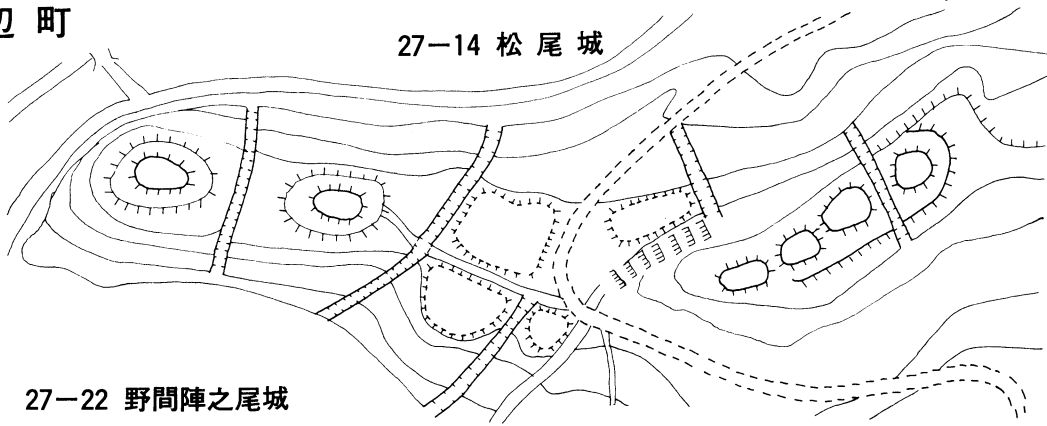


27-12 古城

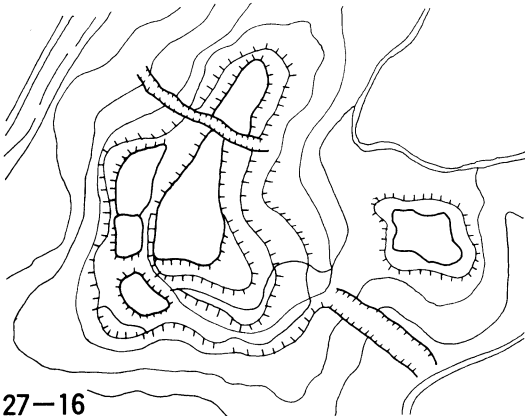


川辺町

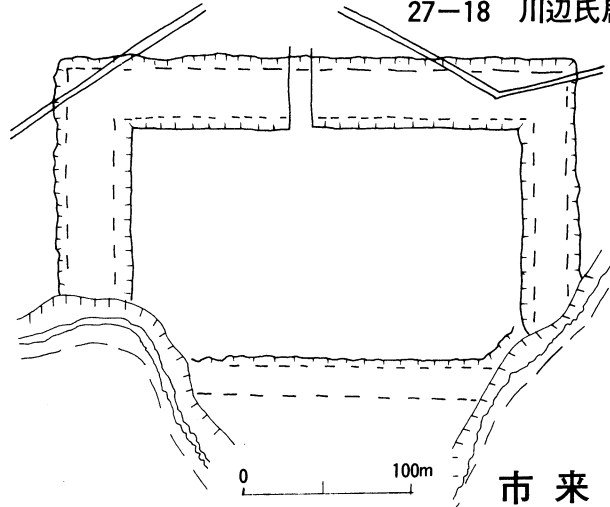
27-14 松尾城



27-22 野間陣之尾城



27-18 川辺氏居館

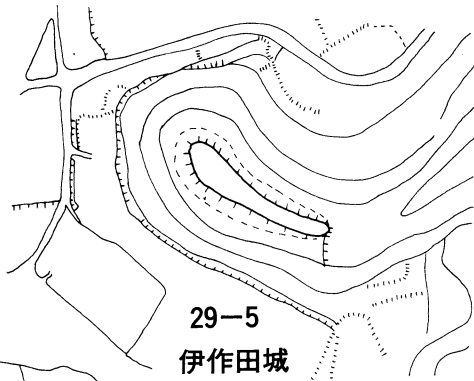


27-16
楠原城

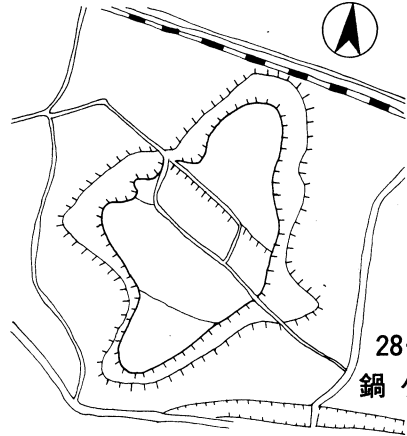
東市来町



0 100m 市来町

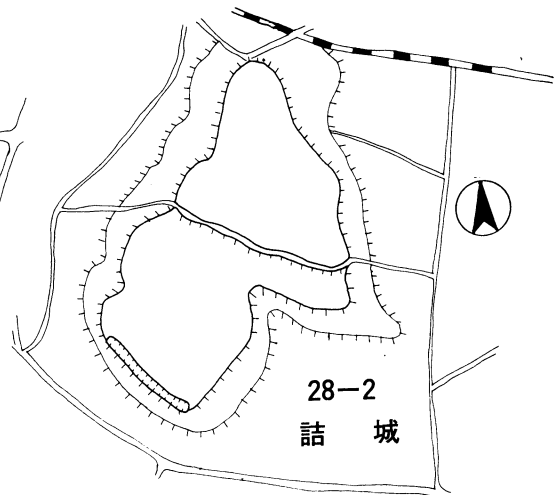
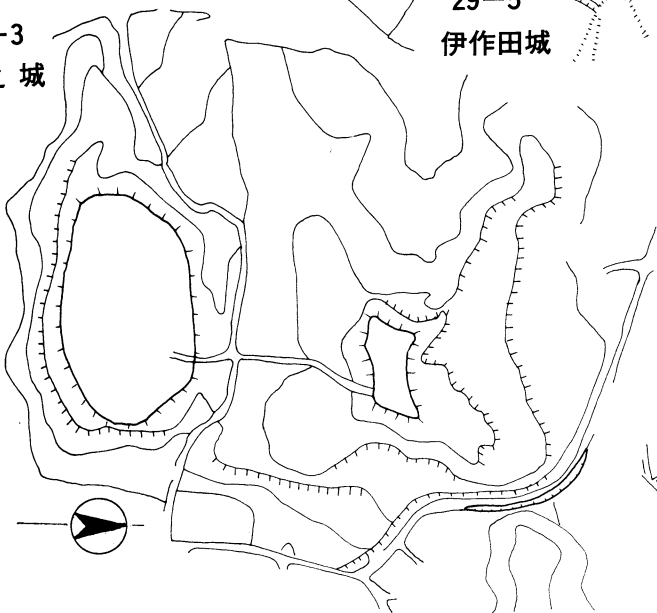


29-5
伊作田城



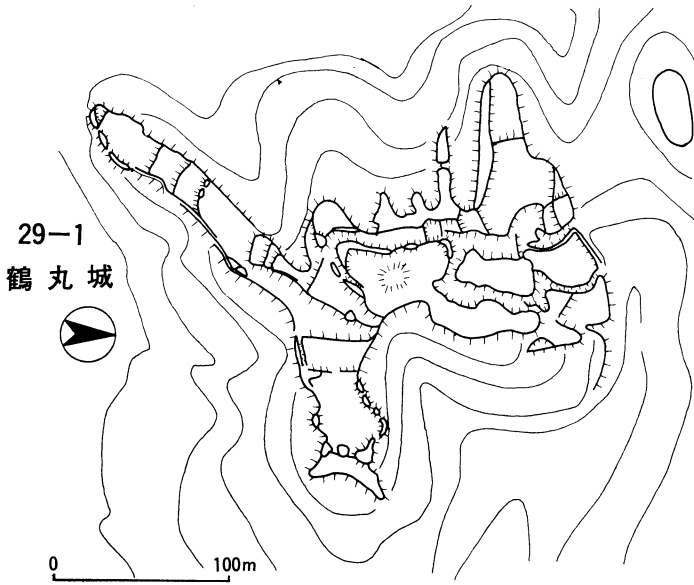
28-3
鍋ヶ城

29-3
平之城

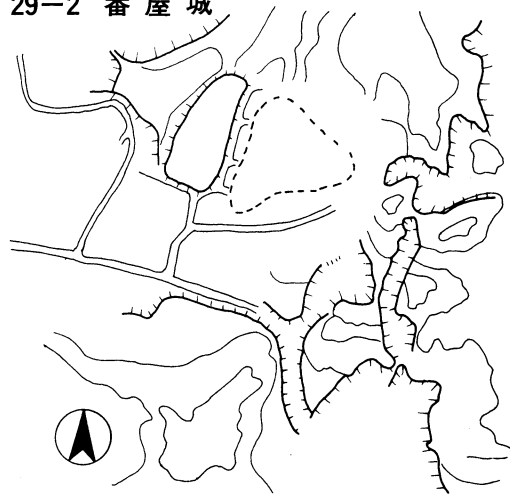


28-2
詰城

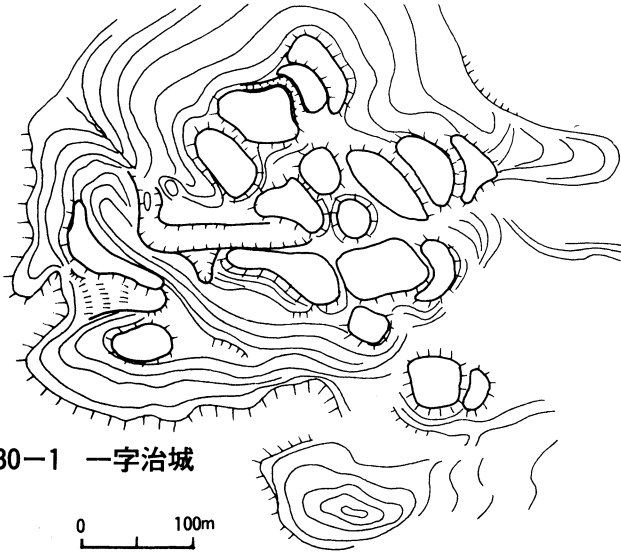
東市来町



29-2 番屋城

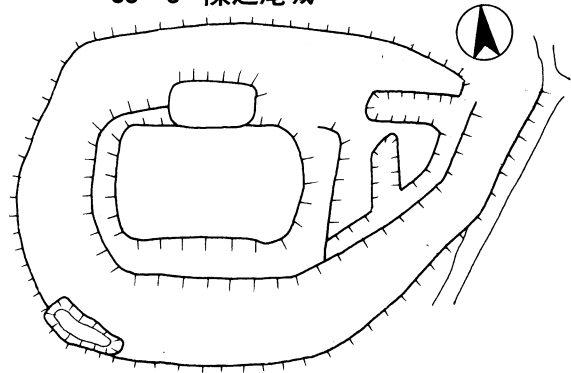


伊集院町

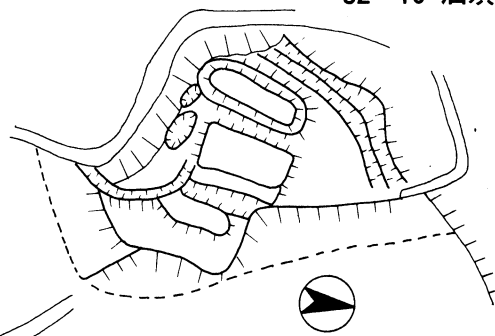


郡山町

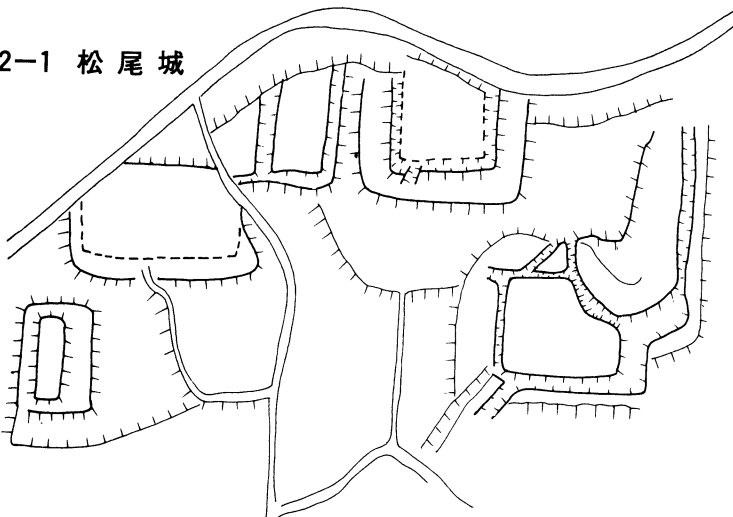
33-8 陳之尾城



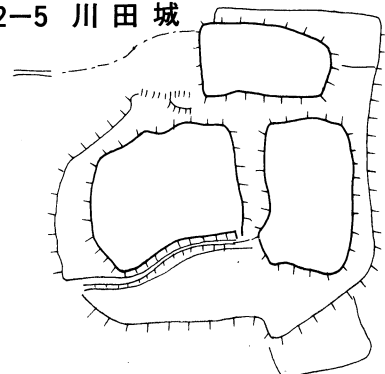
32-10 油須木城



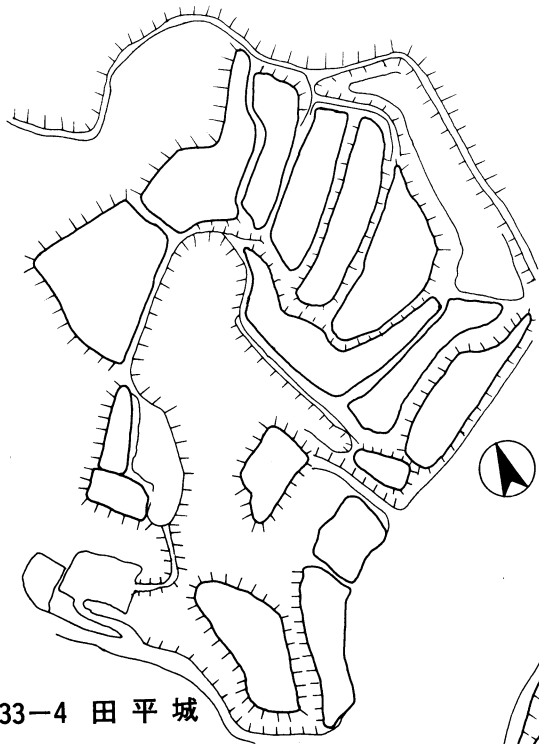
32-1 松尾城



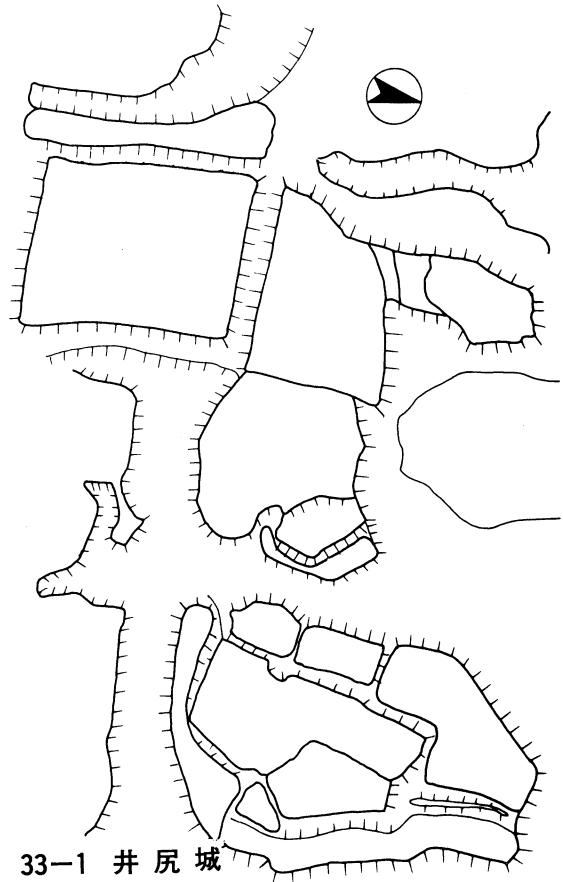
32-5 川田城



日吉町

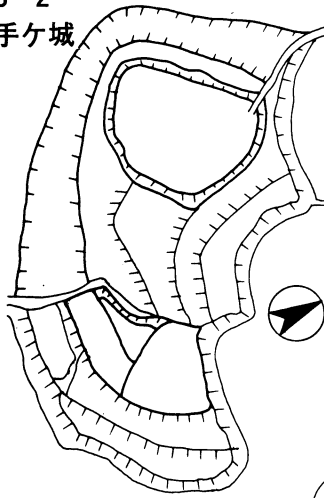


33-4 田平城

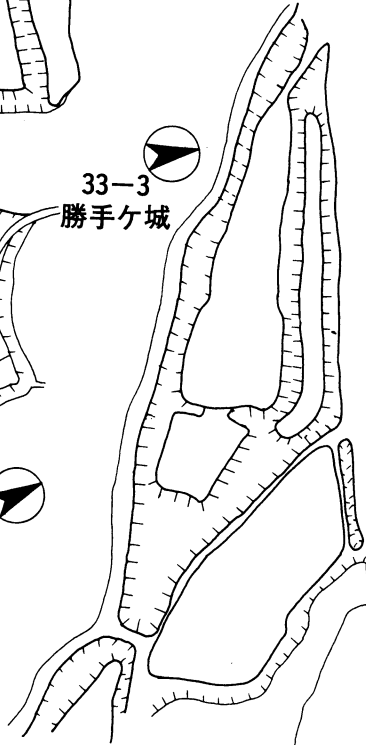


33-1 井尻城

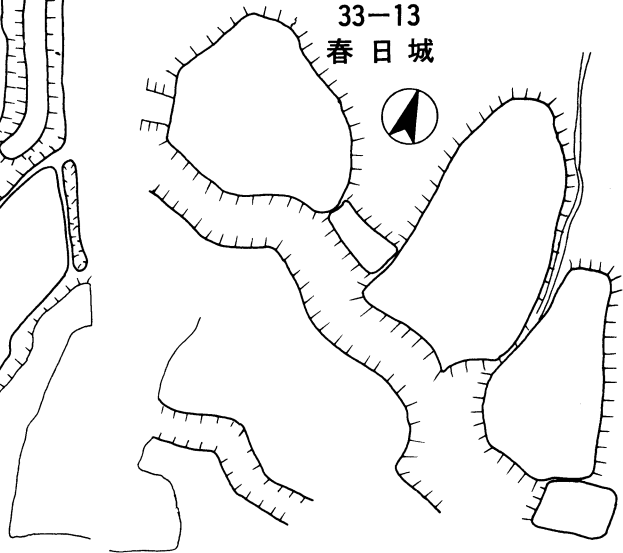
33-2 井手ヶ城



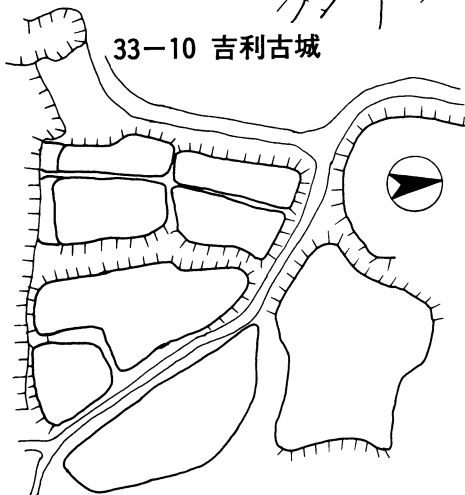
33-3 勝手ヶ城



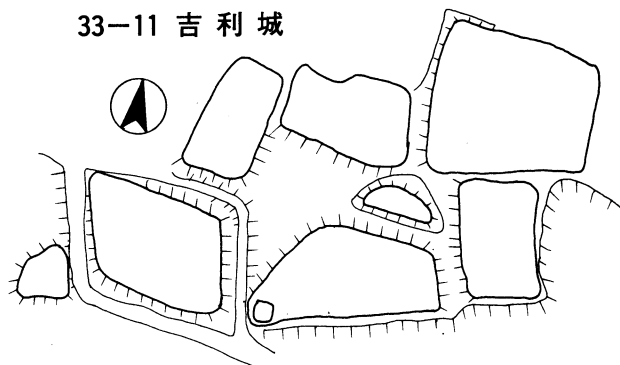
33-13 春日城



33-10 吉利古城

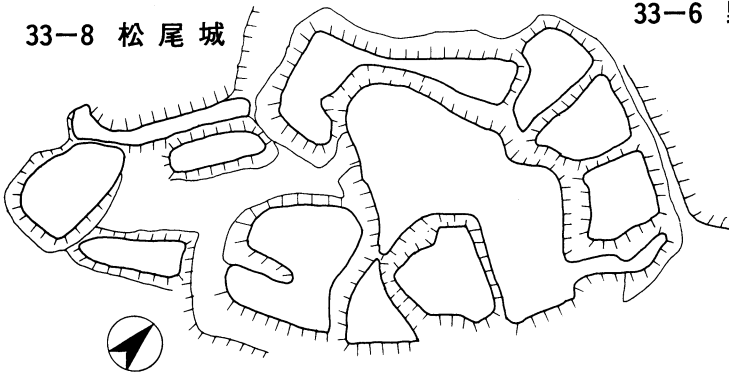


33-11 吉利城

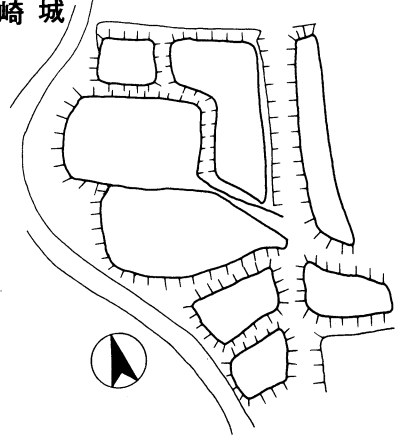


日吉町

33-8 松尾城

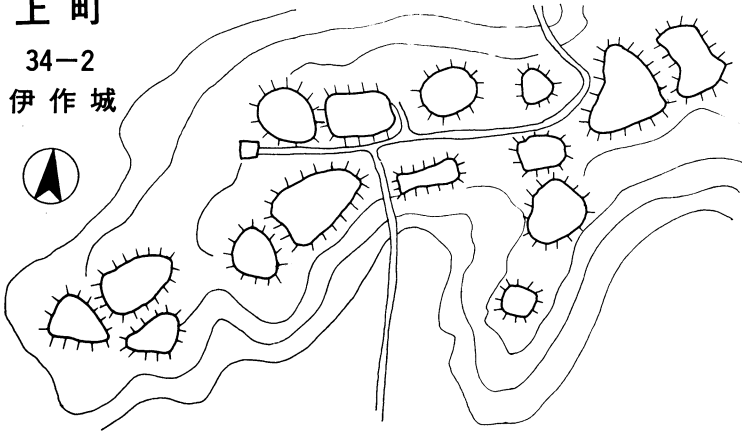


33-6 野崎城

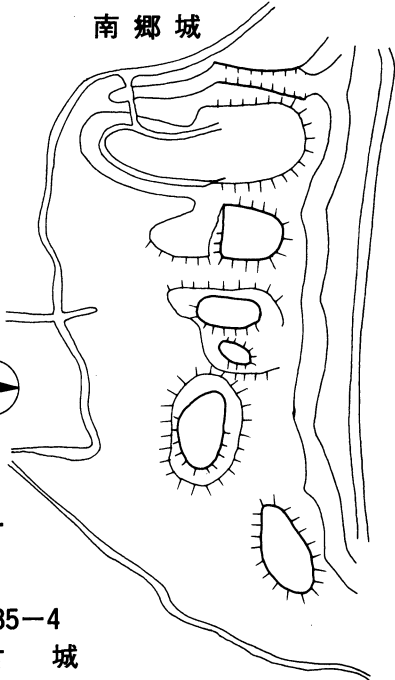


吹上町

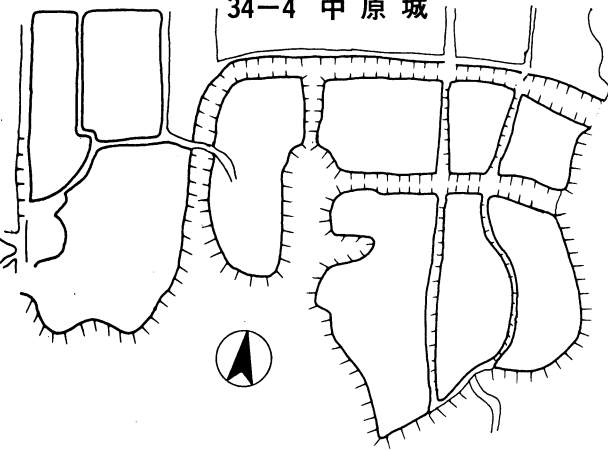
34-2 伊作城



34-15 南郷城

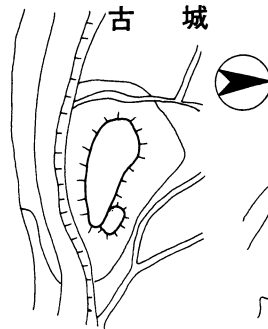


34-4 中原城

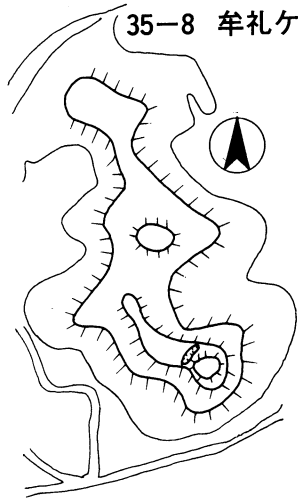


金峰町

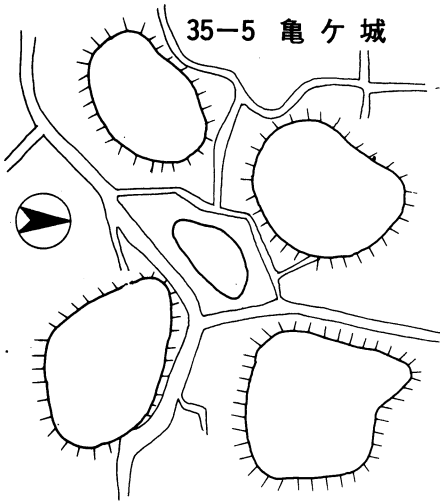
35-4 古城



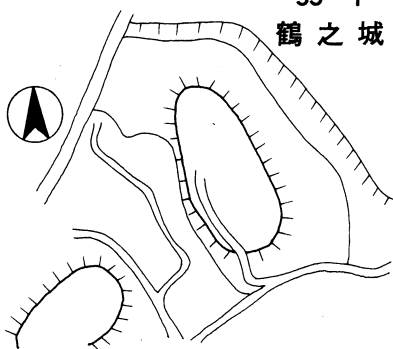
35-8 牟礼ヶ城



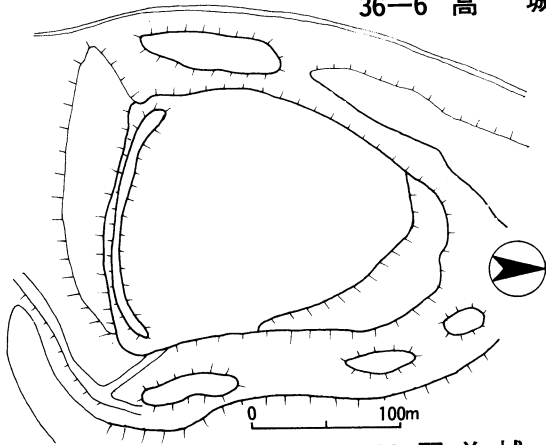
35-5 亀ヶ城



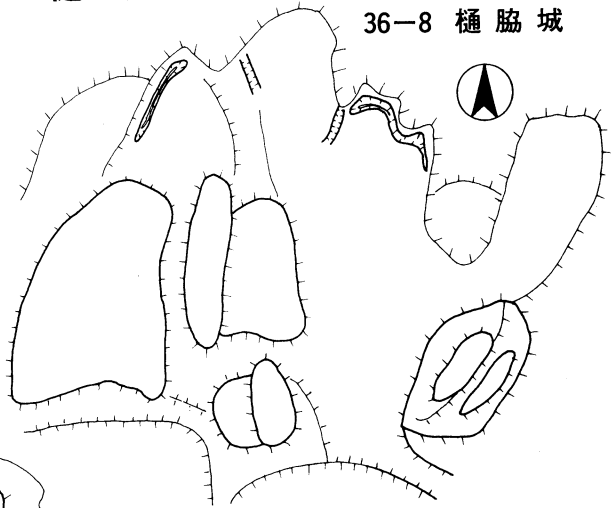
35-1 鶴之城



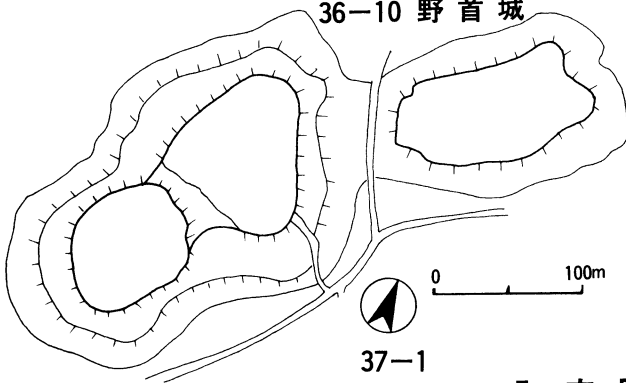
36-6 高城 樋脇町



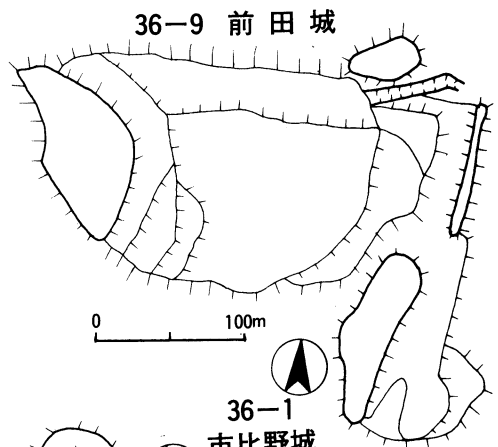
36-8 樋脇城



36-10 野首城



36-9 前田城



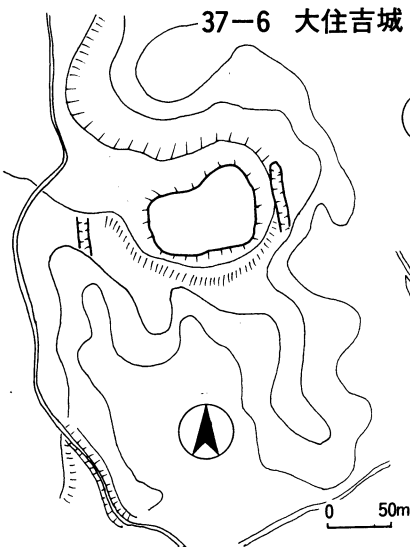
37-1 清色城 入来町



36-1 市比野城



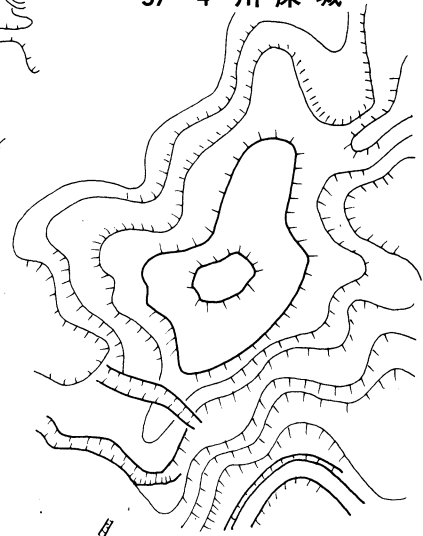
37-6 大住吉城



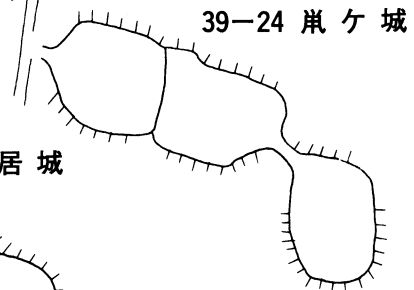
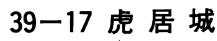
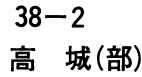
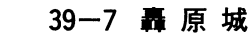
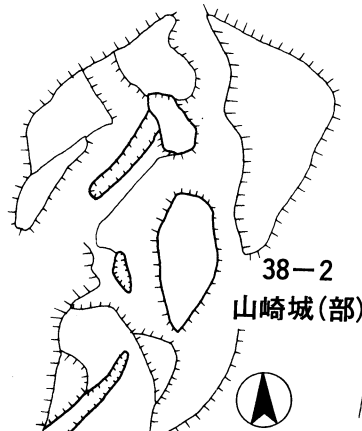
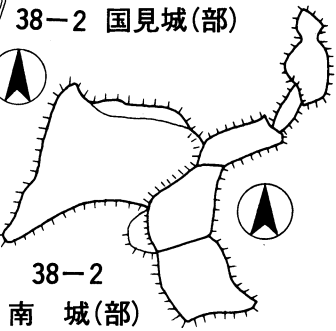
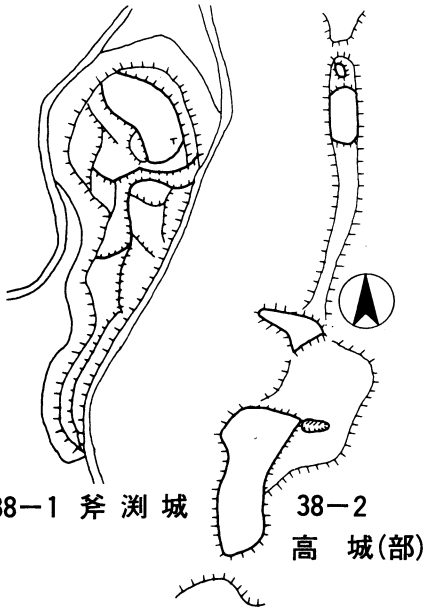
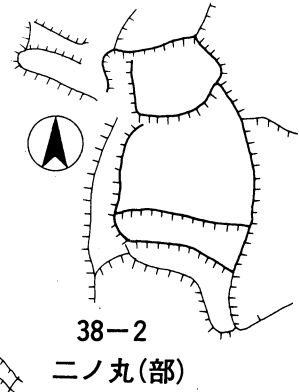
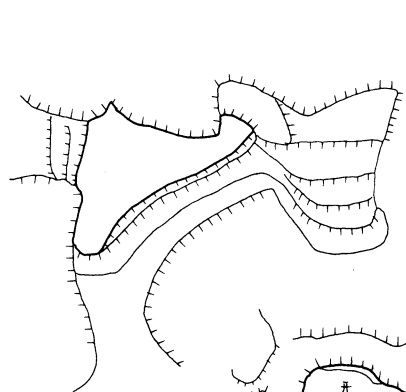
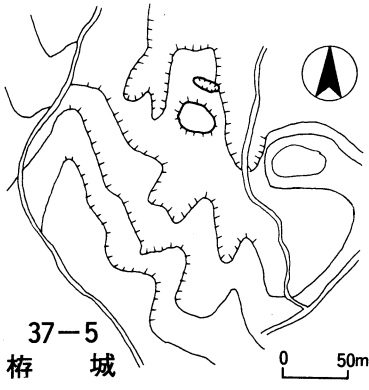
37-7 梶城



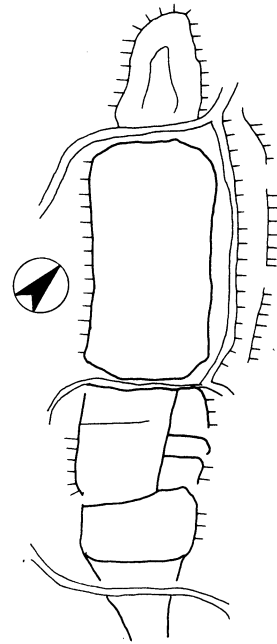
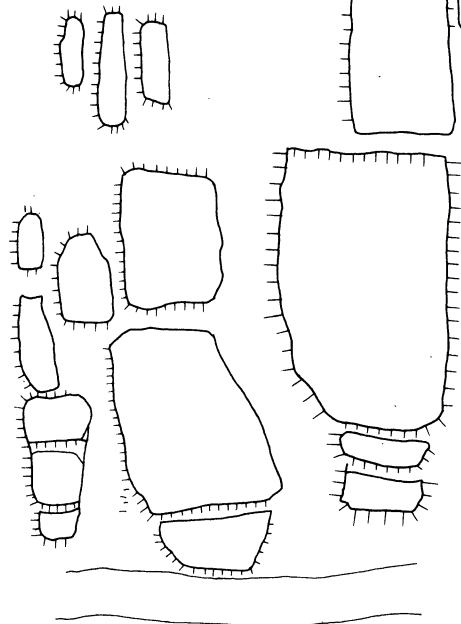
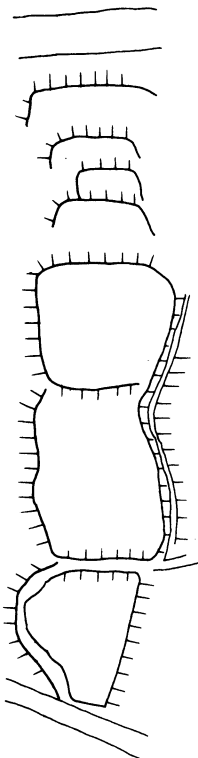
37-4 川床城



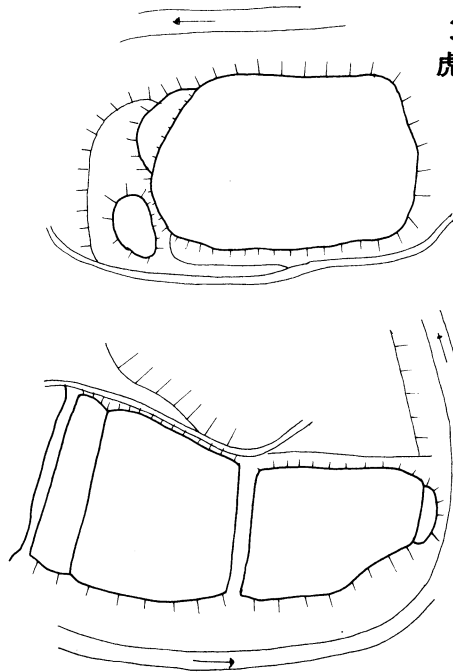
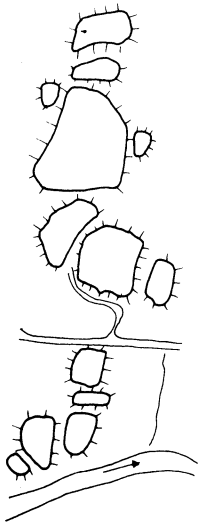
東郷町



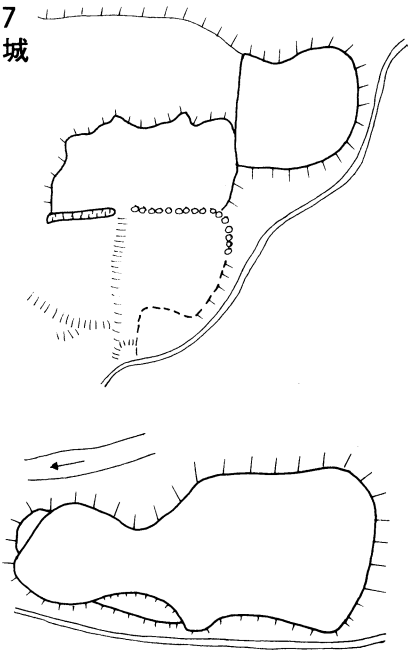
宮之城町



39-9 久富木城



39-17
虎居城

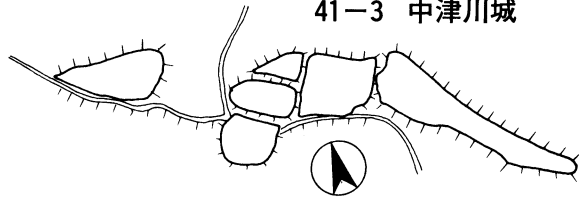


薩摩町

41-4 松尾城

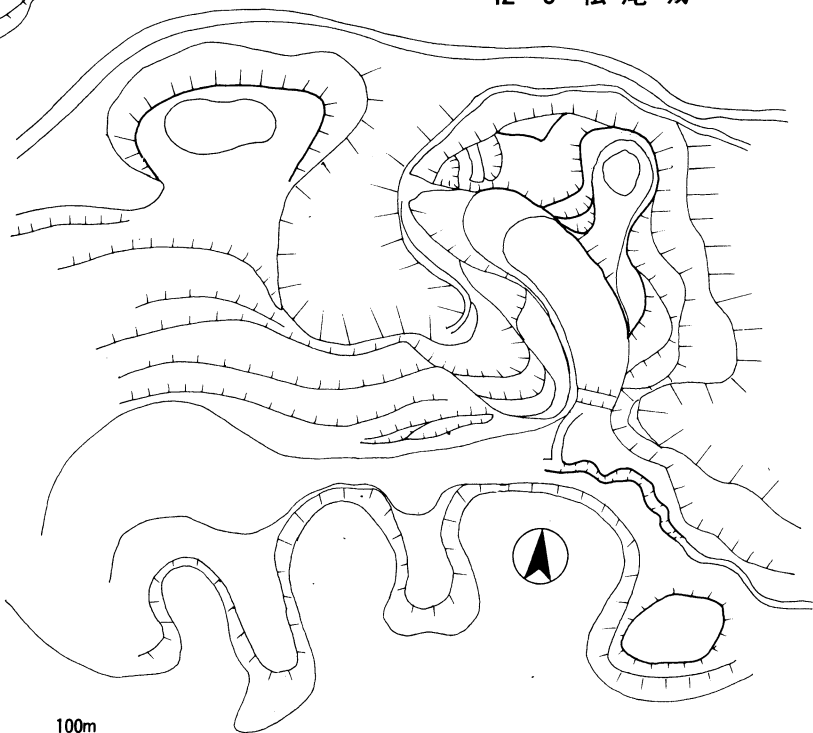


41-3 中津川城

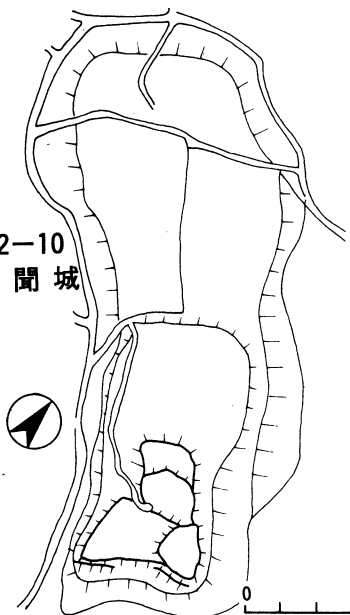


祁答院町

42-9 松尾城



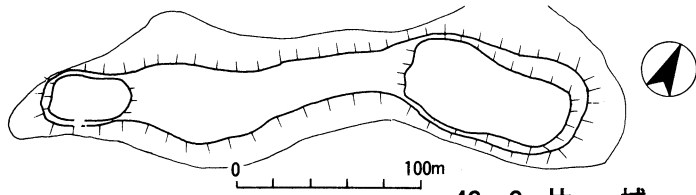
42-10
滝聞城



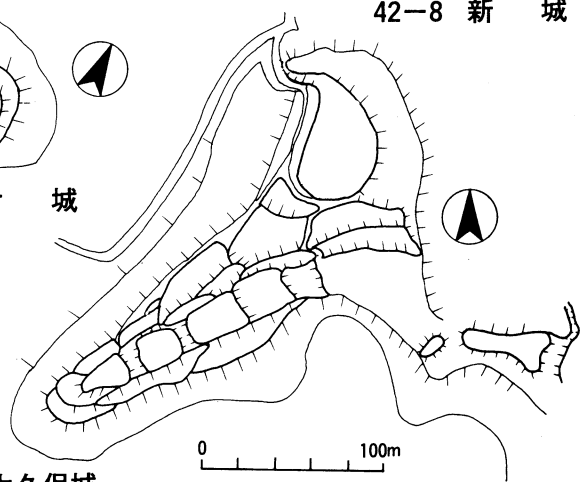
0 100m

祁答院町

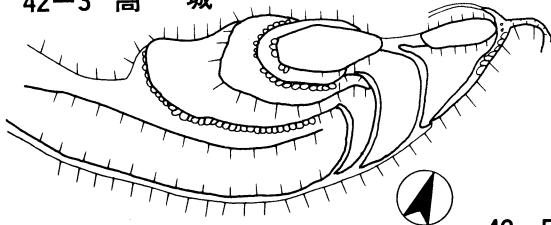
42-8 新城



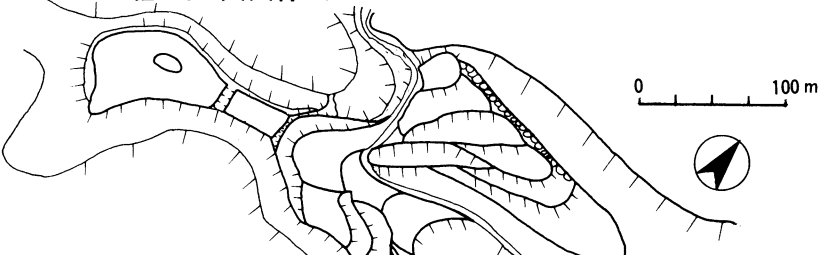
42-2 片城



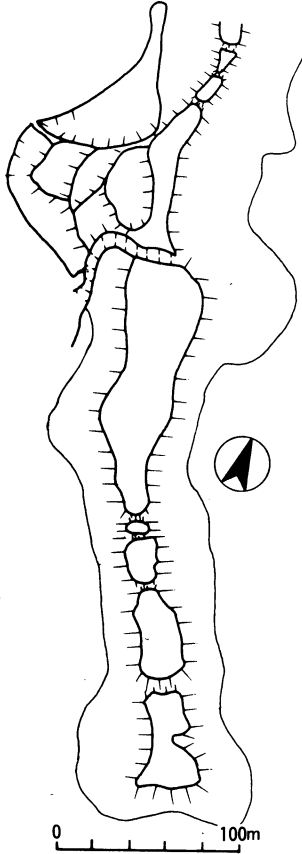
42-3 高城



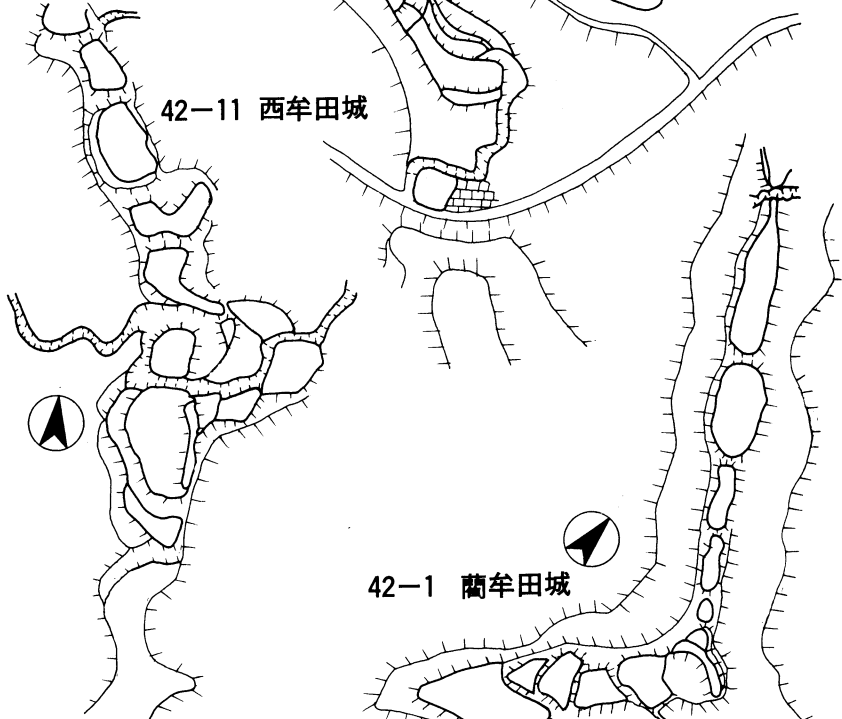
42-5 大久保城



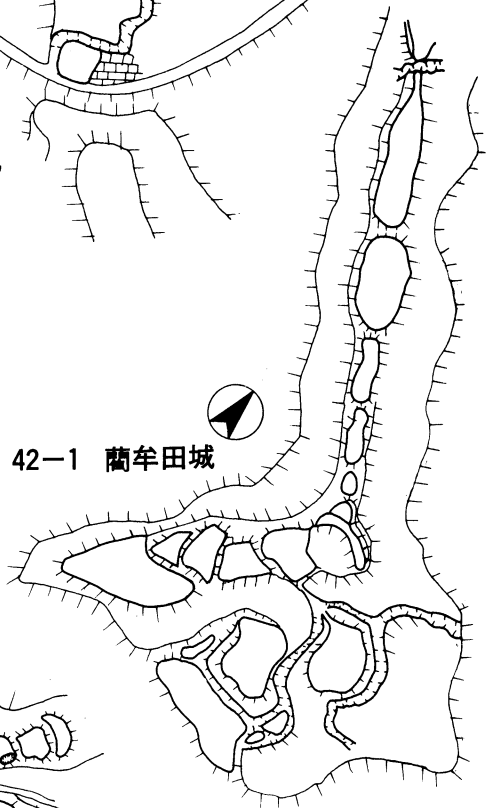
42-4 西之城



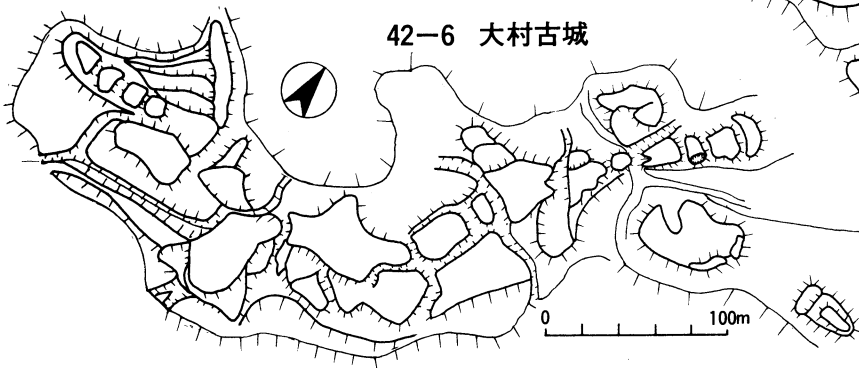
42-11 西牟田城



42-1 藺牟田城

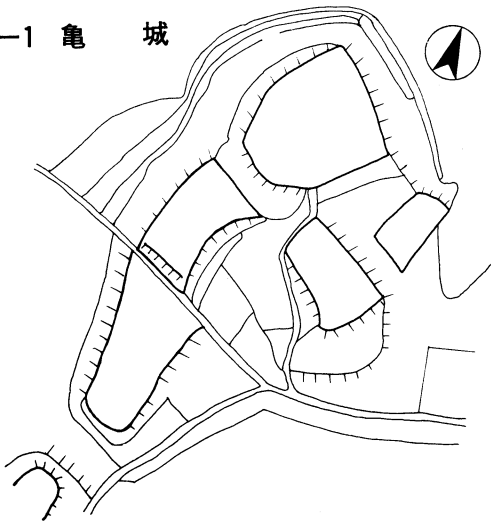


42-6 大村古城



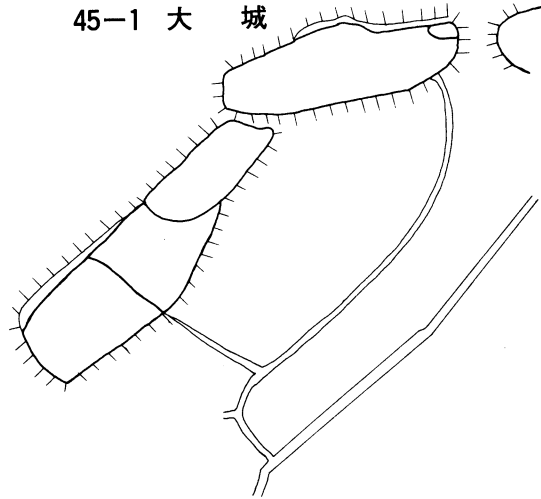
里 村

43-1 亀 城



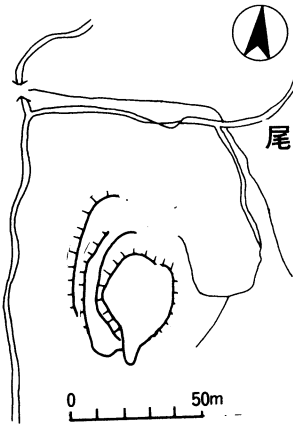
下 甑 村

45-1 大 城

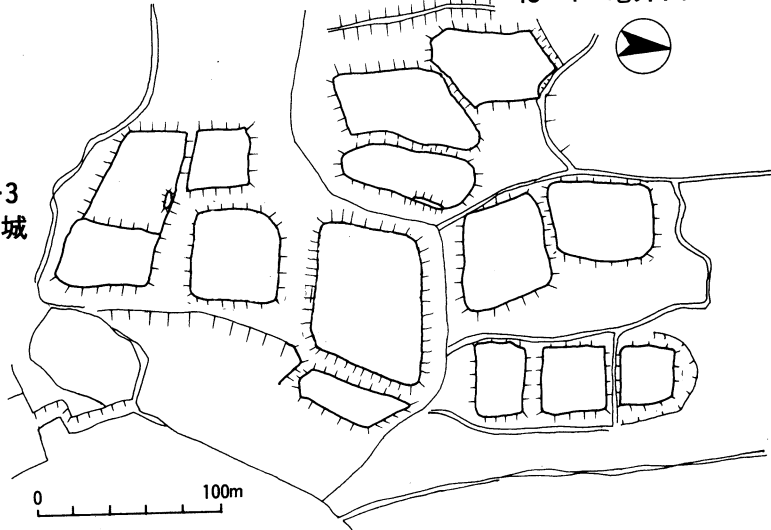


野 田 町

48-3 尾ヶ無城

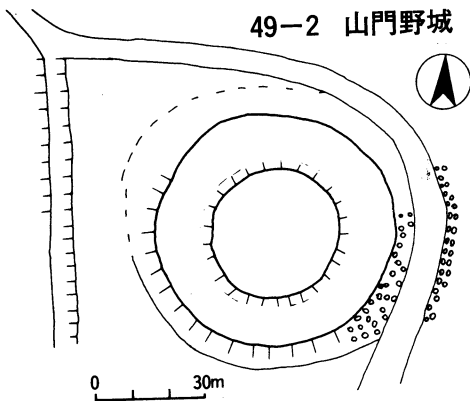


48-1 亀井山城



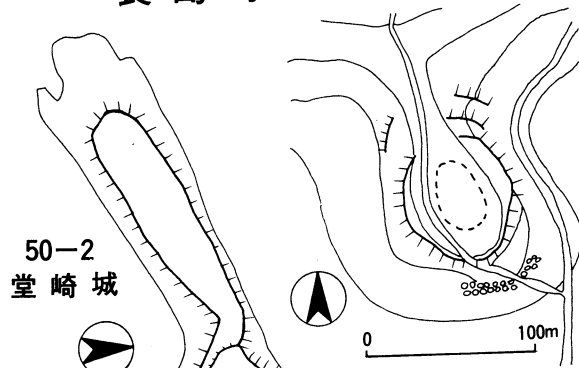
東 町

49-2 山門野城



長 島 町

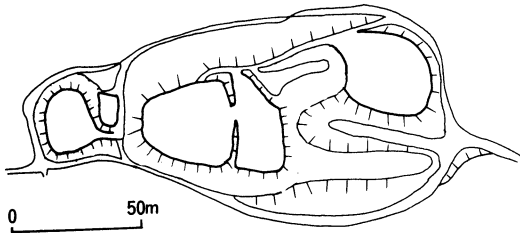
50-1 鬼 城



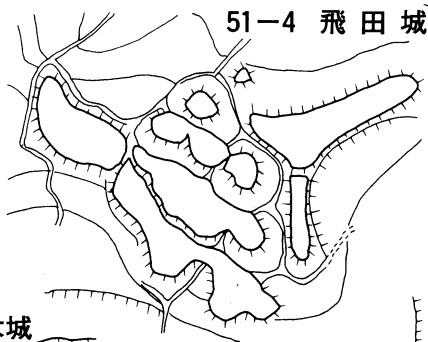
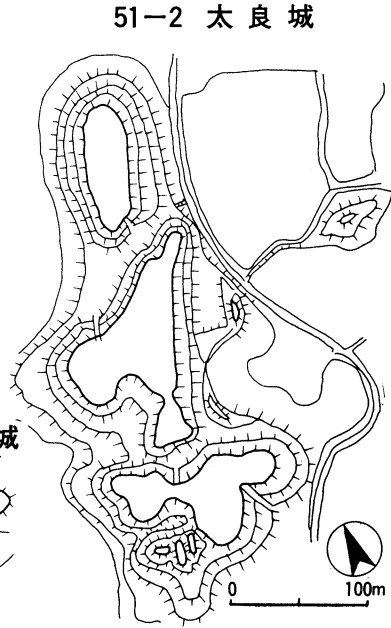
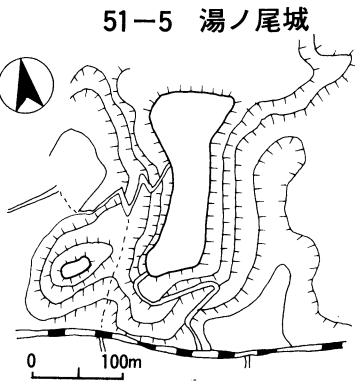
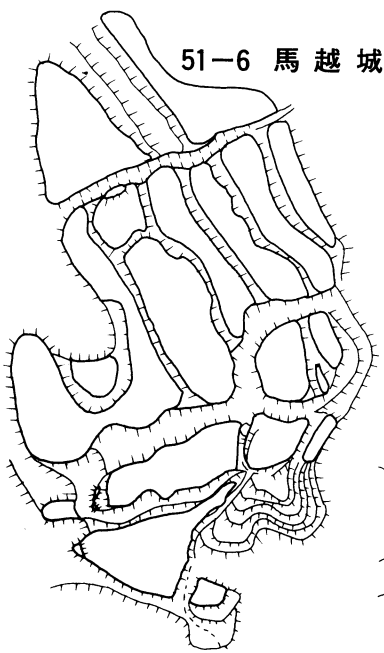
50-2 堂崎城



菱刈町 51-3 花北城

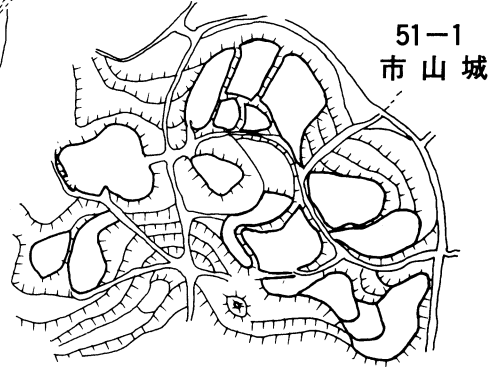
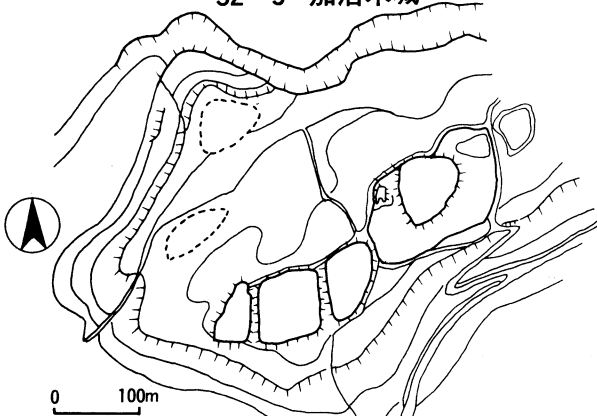


菱刈町



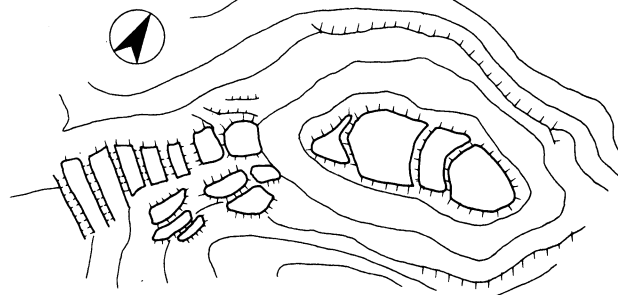
加治木町

52-3 加治木城

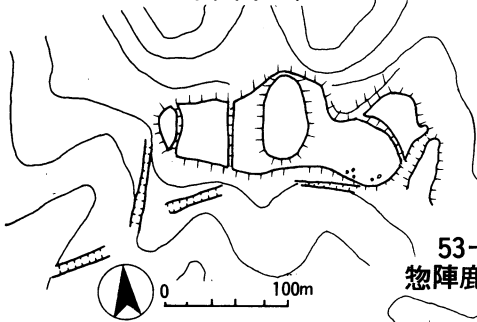


始良町

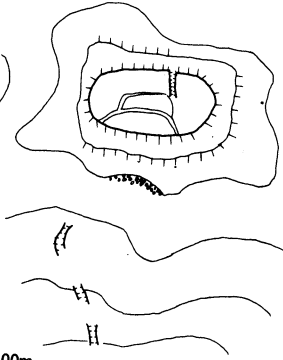
53-1 岩劔城



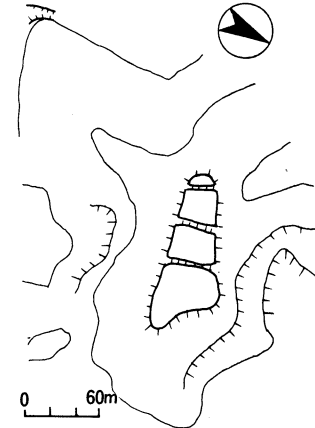
53-9 山田城



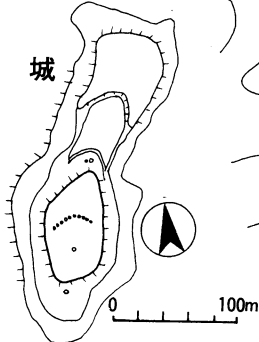
53-7 高城



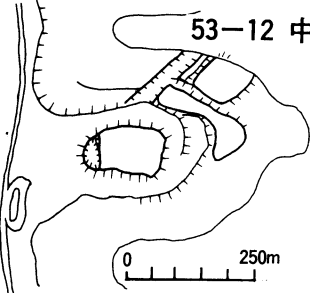
53-5 諏訪城



53-6 惣陣鹿倉山

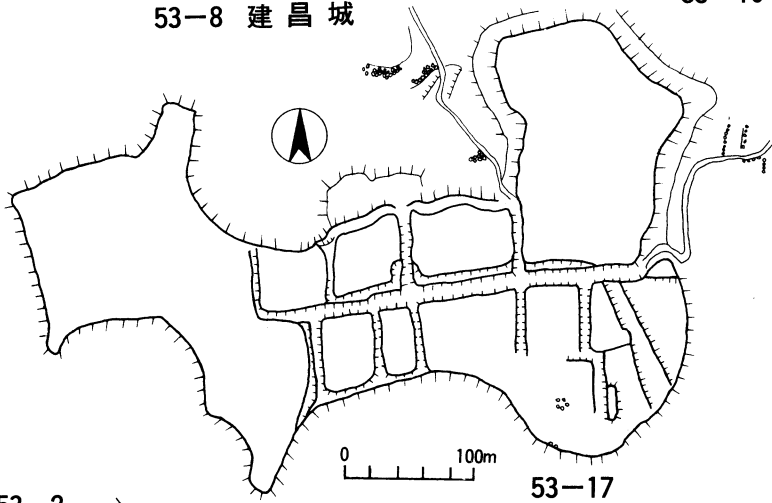


53-12 中城

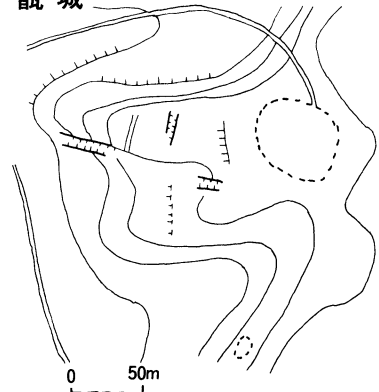


始良町

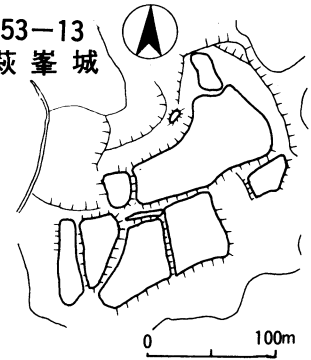
53-8 建昌城



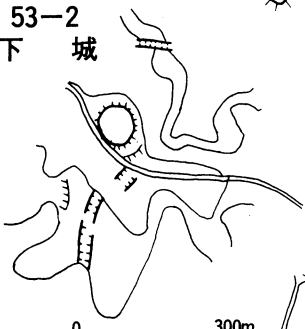
53-10 中甑城



53-13 萩峯城



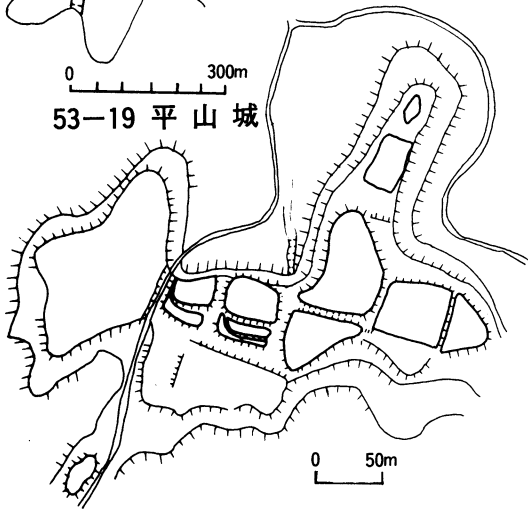
53-2 下城



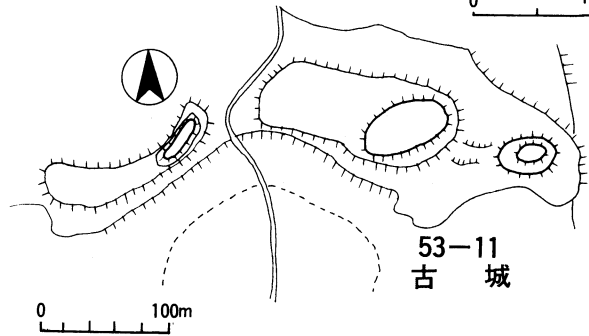
53-17 為朝城



53-19 平山城

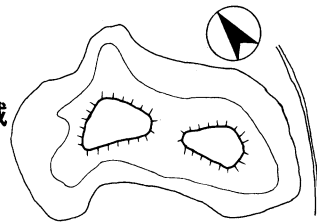


53-11 古城

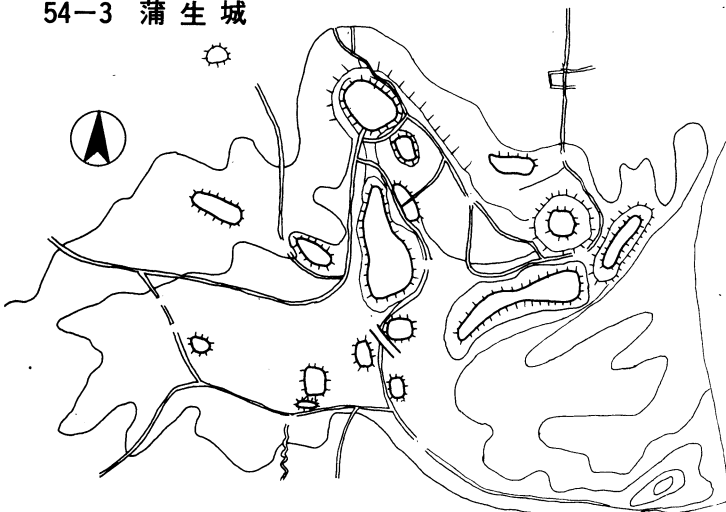


蒲生町

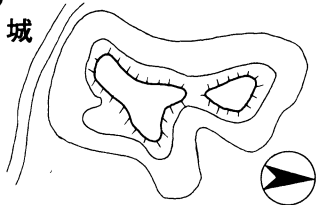
54-6 松元城



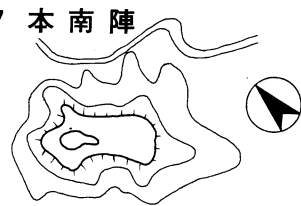
54-3 蒲生城



54-5 梶野城



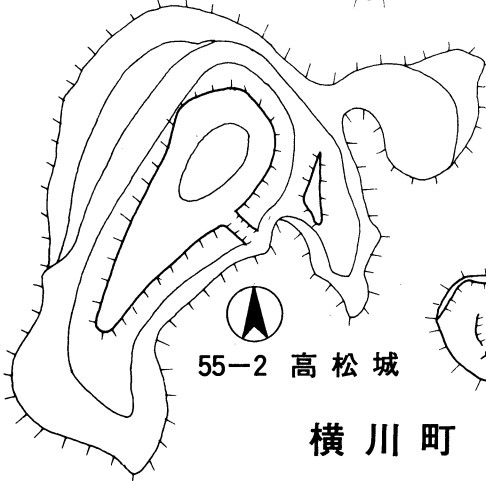
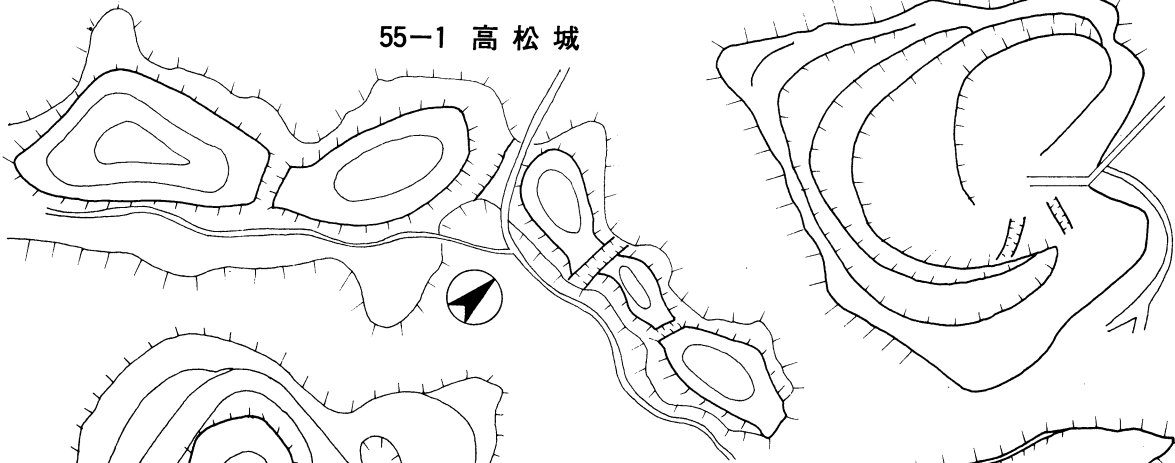
54-7 本南陣



溝辺町

55-3 玉利城

55-1 高松城



55-2 高松城

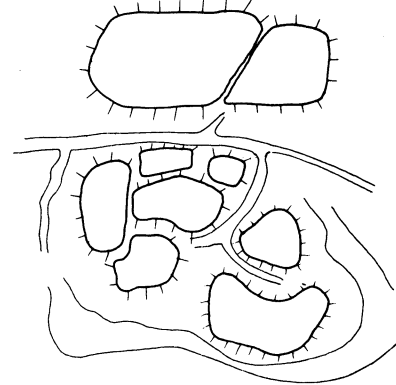
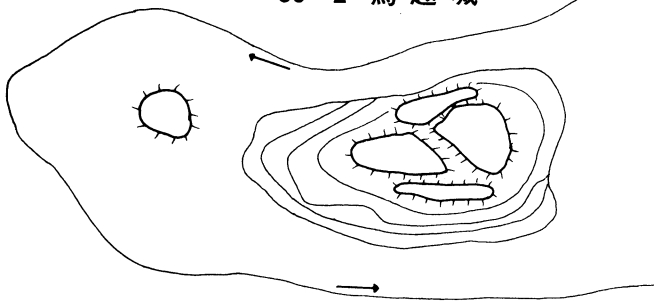


55-2 溝辺城

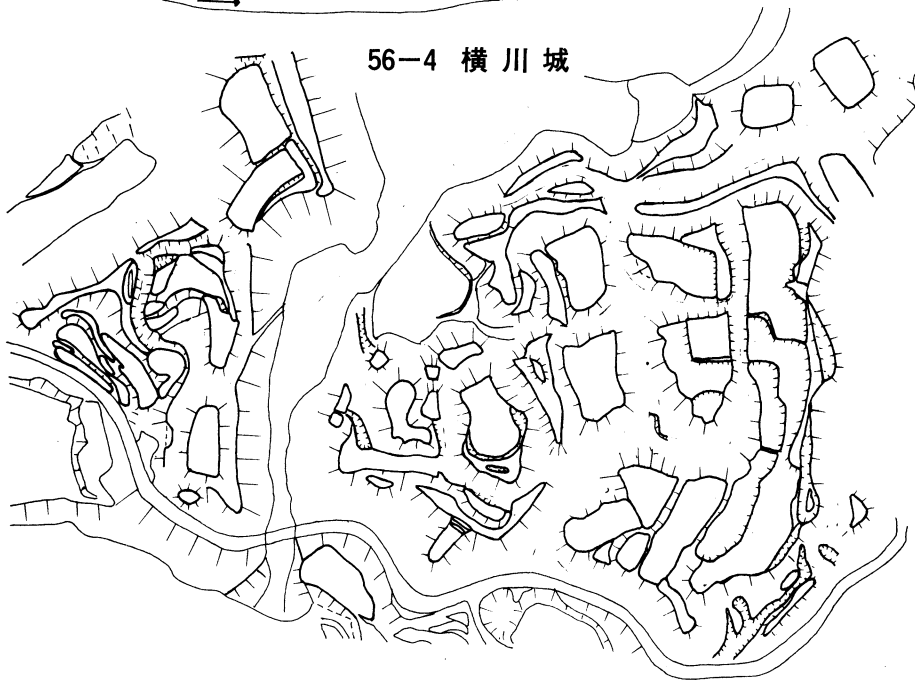
56-6 古城

横川町

56-2 鳥越城

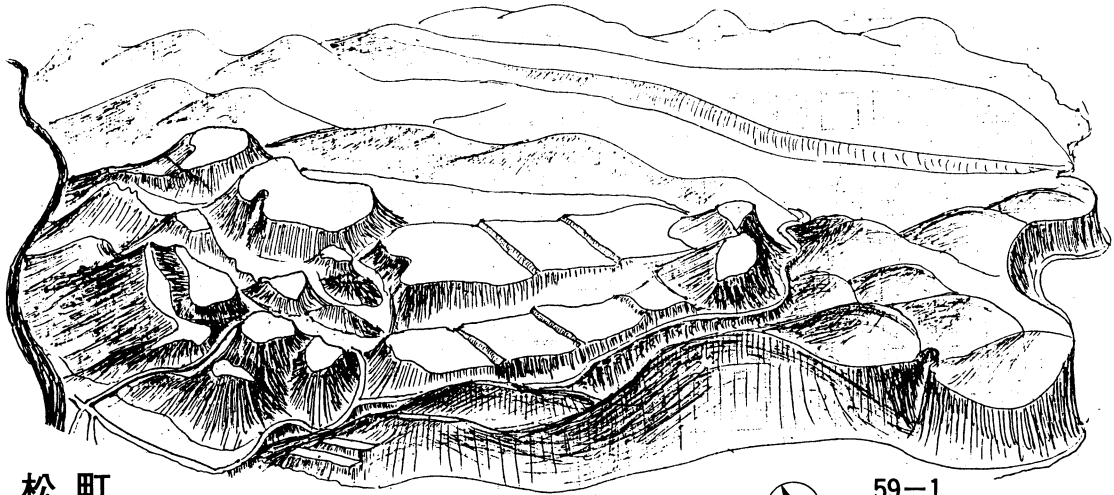


56-4 横川城



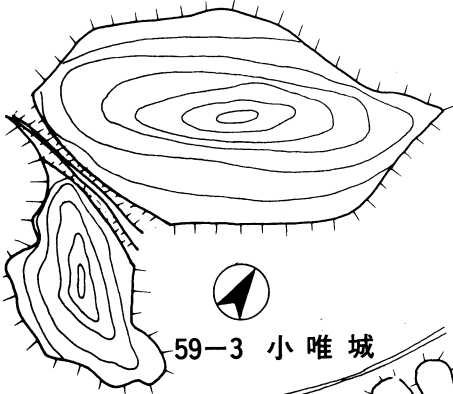
栗野町

57-1 松尾城(鳥瞰図)

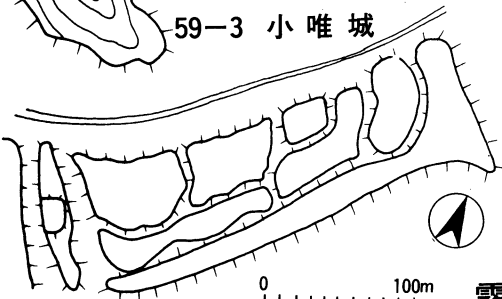


吉松町

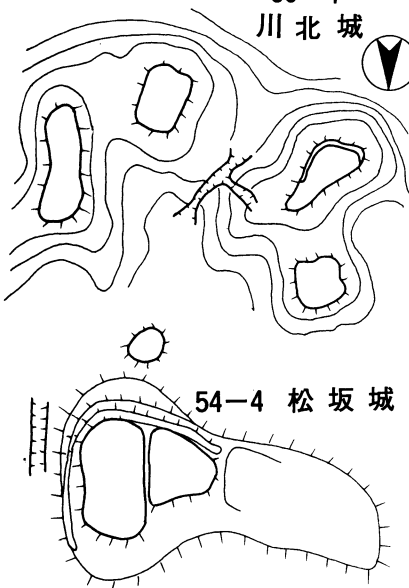
58-1 亀鶴城



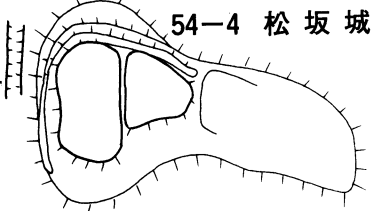
59-3 小唯城



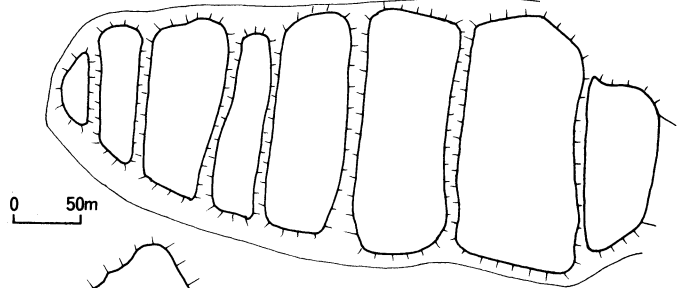
60-4 川北城



54-4 松坂城

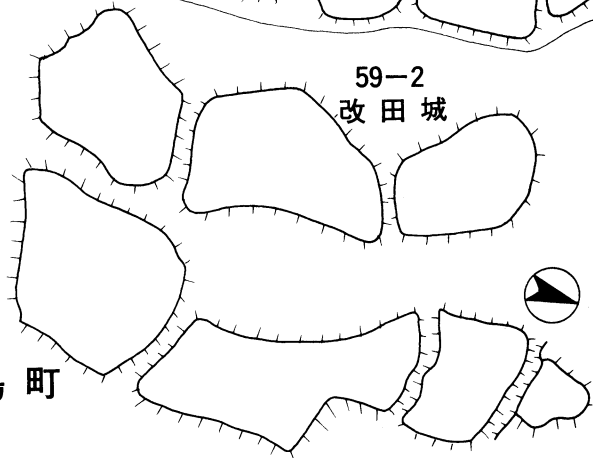


59-1 踊城 牧園町



0 50m

59-2 改田城



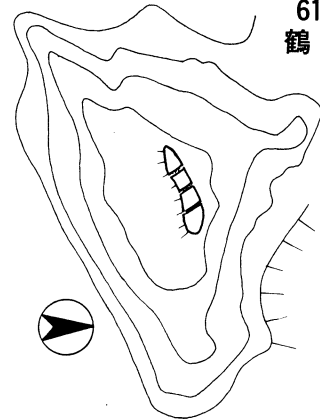
霧島町

60-3 永入城



隼人町

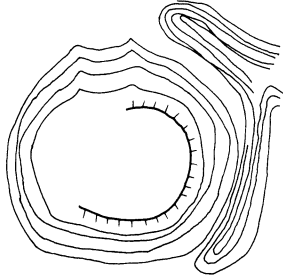
61-4 鶴ヶ城



隼人町

61-8 日当山城

61-6 長浜城



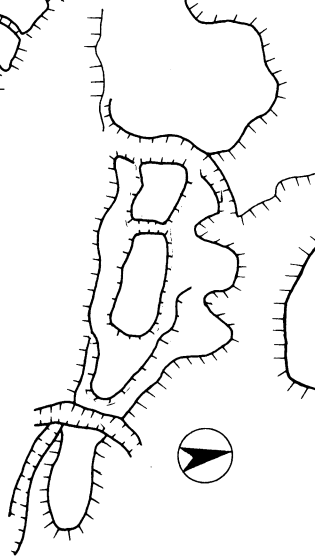
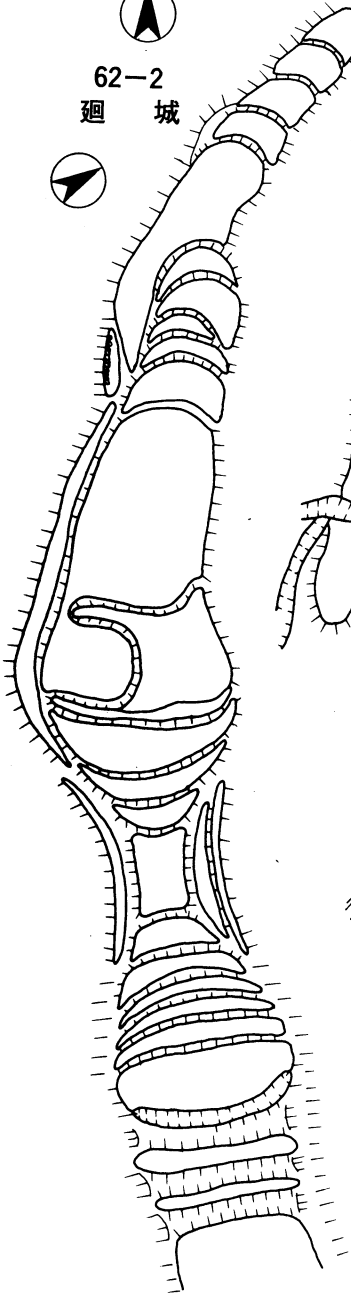
福山町

62-2 廻城

62-6 宝瀬城



廻城



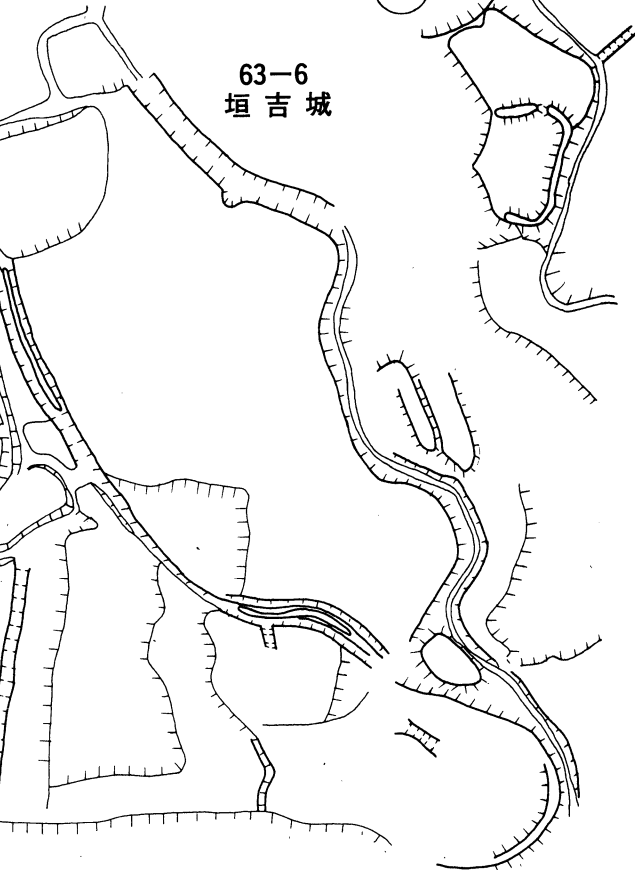
大隅町

63-5 手取城

0 50m



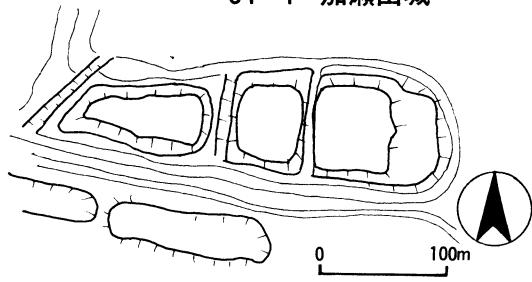
63-6 垣吉城



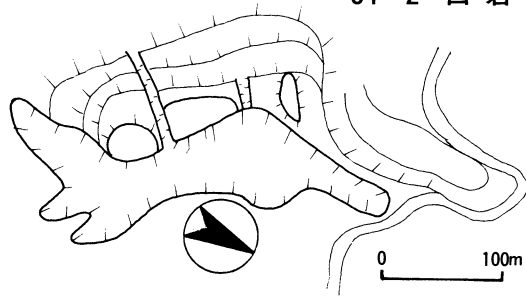
0 100m

輝北町

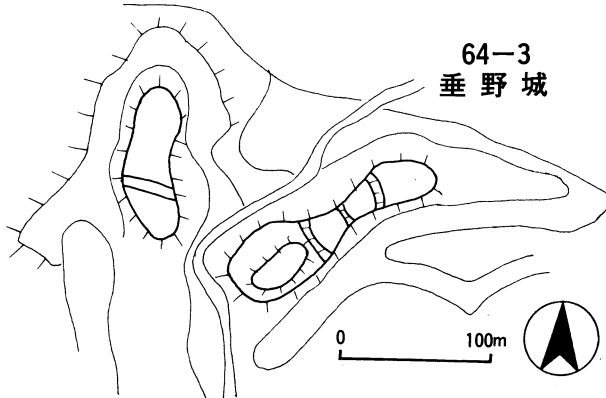
64-1 加瀬田城



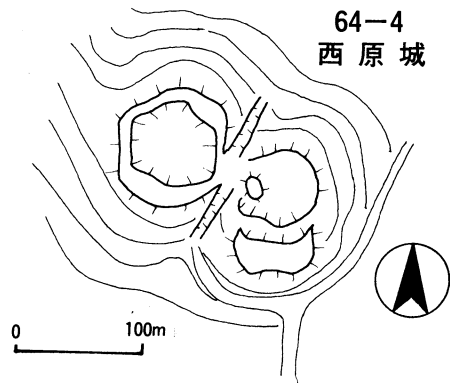
64-2 白岩城



64-3 垂野城

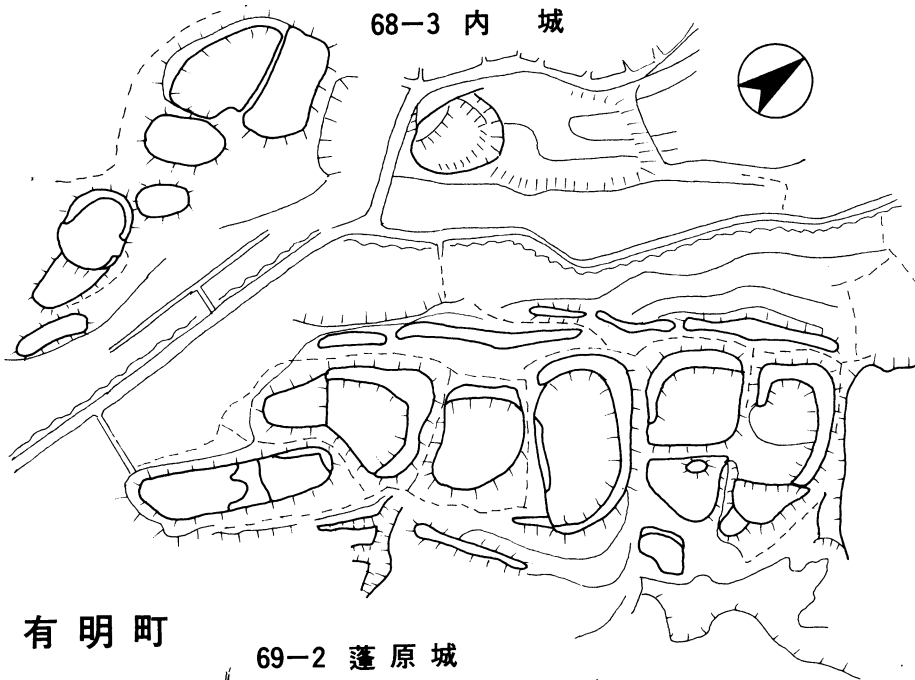


64-4 西原城

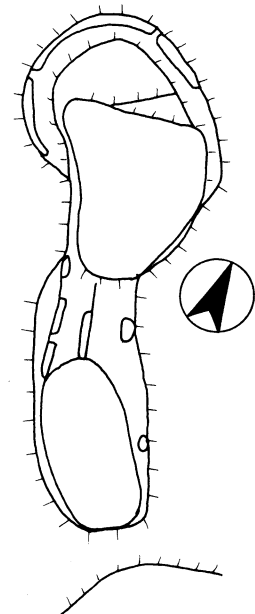


志布志町

68-3 内城

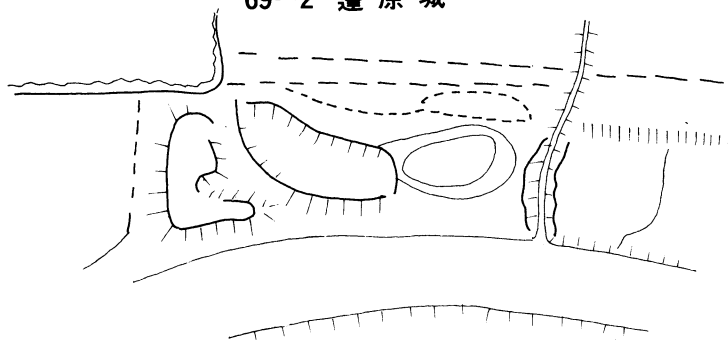


68-5 安楽城



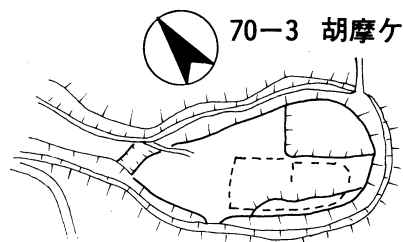
有明町

69-2 蓬原城



大崎町

70-3 胡摩ヶ崎城

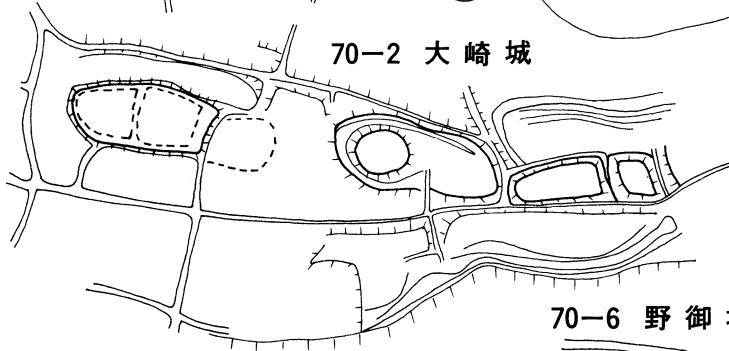


大崎町

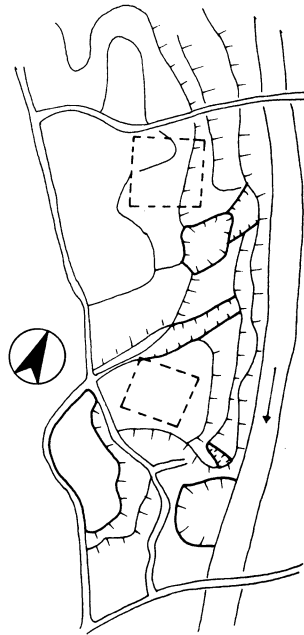
70-4 梶谷城



70-2 大崎城

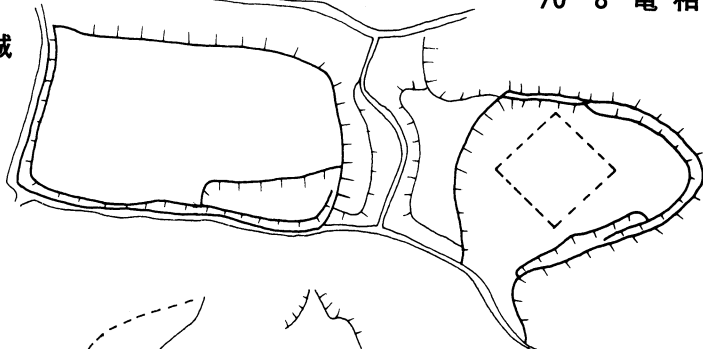
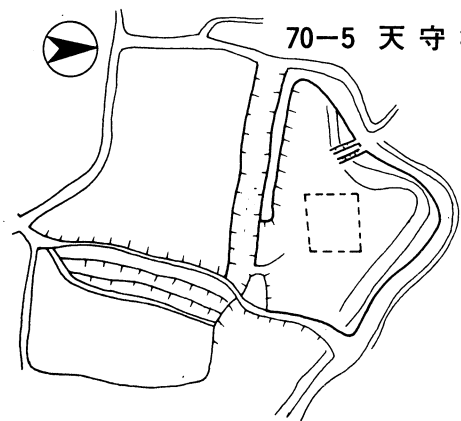


70-6 野御城

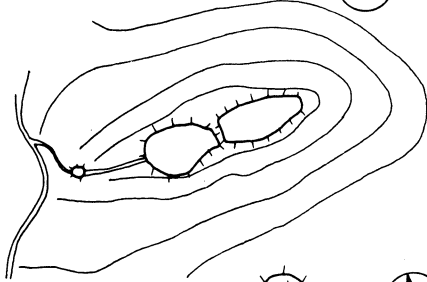


70-8 竜相城

70-5 天守城



71-5 細山田城

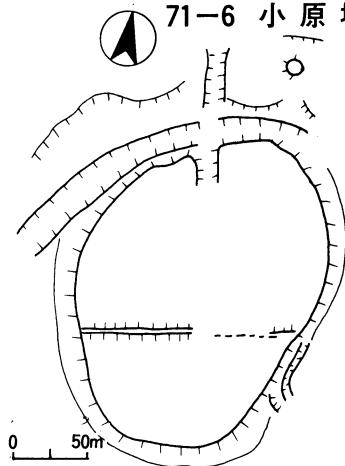


71-4 串良城

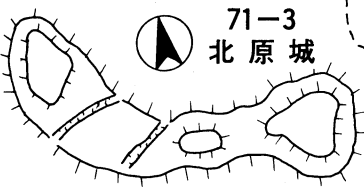


串良町

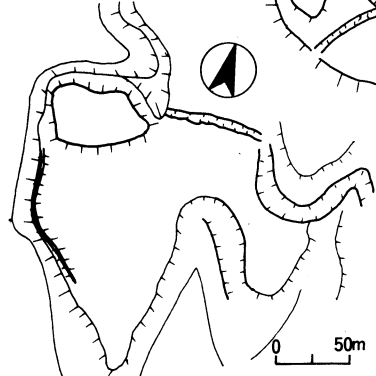
71-6 小原城



71-3 北原城



72-2 松崎城

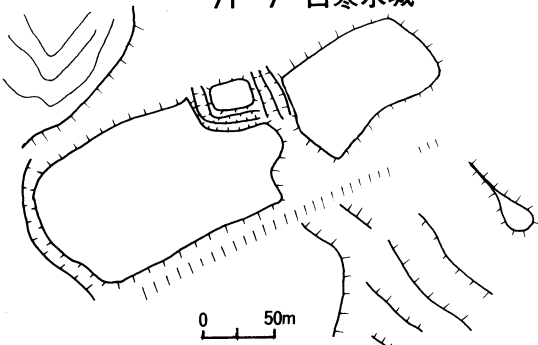


71-9 中山城



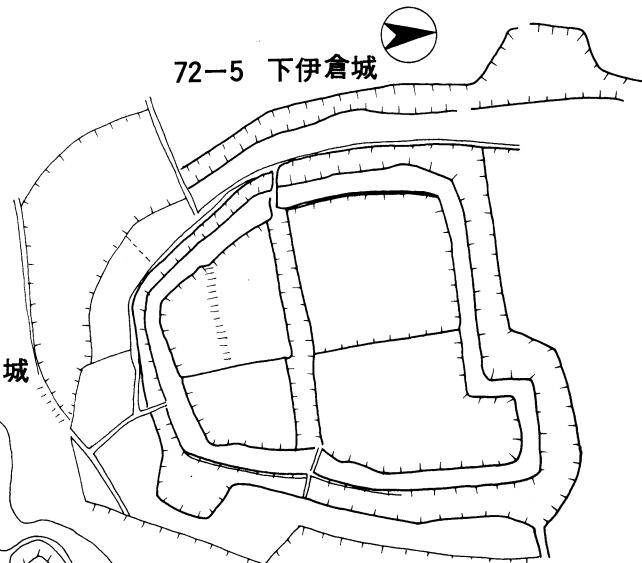
串良町

71-7 白寒水城



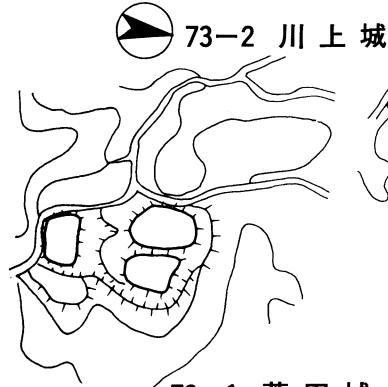
東串良町

72-5 下伊倉城

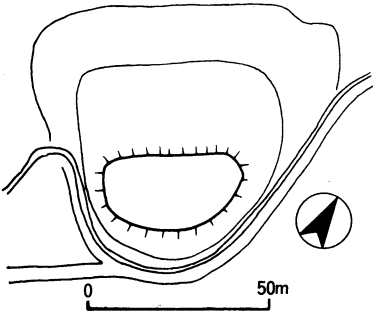


内之浦町

73-4 甑田城

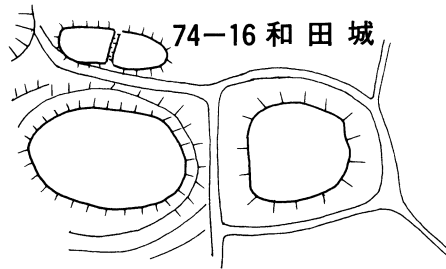


73-1 荒田城

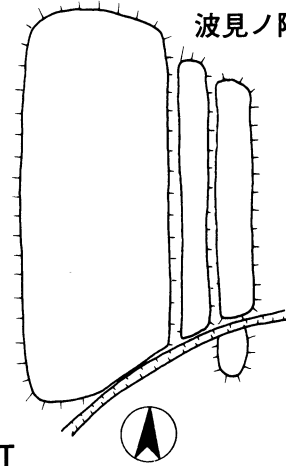


高山町

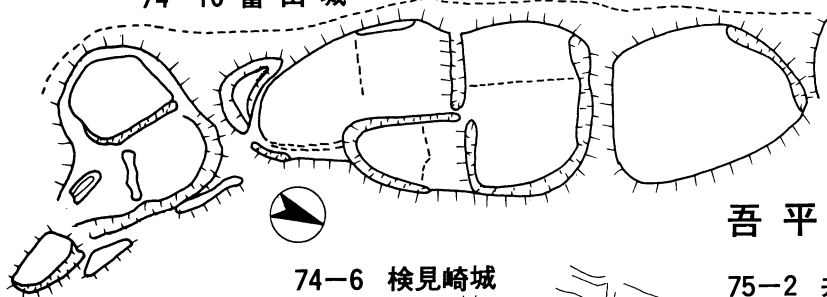
74-16 和田城



74-17 波見ノ陣

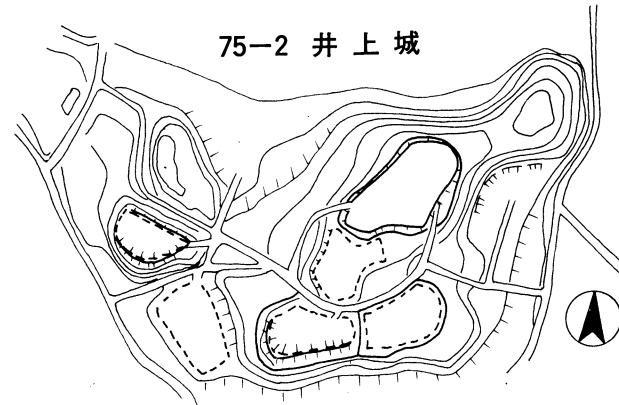
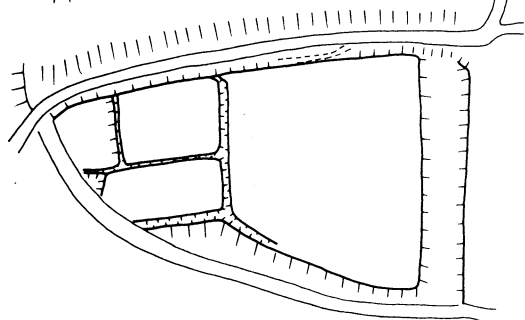


74-10 富山城

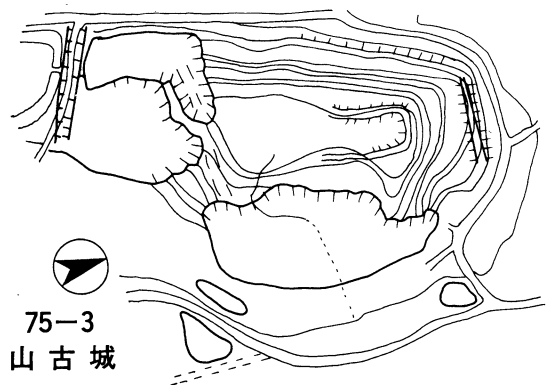


吾平町

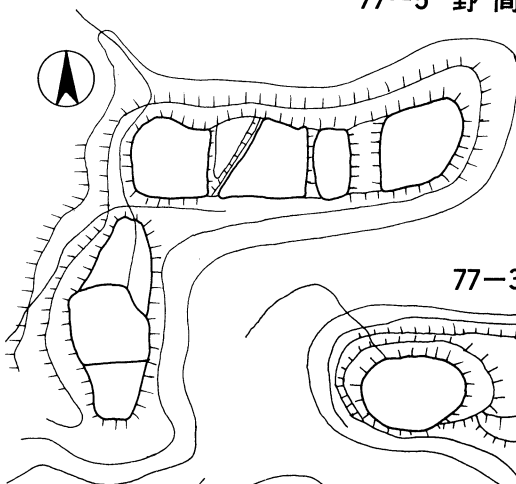
75-2 井上城



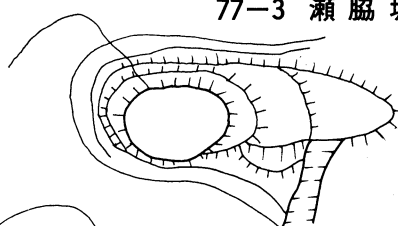
根占町



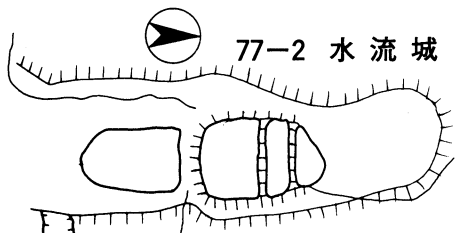
77-5 野間城



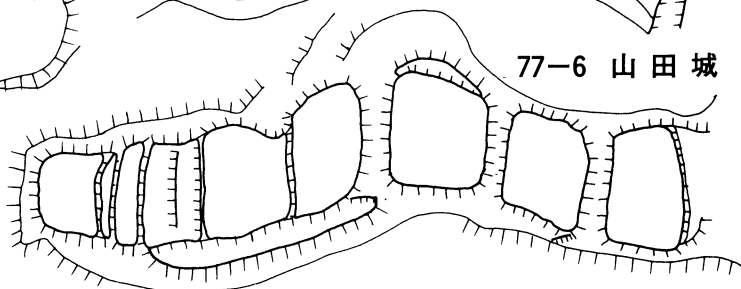
77-3 瀬脇城



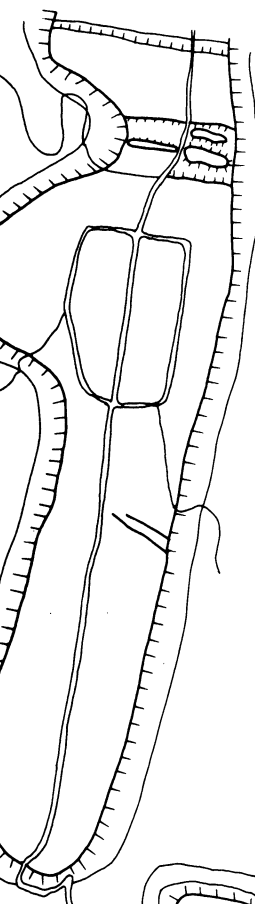
77-2 水流域



77-6 山田城

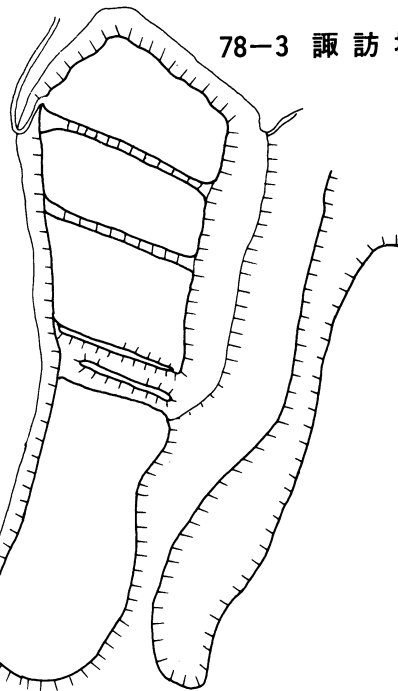


77-1 国見城

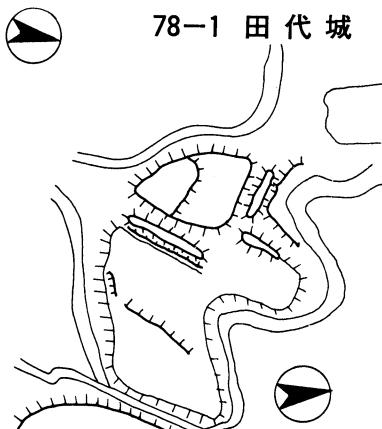


田代町

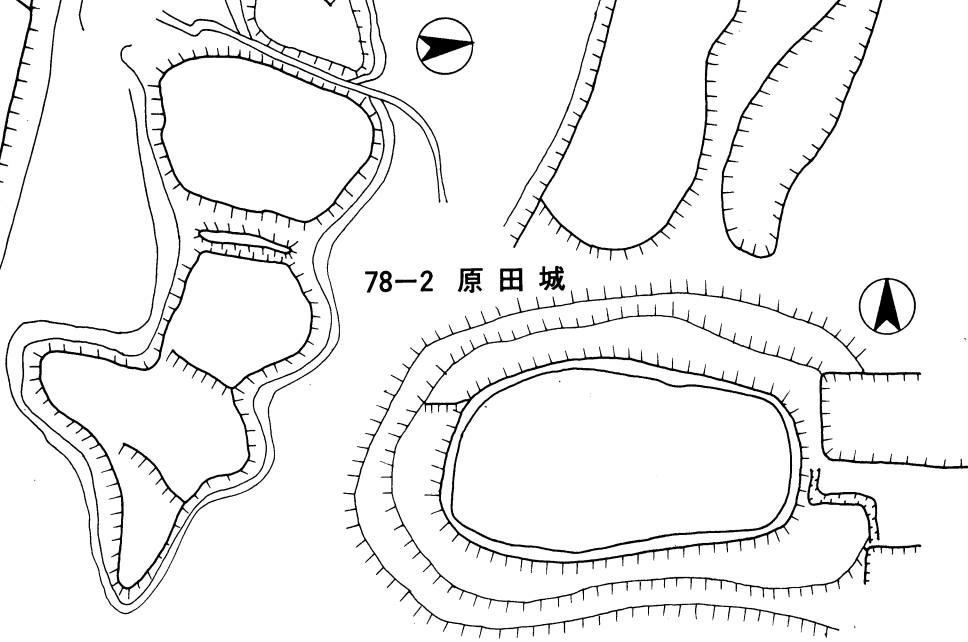
78-3 諏訪城



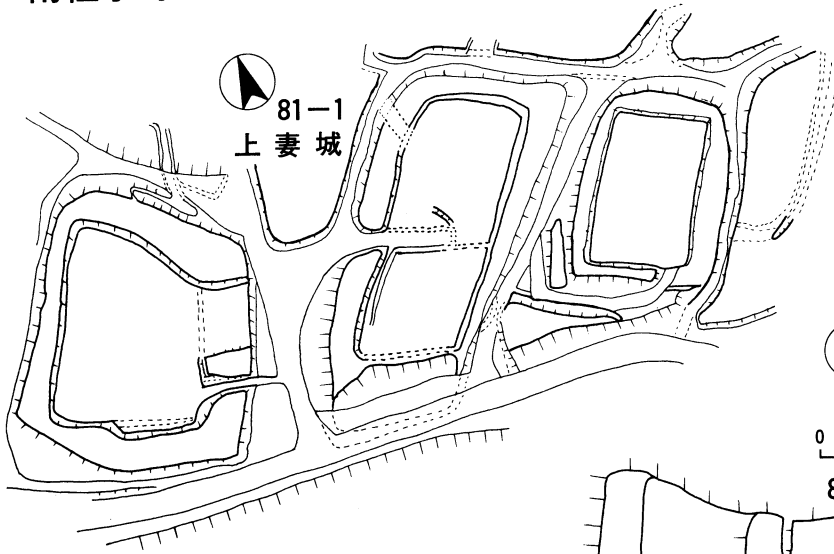
78-1 田代城



78-2 原田城

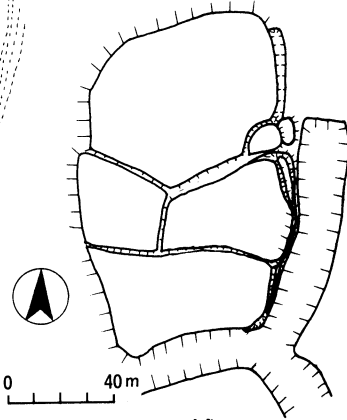


南種子町



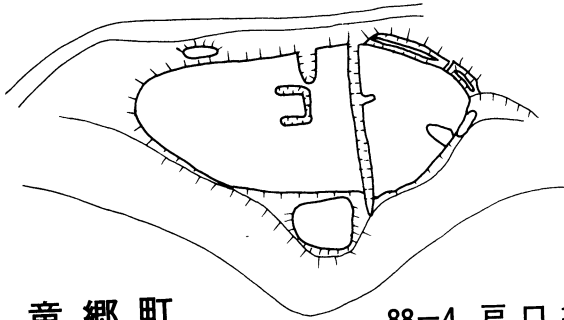
81-1
上妻城

上屋久町

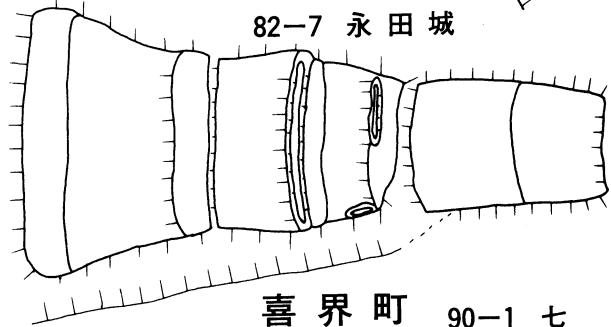


82-7 永田城

屋久町

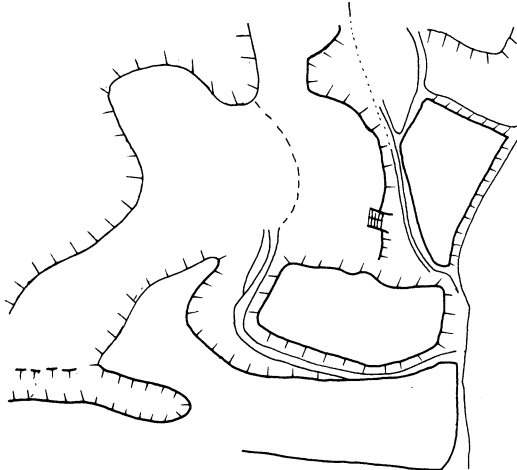


83-4 安房城

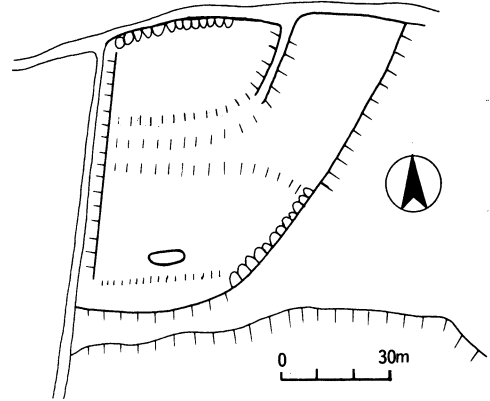


喜界町 90-1 七城

竜郷町



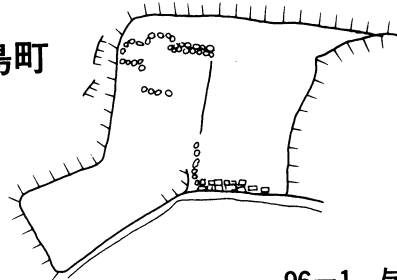
88-4 戸口城



91-4 アマン城

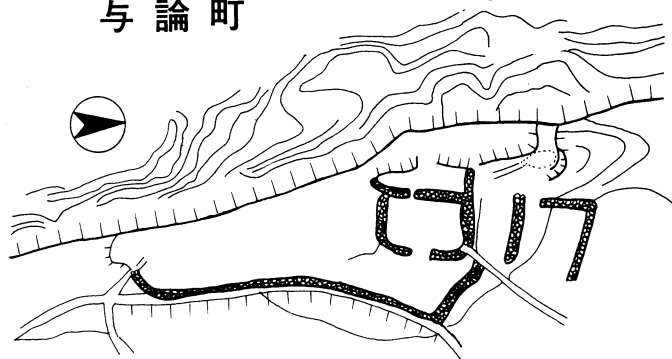
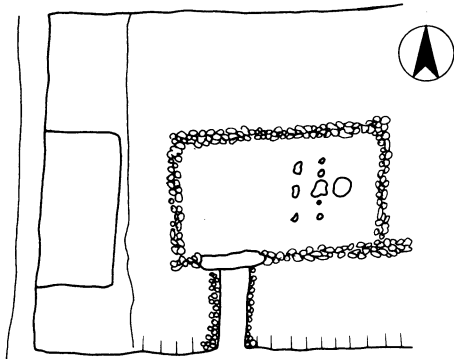
徳之島町

91-1
神之嶺城



与論町

96-1 与論城



第6章 文献一覧

- 1 旧記雑録
- 2 山田聖栄日記
- 3 三国名勝図会
- 4 鹿児島県地誌
- 5 薩隅日地理纂考
- 6 薩藩沿革地図（切絵図）
- 7 麿藩名勝考
- 8 文政前後城下図
- 9 天保年間鹿児島城下絵図
- 10 忠義公史料
- 11 上井経兼日記
- 12 成尾常矩図
- 13 見聞秘記
- 14 島津国史
- 15 旧薩摩御城下絵図
- 16 本藩地理拾遺集
- 17 谷山書記
- 18 桜島中万摺
- 19 地誌備考
- 20 薩州鹿児島郡吉日神社兼閣旧跡政帳
- 21 松尾城絵図
- 22 薩隅日三州吉戰場記
- 23 吉田衆中特高帳
- 24 衆中屋敷図
- 25 幕末東佐多浦ノ図
- 26 吉田郷地図
- 27 天保12年薩州出水郡出水高山大川神社兼閣名所旧跡産物帳
- 28 出水郡武本村検地名寄帳
- 29 出水外域図
- 30 平家没落由来書
- 31 大蛇羅家由来書
- 32 道ノ島代官記集成
- 33 滝家文書
- 34 後蘭孫八由緒記
- 35 世之主がなし内緒記

- 36 平行盛墓碑（瀬戸口祐左衛門盛善）
- 37 西藩野誌
- 38 田代家文書
- 39 祢寝文書
- 40 建久図田帳
- 41 神野の古石塔群
- 42 万延元年（1860）庚申年串良寺院由緒調
- 43 串良附近古跡略図
- 44 南朝忠臣，肝付兼重
- 45 串良群集古墳略図
- 46 菱刈両院古雑徴（写）
- 47 懷中島記
- 48 種子島家譜
- 49 御家年中行事
- 50 家譜略
- 51 方角札帳
- 52 上妻氏石塔碑文
- 53 高来御由来記
- 54 碓山城址石碑（碑文に当城の由来を記す）
- 55 御家五代他家古城主由来記
- 56 薩隅日三州他家古城主由来記
- 57 永利氏文書（島津貞久，師久）
- 58 権執印文書（旧記雑録）
- 59 薩摩国図田帳
- 60 平佐城址石碑
- 61 高城郷由来記
- 62 隈之城西手郷土出米綱帳
- 63 平佐由緒書
- 64 百次城主入来院淡路守之墓
- 65 上野氏ノ墓
- 66 指宿氏系図
- 67 帖佐来歴
- 68 帖佐由来記
- 69 帖佐古記録
- 70 加世田名勝史
- 71 再撰帳
- 72 伊作名勝志
- 73 入来院家文書
- 74 庶流入来院家文書

- 75 岡元家文書
- 76 寺尾家文書
- 77 入来院氏系図（本系図）
- 78 村尾氏系図
- 79 東郷氏系図
- 80 戸長役場日記（明治13年）
- 81 渋谷有重供養塔銘（正安2年）
- 82 旦那墓銘
- 83 大永六地藏塔銘
- 84 大永板碑銘文（大永5年）
- 85 天文板碑銘文（天文13年）
- 86 仏神免名寄帳（享保10年）
- 87 山口家文書
- 88 清色北方，南方水田検注帳（1322年）
- 89 算田日記（1490年）
- 90 浦ノ名検地名寄帳（1757年）
- 91 種田氏系図
- 92 種田秀繩墓塔銘
- 93 岡元家系図
- 94 山口虚空蔵堂穴地藏塔銘
- 95 十三仏塔銘（天正3＝1575年）
- 96 副田村検地名寄帳（享保9年）
- 97 近世入来文書
- 98 経塚地藏塔銘（寛政13年）
- 99 大口城絵図
- 100 古戦并古戦場札帳
- 101 大島国絵図
- 102 呉良謝佐栄久由緒記
- 103 雑書由緒記
- 104 古代中世奄美史料琉球図
- 105 首里之主由緒記
- 106 八十八免良謝由緒記
- 107 琉球図大島図絵図
- 108 伊集院由緒記
- 109 手手ノ口文書
- 110 伊作名勝志
- 111 肝付文書
- 112 河上家文書37点（地方家族の変遷）
- 113 薩州日置郡市来，山川神社仏閣旧蹟由緒物産

- 114 大日寺墓塔群庚申供養碑南朝忠臣市来氏顕彰碑
115 郷の自治制
116 郷の役職三役
117 鹿屋文書
118 肝付正統略伝
119 肝付支城
120 池端文書
121 肝付史
122 日置北郷下地中分絵図
123 穴目文書
124 鹿児島県史
125 吉利郷惣絵図
126 馬場氏古系図
127 肝付落城伝聞記
128 大根占町神川鳥浜枝碑
129 飛来嶽大観現由来記
130 鹿屋市天神町長崎六地藏
131 肝付兼統伝
132 吉利島津家系譜
133 吉利郷惣絵図
134 垂城伝誌
135 隅府温故集
136 垂城録
137 薩審名勝誌
138 大隅日向薩摩古城墨跡
139 日本城廊誌
140 伊集院郷土史
141 浦生御城山絵図
142 山本日記
143 箕輪伊賀自記
144 慶応3年蒲生古図
145 慶応年蒲生絵図
146 赤塚源太左衛門上申状
147 薩藩旧伝集
148 祁答院記
149 宮之城記
150 名勝志再撰方志ら偏帳留
151 薩藩治革地図、天文19年
152 薩隅日故跡拾遺

- 153 都城史蹟考
- 154 宮内社司沢氏文書
- 155 薩藩政要録
- 156 蓬原外城終始由緒覚
- 157 大宰管内志
- 158 高山名勝志
- 159 高山惣絵図
- 160 志布志旧記
- 161 吉満家古文書
- 162 栖本文書
- 163 名勝志再撰方長島
- 164 牧家系図
- 165 藤野家文書「肥後国守護代請文」正点執筆
- 166 栗野踊邊横川廻勤雑記
- 167 栗野由来記
- 168 知行名寄帳
- 169 市来氏家系図
- 170 鶴田再選方札帳
- 171 境田代系図
- 172 松尾城及び周辺図
- 173 川辺大境并内繩引帳
- 174 川辺名勝誌
- 175 川辺郷絵図
- 176 成川板碑
- 177 島津師久注廻状案
- 178 旧跡帳
- 179 乱導集
- 180 伴姓穎娃氏正総系図
- 181 穎娃御家開書
- 182 池田新三郎（法名浄図）供養塔
- 183 穎娃村里改帳
- 184 甌島古記録帖
- 185 廻御戦場絵図
- 186 庄内陣記
- 187 伊集院家文書
- 188 松山尾野見村荒起御檢地帳
- 189 松山神主檀方帳
- 190 大崎名勝誌
- 191 鎌倉実記卷7大隅郡地誌備考

- 192 壱岐賀州記
- 193 国分諸古記
- 194 国分麓絵図
- 195 国分御屋形跡
- 196 始良郡清水村史蹟名勝地
- 197 忠相, 忠親, 時久三代日帳
- 198 川内市史古石塔編
- 199 神書 (止上神社記録)
- 200 鹿籠名数記 (明治4年)
- 201 上井覚兼日記
- 202 栈敷本旧三方境之跡の石碑
- 203 長浜古文書
- 204 要用集
- 205 阿久根名勝志
- 206 阿久根町郷土誌
- 207 出水風土誌
- 208 出水郡誌
- 209 阿久根文化財
- 210 時吉関係古文書

索 引

<p>あ</p> <p>青尾の城 51 赤尾木城 49 赤坂城 71 莫根城 42 朝熊城 43 朝戸城 50 按司城 (笠利町) 84 按司城 (伊仙町) 85 愛宕城 52 愛宕山塁 75 厚地城 (知覧町) 53 厚地城 (郡山町) 57 穴ヶ城 53 穴城 62 天ヶ城 69 余ヶ城 61 尼ヶ城 79 アマン城 85 網屋城 51 天守城 77 荒瀬城 (加世田市) 38 荒瀬城 (隼人町) 72 荒田營 66 荒田城 79 荒平城 49 有屋アジ屋敷 50 有屋田城 57 安納城 50 安房城 83 安楽城 77</p> <p>い</p> <p>飯田城 74 碓山城 40 井上城 80 池之城 58 伊作城 58 伊作田城 56 伊座敷城 82 石踊塁 73 石神城 42 石谷城 56 井尻城 57 出水ヶ陣 43 出水ヶ塁 42 出水城 44 一字治城 56 市崎野小城 55 市比野城 59 市山城 66 一湊城 83 伊津部勝城 50 井手ヶ城 57 井手丸塁 69 稲村城 78</p>	<p>犬迫塁 36 猪子岳城 40 井之上城 43 今城 59 蘭牟田城 64 妹背城 40 伊屋松城 75 入船城 46 岩北城 (大隅町) 74 岩北城 (末吉町) 76 岩下城 81 岩下城 67 岩劔城 79 岩弘城 74 岩元城 66 岩屋城</p> <p>う</p> <p>ウウヒラ城 85 上楯城 74 上麓城 52 上里城 82 上床城 59 上ノ城 (加世田市) 38 上ノ城 (喜入町) 52 上野城 52 上ノ城 (末吉町) 76 上山城 36 上脇城 68 上城 51 兔ヶ城 54 牛尾城 44 宇宿城 37 臼ヶ城 52 宇豆峰塁 46 打越城 58 内城 43 内田城 (加世田市) 38 内田城 (樋脇町) 60 内ノ城 40 内山田塁 73 内青折城 55 宇都の陣 79 宇都塁 71 鷓ノ塚陣 39 馬背城 52 海城 83 梅ノ城 40 梅君ヶ城 62 浦上城 50 上井城 45 上城 46 恩納城 85</p> <p>え</p> <p>額娃古城 52 額娃城 52 江田城 59</p>	<p>永良部崎城 51</p> <p>お</p> <p>於天城 61 王城 44 大始良城 47 大石城 43 大内山城 56 大川上城 42 大川下城 43 大口城 44 大久保城 64 大窪城 40 大蔵館 67 大崎古城 78 大崎城 77 大下城 42 大城 64 大住吉城 60 大田尾館 55 大田山陣 37 太田城 43 大田城 55 大谷城 75 大田原塁 56 大塚山塁 49 大平城 44 大平城 79 大峰元城 40 大牟田城 58 大村古城 64 大山城 68 岡崎城 78 岡元城 75 尾賀楯城 41 小鹿倉城 41 尾頸小城 36 小倉城 40 尾ヶ無城 65 尾迫城 46 後川内城 46 小田城 (鹿児島市) 36 小田城 (阿久根市) 43 小田城 (隼人町) 72 踊城 71 衣刃ヶ城 54 斧淵城 60 尾野見城 76 小浜古城 73 小浜塁 47 小原城 78 尾守城 38 鬼城 65</p> <p>か</p> <p>貝殻崎城 59 改田城 72</p>	<p>柿本城 39 角井ヶ城 73 楯城 39 掛橋陣 70 楯城 (鹿児島市) 37 楯城 (川内市) 40 楯城 (川内市) 41 楯城 (大口市) 44 楯城 (東市来町) 56 楯城 (入来町) 60 楯城 (入来町) 60 楯城 (宮之城町) 61 楯 (加治木町) 66 楯城 (霧島町) 72 楯井城 (大隅町) 74 楯井城 78 楯谷城 77 楯ノ城 59 楯野城 69 楯山城 (川内市) 41 楯山城 (額娃町) 52 鹿児島城 34 加治木城 66 春日城 58 加瀬田城 69 片城 (祁答院町) 64 片城塁 45 片城 (横川町) 70 片平城 77 合戦田の陣 79 勝手ヶ城 57 勝目楯城 41 勝目城 54 桂姫城 45 金原陣 70 金丸城 (有明町) 77 金丸城 (大崎町) 77 鹿屋一谷城 48 鹿屋古城 48 鹿屋城 48 鹿屋元城 48 鎌田城 52 上川城 50 上城 85 上神殿城 56 神ノ川城 81 神前城 37 上村城 71 亀井山城 65 亀ヶ城 59 亀城 64 亀鶴城 71 亀之城 41 亀山城 58 蒲生城 69 烏城 38 狩集陣 68 仮屋城 (鹿屋市) 48 仮屋城 (東郷町) 61</p>
---	--	--	--

川岩瀬城	45	熊之城	38	金比羅山墨	49	新城(垂水市)	47
川内城	46	隈之城	60	御所ヶ原城	37	新城(宮之城町)	62
川上城(鹿児島市)	36	雲之上城	41	御幣蘭城	80	新城(祁答院町)	64
河上城	55	苦辛城	37	胡摩ヶ崎城	77	新城(高尾野町)	65
川上城(内之浦町)	79	栗生平家城	83			新城(野田町)	65
川北城	72	栗脇城	62	さ		新城(始良町)	67
川口城	37	黒木御所	51	坂元城	83	新城(栗野町)	71
皮籠石城	58	黒柵陣	75	佐安元屋敷	84	新城(大隅町)	74
川田城	57	黒山尻城	49	境城	47	新城(志布志町)	76
川床城	60	桑ノ丸城	46	境田城	63	真福寺墨	79
河邊氏居館	55	桑原城	43	坂下城	39	城ヶ崎	70
川畑城	54	楠川城	83	佐方城	39	城瀬城	67
土器園墨	67			坂元城(栗野町)	71	城ノ段(宮之城町)	61
神崎山陣	63	け		坂元城(大隅町)	74	城之段(鶴田町)	63
神之嶺城	84	貝皿陣	69	咲隈城	72	陣(加世田市)	39
観音山墨	49	検見崎城	80	崎城	84	陣(蒲生町)	70
関白陣	45	検見ヶ城	40	崎山城	46	陣ヶ岡	39
上名楠ヶ丸城	68	麿城	71	桜之城	38	陣ヶ岳	53
賀喜城	43			佐々木城	71	陣ヶ平	66
		こ		笹塚城	79	陣城	49
き		恋ノ巢城	62	笹峰城	71	陣城	66
給黎城	52	上妻城	82	棧敷本陣	59	陣岳墨	77
菊池城	37	幸原城	46	猿山古陣	54	陣之内	54
菊池田城	64	高山城	80	三十町陣ノ尾	69	陣ノ岡(串木野市)	39
岸良城	79	高羅城	65			陣ノ岡(栗野町)	71
北里城	71	後蘭孫八城	85	し		陣の岡城	54
木谷城	48	郡田小城	45	仕剣丸城	42	陣之尾城(大口市)	44
北原氏居館	79	郡山城	45	重信城	55	陣之尾城(川辺町)	54
北原城	78	古今城	46	志々目城	48	陣ノ尾城(郡山町)	57
北村城	69	甌田城	79	志々目西城	49	陣ノ尾城(加治木町)	67
北山城ヶ段城	53	越地城	65	篠原城	44	陣之尾城(隼人町)	73
亀甲城	69	古城(加世田市)	39	柴立城	53	陣之尾墨(阿久根市)	43
切手園	69	小城(川内市)	41	清水城(鹿児島市)	35	陣之尾墨(鹿屋市)	48
喜念按司屋敷	85	古城(西之表市)	50	清水城(川内市)	41	陣ノ口	46
木ノ氏城	45	小城(開聞町)	52	清水城(国分市)	45	陣山墨	53
木牟礼城	65	古城(知覧町)	53	下伊倉城	79	す	
木牟礼城屋形跡	65	古城(川辺町)	54	下井城	46	末吉城	76
肝付氏古城(串良町)	78	古城(東市来町)	56	下城	67	助之城	60
肝付氏古城(串良町)	78	小城(伊集院町)	56	下本城	47	住吉城	50
旧槻野城	74	古城(金峰町)	59	下名陣ノ尾城	68	諏訪城(垂水市)	47
清色城	60	古城(東郷町)	61	諸鈍城	83	諏訪城(始良町)	67
清見城	38	古城(東郷町)	61	白石ヶ城	40	諏訪城(田代町)	82
霧島城	79	古城(宮之城町)	62	白石城	47	諏訪原城	75
		古城(宮之城町)	62	白男川城	62	せ	
く		古城(始良町)	67	白銀坂陣	68	瀬戸城	48
久恵城	48	小城(輝北町)	75	白崎城	48	催馬楽城	36
久木野城	60	小陣	38	白寒水城	78	瀬脇城	81
串木野城	39	小陣	39	白谷城	41	仙田城	52
串良城	78	小唯城	72	白浜城	41	善福寺陣	63
久住城	41	小瀬田城	83	白岩城	75		
楠原陣	55	小鷹城	44	城ヶ宇都	63		
楠元城	42	古殿諏訪陣	55	城ヶ尾陣	76		
葛迫城	46	古前城	48	城ヶ南風城	54		
葛原墨	66	小牧城	49	城ヶ原(鹿児島市)	37		
崩原城	81	小松城	41	城ヶ原(三島村)	51	惣陣ヶ岡陣	73
国直城	83	古見城	84	城木場城	62	総陣鹿倉山	67
国見城	81	小湊アジ屋敷	50	城ノ園	39	総陣之尾	56
久富木城	61	小湊城	38	新柵	53	総徳ノ城	42
球摩陣(鶴田町)	63	小廻古城	73	真孝高城	73	曾木城	44
球摩陣(菱刈町)	66	小宿城	50	新城(川内市)	41	園田城	53
球摩陣(高山町)	80	小山田城	36	新城(阿久根市)	42	染ノ城	40

た		茶臼ヶ城 (鹿児島市)	37	鳥越城	70	の	
泰野城	75	茶臼ヶ城 (隼人町)	72	鳥巢城	44	野石城	53
台明寺壘	45	茶臼城 (鹿屋市)	48	富田原城	83	野方狼煙台	77
平城 (郡山町)	57	茶臼城 (始良町)	68	堂崎城	65	野神城	72
平城 (宮之城町)	61	茶円ヶ尾壘	47	堂園の陣	80	野首小陣	76
高江城	40	茶磨壘	38	堂之平	69	野久尾城	49
高江峰城	40	智屋城	61	な		野首城 (坊津町)	53
高尾山壘	81	帖佐館	68	内城 (鹿児島市)	37	野首城 (川辺町)	54
高木城	82	知覧城	53	内城 (加治木町)	56	野首城 (樋脇町)	60
高隈城	48	つ		内城 (加治木町)	67	野口高城	45
高城 (川内市)	41	塚崎城	80	内城 (志布志町)	77	野御城	77
高城 (垂水市)	47	槻野城	74	中大谷城	75	野坂壘	46
高城 (樋脇町)	60	津城	82	中勝原テラ屋敷	50	野崎陣	55
高城 (樋脇町)	60	土城	39	中甕城	67	野里城	48
高城 (宮之城町)	61	土矢倉城	52	中城 (宮之城町)	62	野間城	81
高城 (祁答院町)	64	筒ヶ迫城	81	中城 (始良町)	68	野間陣之尾城	54
高城 (始良町)	67	提城	76	中城 (始良町)	68	野元宮	36
高城 (志布志町)	76	垣吉城	74	中城 (吉松町)	71	は	
高城 (大根占町)	81	椿城	63	中津川城	63	赤木名城	84
高須古城	48	椿山陣	37	中之城	42	萩崎城	82
高須城	48	詰城	55	中原城	58	萩之平陣	63
高田城	54	鶴ヶ岡城	61	中俣城	47	萩峰城	68
鶯之巢陣	63	鶴ヶ城 (宮之城町)	62	中丸城	70	萩城	42
高牧城	77	鶴ヶ城 (隼人町)	72	中村城	79	橋野居館	76
高松城 (国分市)	45	鶴城	64	中山城	78	橋ノ口城	38
高松城 (溝辺町)	70	水流城	81	長岡城	63	羽島城	39
高松山城	70	鶴園城	82	長尾城	45	柘山城	78
田上城	47	鶴田城	63	長崎城	56	柘ヶ峰城	58
滝間城	64	鶴ノ城	59	永田城	83	長谷城	48
竹原山陣	73	鶴丸城	55	永利城	42	鉢巻城	42
竹林城	65	て		長浜城	72	八丸城	40
田代城 (阿久根市)	43	手取城	74	永入城	72	羽月城	44
田代城 (田代町)	81	寺師城	53	永山陣	80	花北城	66
田尻城	58	寺師柳丸城	69	夏井城	77	花平陣	75
只角城	53	天童山壘	80	夏陰城	36	花牟礼城	39
橋木城	45	出城	39	七城	84	鼻連山城	36
立石城	74	と		鍋ヶ城	55	浜ヶ城	39
建部城	81	東福寺城	37	鍋倉柳丸壘	68	浜崎城	37
建昌城	67	遠江ヶ壘	69	波ノ平城	37	浜田城	49
田中城	59	時吉城	62	南郷城 (吹上町)	59	波見城	80
谷口城	56	徳仏城	56	南郷城 (末吉町)	76	波見の陣	80
谷城	43	徳辺城	66	南谷城	57	早崎壘	47
谷峰城	37	戸口城	84	に		林城	47
谷山城	37	戸子田城	63	二川砦	47	隼人城	45
田平城	57	年貫城	49	西川内城	41	原城	83
田部田城	54	唐湊城	37	西之城	64	原田城	38
玉城	85	轟原城	61	西原城	75	原田城	82
玉利城	70	飛田城	66	西俣城	48	原ノ城	61
為朝城 (知覧町)	54	鳶巢城	51	西牟田城	64	原羅宮	36
為朝城 (始良町)	68	鳶之巢陣	63	二福城	41	針持城	45
太良城	66	富隈城	72	湊城	84	春山城	53
垂野城	75	富城	84	ね		馬場城	74
垂水城	47	登見城	75	猫城	53	馬場中原城	81
垂水本城	47	富田城	81	猫岳城	42	伴掾館跡	36
タンタコ城	40	富山城	80	鼠ヶ城 (宮之城町)	62	番屋城	55
大丸壘	72	虎居城	62	鼠ヶ城 (宮之城町)	62		
ち		虎丸城	76	根瀬部城	50		
知色城	43						
知名瀬城	50						

ひ

日ヶ城	49
菱刈陣	70
比志島城	36
聖ノ城	57
蛙ヶ城	70
日當比良	68
日当山城	72
日之迫塁	67
姫木城	45
平泉城	44
平熊城	72
平佐城	42
平之城 (東市来町)	55
平之城 (蒲生町)	69
平ノ城 (蒲生町)	70
平松城 (始良町)	68
平松城 (末吉町)	76
平松山ノ丸塁	69
平山城 (川内市)	40
平山城 (出水市)	44
平山城 (川辺町)	54
平山城 (始良町)	68
広津田城	74
樋脇城	60
毘沙門城	57
琵琶山城	52

ふ

古城 (西之表市)	50
大城	85
福沢城	74
福地城	74
福山古城	73
藤峰城	40
溯上城	60
溯辺城	44
府中館	46
蓬原城	77
船隈城	49
古江城	49
古垣城	58
古里城	82
古城 (垂水市)	47
古城 (宮之城町)	62
古城 (宮之城町)	62
古田城	50

へ

平家城 (三島村)	51
平家城 (三島村)	51
平家盛	84
平常の陣	47
辺塚城	82
辺田城	38
別府ヶ城	79
別府城	38
辺留城	84

ほ

宝球庵城	76
宝瀬城	73
細山田城	78
堀込城	79
堀ノ内 (鹿児島市)	37
堀ノ内 (川辺町)	54
堀ノ内 (吹上町)	58
堀之内塁	73
本城	65
本南陣	69
本別府城	54

ま

舞鶴城	45
前田城	60
曲之城	79
槇尾城	73
馬越城	66
馬込城	72
馬籠城	82
増田城	82
馬立陣	69
馬立塁	73
松尾城 (指宿市)	38
松尾城 (川内市)	42
松尾城 (出水市)	43
松尾城 (吉田町)	51
松尾城 (川辺町)	55
松尾城 (郡山町)	57
松尾城 (日吉町)	58
松尾城 (宮之城町)	61
松尾城 (宮之城町)	61
松尾城 (薩摩町)	63
松尾城 (祁答院町)	64
松尾城 (横川町)	71
松尾城 (志布志町)	77
松尾田城	75
松尾塁	78
松坂城	69
松崎城	78
松下城	80
松当城	84
松原城	70
松元城	69
松山城	76
的城	51
丸尾城	63

み

箕冠城	60
水ノ手城	57
水引城	41
溝辺城	70
三石城	58
南別府城	54
宮城	85
宮下城	80
都城	42

宮里城	42
宮ノ浦城	83
宮ノ前城	49
妙巖城	85

む

向城	70
向陣	67
向椿城	56
牟田城	59
無名城	70
牟礼ヶ城	59

め

廻城	73
目丸城	44

も

餅田中ノ丸	69
本吉田城	51
百引本城	75
紅葉城	65
百次城	42

や

矢ヶ城	77
焼山宮	68
屋久田城	50
奴久良城	67
矢倉城	41
安原城	43
ヤト城	85
柳井谷城	74
柳井谷の陣	80
築瀬城	63
山石城	53
山ヶ城	49
山崎城	61
山田城 (東郷町)	61
山田城 (始良町)	67
山田城 (根占町)	81
大和城 (笠利町)	84
大和城 (天城町)	85
山門野城	65
山野上山城	73
山ノ城 (大口市)	44
山ノ城 (吹上町)	58
山野城 (大口市)	42
山古城	81
屋々勝城	84

ゆ

楡井塁	45
勇介城	59
油須木城	57
湯田城	42
湯田城	62
湯迫平家城	83

世之主城	85
湯ノ尾城	64
湯之峯砦	73
弓張城	80
湯向城	82

よ

陽春院城	68
ヨケガ迫	63
横川古城	71
横川城	71
横瀬城	78
横山城 (鹿屋市)	49
横山城 (桜島町)	51
吉利古城	58
吉利城	58
米倉城	52
寄田城	40
与論城	86

り

竜虎城	75
竜相城	77
領家政所	58

わ

若松城	58
脇ノ丸城	46
渡瀬ノ陣	45
和田城	80

鹿 児 島 県 の 中 世 城 館 跡

昭和62年 3 月

編 集 鹿 児 島 県 教 育 委 員 会
発 行 昭 和 6 2 年 3 月 3 1 日
〒892-01 鹿 児 島 市 山 下 町 1 4 - 5 0
印 刷 (有) ア ー ト 印 刷
〒890 鹿 児 島 市 下 竜 尾 町 2 6 - 1
TEL 4 7 - 1 6 0 5

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号)昭和61九複,第352号